(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2014 年 10 月 2 日(02.10.2014)

WIPO | PCT

(10) 国際公開番号
WO 2014/157580 A1

(51) 国際特許分類:
G06Q 30/02 (2012.01) *G06F 13/00* (2006.01)
G06F 9/445 (2006.01) *G06Q 30/06* (2012.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2014/059020

(22) 国際出願日: 2014 年 3 月 27 日(27.03.2014)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願 2013-070546 2013 年 3 月 28 日(28.03.2013) JP
特願 2013-070547 2013 年 3 月 28 日(28.03.2013) JP
特願 2013-070548 2013 年 3 月 28 日(28.03.2013) JP
特願 2013-137169 2013 年 6 月 28 日(28.06.2013) JP
特願 2013-236853 2013 年 11 月 15 日(15.11.2013) JP
特願 2013-236854 2013 年 11 月 15 日(15.11.2013) JP
特願 2013-236855 2013 年 11 月 15 日(15.11.2013) JP
特願 2014-060594 2014 年 3 月 24 日(24.03.2014) JP

(71) 出願人: 株式会社コナミデジタルエンタテインメント (KONAMI DIGITAL ENTERTAINMENT CO., LTD.) [JP/JP]; 〒1078324 東京都港区赤坂九丁目７番２号 Tokyo (JP).

(72) 発明者: 中井 遥子(NAKAI Yoko); 〒1078324 東京都港区赤坂九丁目７番２号 株式会社コナミデジタルエンタテインメント内 Tokyo (JP). 佐藤 大介(SATO Daisuke); 〒1078324 東京都港区赤坂九丁目７番２号 株式会社コナミデジタルエンタテインメント内 Tokyo (JP). 犬飼 晋作(INUKAI Shinsaku); 〒1078324 東京都港区赤坂九丁目７番２号 株式会社コナミデジタルエンタテインメント内 Tokyo (JP). 宮崎 正人 (MIYAZAKI Masato); 〒1078324 東京都港区赤坂九丁目７番２号 株式会社インターネットレボリューション内 Tokyo (JP).

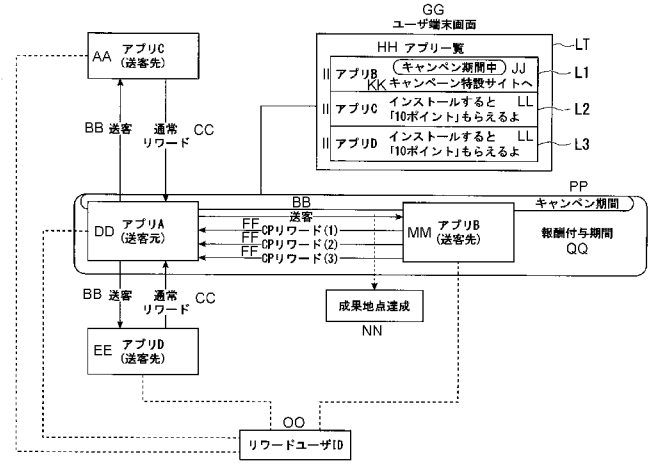
(74) 代理人: 志賀 正武, 外(SHIGA Masatake et al.); 〒1006620 東京都千代田区丸の内一丁目９番２号 Tokyo (JP).

(81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES,

[続葉有]

(54) **Title**: MANAGEMENT DEVICE, MANAGEMENT METHOD, TERMINAL DEVICE, CONTROL METHOD, AND PROGRAM

(54) 発明の名称 : 管理装置、管理方法、端末装置、制御方法、及びプログラム



AA APPLICATION C (CUSTOMER DESTINATION)
BB SEND CUSTOMER
CC REGULAR REWARD
DD APPLICATION A (CUSTOMER SOURCE)
EE APPLICATION D (CUSTOMER DESTINATION)
FF REWARD
GG USER TERMINAL SCREEN
HH LIST OF APPLICATIONS
II APPLICATION
JJ CAMPAIGN UNDERWAY
KK GO TO SPECIAL CAMPAIGN SITE
LL RECEIVE 10 POINTS FOR INSTALLING APPLICATION
MM APPLICATION B (CUSTOMER DESTINATION)
NN RESULT POINT REACHED
OO REWARD USER ID
PP CAMPAIGN PERIOD
QQ REWARD COMPENSATION PERIOD

(57) **Abstract**: When any target application among a plurality of target applications is executed by a terminal device, this management device, which manages information concerning the plurality of target applications, acquires first information sent from the terminal device in response to said target application being executed by the terminal device, and as a result of receiving a request based on a first application executed by the terminal device among the plurality of target applications, sends, to the terminal device, second information, which includes information representing at least one target application for which the first information was not acquired from the terminal device, and, in response to the second information being sent, performs reward compensation processing on the basis of a second application, among the target applications represented by the second information, having been executed by the terminal device or being in an executable state.

(57) 要約:

[続葉有]

WO 2014/157580 A1

FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告（条約第 21 条(3)）

複数の対象アプリケーションに関する情報を管理する管理装置は、複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが端末装置により実行されたことに応じて端末装置から送信された第１情報を取得し、複数の対象アプリケーションのうち端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、端末装置から第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を端末装置に対して送信し、第２情報を送信したことに応じて、第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をする。

明　細　書

発明の名称 ：

管理装置、管理方法、端末装置、制御方法、及びプログラム

技術分野

[0001] 本発明は、管理装置、管理方法、端末装置、制御方法、及びプログラムに関する。

背景技術

[0002] スマートフォン等のユーザ端末にアプリケーションをインストールして、そのアプリケーションのコンテンツを楽しむことが行われている。このようなアプリケーションは、例えば、アプリケーションを販売するストアサイトや各アプリケーションの専用サイトにダウンロード可能なように登録されている。そして、ユーザは、これらのサイトから所望のアプリケーションをダウンロードして自身のユーザ端末にインストールすることができる。

[0003] また、ユーザ端末にインストールされているアプリケーションの利用中に表示される表示画面に、まだインストールされていないアプリケーションの広告（バナー）を表示させ、その広告（バナー）が選択されると上述のストアサイトや専用サイトに誘導され、その後、選択されたアプリケーションがダウンロードされてユーザ端末にインストールされた場合、ダウンロードのきっかけとなった広告（バナー）が表示された元のアプリケーションの提供者（広告主）に対して、または元のアプリケーションのユーザ自身の利用に対して報酬が付与されるようなリワード広告システムがある（例えば、特許文献１参照）。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特許第５１０７４５５号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] 上述したようなリワード広告システムによれば、報酬の付与がアプリケーション間の送客の動機付けとなり、アプリケーションの販売の促進に繋げることが可能となる。そのため、より利便性の高いアプリケーション間で送客を行うシステムが望まれている。

[0006] 本発明は、このような状況に鑑みてなされたもので、アプリケーション間の送客の利便性を向上させることができる管理装置、管理方法、端末装置、制御方法、及びプログラムを提供する。

課題を解決するための手段

[0007] 以下では、本発明の理解を容易にするために添付図面の参照符号を便宜的に括弧書きにて付記するが、それにより本発明が図示の態様に限定されるものではない。

[0008] 上述した課題を解決するために、本発明の一態様は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部（２２１）と、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置（１００）により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得する第１情報取得部（２４１）と、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部（２４２）と、前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をするリワード処理部（２４５）と、を備えることを特徴とする管理装置（２００）である。

[0009] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行

可能な状態になったことにより前記報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0010] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0011] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第１情報取得部が前記第２アプリケーションに対応する前記第１情報を取得した場合に、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたと判定することを特徴とする。

[0012] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記アプリケーション管理部が、前記複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定された第１の期間に関する情報を管理し、前記第２情報通知部が、前記第１の期間が設定された対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の前記第１の期間が設定された対象アプリケーションを示す情報を含む前記第２情報を前記端末装置に対して送信し、前記リワード処理部が、前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0013] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことにより前記報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0014] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行

されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0015] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第１情報取得部が前記第２アプリケーションに対応する前記第１情報を取得したタイミングが前記第１の期間内である場合に、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたと判定することを特徴とする。

[0016] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、当該報酬付与条件が充足されたことを示す報酬付与通知情報を、前記端末装置により実行された前記第２アプリケーション又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置から取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づく報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0017] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記第１情報取得部が、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、及び前記第１情報を送信した対象アプリケーションの識別情報と関連付けて前記第１情報を取得し、前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、及び前記対象アプリケーションの識別情報を関連付けた管理情報を管理する第１情報管理部、を備えることを特徴とする。

[0018] また、本発明の一態様は、上記管理装置が、対象アプリケーションのユーザ情報を取得するアプリユーザ情報取得部、を備え、前記第１情報管理部が、前記管理情報に前記対象アプリケーションのユーザ情報を関連付けて管理することを特徴とする。

[0019] また、本発明の一態様は、上記管理装置が、対象アプリケーションにおけるユーザ情報を取得するアプリユーザ情報取得部、を備え、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記第１アプリケーションのユーザ情報が関連付けられた

報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信することを特徴とする。

[0020] また、本発明の一態様は、上記管理装置が、前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報を取得する送客情報取得部（２４３）と、前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する送客情報管理部（２２３）と、を備え、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行された又は実行可能な状態になった場合に、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されていることを条件として、前記報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0021] また、本発明の一態様は、上記管理装置が、前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報を取得する送客情報取得部と、前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する送客情報管理部と、を備え、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションに設定された前記報酬付与条件が充足された場合に、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されていることを条件として、前記報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0022] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記送客情報管理部が、前記第２アプリケーションの識別情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報と関連付けて前記送客情報の記録として管理することを特徴とする。

[0023] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記送客情報管理部が、前記第２アプリケーションの識別情報を、前記第１アプリケーションの識別情報と関連付けて前記送客情報の記録として管理することを特徴とする。

[0024] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記送客情報取得部が、前記送客情報として、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報と関連付けて取得し、前記送客情報管理部が、前記送客情報に関連付けら

れた前記固有識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報を関連付けて前記送客情報の記録として管理することを特徴とする。

[0025] また、本発明の一態様は、上記管理装置が、前記送客情報取得部が取得した前記送客情報に関連付けられた前記第２アプリケーションの識別情報に基づいて、前記第２アプリケーションをインストール可能な画面を前記端末装置に表示させるための情報を、前記端末装置に送信する画面情報通知部（２４４）、を備えることを特徴とする。

[0026] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第１の期間が設定された対象アプリケーションのうちの一部又は全部に対して、前記第１の期間と重複しない別期間が設定された場合に、前記端末装置において前記第２アプリケーションに設定された前記第１の期間に対応した前記報酬付与処理を実施済みである場合には、前記別期間に対応した前記報酬付与処理をしないことを特徴とする。

[0027] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記アプリケーション管理部が、前記第１の期間の一部または全部を含み前記第１の期間の最後より後に終了する第２の期間の少なくとも終了期限に関する情報を管理し、前記リワード処理部が、前記第２の期間内に前記報酬付与条件が充足されたことに基づいて前記報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0028] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記アプリケーション管理部が、前記第１の期間の一部または全部を含み前記第１の期間の最後より後に終了する第２の期間の少なくとも終了期限に関する情報を管理し、前記リワード処理部が、前記第２の期間内に前記第２アプリケーションから前記報酬付与条件が充足されたことを示す報酬付与通知情報を取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づく前記報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0029] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記第２アプリケーションに対応して前記報酬付与条件は複数設けられており、前記リワード処理

部が、前記複数の前記報酬付与条件のいずれかが前記第２の期間内に充足されたことに基づいて前記報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0030] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記第２アプリケーションに対応して前記報酬付与条件は複数設けられており、前記リワード処理部が、前記複数の前記報酬付与条件のいずれかが充足されたことに基づいて前記第２アプリケーションから第２の期間内に前記報酬付与通知情報を取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づく前記報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0031] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれは、前記第２アプリケーションによる処理において設定された複数の成果地点のそれぞれに到達するタイミングであり、前記リワード処理部が、前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、前記第２アプリケーションから前記複数の成果地点のうちの到達した成果地点を示す成果地点情報が関連付けられた前記報酬付与通知情報を取得するとともに、当該取得した前記成果地点情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信することを特徴とする。

[0032] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれは、前記第２アプリケーションによる処理において設定された複数の成果地点のそれぞれに到達するタイミングであり、前記リワード処理部が、前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、前記第２アプリケーションから前記複数の成果地点のいずれかに到達したことを示す到達情報が関連付けられた前記報酬付与通知情報を取得するとともに、当該取得する毎に前記報酬付与通知情報の取得回数に応じた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信することを特徴とする。

[0033] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記複数の前記報酬付

与条件のそれぞれは、前記第２アプリケーションによる処理において設定された複数の成果地点のそれぞれに到達するタイミングであり、前記リワード処理部が、前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、前記第２アプリケーションから前記複数の成果地点のいずれかに到達したことを示す到達情報が関連付けられた前記報酬付与通知情報を取得するとともに、当該取得した前記到達情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信することを特徴とする。

[0034] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記端末装置が、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報で特定され、前記固有識別情報が、前記複数の対象アプリケーションのうちの最初に前記端末装置にインストールされた対象アプリケーションが起動したことを条件として取得され、前記端末装置により実行されたいずれの対象アプリケーションからも参照可能なように前記端末装置に記憶されていることを特徴とする。

[0035] また、本発明の一態様は、上記管理装置が、前記第１情報、又は第２情報を、前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置を介して前記端末装置と通信、若しくは直接的に前記端末装置と通信する送受信部（２１０）、を備えることを特徴とする。

[0036] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記送受信部が、前記第１アプリケーション又は前記第２アプリケーションと、それぞれに対応するサーバ装置を介して通信セッションを確立させた後で、直接的に前記端末装置と通信することを特徴とする。

[0037] また、本発明の一態様は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションの一部または全部の対象アプリケーションである特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するアプリケーション管理部と、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端

末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、及び当該実行された対象アプリケーションの識別情報と関連付けて、前記端末装置から取得する第１情報取得部と、前記第１情報取得部が取得した前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、及び前記対象アプリケーションの識別情報を関連付けて管理する第１情報管理部と、前記アプリケーション管理部及び前記第１情報管理部を参照して、前記特定アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の前記特定アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される前記特定アプリケーションのうちの第２アプリケーションの識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報と関連付けて、前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報として前記端末装置から取得する送客情報取得部と、前記送客情報取得部が取得した前記送客情報に関連付けられた前記第２アプリケーションの識別情報に基づいて前記第２アプリケーションをインストール可能な画面を、前記端末装置に表示させるための情報を前記端末装置に送信する画面情報通知部と、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報が関連付けられた報酬付与通知情報を、前記端末装置により実行された前記第２アプリケーション又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置から取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づいて、前記固有識別情報に関連付けられた前記第１アプリケーションのユーザ情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第

１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信するリワード処理部と、を備えることを特徴とする管理装置である。

[0038] また、本発明の一態様は、上記管理装置が、前記第１情報、前記第２情報、前記送客情報、前記インストール可能な画面を前記端末装置に表示させるための情報、又は前記報酬付与通知情報を、前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置を介して前記端末装置と通信、若しくは直接的に前記端末装置と通信する送受信部、を備えることを特徴とする。

[0039] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記送受信部が、前記第１アプリケーション又は前記第２アプリケーションと、それぞれに対応するサーバ装置を介して通信セッションを確立させた後で、直接的に前記端末装置と通信することを特徴とする。

[0040] また、本発明の一態様は、管理装置における管理方法であって、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するステップと、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得するステップと、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信するステップと、前記第２情報を送信したことに応じて、前記送信した前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をするステップと、を含むことを特徴とする管理方法である。

[0041] また、本発明の一態様は、管理装置における管理方法であって、管理の対象となる複数の対象アプリケーションの一部または全部の対象アプリケーションである特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情

報を管理するステップと、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、及び当該実行された対象アプリケーションの識別情報と関連付けて、前記端末装置から取得するステップと、前記取得した前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、及び前記対象アプリケーションの識別情報を関連付けて管理するステップと、前記特定アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の前記特定アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信するステップと、前記第２情報を送信したことに応じて、前記送信した前記第２情報により示される前記特定アプリケーションのうちの第２アプリケーションの識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報と関連付けて、前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報として前記端末装置から取得するステップと、前記取得した前記送客情報に関連付けられた前記第２アプリケーションの識別情報に基づいて前記第２アプリケーションをインストール可能な画面を、前記端末装置に表示させるための情報を前記端末装置に送信するステップと、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報が関連付けられた報酬付与通知情報を、前記端末装置により実行された前記第２アプリケーション又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置から取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づいて、前記固有識別情報に関連付けられた前記第１アプリケーションのユーザ情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実

行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信するステップと、を含むことを特徴とする管理方法である。

[0042] また、本発明の一態様は、コンピュータに、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するステップと、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得するステップと、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信するステップと、前記第２情報を送信したことに応じて、前記送信した前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をするステップと、を実行させるためのプログラムである。

[0043] また、本発明の一態様は、コンピュータに、管理の対象となる複数の対象アプリケーションの一部または全部の対象アプリケーションである特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するステップと、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、及び当該実行された対象アプリケーションの識別情報と関連付けて、前記端末装置から取得するステップと、前記取得した前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、及び前記対象アプリケーションの識別情報を関連付けて管理するステップと、前記特定アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１

情報を取得していない少なくとも一の前記特定アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信するステップと、前記第２情報を送信したことに応じて、前記送信した前記第２情報により示される前記特定アプリケーションのうちの第２アプリケーションの識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報と関連付けて、前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報として前記端末装置から取得するステップと、前記取得した前記送客情報に関連付けられた前記第２アプリケーションの識別情報に基づいて前記第２アプリケーションをインストール可能な画面を、前記端末装置に表示させるための情報を前記端末装置に送信するステップと、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報が関連付けられた報酬付与通知情報を、前記端末装置により実行された前記第２アプリケーション又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置から取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づいて、前記固有識別情報に関連付けられた前記第１アプリケーションのユーザ情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信するステップと、を実行させるためのプログラムである。

[0044] また、本発明の一態様は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部と、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得する第１情報取得部と、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から

前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、を備えることを特徴とする管理装置である。

[0045] また、本発明の一態様は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部と、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得する第１情報取得部と、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを特定可能な情報を第２情報として前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、を備えることを特徴とする管理装置である。

[0046] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記第１情報取得部が、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが前記端末装置により実行された場合、前記端末装置の当該対象アプリケーションから送信された前記第１情報を取得し、前記リワード処理部は、前記端末装置の前記第２アプリケーションから送信された前記第１情報を取得したことに基づいて報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0047] また、本発明の一態様は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部と、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行

された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置の当該対象アプリケーションから送信された第１情報を取得する第１情報取得部と、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションから送信された前記第１情報を取得したことに基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、を備えることを特徴とする管理装置である。

[0048] また、本発明の一態様は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部と、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報及び前記第１情報を送信した対象アプリケーションの識別情報と関連付けて取得する第１情報取得部と、前記第１情報を送信した対象アプリケーションのユーザ情報を取得するアプリユーザ情報取得部と、前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、前記第１情報を送信した対象アプリケーションの識別情報、及び前記第１情報を送信した対象アプリケーションのユーザ情報、を関連付けて管理情報として管理する第１情報管理部と、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケ

ーションの識別情報、前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報、及び前記第１アプリケーションの識別情報が関連付けられた、前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報を取得する送客情報取得部と、前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する送客情報管理部と、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行された場合に、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されていることを条件として、前記第１情報管理部が管理する前記管理情報に基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、を備えることを特徴とする管理装置である。

[0049] また、本発明の一態様は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部と、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報及び前記第１情報を送信した対象アプリケーションの識別情報と関連付けて取得する第１情報取得部と、前記第１情報を送信した対象アプリケーションのユーザ情報を取得するアプリユーザ情報取得部と、前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、前記第１情報を送信した対象アプリケーションの識別情報、及び前記第１情報を送信した対象アプリケーションのユーザ情報、を関連付けて管理情報として管理する第１情報管理部と、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記複数の対象アプリケーションのうちの少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、前記第２情報を送信したことに応じて前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションの識別情報、前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報、及び前記第１アプリケーションの識別情報が関連付けられた、前記第２アプリケーショ

ンへの送客を示す送客情報を取得する送客情報取得部と、前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する送客情報管理部と、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行された場合に、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されていることを条件として、前記第１情報管理部が管理する前記管理情報に基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、を備えることを特徴とする管理装置である。

[0050] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記報酬付与処理として、前記第１情報管理部が管理する前記管理情報に基づいて、前記第１アプリケーションのユーザ情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信することを特徴とする。

[0051] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行され、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足された場合に、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されていることを条件として、前記報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0052] また、本発明の一態様は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部と、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得する第１情報取得部と、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記第１情報取得部が取得した前記第１情報に基づいて、前記複数の対象アプリケーションの中から、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを抽出し、当該抽出した対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、前記

第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、を備えることを特徴とする管理装置である。

[0053] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記第１情報が、前記端末装置において前記対象アプリケーションを識別可能な識別情報と関連付けられていることを特徴とする。

[0054] また、本発明の一態様は、上記管理装置が、前記第１情報取得部が取得した前記第１情報を管理する第１情報管理部、を備え、前記第２情報通知部が、前記第１情報管理部が管理する前記第１情報に基づいて、前記複数の対象アプリケーションの中から、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを抽出し、当該抽出した対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信することを特徴とする。

[0055] また、本発明の一態様は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部と、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得する第１情報取得部と、前記第１情報取得部が取得した前記第１情報を管理する第１情報管理部と、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記第１情報管理部が管理する前記第１情報に基づいて、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、

を備えることを特徴とする管理装置である。

[0056] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記第２情報通知部が、前記第１情報管理部が管理する前記第１情報に基づいて、前記複数の対象アプリケーションの中から、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを抽出し、当該抽出した対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信することを特徴とする。

[0057] また、本発明の一態様は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定された第１の期間に関する情報を管理するアプリケーション管理部と、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得する第１情報取得部と、前記第１の期間が設定された対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションであって、前記第１の期間が設定された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の前記第１の期間が設定された対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたことに基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、を備えることを特徴とする管理装置である。

[0058] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたか否かを判定し、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置によ

り実行されたと判定した場合に、報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0059] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたか否かを判定し、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたと判定し、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足された場合に、報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0060] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された前記第１情報を前記１第情報取得部が取得した場合、前記アプリケーション管理部が管理する前記第２アプリケーションに対して設定された前記第１の期間に関する情報を参照して、当該取得したタイミングが前記第２アプリケーションに設定された前記第１の期間内であるか否かを判定することにより、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたか否かを判定することを特徴とする。

[0061] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された前記第１情報を前記１第情報取得部が取得した場合、前記アプリケーション管理部が管理する複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定された前記第１の期間に関する情報を参照して、前記第１アプリケーションと前記第２アプリケーションとに前記第１の期間が設定されているか否かを判定し、前記第１の期間が設定されていると判定した場合に、当該取得したタイミングが前記第１の期間内であるか否かを判定することにより、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたか否かを判定することを特徴とする。

[0062] また、本発明の一態様は、上記管理装置が、前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報を取得する送客情報取

得部と、前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する送客情報管理部と、を備え、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行された場合、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報であって、前記第１の期間が設定されていることを示す情報が関連付けられている前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されていることを条件として、報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0063] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記送客情報取得部が、前記送客情報を、前記第１の期間が設定されていることを示す情報と関連付けて取得し、前記送客情報管理部が、前記送客情報取得部が取得した、前記第１の期間が設定されていることを示す情報が関連付けられた前記送客情報を管理することを特徴とする。

[0064] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記送客情報管理部が、前記第１アプリケーションに設定されている前記第１の期間が設定されていることを示す情報を関連付けて、前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理することを特徴とする。

[0065] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記第２情報通知部が、前記第１の期間が設定された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の前記第１の期間が設定された対象アプリケーションを示す情報のみの前記第２情報を前記端末装置に対して送信することを特徴とする。

[0066] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記送客情報管理部が、前記アプリケーション管理部が管理する複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定された前記第１の期間に関する情報を参照して、前記送客情報取得部が取得した前記送客情報により示される前記第１アプリケーションと前記第２アプリケーションとに前記第１の期間が設定されているか否かを判定し、前記第１の期間が設定されていると判定した場合には、前記第１の期間が設定されていることを示す情報を関連付けて前記送客情報を管理することを特徴とする。

[0067] また、本発明の一態様は、上記管理装置が、前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報を取得する送客情報取得部と、前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する送客情報管理部と、を備え、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行された場合、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されており、且つ前記送客情報により示される前記第２アプリケーションと前記第１アプリケーションとに前記第１の期間が設定されていることを条件として、報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0068] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記アプリケーション管理部が管理する複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定された前記第１の期間に関する情報を参照して、前記第２アプリケーションと前記第１アプリケーションとに前記第１の期間が設定されているか否かを判定することを特徴とする。

[0069] また、本発明の一態様は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定された第１の期間に関する情報を管理するアプリケーション管理部と、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得する第１情報取得部と、前記第１の期間が設定された対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションであって、前記第１の期間が設定された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記アプリケーション管理部が管理する前記第１の期間に関する情報と、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報と、を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが前記第１の期

間内に前記端末装置により実行されたことに基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、を備えることを特徴とする管理装置である。

[0070] 本発明の一態様は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちの複数の特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するアプリケーション管理部（２２１）と、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置（１００）により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得する第１情報取得部（２４１）と、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部（２４２）と、前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合には、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をし、前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されていない場合には、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて前記報酬付与処理をするリワード処理部（２４５）と、を備えることを特徴とする管理装置（２００）である。

[0071] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合には、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことにより、前記報酬付与処理として第１の報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0072] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が

、前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合には、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記報酬付与処理として第１の報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0073] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されていない場合には、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことにより、前記報酬付与処理として第２の報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0074] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されていない場合には、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記報酬付与処理として第２の報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0075] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションに設定された前記報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記報酬付与条件が充足されたことを示す報酬付与通知情報を、前記端末装置により実行された前記第２アプリケーション又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置から取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づく前記報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0076] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションに前記第１の期間が設定されている場合であっても、当該第２アプリケーションが前記第１の期間外に実行された又は実行可能な状態になったときは、前記第２の報酬付与処理をすることを特徴とする。

[0077] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が

、前記第１情報取得部が前記第２アプリケーションに対応する前記第１情報を取得した場合に、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたと判定することを特徴とする。

[0078] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第１情報取得部が前記第２アプリケーションに対応する前記第１情報を取得したタイミングが前記第１の期間内であるか否かに応じて、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内又は前記第１の期間外のいずれで前記端末装置により実行されたかを判定することを特徴とする。

[0079] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記アプリケーション管理部が、前記第２情報に基づく掲載の禁止を設定する設定側アプリケーションと、当該設定側アプリケーションにおける前記第２情報に基づく掲載が禁止される被設定側アプリケーションとを関連付けた第１の掲載禁止情報を管理し、前記第２情報通知部が、前記アプリケーション管理部が管理している前記第１の掲載禁止情報を参照して、前記第１アプリケーションを前記被設定側アプリケーションに設定している前記第１の掲載禁止情報がある場合は、当該設定側アプリケーションを示す情報を前記第２情報から除いた残りの情報を前記端末装置に対して送信することを特徴とする。

[0080] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記第２情報通知部が、前記アプリケーション管理部が管理している前記第１の掲載禁止情報を参照して、前記第１アプリケーションを前記設定側アプリケーションに設定している第１の掲載禁止情報がある場合は、当該被設定側アプリケーションを示す情報を前記第２情報から除いた残りの情報を、前記端末装置に対して送信することを特徴とする。

[0081] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記アプリケーション管理部が、前記第２情報に基づく掲載が禁止される被設定側アプリケーションが登録された第２の掲載禁止情報を管理し、前記第２情報通知部が、前記アプリケーション管理部が管理している前記第２の掲載禁止情報を参照して、前記第２の掲載禁止情報により示される前記被設定側アプリケーションと

前記第１アプリケーションとに対して前記第１の期間が設定されていないときは、当該被設定側アプリケーションを示す情報を除いた前記第２情報を、前記端末装置に対して送信することを特徴とする。

[0082] また、本発明の一態様は、上記管理装置が、前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合に前記報酬付与処理として行う第１の報酬付与処理により付与される第１の報酬を示す情報の掲載場所のリンク先を示す情報を管理する第１報酬情報管理部（２２１）と、前記複数の対象アプリケーションのそれぞれと、前記第１の期間が設定されていない場合に前記報酬付与処理として行う第２の報酬付与処理により付与される第２の報酬を示す情報とを対応付けた第２報酬情報を管理する第２報酬情報管理部（２２１）と、を備え、前記第２情報通知部が、前記複数の対象アプリケーションのうちの前記第１アプリケーションとの間で前記第１の期間が設定されていない対象アプリケーションを示す情報には、前記第２の報酬を示す情報が関連付けられた前記第２情報を前記端末装置に対して送信し、一方、前記複数の対象アプリケーションのうちの前記第１アプリケーションとの間で前記第１の期間が設定されている対象アプリケーションを示す情報には、前記リンク先を示す情報が関連付けられた前記第２情報を前記端末装置に対して送信することを特徴とする。

[0083] また、本発明の一態様は、上記管理装置が、前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報を取得する送客情報取得部（２４３）と、前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する送客情報管理部（２２３）と、を備え、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又実行可能な状態になった場合に、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されていることを条件として、前記報酬付与処理を実行することを特徴とする。

[0084] また、本発明の一態様は、上記管理装置が、前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報を取得する送客情報取得部と、前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する送客情報管理部と、を備え、前記リワード

処理部が、前記第２アプリケーションに設定された前記報酬付与条件が充足された場合に、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されていることを条件として、前記報酬付与処理を実行することを特徴とする。

[0085] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記送客情報管理部は、前記第２アプリケーションの識別情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報と関連付けて前記送客情報の記録として管理することを特徴とする。

[0086] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記送客情報管理部が、前記第２アプリケーションの識別情報を、前記第１アプリケーションの識別情報と関連付けて前記送客情報の記録として管理することを特徴とする。

[0087] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記送客情報取得部が、前記送客情報として、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報と関連付けて、取得し、前記送客情報管理部が、前記送客情報に関連付けられた前記固有識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報を関連付けて前記送客情報の記録として管理することを特徴とする。

[0088] また、本発明の一態様は、上記管理装置が、前記送客情報取得部が取得した前記送客情報に関連付けられた前記第２アプリケーションの識別情報に基づいて、前記第２アプリケーションをインストール可能な画面を前記端末装置に表示させるための情報を、前記端末装置に送信する画面情報通知部（２４４）、を備えることを特徴とする。

[0089] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記複数の特定アプリケーションのうちの一部又は全部に対して、前記第１の期間と重複しない別期間が設定された場合に、前記第２アプリケーションに設定された前記第１の期間に対応した前記報酬付与処理を前記端末装置において実施済みである場合には、前記別期間に対応した前記報酬付与処理

をしないことを特徴とする。

[0090] また、本発明の一態様は、上記管理装置において、前記リワード処理部が、前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合に前記報酬付与処理として行う第１の報酬付与処理、及び前記第１の期間が設定されていない場合に前記報酬付与処理として行う第２の報酬付与処理のうちの少なくとも一方を前記端末装置において実施済みである場合には、他方の報酬付与処理をしないことを特徴とする。

[0091] また、本発明の一態様は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちの複数の特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するアプリケーション管理部と、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、及び当該実行された対象アプリケーションの識別情報と関連付けて、前記端末装置から取得する第１情報取得部と、前記第１情報取得部が取得した前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、及び前記対象アプリケーションの識別情報を関連付けて管理する第１情報管理部と、前記アプリケーション管理部及び前記第１情報管理部を参照して、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、前記第２情報通知部が前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションの識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報と関連付けて、前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報として前記端末装置から取得する送客情報取得部と、前記送客情報取得部が取得した前

記送客情報に関連付けられた前記第２アプリケーションの識別情報に基づいて前記第２アプリケーションをインストール可能な画面を、前記端末装置に表示させるための情報を前記端末装置に送信する画面情報通知部と、前記端末装置で選択された前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合には、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに対応して設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報が関連付けられた報酬付与通知情報を、前記端末装置により実行された前記第２アプリケーション又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置から取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づいて、前記固有識別情報に関連付けられた前記第１アプリケーションのユーザ情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信する報酬付与処理をし、前記端末装置で選択された前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されていない場合には、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて、前記報酬付与処理をするリワード処理部と、を備えることを特徴とする管理装置である。

[0092] また、本発明の一態様は、管理装置における管理方法であって、管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちの複数の特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するステップと、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得するステップと、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーショ

ンを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信するステップと、前記第２情報を送信したことに応じて、前記送信した前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合には、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をし、前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されていない場合には、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて前記報酬付与処理をするステップと、を含むことを特徴とする管理方法である。

[0093] また、本発明の一態様は、管理装置における管理方法であって、管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちの複数の特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するステップと、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、及び当該実行された対象アプリケーションの識別情報と関連付けて、前記端末装置から取得するステップと、前記取得した前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、及び前記対象アプリケーションの識別情報を関連付けて管理するステップと、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信するステップと、前記第２情報を送信したことに応じて、前記送信した前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションの識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報と関連付けて、前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を

示す送客情報として前記端末装置から取得するステップと、前記取得した前記送客情報に関連付けられた前記第２アプリケーションの識別情報に基づいて前記第２アプリケーションをインストール可能な画面を、前記端末装置に表示させるための情報を前記端末装置に送信するステップと、前記端末装置で選択された前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合には、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに対応して設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報が関連付けられた報酬付与通知情報を、前記端末装置により実行された前記第２アプリケーション又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置から取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づいて、前記固有識別情報に関連付けられた前記第１アプリケーションのユーザ情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信する報酬付与処理をし、前記端末装置で選択された前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されていない場合には、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて、前記報酬付与処理をするステップと、を含むことを特徴とする管理方法である。

[0094] また、本発明の一態様は、コンピュータに、管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちの複数の特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するステップと、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得するステップと、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情

報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信するステップと、前記第２情報を送信したことに応じて、前記送信した前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合には、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をし、前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されていない場合には、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて前記報酬付与処理をするステップと、を実行させるためのプログラムである。

[0095] また、本発明の一態様は、コンピュータに、管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちの複数の特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するステップと、前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、及び当該実行された対象アプリケーションの識別情報と関連付けて、前記端末装置から取得するステップと、前記取得した前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、及び前記対象アプリケーションの識別情報を関連付けて管理するステップと、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信するステップと、前記第２情報を送信したことに応じて、前記送信した前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションの識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報と関連付けて、前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報として

前記端末装置から取得するステップと、前記取得した前記送客情報に関連付けられた前記第２アプリケーションの識別情報に基づいて前記第２アプリケーションをインストール可能な画面を、前記端末装置に表示させるための情報を前記端末装置に送信するステップと、前記端末装置で選択された前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合には、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに対応して設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報が関連付けられた報酬付与通知情報を、前記端末装置により実行された前記第２アプリケーション又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置から取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づいて、前記固有識別情報に関連付けられた前記第１アプリケーションのユーザ情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信する報酬付与処理をし、前記端末装置で選択された前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されていない場合には、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて、前記報酬付与処理をするステップと、を実行させるためのプログラムである。

[0096] 本発明の一態様は、複数の対象アプリケーションのうち、送客元となる対象アプリケーションから送客先となる対象アプリケーションへの送客を示す送客情報を管理し、前記送客情報に基づいて前記送客先の対象アプリケーションがインストールされたことを管理する管理装置と通信可能な端末装置（１００）であって、自端末装置にインストールされた一の対象アプリケーションにおいて、当該対象アプリケーションがインストールされたことを示すインストール通知情報を前記管理装置に対して送信するインストール通知部（１０３）と、前記一の対象アプリケーションにおける第１の操作に基づい

て、前記複数の対象アプリケーションのうちの少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報を前記管理装置に対して要求する際に、前記一の対象アプリケーションを示す送客元情報を前記管理装置に対して送信する要求部（１０４）と、前記管理装置から取得した前記少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報により示される対象アプリケーションのうちから、第２の操作に基づいて選択された対象アプリケーションを示す送客先情報を、前記管理装置に対して送信する送客情報通知部（１０６）と、を備えることを特徴とする端末装置である。

[0097] また、本発明の一態様は、前記管理装置が、複数の対象アプリケーションの一部又は全部の対象アプリケーションである特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理し、上記端末装置において、前記要求部が、自端末装置にインストールされた一の特定アプリケーションにおける第１の操作に基づいて、前記特定アプリケーションのうちの少なくとも一つの特定アプリケーションを示す情報を前記管理装置に対して要求する際に、前記一の特定アプリケーションを示す情報を前記送客元情報として前記管理装置に対して送信し、前記送客情報通知部が、前記要求部からの要求に応じて前記管理装置から取得した前記少なくとも一つの特定アプリケーションを示す情報により示される特定アプリケーションのうちから、前記第１の期間において前記第２の操作に基づいて選択された特定アプリケーションを示す情報を、前記送客先情報として前記一の特定アプリケーションを示す前記送客元情報と関連付けて、前記送客情報として前記管理装置に対して送信することを特徴とする。

[0098] また、本発明の一態様は、上記端末装置において、前記送客情報通知部は、前記送客元情報と関連付けて、前記送客先情報を前記管理装置に対して送信することを特徴とする。

[0099] また、本発明の一態様は、上記端末装置において、前記送客情報通知部が、自端末装置に対応する固有識別情報と関連付けて、前記送客情報を前記管理装置に対して送信することを特徴とする。

[0100] また、本発明の一態様は、上記端末装置において、前記インストール通知部が、前記一の対象アプリケーションの識別情報、及び自端末装置に対応する固有識別情報と関連付けて、前記インストール通知情報を前記管理装置に対して送信することを特徴とする。

[0101] また、本発明の一態様は、上記端末装置が、前記一の対象アプリケーションが前記複数の対象アプリケーションのうちの最初に自端末装置にインストールされた対象アプリケーションである場合、前記固有識別情報を取得し、取得した前記固有識別情報を、自端末装置にインストールされる他の対象アプリケーションからも参照可能なように記憶部（１４０）に記憶させる固有識別情報取得部（１０２）、を備えることを特徴とする。

[0102] また、本発明の一態様は、上記端末装置において、前記固有識別情報取得部が、前記固有識別情報が前記記憶部に記憶されているか否かを判定し、前記固有識別情報が前記記憶部に記憶されていないと判定した場合に前記固有識別情報を取得することを特徴とする。

[0103] また、本発明の一態様は、上記端末装置が、前記一の対象アプリケーションに設定された報酬付与条件を充足した場合に、当該対象アプリケーションを示す前記送客先情報、及び前記固有識別情報と関連付けて、報酬付与通知情報を前記管理装置に対して送信する報酬付与通知部（１０７）と、を備えることを特徴とする。

[0104] また、本発明の一態様は、上記端末装置が、前記一の対象アプリケーションにおけるユーザ情報を前記固有識別情報と関連付けて前記管理装置に対して送信するアプリユーザ情報通知部（１０３）、を備え、前記報酬付与通知部が、前記報酬付与通知情報に関連付けられた前記固有識別情報に関連付けられている前記対象アプリケーションにおけるユーザ情報と関連付けて報酬付与情報を、前記端末装置にインストールされている前記対象アプリケーション又は前記対象アプリケーションに対応するサーバ装置に送信する前記管理装置に対して、前記報酬付与通知情報を送信することを特徴とする。

[0105] また、本発明の一態様は、前記管理装置が、複数の対象アプリケーション

の一部又は全部の対象アプリケーションである特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報と、前記第１の期間の一部または全部を含み前記第１の期間の最後より後に終了する第２の期間の少なくとも終了期限に関する情報とを管理し、上記端末装置において、前記報酬付与通知部が、前記第２の期間内に前記報酬付与通知部から通知された前記報酬付与通知情報を取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づく報酬付与情報を送信する前記管理装置に対して、前記報酬付与通知情報を送信することを特徴とする。

[0106] また、本発明の一態様は、上記端末装置において、前記報酬付与条件は複数設けられており、前記報酬付与通知部が、前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、前記報酬付与通知情報をそれぞれ前記管理装置に対して送信することを特徴とする。

[0107] また、本発明の一態様は、上記端末装置において、前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれは、前記対象アプリケーションによる処理において予め設定された複数の成果地点のそれぞれに到達する条件であり、前記報酬付与通知部が、複数の前記報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、前記複数の成果地点のうちの到達した成果地点を示す成果地点情報が関連付けられた前記報酬付与通知情報をそれぞれ前記管理装置に対して送信することを特徴とする。

[0108] また、本発明の一態様は、上記端末装置において、前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれは、前記対象アプリケーションによる処理において予め設定された複数の成果地点のそれぞれに到達する条件であり、前記報酬付与通知部が、前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、前記複数の成果地点のいずれかに到達したことを示す到達情報が関連付けられた前記報酬付与通知情報を前記管理装置に対して送信することを特徴とする。

[0109] また、本発明の一態様は、上記端末装置が、前記インストール通知情報、前記送客元情報、前記少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報、

又は前記送客情報を、前記インストールされた対象アプリケーションに対応するサーバ装置又は前記選択された対象アプリケーションに対応するサーバ装置を介して前記管理装置と通信、若しくは直接的に前記管理装置と通信する送受信部（１３０）、を備えることを特徴とする。

[0110] また、本発明の一態様は、上記端末装置において、前記送受信部が、前記インストールされた対象アプリケーション又は前記選択された対象アプリケーションと、それぞれに対応するサーバ装置を介して通信セッションを確立させた後で、直接的に前記管理装置と通信することを特徴とする。

[0111] また、本発明の一態様は、上記端末装置において、前記インストール通知部の機能と、前記要求部の機能と、前記送客情報通知部の機能とが、前記複数の対象アプリケーションのそれぞれに組み込まれたソフトウェアに基づいて実行されることを特徴とする。

[0112] また、本発明の一態様は、複数の対象アプリケーションのうち、送客元となる対象アプリケーションから送客先となる対象アプリケーションへの送客を示す送客情報を管理し、前記送客情報に基づいて前記送客先の対象アプリケーションがインストールされたことを管理する管理装置と通信可能な端末装置の制御方法であって、自端末装置にインストールされた一の対象アプリケーションにおいて、当該対象アプリケーションがインストールされたことを示すインストール通知情報を前記管理装置に対して送信するステップと、前記一の対象アプリケーションにおける第１の操作に基づいて、前記複数の対象アプリケーションのうちの少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報を前記管理装置に対して要求する際に、前記一の対象アプリケーションを示す送客元情報を前記管理装置に対して送信するステップと、前記管理装置から取得した前記少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報により示される対象アプリケーションのうちから、第２の操作に基づいて選択された対象アプリケーションを示す送客先情報を、前記管理装置に対して送信するステップと、を含むことを特徴とする制御方法である。

[0113] また、本発明の一態様は、複数の対象アプリケーションのうち、送客元と

なる対象アプリケーションから送客先となる対象アプリケーションへの送客を示す送客情報を管理し、前記送客情報に基づいて前記送客先の対象アプリケーションがインストールされたことを管理する管理装置と通信可能な端末装置が備えたコンピュータに、自端末装置にインストールされた一の対象アプリケーションにおいて、当該対象アプリケーションがインストールされたことを示すインストール通知情報を前記管理装置に対して送信するステップと、前記一の対象アプリケーションにおける第１の操作に基づいて、前記複数の対象アプリケーションのうちの少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報を前記管理装置に対して要求する際に、前記一の対象アプリケーションを示す送客元情報を前記管理装置に対して送信するステップと、前記管理装置から取得した前記少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報により示される対象アプリケーションのうちから、第２の操作に基づいて選択された対象アプリケーションを示す送客先情報を、前記管理装置に対して送信するステップと、を実行させるためのプログラムである。

[0114] また、本発明の一態様は、複数の対象アプリケーションのうち、送客元となる対象アプリケーションから送客先となる対象アプリケーションへの送客を示す送客情報を管理し、前記送客情報に基づいて前記送客先の対象アプリケーションがインストールされたことを管理する管理装置と通信可能な端末装置にインストールされるアプリケーションのプログラムに組み込まれるプログラムであって、コンピュータに、自端末装置にインストールされた一の対象アプリケーションにおいて、当該対象アプリケーションがインストールされたことを示すインストール通知情報を前記管理装置に対して送信するステップと、前記一の対象アプリケーションにおける第１の操作に基づいて、前記複数の対象アプリケーションのうちの少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報を前記管理装置に対して要求する際に、前記一の対象アプリケーションを示す送客元情報を前記管理装置に対して送信するステップと、前記管理装置から取得した前記少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報により示される対象アプリケーションのうちから、第２の操作に基

づいて選択された対象アプリケーションを示す送客先情報を、前記管理装置に対して送信するステップと、を実行させるためのプログラムである。

発明の効果

[0115] 以上説明したように、本発明によれば、アプリケーション間の送客の利便性を向上させることができる。

図面の簡単な説明

[0116] [図1]第１の実施形態の相互送客システムの概要を説明する説明図である。

[図2]第１の実施形態によるネットワークシステムの構成の一例を示す概略構成図である。

[図3]第１の実施形態によるユーザ端末の構成の一例を示す概略構成図である。

[図4]本実施形態の相互送客システムの構成及び処理の一例を説明する説明図である。

[図5]本実施形態によるユーザ端末のＳＤＫに基づいて実行する機能構成の一例を示す構成図である。

[図6]本実施形態による管理サーバの構成の一例を示す構成図である。

[図7]対象アプリ情報記憶部に記憶される情報の一例を示す図である。

[図8]通常リワード情報記憶部に記憶される情報の一例を示す図である。

[図9]キャンペーン情報記憶部に記憶される情報の一例を示す図である。

[図10]キャンペーン参加アプリ情報記憶部に記憶される情報の一例を示す図である。

[図11]インストール情報記憶部に記憶される情報の一例を示す図である。

[図12]送客情報記憶部に記憶される情報の一例を示す図である。

[図13]リワード成立情報記憶部に記憶される情報の一例を示す図である。

[図14]本実施形態による相互送客処理の動作の一例を示す第１のフローチャートである。

[図15]本実施形態による相互送客処理の動作の一例を示す第２のフローチャートである。

[図16]アプリ間フィルタ記憶部に記憶される情報の一例を示す図である。

[図17]通信セッションの確立処理の動作を説明するフローチャートである。

[図18]第３の実施形態の相互送客システムの概要を説明する説明図である。

[図19]第３の実施形態によるユーザ端末のＳＤＫに基づいて実行する機能構成の一例を示す構成図である。

[図20]第３の実施形態による管理サーバの構成の一例を示す構成図である。

[図21]第３の実施形態による対象アプリ情報記憶部に記憶される情報の一例を示す図である。

[図22]第３の実施形態によるインストール情報記憶部に記憶される情報の一例を示す図である。

[図23]第３の実施形態による相互送客システムの動作の一例を示すフローチャートである。

[図24]第４の実施形態によるユーザ端末のＳＤＫに基づいて実行する機能構成の一例を示す構成図である。

[図25]第４の実施形態による管理サーバの構成の一例を示す構成図である。

[図26]第４の実施形態による相互送客システムの動作の一例を示すフローチャートである。

[図27]第５の実施形態によるユーザ端末のＳＤＫに基づいて実行する機能構成の一例を示す構成図である。

[図28]第５の実施形態による相互送客システムの動作の一例を示すフローチャートである。

[図29]第５の実施形態による対象アプリケーションの一覧の表示例を示す図である。

[図30]第６の実施形態の相互送客システムの概要を説明する説明図である。

[図31]第７の実施形態の相互送客システムの概要を説明する説明図である。

[図32]第７の実施形態による管理サーバの構成の一例を示す構成図である。

[図33]第７の実施形態によるインストール情報記憶部に記憶される情報の一例を示す図である。

[図34]第７の実施形態による相互送客システムの動作の一例を示すフローチャートである。

[図35]第７の実施形態によるインストール情報記憶部に記憶される情報の別の一例を示す図である。

[図36]第８の実施形態の相互送客システムの概要を説明する説明図である。

[図37]第８の実施形態による管理サーバの構成の一例を示す構成図である。

[図38]第８の実施形態による初期化処理の一例を示すフローチャートである。

[図39]第９の実施形態の相互送客システムの概要を説明する説明図である。

[図40]第９の実施形態によるユーザ端末の専用アプリケーションに基づいて実行する機能構成の一例を示す構成図である。

[図41]第９の実施形態による相互送客システムの動作の一例を示すフローチャートである。

発明を実施するための形態

[0117] 以下、本発明の一実施形態について、図面を参照して説明する。

＜第１の実施形態＞

[0118] 〔相互送客システムの概要〕

まず、本実施形態による相互送客システムの概要を説明する。この相互送客システムは、ユーザ端末に既にインストールされて利用されている元のアプリケーション（以下、「送客元アプリ」とも称する）から、そのユーザ端末にまだインストールされていないアプリケーション（以下、「送客先アプリ」とも称する）をインストールさせるようにアプリケーション間で相互送客するシステムである。しかしながら、アプリケーション毎に登録されるユーザ自身のユーザ情報は異なる場合があるため、アプリケーション間でユーザ情報の整合がとれず、同一のユーザのユーザ端末において送客元アプリから送客先アプリへの送客が行われたか容易に判定できないことがある。そこで、本実施形態では、同一ユーザであって異なるユーザ情報で管理されているアプリケーション間である場合も、相互送客が可能な相互送客システムを

提供することを目的とし、アプリケーション間でユーザ情報が異なる場合であっても容易にアプリケーション間の相互送客を行うことができるように構成する。

[0119] ここで、送客元アプリから送客先アプリへの送客とは、送客元アプリを利用しているユーザがまだ利用していない送客先アプリを利用するように、当該ユーザを送客先アプリへ送客することをいう。また、相互送客とは、各アプリケーションがそれぞれ送客元と送客先とのいずれにもなりうるため、アプリケーション間で互いに送客を行うことができることを示している。例えば、送客元アプリから送客先アプリへの送客が行われた場合、この送客先アプリは、ユーザ端末にまだインストールされていない他の送客先アプリへの送客を行う送客元アプリになることができる。

[0120] また、送客先アプリがインストールされた場合に報酬が付与される相互送客システムでは、報酬獲得だけを目的として送客先アプリが利用されない可能性もある。そこで、本発明ではインストールされた送客先アプリが所定の成果地点に到達した場合に報酬が付与されるようにしている。さらに、異なる複数の成果地点を設けるようにすれば、達成した成果地点毎に報酬を得られるようにしている。このような成果達成型の報酬とすることで送客先アプリの利用を高めることが可能となる。

[0121] 本実施形態では、送客元アプリに基づいて送客先アプリがインストールされた場合の報酬（リワード）の付与を、通常時期と特定の期間（以下、「キャンペーン期間」と称する）とのそれぞれで異なるリワード処理とする。なお、キャンペーンとは、複数のアプリケーションの間で、特定の期間だけ相互送客を高めるために実施する施策（特定の期間を有するイベント）のことである。

[0122] 具体的には、本実施形態の相互送客システムは、通常時期（即ち、キャンペーン期間以外の時期）では、送客先アプリがインストールされたときに報酬（リワード）が付与され、キャンペーン期間では、送客先アプリにおける成果達成時に報酬（リワード）が付与されるようにした複数のアプリケーシ

ョンどうしでの相互送客を可能にするシステムを提供する。以下、通常時期に行われるリワードを「通常リワード」と称し、キャンペーン期間に行われるリワード（キャンペーンリワード）を「ＣＰリワード」と称する。

[0123] ＣＰリワードは、キャンペーン期間にキャンペーンに参加する特定のアプリケーション間での相互送客であるのに対して、通常リワードは、同システムに対応するアプリケーションの全てを対象とする任意のアプリケーション間での相互送客となる。

[0124] 図１は、本実施形態の相互送客システムの概要を説明する説明図である。この図では、本実施形態の相互送客システムに対応するアプリケーションとして、「アプリＡ」、「アプリＢ」、「アプリＣ」、及び「アプリＤ」の４種類のアプリケーションを例としている。「アプリＡ」は、ユーザ端末にインストールされている送客元アプリである。「アプリＢ」、「アプリＣ」、及び「アプリＤ」は、ユーザ端末にインストールされていないアプリケーションであって、「アプリＡ」（送客元アプリ）に対して送客先アプリとなり得るアプリケーションである。なお、「アプリＢ」は、「アプリＡ」との間でキャンペーン期間中にあり、「アプリＣ」及び「アプリＤ」は、「アプリＡ」との間でキャンペーン期間中ではない通常時期にある。

[0125] ユーザ端末は、送客元アプリである「アプリＡ」に対して送客先アプリとして選択可能な対象アプリケーションの一覧ＬＴを、ユーザ端末の表示画面に表示する。ここでは、「アプリＢ」、「アプリＣ」、及び「アプリＤ」のそれぞれのアプリ名と報酬内容とが表示されたラベルＬ１、Ｌ２、Ｌ３が送客先アプリとして選択可能な操作子として並べて表示されている。ラベルＬ１には、「アプリＢ」のアプリ名、キャンペーン期間中であることを示す情報、及びＣＰリワードによる報酬内容が掲載されているサイトのリンク先が表示されている。ラベルＬ２には、「アプリＣ」のアプリ名、及び通常リワードによる報酬内容が表示されている。ラベルＬ３には、「アプリＤ」のアプリ名、及び通常リワードによる報酬内容が表示されている。

[0126] ここでは、通常リワードの場合、送客元アプリで自ユーザが利用可能なポ

イントの付与が報酬内容として表示されている。一方、ＣＰリワードの場合には、例えば、ゲームにおいて報酬付与条件となる成果地点とその成果地点を達成したときの報酬内容（ポイントの付与やアイテムの付与等）は、アプリケーション側で管理しているため、リンク先のサイトに掲載するようにしている。なお、成果地点は、例えば、ゲームにおけるチュートリアルの終了、またはゲーム進行における所定のステージの終了や所定のポイントの獲得などアプリケーション側で任意に設定することができる。

[0127] 送客先アプリとして「アプリＣ」または「アプリＤ」が選択された場合には、選択された「アプリＣ」または「アプリＤ」がインストールされて実行可能になったとき又は実行された（起動した）ときに送客元である「アプリＡ」に対する通常リワードによる報酬付与が行われる。一方、送客先アプリとして「アプリＢ」が選択された場合には、キャンペーン期間中に「アプリＢ」がユーザ端末にインストールされて実行可能になったことを条件として、「アプリＢ」が起動した後、そのキャンペーンに対応して予め設定された成果地点を達成（報酬付与条件を充足）した場合、送客元である「アプリＡ」に対するＣＰリワードによる報酬付与が行われる。なお、例えば、キャンペーン期間の最初又は途中から開始し、キャンペーン期間の最後より後に終了する報酬付与期間が設定されており、この報酬付与期間内に成果地点の達成がなされた場合にＣＰリワードによる報酬付与が行われ、報酬付与期間を過ぎた後では成果地点が達成されてもＣＰリワードによる報酬付与が行われない。成果地点が複数設定されている場合には、成果地点の達成毎にＣＰリワードによる報酬付与が行われる。このように報酬付与期間の終了時点をキャンペーン期間の終了時点より後に設定するようにして、キャンペーン期間の最後の方でインストールしたユーザに対して、成果地点に達成するまでの期間を考慮するようにしている。

[0128] また、ユーザ端末にインストールされた複数のアプリケーションのユーザが同一であっても、アプリケーション毎に登録されるユーザ情報（例えば、ユーザを一意に識別する識別情報であるユーザＩＤ）が異なる場合がある。

そこで本実施形態の相互送客システムでは、ユーザ端末毎に一意に識別可能な情報である固有識別情報であって、ユーザ端末を特定可能な（当該ユーザ端末を利用しているユーザを特定可能な）固有識別情報（以下、「リワードユーザＩＤ」と称する）を用いて管理するようにした。これにより、アプリケーション間でユーザＩＤが異なる場合であっても、リワードユーザＩＤを用いてユーザ端末を特定することができ、容易にアプリケーション間の相互送客が可能となる。

[0129] さらに、本実施形態の相互送客システムでは、リワードユーザＩＤと各アプリケーションにおいて登録されたユーザＩＤ（以下、「アプリユーザＩＤ」と称する）とを関連付けて管理するようにした。これにより、アプリケーション間でユーザＩＤが異なる場合であっても、アプリケーション間のアプリユーザＩＤがリワードユーザＩＤを介して関連付けられるため、送客元アプリのユーザを容易に特定して報酬を付与することも可能である。なお、以下の記述において、アプリケーションを一意に識別する識別情報を「アプリＩＤ」と称する。

[0130] また、送客元アプリから送客先アプリへの送客が行われると、その送客先アプリは、送客元アプリになることができる。例えば、「アプリＡ」から「アプリＢ」への送客が行われると、「アプリＢ」は、まだ送客が行われていない「アプリＣ」又は「アプリＤ」を送客先アプリとして、「アプリＣ」又は「アプリＤ」への送客を行う送客元アプリとなることができる。このとき、「アプリＣ」又は「アプリＤ」は、「アプリＢ」との間でキャンペーン期間中にない場合には通常リワードの対象となり、「アプリＢ」との間でキャンペーン期間中にある場合にはＣＰリワードの対象となる。また、例えば「アプリＡ」から「アプリＣ」への送客が行われた場合も同様に、送客が行われた「アプリＣ」は、まだ送客が行われていない「アプリＢ」又は「アプリＤ」への送客を行う送客元アプリとなることができる。

[0131] なお、アプリケーションの状態の一例として、非動作状態（Not running）と、何らかの処理を実行している通常動作状態（Active）と、何らかの処理

を実行しているが画面に非表示とするバックグラウンド状態（BackGround）と、いずれの処理も実行せずに中断しているサスペンド状態（Suspended）がある。ここで、「対象アプリケーションの起動」とは、非動作状態（Not running）、サスペンド状態（Suspended）、またはサスペンド状態（Suspended）から通常動作状態（Active）に移行することをいう。また、「対象アプリケーションの終了」とは、通常動作状態（Active）から、非動作状態（Not running）、サスペンド状態（Suspended）、またはサスペンド状態（Suspended）に移行することをいう。また、複数のアプリケーションが同時に通常動作状態に成り得る場合には、「対象アプリケーションの起動」とは、例えば、対象アプリケーションが画面の最前面に表示されるなどして、ユーザに対して操作可能な状態に移行することをいう。

また、アプリケーションのインストールとは、ユーザ端末に導入されていないアプリケーションのプログラムを新規に導入することだけでなく、相互送客システムに対応するようにアプリケーションのプログラムをアップデート（更新）することを含む。すなわち、ユーザ端末に搭載しているアプリケーションに対して、相互送客システムに対応するための更新プログラムをダウンロードして更新することを含む。

[0132] 〔ネットワークシステムの構成〕

図２は、相互送客システムを実現する本発明の第１の実施形態によるネットワークシステム１の構成の一例を示す概略構成図である。ネットワークシステム１は、複数のユーザ端末１００－Ｎ（Ｎは正の整数。ユーザ端末１００－１、ユーザ端末１００－２、・・・）と、管理サーバ２００と、複数のアプリサーバ３００（アプリサーバ３１０、アプリサーバ３２０、・・・）と、アプリストア４００とのコンピュータ装置を備えており、これらのコンピュータ装置はネットワークＮＷを介して通信可能に接続される。ここで、複数のユーザ端末１００－Ｎは同様の構成であるので、特に区別しない場合には、「－１」、「－２」等の記載を省略してユーザ端末１００として説明する。

[0133] アプリサーバ３００は、ユーザ端末１００にインストール可能なアプリケーションに対応するサーバ装置である。ここでは、ユーザ端末１００にインストールされるアプリケーションがゲームである場合を例として、ゲームＡに対応するアプリサーバ３１０と、ゲームＢに対応するアプリサーバ３２０とが、ネットワークＮＷを介してユーザ端末１００と接続されることを示している。なお、ネットワークシステム１には、アプリサーバ３１０及びアプリサーバ３２０に限らず、ユーザ端末１００にインストールされてプレイすることができるゲームに対応して複数のアプリサーバ３００が備えられる。ここで、ユーザ端末１００にインストールされるアプリケーションとは、アプリケーションのプログラムがユーザ端末１００にインストールされることにより、インストールされたプログラムに基づいてユーザ端末１００がアプリケーションに関する処理（例えば、ゲームの処理）を行う、所謂ネイティブ型のアプリケーションである。ユーザ端末１００は、ゲームをプレイするユーザに対応したユーザ情報をアプリサーバ３００に送信したり、ゲームのプレイ中に必要な情報をアプリサーバ３００から取得したりする。

[0134] アプリストア４００は、ユーザ端末１００にインストール可能なアプリケーションをダウンロード可能なストアサイト（ダウンロードサービスサイト）を提供するサーバ装置である。ユーザは、自身のユーザ端末１００からネットワークＮＷを介してアプリストア４００に接続して所望のアプリケーションを有料または無料で購入することにより、購入したアプリケーションを自身のユーザ端末１００にダウンロードしてインストールすることができる。

[0135] ここで、アプリケーション（ゲーム）の提供者からすると、提供するアプリケーションをより多くのユーザに購入してもらえるように、購入の動機付けとなるようなサービスの提供が望まれる。

例えば、ユーザ端末１００にインストールされているアプリケーションの利用中に表示される表示画面やユーザの操作により遷移した表示画面に、まだインストールされていないアプリケーションの広告（バナー）を表示させ

、その広告（バナー）が選択されると上述のストアサイトに誘導され、その後、選択されたアプリケーションがダウンロードされてユーザ端末１００にインストールされて実行可能になった又は実行された場合、ダウンロードのきっかけとなった広告（バナー）が表示された元のアプリケーションのユーザ自身の利用に対して報酬が付与されるようなサービスの提供が考えられる。この場合、元のアプリケーションで利用可能な報酬（例えば、ゲームで利用可能なアイテムやゲームポイント等）がユーザ自身に付与されるため、報酬を得たいユーザにとって新なアプリケーションを購入する動機付けとなる。これにより、アプリケーションの販売の促進に繋げることが可能となる。

[0136] 管理サーバ２００は、本実施形態の相互送客システムに対応するアプリケーションに関する情報や通常リワードまたはＣＰリワードに関する情報を管理するとともに、ユーザ端末１００と通信することにより、アプリケーション間の送客情報の管理やリワードの処理を制御する管理装置である。具体的には、管理サーバ２００は、送客元アプリから送客先アプリに対する送客情報として、例えば、送客元アプリのアプリＩＤ、送客先アプリのアプリＩＤ、及びリワードユーザＩＤを関連付けて管理する。

[0137] ユーザ端末１００は、ユーザによって使用される端末装置であり、例えば、携帯電話やスマートフォン、タブレット端末、パーソナルコンピュータ、通信機能付きゲーム機などが用いられる。ここでは、ユーザ端末１００はスマートフォンであるとして説明する。

[0138] 図３は、本実施形態によるユーザ端末１００の構成の一例を示す概略構成図である。この図に示すように、ユーザ端末１００は、入力部１１０と、表示部１２０と、端末通信部１３０と、端末記憶部１４０と、端末制御部１５０とを備えている。

[0139] 入力部１１０は、ユーザからの操作に応じてユーザの指示を受付けて、指示内容に応じた入力指示情報を生成する入力デバイスである。入力部１１０には、例えば、キーボードやボタン、タッチパネル、マウス、マイクロホン等を適用できる。

表示部１２０は、画像や文字等の情報を表示する表示デバイスであり、例えば、ＬＣＤ（Liquid Crystal Display）、有機ＥＬ（Electro Luminescence）ディスプレイ等を適用できる。入力部１１０と表示部１２０とは一体に構成されてユーザからの操作入力を受け付けるタッチパネルとして適用することもできる。

端末通信部１３０は、ネットワークＮＷを介して管理サーバ２００またはアプリサーバ３００と通信する。

端末記憶部１４０は、ＲＡＭ（Random Access Memory）、ＲＯＭ（Read Only Memory）、フラッシュＲＯＭ、ＨＤＤ（Hard Disk Drive）等の記録媒体またはこれらの組合せを用いて構成され、ユーザ端末１００が備える各部を制御するためのプログラム（例えば、端末制御部１５０に基本動作を行わせるためのＯＳ（Operating System））、インストールされたアプリケーションのプログラム、各種情報等を記憶する。

[0140] 端末制御部１５０は、ユーザ端末１００の制御中枢として機能するＣＰＵ（Central Processing Unit）等の情報処理装置を備えており、ユーザ端末１００が備える各部を制御する。例えば、端末制御部１５０は、端末記憶部１４０に記憶されているＯＳに基づく基本動作の処理を実行するとともに、アプリケーションのプログラム（ゲームのプログラム）に基づく処理を実行する。また、端末制御部１５０は、ＯＳ上で動作可能な各種のアプリケーション（Ｗｅｂブラウザや、アプリストア４００が提供するストアサイトのストアページを表示させるアプリケーション等）の機能をＯＳを介して実行する処理を行う。

[0141] ネットワークＮＷは、例えば、携帯電話網、ＰＨＳ（Personal Handy-phone System）網、ＶＰＮ（Virtual Private Network）網、専用通信回線網、ＷＡＮ（Wide Area Network）、ＬＡＮ（Local Area Network）、ＰＳＴＮ（Public Switched Telephone Network；公衆交換電話網）など、またはこれらの組み合わせによって構成される情報通信ネットワークである。

[0142] 〔相互送客システムの構成及び処理〕

次に、図４を参照して、相互送客システムの構成及び処理について説明する。

図４は、本実施形態のネットワークシステム１における相互送客システムの構成及び処理の一例を説明する説明図である。

ここでは、ユーザＸが利用するユーザ端末１００に送客元アプリ１０（ゲームＡ）が既にインストールされており、送客元アプリ１０（ゲームＡ）が実行されてユーザＸの操作に基づいて、送客先アプリ２０（ゲームＢ）がユーザ端末１００にインストールされて実行された場合、送客元アプリ１０（ゲームＡ）におけるユーザＸに対して報酬（リワード）が付与される例を説明する。なお、送客元アプリ１０（ゲームＡ）はインストールされた時点では、まだ送客元となっていないが、便宜上送客元アプリ１０と称して説明する。

[0143] この図では、ユーザ端末１００には、端末制御部１５０の制御により実行されるインストールされた送客元アプリ１０（ゲームＡ）と、送客処理中に起動されるストア３０（ストアサイトのストアページを表示するアプリケーション）と、新にインストールされて実行される送客先アプリ２０（ゲームＢ）とを模式的に示している。

[0144] 送客元アプリ１０（ゲームＡ）は、ゲームＡをプレイするユーザＸに対応したユーザＩＤをアプリサーバ３１０（ゲームＡ）に送信したり、ゲームＡのプレイ中に必要な情報をアプリサーバ３１０（ゲームＡ）から取得したりする。同様に、送客先アプリ２０（ゲームＢ）がユーザ端末１００にインストールされた場合には、送客先アプリ２０（ゲームＢ）は、ゲームＢをプレイするユーザＸに対応したユーザＩＤをアプリサーバ３２０（ゲームＢ）に送信したり、ゲームＢのプレイ中に必要な情報をアプリサーバ３２０（ゲームＢ）から取得したりする。

[0145] また、本実施形態の相互送客システムに対応するアプリケーションには、相互送客処理用のソフトウェア（以下、ＳＤＫ（Software Development Kit）１１と称する）が組み込まれている。このＳＤＫ１１は、例えば、ユーザ

端末１００にインストールされた相互送客システムに対応する各アプリケーションと管理サーバ２００とを仲介するためのＡＰＩ（Application Programming Interface）の集合体で構成されている。この図では、送客元アプリ１０（ゲームＡ）にはＳＤＫ１１Ａが組み込まれ、送客先アプリ２０（ゲームＢ）にはＳＤＫ１１Ｂが組み込まれている。ＳＤＫ１１ＡとＳＤＫ１１Ｂとのそれぞれは、送客元アプリ１０と送客先アプリ２０とのそれぞれに対応する機能を実行する構成を備えており、各アプリケーションに応じて必要な機能が実行される。なお、相互送客システムに対応するアプリケーションは、送客元アプリ１０と送客先アプリ２０のどちらにもなり得るので、ＳＤＫ１１ＡとＳＤＫ１１Ｂの両方の構成を備えたＳＫＤ１１が組み込まれている。

[0146] つまり、上述のＳＤＫ１１を組み込み可能なようにアプリケーションを構成すれば、当該アプリケーションは、本実施形態の相互送客システムに対応するアプリケーションとなる。なお、上述のＳＤＫ１１が予め組み込まれているアプリケーションがダウンロード可能に提供されてもよいし、インストールされているアプリケーションに対して後から組込み可能なＳＤＫ１１が提供されてもよい。

[0147] なお、相互送客システムに対応するアプリケーションの中には、送客先アプリ２０にのみに対応するアプリケーションがあってもよい。その場合には、ＳＤＫ１１Ｂのみが組み込まれているようにしてもよいし、ＳＤＫ１１を組み込んでＳＤＫ１１Ａを機能させないようにしてもよい。また、送客先アプリ２０にのみに対応するアプリケーションの場合は、アプリケーションに対応するアプリサーバを具備する必要がないため、例えばユーザ端末１００においてスタンドアローンで動作するアプリケーションを相互送客システムに対応するアプリケーションの対象とすることができる。

[0148] また、相互送客システムに対応するアプリケーションの中には、送客元アプリ１０にのみに対応するアプリケーションがあってもよい。その場合には、ＳＤＫ１１Ａのみが組み込まれているようにしてもよいし、ＳＤＫ１１を組み込んでＳＤＫ１１Ｂを機能させないようにしてもよい。例えば、アプリ

ケーションによるサービスの提供が終了することが決まって新たなユーザの登録を受け付けないようなアプリケーションは、送客先アプリ２０としての機能を具備しないようにしてもよい。

[0149] 上述のＳＤＫ１１（この図ではＳＤＫ１１Ａ、ＳＤＫ１１Ｂ）と管理サーバ２００とを備えた構成が本実施形態の相互送客システムの主要な構成であり（符号５００参照）、以下、相互送客システム５００と符号を付して記述する。

[0150] 管理サーバ２００は、ユーザ端末１００にインストールされた相互送客システム５００に対応するアプリケーションに組み込まれたＳＤＫ１１と通信することにより、相互送客処理を実行する。また、管理サーバ２００は、送客元アプリ１０（ゲームＡ）に対応するアプリサーバ３１０（ゲームＡ）に対してリワードに関する情報を送信する。これにより、アプリサーバ３１０（ゲームＡ）から送客元アプリ１０（ゲームＡ）におけるユーザＸに対して報酬が付与される。

[0151] この図に示すように管理サーバ２００は、通信部２１０と、管理部２２０と、記憶部２３０と、制御部２４０と、を備えている。通信部２１０は、ネットワークＮＷを介してユーザ端末１００、アプリサーバ３１０（ゲームＡ）、またはアプリサーバ３２０（ゲームＢ）と通信する。管理部２２０は、相互送客システム５００に対応するアプリケーションに関する情報、キャンペーンに参加しているアプリケーションの情報、アプリケーション間の送客情報、通常リワード及びＣＰリワードに関する情報等を記憶部２３０に記憶させて管理する。記憶部２３０は、管理部２２０または制御部２４０の制御により各種情報を記憶する。制御部２４０は、ユーザ端末１００またはアプリサーバ３１０（ゲームＡ）との相互送客処理に関する情報の授受の制御やリワードに関する処理の制御を行う。

なお、以下の記述において、管理部２２０の管理の対象となる相互送客システム５００に対応するアプリケーションのことを「対象アプリケーション」とも称し、この対象アプリケーションのうちのキャンペーンに参加する特

定のアプリケーションのことを「特定アプリケーション」とも称する。

[0152] 続いて、相互送客処理の概略の流れについて説明する。

ここでは、相互送客システム５００に対応する対象アプリケーションの情報が、管理サーバ２００に予め管理されているものとする。また、ユーザ端末１００は、このユーザ端末１００に対応する固有識別情報であるユーザＸのリワードユーザＩＤを取得済みで、取得したリワードユーザＩＤがこのユーザ端末１００にインストールされる相互送客システム５００に対応するアプリケーションから参照可能なように端末記憶部１４０の所定の領域（アプリ間共有エリア）に記憶されているものとする。

[0153] （１）ユーザ端末１００に送客元アプリ１０（ゲームＡ）がインストールされた場合、送客元アプリ１０（ゲームＡ）に組み込まれているＳＤＫ１１Ａは、送客元アプリ（ゲームＡ）がインストールされたことを示すインストール通知情報を管理サーバ２００に対して送信する（ＲＥＱ１１）。ここで、インストール通知情報には、例えば、送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤと、リワードユーザＩＤとが含まれる。

[0154] （２）管理サーバ２００は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）から送信されたインストール通知情報を取得すると、取得したことを示す応答情報（通知結果）を、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）に対して送信する（ＲＥＳ１１）。また、管理サーバ２００は、取得したインストール通知情報に含まれる送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤと、リワードユーザＩＤとを関連付けて管理する。

[0155] （３）ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）は、相互送客システム５００に対応する対象アプリケーションの少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリスト（送客先アプリ２０の候補となる対象アプリケーションを示す情報）を要求するリスト要求通知情報を管理サーバ２００に対して送信する（ＲＥＱ１２）。

[0156] （４）管理サーバ２００は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）からリスト要求通知情報を取得すると、管理の対象となる複数の対象アプリケーション

のうちのユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない（即ち、ユーザ端末１００にインストールされたことがない）少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）に対して送信する（ＲＥＳ１２）。このとき、管理サーバ２００は、キャンペーンに参加している特定アプリケーションにはそのキャンペーンに関する情報を関連付けて送信する。

ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）は、管理サーバ２００からアプリケーションリストを取得すると、取得したアプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示部１２０に表示する。

[0157] （５）表示部１２０に表示された対象アプリケーションの一覧ＬＴの中からいずれかの対象アプリケーションがユーザＸにより選択されると、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）は、送客元アプリ１０（ゲームＡ）から、選択された対象アプリケーション（ここでは、送客先アプリ２０（ゲームＢ））へ送客されたことを示す送客情報を管理サーバ２００に対して送信する（ＲＥＱ１３）。ここで、送客情報には、例えば、送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤと、送客先アプリ２０（ゲームＢ）のアプリＩＤと、リワードユーザＩＤとが含まれる。

[0158] （６）管理サーバ２００は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）から送客情報を取得すると、取得した送客情報に基づいて、送客先アプリ２０（ゲームＢ）をインストール可能な画面に誘導する指示情報（例えば、当該画面をユーザ端末１００の表示部１２０に表示させる指示情報）をユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）に対して送信する（ＲＥＳ１３）。また、管理サーバ２００は、取得した送客情報に含まれる送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤと、送客先アプリ２０（ゲームＢ）のアプリＩＤと、リワードユーザＩＤとを関連付けて管理する。

[0159] （７）ユーザ端末１００は、管理サーバ２００から上述の指示情報を取得すると、送客先アプリ２０（ゲームＢ）をインストール可能（ダウンロード可能）なストアサイトのストアページを表示するアプリケーションであるスト

ア３０を起動させる。このストア３０は、アプリストア４００から、送客先アプリ２０（ゲームＢ）をインストール可能なストアページを取得して表示部１２０に表示させる。ユーザＸの操作により送客先アプリ２０（ゲームＢ）がユーザ端末１００にダウンロードされてインストールされた後、引き続きユーザＸの操作によりインストールされた送客先アプリ２０（ゲームＢ）が起動される。

[0160] （８）ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ｂ）は、送客先アプリ２０（ゲームＢ）がインストールされたことを示すインストール通知情報を管理サーバ２００に対して送信する（ＲＥＱ１４）。ここで、インストール通知情報には、例えば、送客先アプリ２０（ゲームＢ）のアプリＩＤと、リワードユーザＩＤとが含まれる。

[0161] （９）管理サーバ２００は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ｂ）から送信されたインストール通知情報を取得すると、取得したことを示す応答情報を、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ｂ）に対して送信する（ＲＥＳ１４）。また、管理サーバ２００は、この取得したインストール通知情報と管理している送客情報とに基づいて、この送客先アプリ２０（ゲームＢ）が、ユーザ端末１００において送客元アプリ１０（ゲームＡ）から送客されたものであると判定する。

[0162] （１０）ここで、送客先アプリ２０（ゲームＢ）が特定アプリケーションであって、送客元アプリ１０（ゲームＡ）との間でキャンペーン中であるとする。この場合には、送客先アプリ２０（ゲームＢ）において、キャンペーンに対応して予め設定された報酬付与条件が充足された（成果地点に到達した）ことに基づいて、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ｂ）は、報酬付与条件が充足されたことを示す報酬付与通知情報（成果地点到達を示す情報）を管理サーバ２００に対して送信する（ＲＥＱ１５）。成果地点が複数ある場合には、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ｂ）は、各成果地点に到達したことに基づいてその数分の報酬付与通知情報（成果地点到達を示す情報）を管理サーバ２００に対して送信する。

[0163] （１１）管理サーバ２００は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ｂ）から報酬付与通知情報を取得すると、取得した報酬付与通知情報に基づく報酬付与情報であって、送客先アプリ２０（ゲームＢ）において成果地点に到達したことを示す報酬付与情報を、送客元アプリ１０（ゲームＡ）に対応するアプリサーバ３１０（ゲームＡ）に対して送信する（ＣＰリワードの処理）。成果地点が複数ある場合には、管理サーバ２００は、その数分の報酬付与通知情報に基づく報酬付与情報をアプリサーバ３１０（ゲームＡ）に対して送信する。

ここで、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０（ゲームＢ）での成果地点到達を示す情報を送客元アプリ１０（ゲームＡ）に対応するアプリサーバ３１０（ゲームＡ）に対して送信することを仲介するだけであって、送客先アプリ２０（ゲームＢ）での成果地点の設定内容、及びそれぞれの成果地点到達した場合に送客元アプリ１０（ゲームＡ）に付与される報酬内容については関与しない。ユーザ端末１００の表示画面に対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示する場合に、ＣＰリワードによる報酬内容を表示画面に表示せずに、ＣＰリワードによる報酬内容が掲載されているサイトのリンク先を表示しているのは、管理サーバ２００が報酬内容について関与しないからである。

[0164] なお、送客先アプリ２０（ゲームＢ）が特定アプリケーションではない対象アプリケーションである場合（或いは、特定アプリケーションであってもキャンペーン期間外の場合）には、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ｂ）から送信された送客先アプリ２０（ゲームＢ）がインストールされたことを示すインストール通知情報を取得すると、通常リワードによる成果地点に到達したことを示す報酬付与情報をアプリサーバ３１０（ゲームＡ）に対して送信する（通常リワードの処理）。

[0165] このような処理の流れにより、送客元アプリ１０（ゲームＡ）から送客先アプリ２０（ゲームＢ）に対して送客がなされる。ここで、相互送客システム５００においては、ＳＤＫ１１Ａ及びＳＤＫ１１Ｂと管理サーバ２００と

の間で授受される各情報が、ユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤにより、直接またはいずれかの情報を介して関連付けされている。これにより、相互送客システム５００は、送客元アプリ１０（ゲームＡ）と送客先アプリ２０（ゲームＢ）とにおいてアプリユーザＩＤが異なる場合であっても、アプリケーション間の相互送客処理やリワード処理を容易に行うことができる。

[0166] 次に、相互送客システム５００が備えるＳＤＫ１１（ＳＤＫ１１Ａ及びＳＤＫ１１Ｂ）と、管理サーバ２００との各構成の詳細について説明する。

[0167] 〔ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）の機能構成〕

図５は、本実施形態によるユーザ端末１００において、端末制御部１５０がＳＤＫ１１に基づいて実行する相互送客処理の機能構成の一例を示す構成図である。この図５を参照して、相互送客システム５００においてユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）が実行する相互送客処理の機能構成について説明する。

[0168] ＳＤＫ１１は、初期化処理部１０１と、リスト要求部１０４と、表示制御部１０５と、送客情報通知部１０６と、報酬付与通知部１０７とを備えている。

初期化処理部１０１は、ＳＤＫ１１の組み込み先のアプリケーションがユーザ端末１００インストールされると、初回起動時の処理として、当該アプリケーションに関する情報（例えば、アプリＩＤ、アプリユーザＩＤ等）を取得する。また、初期化処理部１０１は、固有識別情報取得部１０２と、インストール通知部１０３とを備えている。

[0169] 固有識別情報取得部１０２は、ユーザ端末１００毎に固有に設定される固有識別情報であって、そのユーザ端末１００を利用するユーザを一意に識別可能な固有識別情報であるリワードユーザＩＤを取得する。例えば、固有識別情報取得部１０２は、擬似乱数列を生成し、生成した擬似乱数列を用いて他のユーザ端末１００のリワードユーザＩＤとは重複しないようにユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤを生成して取得する。また、固有識

別情報取得部１０２は、取得したリワードユーザＩＤを、ユーザ端末１００にインストールされたいずれの対象アプリケーションからも参照可能なように端末記憶部１４０のアプリ間共有エリアに記憶させる。

ここで、固有識別情報取得部１０２は、インストールされた対象アプリケーションが複数の対象アプリケーションのうちの最初にユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションである場合、リワードユーザＩＤを取得する。つまり、端末記憶部１４０のアプリ間共有エリアにリワードユーザＩＤが記憶されていない場合、リワードユーザＩＤを取得する。そして、この取得されたリワードユーザＩＤは、それ以降にインストールされた対象アプリケーションにおいても利用される。

[0170] インストール通知部１０３は、ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションの当該インストールされたことを示すインストール通知情報を管理サーバ２００に対して送信する。ここで、上述のインストール通知情報には、当該インストールされた対象アプリケーションのアプリＩＤと、このユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤとが含まれる。なお、相互送客システム５００による送客処理を介さずにユーザがストアサイトからダウンロードして対象アプリケーションがインストールされた場合と、相互送客システム５００による送客処理を介してインストールされた場合（単に対象アプリケーションがインストールされた場合）とのいずれでも、ユーザ端末１００からインストール通知情報が送信される。また、インストールされた対象アプリケーションが特定アプリケーションの場合、インストール通知部１０３は、ユーザ端末１００にインストールされた特定アプリケーションの当該インストールされたことを示すインストール通知情報を管理サーバ２００に対して送信することとなる。

[0171] また、インストール通知部１０３は、インストールされた対象アプリケーションをインストールしたユーザのインストールされた対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤをさらに含めたインストール通知情報を管理サーバ２００に対して送信してもよい。これにより、このインストール通知情

報を取得した管理サーバ２００は、インストールされた対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤとリワードユーザＩＤとを関連付けて管理することができる。なお、アプリユーザＩＤの送信タイミングは、このインストール通知情報に含ませずに他の情報に含ませるようにしてもよい。

[0172] ここで、このインストール通知部１０３がインストール通知情報を管理サーバ２００に対して送信する処理は、送客元アプリ１０のＳＤＫ１１Ａであっても、送客先アプリ２０のＳＤＫ１１Ｂであっても同様に、それぞれのインストールされたアプリケーションが起動した場合に実行される。

[0173] リスト要求部１０４は、送客元アプリ１０における所定の操作（第１の操作）に基づいて、複数の対象アプリケーションの少なくとも一の対象アプリケーション（或いは特定アプリケーション）のアプリケーションリストを要求するリスト要求通知情報を管理サーバ２００に対して送信する。ここで、上述の所定の操作とは、送客元アプリ１０において、対象アプリケーション（或いは特定アプリケーション）のアプリケーションリストを管理サーバ２００から取得するための例えば入力部１１０に対するユーザの操作である。また、上述のリスト要求通知情報には、例えば、送客元アプリ１０（対象アプリケーション（或いは特定アプリケーション））のアプリＩＤ（送客元情報）と、このユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤとが含まれる。

また、リスト要求部１０４は、送信したリスト要求通知情報に基づいて管理サーバ２００から送信されたアプリケーションリストを取得する。

なお、リスト要求部１０４は、送客元アプリ１０との間でキャンペーンが設定されている特定アプリケーションを含む対象アプリケーションのアプリケーションリストを要求するリスト要求通知情報を管理サーバ２００に対して送信してもよいし、当該特定アプリケーションを含まない対象アプリケーションのアプリケーションリストを要求するリスト要求通知情報を管理サーバ２００に対して送信してもよい。また、リスト要求部１０４は、送客元アプリ１０との間でキャンペーンが設定されている特定アプリケーションのみ

のアプリケーションリストを要求するリスト要求通知情報を管理サーバ２００に対して送信してもよい。

[0174] 表示制御部１０５は、リスト要求部１０４が取得したアプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示部１２０に表示させる。例えば、表示制御部１０５は、送客元アプリ１０により表示部１２０に表示されていた表示画面に重ねたり切替えたりして対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示させる。

[0175] 送客情報通知部１０６は、送客元アプリ１０から選択された対象アプリケーション（或いは特定アプリケーション）へ送客されたことを示す送客情報を管理サーバ２００に対して送信する。ここで、送客元アプリ１０から選択された対象アプリケーション（或いは特定アプリケーション）とは、表示部１２０に表示されたアプリケーションリストに含まれる一または複数の対象アプリケーション（或いは特定アプリケーション）からユーザの操作（第２の操作）に基づいて選択されたいずれかのアプリケーションのことをいう。

また、上述の送客情報には、例えば、送客元アプリ１０のアプリＩＤ（送客元情報）、選択された対象アプリケーション（或いは特定アプリケーション）即ち送客先アプリ２０のアプリＩＤ、及びこのユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤが含まれる。

[0176] 例えば、キャンペーン期間に上述の第２の操作に基づいて、対象アプリケーションの一覧ＬＴの中から当該キャンペーン期間中の特定アプリケーションが選択された場合には、送客情報通知部１０６は、例えば、送客元アプリ１０のアプリＩＤ（送客元情報）、選択された特定アプリケーション即ち送客先アプリ２０のアプリＩＤ、及びこのユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤを含む送客情報を管理サーバ２００に対して送信する。

[0177] 報酬付与通知部１０７は、キャンペーン期間中の特定アプリケーションにおいて、キャンペーンに対応して予め設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、当該報酬付与条件を充足したことを示す報酬付与通知情報を管理サーバ２００に対して送信する。ここで、上述の報酬付与通知情報に

は、例えば、当該キャンペーン期間中の特定アプリケーション（送客先アプリ２０）のアプリＩＤ（送客先情報）と、このユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤとが含まれる。

[0178] なお、図５に示すＳＤＫ１１に基づく機能構成のうち、例えば、初期化処理部１０１（固有識別情報取得部１０２、インストール通知部１０３）と、リスト要求部１０４と、表示制御部１０５と、送客情報通知部１０６とが、送客元アプリ１０に対応するＳＤＫ１１Ａの機能構成（すなわち、送客元の機能構成）に対応する。また、例えば、初期化処理部１０１（固有識別情報取得部１０２、インストール通知部１０３）と、報酬付与通知部１０７とが、送客先アプリ２０に対応するＳＤＫ１１Ｂの機能構成（すなわち、送客先の機能構成）に対応する。

[0179] 〔管理サーバ２００の構成〕

次に、図６を参照して、管理サーバ２００の構成の詳細について説明する。

図６は、本実施形態による管理サーバ２００の構成の一例を示す構成図である。管理サーバ２００は、図４を参照して説明したように、通信部２１０と、管理部２２０と、記憶部２３０と、制御部２４０とを備えており、ここでは、管理部２２０と、記憶部２３０と、制御部２４０とのそれぞれの構成について詳しく説明する。

[0180] 管理部２２０は、アプリケーション管理部２２１と、インストール情報管理部２２２と、送客情報管理部２２３とを備えている。なお、管理部２２０は、管理する各情報を関連付けて記憶部２３０に記憶させて管理する。

[0181] アプリケーション管理部２２１は、相互送客システム５００に対応する複数の対象アプリケーションに関する情報（対象アプリケーション情報）を管理する。また、アプリケーション管理部２２１は、複数の特定アプリケーションに対して設定されたキャンペーン期間（第１の期間の一例）を有するキャンペーンに関する情報を管理する。例えば、アプリケーション管理部２２１は、キャンペーンを示す情報（キャンペーンの名称等）とキャンペーンに

関する情報（キャンペーン期間、報酬を示す情報の掲載場所のリンク先を示す情報等）とを関連付けて管理する。

[0182] インストール情報管理部２２２は、ユーザ端末１００から取得したインストール通知情報に基づいて、インストール通知情報に含まれるリワードユーザＩＤと、インストールされた対象アプリケーションのアプリＩＤとを関連付けてインストール情報として管理する。

なお、インストール情報管理部２２２は、インストール通知情報に含まれるリワードユーザＩＤと、対象アプリケーションのアプリＩＤと、対象アプリケーションのアプリユーザＩＤとを関連付けてインストール情報として管理してもよい。

[0183] 送客情報管理部２２３は、ユーザ端末１００から送信されて管理サーバ２００が取得した送客情報に含まれるリワードユーザＩＤ、送客元アプリ１０のアプリＩＤ、及び送客先アプリ２０のアプリＩＤを関連付けて送客情報の記録として管理する。

なお、送客情報管理部２２３は、送客元アプリ１０と送客先アプリ２０とにキャンペーンが設定されている場合、さらにキャンペーンを示す情報を関連付けた送客情報の記録として管理してもよい。

[0184] 記憶部２３０は、管理部２２０または制御部２４０により管理される各種情報を記憶する。

記憶部２３０は、対象アプリ情報記憶部２３１と、通常リワード情報記憶部２３２と、アプリ間フィルタ記憶部２３３と、キャンペーン情報記憶部２３４と、キャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５と、インストール情報記憶部２３６と、送客情報記憶部２３７と、リワード成立情報記憶部２３８とを備えている。なお、各種情報は、データベースのテーブル形式やＪＳＯＮ（ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ（登録商標）Ｏｂｊｅｃｔ　Ｎｏｔａｔｉｏｎ）形式など、その情報の利用に適した形式で格納されていればよい。

[0185] 対象アプリ情報記憶部２３１は、相互送客システム５００に対応する対象アプリケーションに関する対象アプリケーション情報を記憶する。図７は、

対象アプリ情報記憶部２３１に記憶される対象アプリケーション情報の一例を示す図である。対象アプリケーション情報には、対象アプリケーションのアプリＩＤ（ApID）と、通知先ＵＲＬ（NoticeURL）と、ストアＵＲＬ（ApStoreURL）と、当該対象アプリケーションの名称を示すアプリ名称（ApNAME）と、当該対象アプリケーションに関する説明情報であるアプリ説明（ApDOC）と、当該対象アプリケーションを示すアイコン画像であるアプリアイコン画像（ApICO）と、アプリ価格（ApPRICE）とが関連付けられている。

通知先ＵＲＬ（NoticeURL）は、リワードの通知先のＵＲＬ（Uniform Resource Locator）であって、例えば、当該対象アプリケーションに対応するアプリサーバ３００のＵＲＬが設定される。ストアＵＲＬ（ApStoreURL）は、当該対象アプリケーションをダウンロード可能な販売サイト（アプリストア４００）のページのＵＲＬである。アプリ価格（ApPRICE）は、当該対象アプリケーションの販売価格である。これらの対象アプリケーション情報は、例えば、ユーザ端末１００に表示される対象アプリケーションの一覧ＬＴで利用される。

なお、これらの対象アプリケーション情報は、例えば、アプリストア４００からダウンロード可能になる前に予め設定されて対象アプリ情報記憶部２３１に記憶され、アプリケーション管理部２２１によって管理される。

[0186] 通常リワード情報記憶部２３２は、対象アプリケーション毎の通常リワードに関する情報（通常リワード情報）を記憶する。図８は、通常リワード情報記憶部２３２に記憶される通常リワード情報の一例を示す図である。通常リワード情報には、対象アプリケーションで通常リワードとして付与されるアイテムを識別するアイテムＩＤ（ItemID）と、当該対象アプリケーションのアプリＩＤ（ApID）と、最低価格（min_price）と、当該アイテムの名称を示す報酬アイテム名称（ItemName）と、当該アイテムの報酬として付与される数を示す報酬アイテム数（ItemNum）とが関連付けられている。最低価格（min_price）には、通常リワードの対象となる対象アプリケーションの価格が設定される。これらの通常リワード情報は、例えば、ユーザ端末１００に表

示される対象アプリケーションの一覧ＬＴで利用される。

なお、これらの通常リワード情報は、例えば、対象アプリケーション情報が対象アプリ情報記憶部２３１に記憶される際に設定されて通常リワード情報記憶部２３２に記憶され、アプリケーション管理部２２１によって管理される。

[0187] アプリ間フィルタ記憶部２３３は、相互送客可能な対象アプリケーションを制限するためのアプリケーション間におけるフィルタ情報（アプリ間フィルタ情報）を記憶する。この相互送客可能な対象アプリケーションを制限する処理については、第２の実施形態において詳しく説明する。

[0188] キャンペーン情報記憶部２３４は、対象アプリケーションのうちのキャンペーンに参加する特定アプリケーションのキャンペーンに関する情報（キャンペーン情報）を記憶する。図９は、キャンペーン情報記憶部２３４に記憶されるキャンペーン情報の一例を示す図である。キャンペーン情報には、キャンペーンＩＤ（CpID）と、キャンペーン名（CpNAME）と、キャンペーン開始日時（CpStartDATE）と、キャンペーン終了日時（CpEndDATE）と、報酬付与開始日時（RewardStartDATE）と、報酬付与終了日時（RewardEndDATE）とが関連付けられている。

[0189] キャンペーンＩＤ（CpID）は、キャンペーンを識別する識別情報である。キャンペーン名（CpNAME）はキャンペーンの名前を示す。キャンペーン開始日時（CpStartDATE）及びキャンペーン終了日時（CpEndDATE）のそれぞれは、キャンペーン期間の開始日時及び終了日時をそれぞれ示している。ここで、キャンペーン開始日時とキャンペーン終了日時で規定されるキャンペーン期間に、送客先アプリ２０がインストールされた場合に、ＣＰリワード付与の資格が得られる。

[0190] また、ＣＰリワードでは、例えば、複数の成果地点が設定され、キャンペーン期間中に送客先アプリ２０の利用を開始したユーザが、いつまでに成果地点に到達すべきかを規定するのが、報酬付与開始日時（RewardStartDATE）と報酬付与終了日時（RewardEndDATE）で規定される報酬付与期間である。例

えば、キャンペーン期間（第１の期間の一例）に対して、キャンペーン期間の開始又は途中から開始し、キャンペーン期間より後に終了する報酬付与期間（第２の期間の一例）が設定される。一例としては、キャンペーン開始日時と報酬付与開始日時は同日時が設定され、報酬付与終了日時はキャンペーン終了日時の一週間後に設定される。これらのキャンペーン情報は、キャンペーンの開始日時前に予め設定されてキャンペーン情報記憶部２３４に記憶され、アプリケーション管理部２２１によって管理される。また、これらのキャンペーン情報は、キャンペーンを実施する各特定アプリケーションに対応するアプリサーバ３００と管理サーバ２００とにおいて同様の情報が設定される。

なお、キャンペーン期間とは別に報酬付与期間が設定されない構成であってもよく、報酬付与期間がキャンペーン期間と同じ期間である構成であってもよい。

[0191] キャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５は、キャンペーン情報記憶部２３４に設定されたキャンペーンに参加する特定アプリケーションを示す情報（キャンペーン参加アプリ情報）を記憶する。ここで、アプリケーション間の相互送客に対するキャンペーンであるため、一つのキャンペーンには、少なくとも２つのアプリケーションが設定されることになる。図１０は、キャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５に記憶されるキャンペーン参加アプリ情報の一例を示す図である。キャンペーン参加アプリ情報には、キャンペーンＩＤ（CpID）と、このキャンペーンＩＤのキャンペーンに参加する特定アプリケーションのアプリＩＤ（ApID）と、キャンペーンページＵＲＬ（CpPageURL）とが関連付けられている。キャンペーンＩＤ（CpID）は、キャンペーン情報記憶部２３４に記憶されるキャンペーン情報に含まれるキャンペーンＩＤと対応する。

[0192] キャンペーンページＵＲＬ（CpPageURL）は、キャンペーン期間にそのアプリケーションをインストールして利用すると付与されるＣＰリワードの報酬に関する情報が掲載されたページ（ウェブサイトのページ）を示す情報であ

る。また、このページには、アプリケーションに関する情報（説明や価格）なども掲載される。例えば、送客元アプリ１０（ゲームＡ）と送客先アプリ２０（ゲームＢ）とにキャンペーンが設定されている場合、それぞれのアプリケーションに対応するアプリサーバ３１０（ゲームＡ）内のページとアプリサーバ３２０（ゲームＢ）内のページとのそれぞれのＵＲＬがキャンペーンページＵＲＬとして設定されてもよい。また、キャンペーン専用サイトが別に設けられ、送客元アプリ１０（ゲームＡ）と送客先アプリ２０（ゲームＢ）とのいずれに対しても当該キャンペーン専用サイトに対する同一のＵＲＬが設定されてもよい。また、このキャンペーン専用サイトが管理サーバ２００内に設けられてもよい。

[0193] このように、ＣＰリワードの報酬に関する情報は、アプリサーバ３００またはキャンペーン専用サイトのページなどに掲載されるように設定されるため、管理サーバ２００が管理する必要がない。

上述のキャンペーン参加アプリ情報は、対象アプリケーションが特定アプリケーションとしてキャンペーンに参加する際に設定されてキャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５に記憶され、アプリケーション管理部２２１によって管理される。

[0194] なお、キャンペーン情報及びキャンペーン参加アプリ情報に含まれる情報は、上述したように管理サーバ２００において管理されるとともに、キャンペーンに参加している特定アプリケーションに対応するアプリサーバ３００においても同様に管理されている。また、当該キャンペーンに参加している特定アプリケーションをインストールしたユーザ端末１００は、当該特定アプリケーションに対応するアプリサーバ３００から、当該アプリケーションのキャンペーン情報及びキャンペーン参加アプリ情報に含まれる情報を取得することができる。

[0195] インストール情報記憶部２３６は、ユーザ端末１００から送信されて管理サーバ２００が取得したインストール通知情報に基づいてインストール情報管理部２２２が管理するインストール情報を記憶する。図１１は、インスト

ール情報記憶部２３６に記憶されるインストール情報の一例を示す図である。インストール情報には、例えば、取得したインストール通知情報に含まれるリワードユーザＩＤ（RewardUID）と、アプリＩＤ（ApID）と、アプリユーザＩＤ（ApUID）とが関連付けられている。

[0196] ここで、相互送客システム５００による送客処理を介さず単に対象アプリケーションがインストールされた場合と、相互送客システム５００による送客処理を介してインストールされた場合とのいずれでも、ユーザ端末１００からインストール通知情報が送信され、管理サーバ２００が取得したインストール通知情報に基づくインストール情報がインストール情報記憶部２３６に記憶される。即ち、インストール情報記憶部２３６には、ユーザ端末１００にインストールされた全ての対象アプリケーションのインストール情報が記録される。よって、一旦インストールした対象アプリケーションをアンインストールした後に再びインストールしても、当該対象アプリケーションのインストール情報がインストール情報記憶部２３６に記憶されているので、管理サーバ２００は、２重に報酬を付与することを防止できる。

[0197] 送客情報記憶部２３７は、ユーザ端末１００から送信されて管理サーバ２００が取得した送客情報に基づいて送客情報管理部２２３が管理する送客情報を記憶（記録）する。図１２は、送客情報記憶部２３７に記憶される送客情報の一例を示す図である。送客情報には、リワード管理ＩＤ（RewardID）と、リワードユーザＩＤ（RewardUID）と、送客元アプリＩＤ（ApIDfrom）と、送客先アプリＩＤ（ApIDto）と、キャンペーンＩＤ（CpID）とが関連付けられている。リワード管理ＩＤ（RewardID）は、送客情報毎に識別可能なように各送客情報を取得した順に発行される管理ＩＤである。送客元アプリＩＤ（ApIDfrom）は、送客元アプリ１０のアプリＩＤであり、送客先アプリＩＤ（ApIDto）は、送客先アプリ２０のアプリＩＤである。このとき送客元アプリ１０と送客先アプリ２０とが、共に同じキャンペーンのキャンペーン期間中であれば、そのキャンペーンのキャンペーンＩＤが記憶され、キャンペーン期間でないときにはキャンペーンＩＤには「ｎｕｌｌ」が設定される。

[0198] また、アプリケーションリストには、ユーザ端末１００に既にインストールされている対象アプリケーションまたはインストールされていたことのある対象アプリケーション（その後にアンインストールされている対象アプリケーション）は含まれないため、新規にインストールする対象アプリケーションへの送客情報が送客情報記憶部２３７に記憶されることになる。 なお、この送客情報記憶部２３７に送客情報が記憶された場合であっても、その送客情報の送客先アプリ２０が必ずしもダウンロードされてインストールされるとは限らない。

[0199] リワード成立情報記憶部２３８は、送客情報記憶部２３７が記憶する送客情報が示す送客処理によって通常リワード及びＣＰリワードの報酬付与条件が成立した場合に、送客元アプリ１０（ゲームＡ）に対応するアプリサーバ３１０（ゲームＡ）に対して報酬付与情報を通知したか否かを示すリワード成立情報を記憶する。

[0200] 通常リワードの場合、このリワード成立情報は、例えば、送客情報記憶部２３７に記憶された送客情報の送客先アプリＩＤに対応する対象アプリケーションのインストール情報がインストール情報記憶部２３６に記憶されたときに、その送客情報に対応する新たなレコード（一つ分のリワード成立情報のデータ）が生成されてリワード成立情報記憶部２３８に記憶される。

[0201] また、ＣＰリワードの場合、このリワード成立情報は、例えば、送客情報記憶部２３７に記憶された送客情報の送客先アプリＩＤに対応する報酬付与通知情報をユーザ端末１００から取得したときに、その送客情報に対応する新たなレコードが生成されてリワード成立情報記憶部２３８に記憶される。

[0202] 図１３は、リワード成立情報記憶部２３８に記憶されるリワード成立情報の一例を示す図である。リワード成立情報は、リワード管理ＩＤ（RewardID）と、成果地点ＩＤ（RewardSpotID）と、成立状態（RewardStatus）とが関連付けられている。リワード管理ＩＤ（RewardID）は、送客情報記憶部２３７が記憶する送客情報に含まれるリワード管理ＩＤと対応する。

[0203] 成果地点ＩＤ（RewardSpotID）は、報酬付与条件に基づいて設定される送

客先アプリ２０において報酬が付与される成果地点の識別情報である。

ＣＰリワードの場合、成果地点ＩＤ（RewardSpotID）には、キャンペーンに対応して予め設定された成果地点（送客先アプリ２０における報酬付与条件）を示す識別情報が設定される。成果地点が複数ある場合には、同一のリワード管理ＩＤに複数の成果地点ＩＤのそれぞれが関連付けられた複数分のレコードが生成されてリワード成立情報記憶部２３８に記憶される。

[0204] 通常リワードの場合、即ち、送客情報記憶部２３７に記憶された送客情報に含まれるキャンペーンＩＤに「ｎｕｌｌ」が設定されている場合、成果地点（報酬付与条件）は、送客先アプリ２０がインストールされたときとなり、成果地点ＩＤには、「ｎｕｌｌ」が設定される。

なお、ＣＰリワードの場合であっても、送客先アプリ２０がインストールされたことを条件とした識別情報が成果地点ＩＤに設定されれば、通常リワードの場合と同様に成果地点（報酬付与条件）は、送客先アプリ２０がインストールされて実行可能になったとき、または実行されたときとなる。

[0205] 成立状態（RewardStatus）は、送客元アプリ１０（ゲームＡ）に対応するアプリサーバ３１０（ゲームＡ）に対して報酬付与情報を通知したか否かの状態を示すフラグ情報が設定される。すなわち、送客情報記憶部２３７に記憶された送客情報に対応するリワード管理ＩＤに関連付けられて新たなレコードが生成される際に、成立状態（RewardStatus）には初期値としてフラグ「０」（未通知）が設定される。その後、アプリサーバ３１０（ゲームＡ）に対する報酬付与情報の通知が完了した場合に、成立状態（RewardStatus）にはフラグ「１」（通知済）に更新される。なお、アプリサーバ３１０（ゲームＡ）からの報酬付与情報の通知に対する応答を取得した場合に、フラグ「１」（通知済）に更新されるようにしてもよい。

[0206] 次に図６に戻り、制御部２４０の構成について説明する。

制御部２４０は、インストール通知取得部２４１と、リスト通知部２４２と、送客情報取得部２４３と、インストール誘導指示部２４４と、リワード処理部２４５と、計時部２４６とを備えている。

[0207] インストール通知取得部２４１は、複数の対象アプリケーションのうちリワードユーザＩＤにより特定されるユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションの当該インストールされたことを示すインストール通知情報を当該対象アプリケーション（当該対象アプリケーションのＳＤＫ１１）から取得する。このインストール通知情報には、前述したように、例えば、このユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤと当該対象アプリケーションのアプリＩＤとが含まれている。また、このインストール通知情報には、さらに当該対象アプリケーションのアプリユーザＩＤが含まれてもよい。そして、インストール通知取得部２４１は、取得したインストール通知情報を、インストール情報管理部２２２に供給する。

[0208] リスト通知部２４２は、ユーザ端末１００にインストールされている送客元アプリ１０（送客元アプリ１０のＳＤＫ１１Ａ）から送信されたリスト要求通知情報を取得すると、取得したリスト要求通知情報に基づいて、対象アプリ情報記憶部２３１とインストール情報記憶部２３６を参照して、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない（即ち、ユーザ端末１００にインストールされていない）少なくとも一の対象アプリケーション（或いは特定アプリケーション）のアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信する。

[0209] また、リスト通知部２４２は、キャンペーン情報記憶部２３４またはキャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５を参照して、アプリケーションリストに含まれる一または複数の特定アプリケーションに対応したキャンペーンに関する情報を送信する。

このとき、リスト通知部２４２は、対象アプリケーションに関する情報（アプリ名称、説明、価格等）、通常リワードの報酬内容に関する情報、またはＣＰリワードのキャンペーンに関する情報（キャンペーン期間やキャンペーンに対応する報酬を示す情報の掲載場所のリンク先等）を含むアプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴがユーザ端末１００において表示可能なアプリ一覧ページのデータを生成してユーザ端末１００

に対して送信する。例えば、リスト通知部２４２は、ＳＤＫ１１が実行可能なブラウザ機能により表示可能なＨＴＭＬ（HyperText Markup Language）形式で記述された当該対象アプリケーションの一覧ＬＴが表示されるアプリ一覧ページのデータを生成し、生成したページのリンク先を示す情報をユーザ端末１００に対して送信する。

[0210] 送客情報取得部２４３は、送客元アプリ１０から送客先アプリ２０に対する送客情報であって、リワードユーザＩＤ、送客元アプリ１０のアプリＩＤ、及び送客先アプリ２０のアプリＩＤを含む送客情報をユーザ端末１００から取得する。そして、送客情報取得部２４３は、取得した送客情報を送客情報管理部２２３に供給する。

[0211] インストール誘導指示部２４４は、送客情報取得部２４３が取得した送客情報に含まれる送客先アプリ２０のアプリＩＤに基づいて送客先アプリ２０をインストール可能な画面に誘導する指示情報をユーザ端末１００に送信する。例えば、インストール誘導指示部２４４は、送客先アプリ２０をインストール可能（ダウンロード可能）なストアサイトのストアページを表示するアプリケーションであるストア３０を起動させる指示情報をユーザ端末１００に送信する。

[0212] リワード処理部２４５は、ＣＰリワードに関する第１の報酬付与処理（ＣＰリワード処理）と、通常リワードに関する第２の報酬付与処理（通常リワード処理）とを実行する。

[0213] リワード処理部２４５は、インストール通知取得部２４１が送客先アプリ２０に対応するインストール通知情報を取得した場合、送客元アプリ１０から送客先アプリ２０に対する送客情報が送客情報記憶部２３７に記憶されているか否かを判定する。そして、リワード処理部２４５は、この送客情報が送客情報記憶部２３７に記憶されている場合には（即ち、送客先アプリ２０に対する送客情報の記録が送客情報管理部２２３において管理されていることを条件として）、送客先アプリ２０が相互送客システム５００により送客元アプリ１０から送客された対象アプリケーションであると判定し、ＣＰリ

ワード処理または通常リワード処理を実行する。ここで、リワード処理部２４５は、このＣＰリワード処理または通常リワード処理において、送客元アプリ１０においてユーザに報酬が付与されるように、送客元アプリ１０に対応するアプリサーバ３１０に対して報酬付与情報を送信する。前述したように、相互送客システム５００による送客処理を介さず単に対象アプリケーションがインストールされた場合でも、インストール通知情報は管理サーバ２００に対して送信される。そのため、送客先アプリ２０に対する送客情報の記録が送客情報管理部２２３において管理されていることを条件することで、単に送客先アプリ２０がインストールされた場合にＣＰリワードまたは通常リワードを付与することを防止することが可能となる。

[0214] 送客先アプリ２０が送客元アプリ１０との間でキャンペーンが設定されているとする。この場合には、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にインストールされたと判定され、且つ当該キャンペーンに対応して予め設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて送客先アプリ２０から報酬付与通知情報を取得したときに、当該取得した報酬付与通知情報に基づくＣＰリワード処理を実行する。一方、ユーザ端末１００で選択された送客先アプリ２０が送客元アプリ１０との間でキャンペーンが設定されていないとする。この場合には、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０がインストールされたと判定されたときに、通常リワード処理を実行する。

[0215] ここで、送客先アプリ２０が送客元アプリ１０との間でキャンペーンが設定されている特定アプリケーションである場合には、リワード処理部２４５は、インストール通知取得部２４１において送客先アプリ２０に対応するインストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内である場合に、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００にインストールされたと判定する。なお、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０が送客元アプリ１０との間でキャンペーンが設定されていたとしても、送客先アプリ２０がキャンペーン期間外にユーザ端末１００にインストールされ

た場合には、ＣＰリワード処理ではなく通常リワード処理を実行する。

[0216] 通常リワード処理では、リワード処理部２４５は、インストール通知取得部２４１が、送客先アプリ２０から取得したインストール通知情報に基づいて、取得したインストール通知情報に含まれるリワードユーザＩＤに関連付けられた送客元アプリ１０のアプリユーザＩＤを、インストール情報記憶部２３６を参照して取得する。そして当該アプリユーザＩＤ含む報酬付与情報を、送客元アプリ１０に対応するアプリサーバ３１０に送信する。

[0217] ＣＰリワード処理では、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０から取得した報酬付与通知情報に含まれるリワードユーザＩＤに関連付けられた送客元アプリ１０のアプリユーザＩＤを、インストール情報記憶部２３６を参照して取得する。そして、取得した報酬付与通知情報に基づいて当該アプリユーザＩＤ含む報酬付与情報を、送客元アプリ１０に対応するアプリサーバ３１０に送信する。また、リワード処理部２４５は、取得した報酬付与通知情報に含まれるキャンペーンＩＤや成果地点ＩＤ等を上述の報酬付与情報にさらに含めて送客元アプリ１０に対応するアプリサーバ３１０に送信してもよい。

[0218] また、リワード処理部２４５は、通常リワードの場合、送客情報記憶部２３７に記憶された送客情報の送客先アプリＩＤに対応する対象アプリケーションのインストール情報がインストール情報記憶部２３６に記憶されたときに、その送客情報に対応するリワード成立情報の新たなレコードを生成してリワード成立情報記憶部２３８に記憶させる。このとき、リワード処理部２４５は、リワード成立情報に含まれる成立状態（RewardStatus）にフラグ「０」（未通知）を設定する。

[0219] 一方、ＣＰリワードの場合、リワード処理部２４５は、例えば、送客情報記憶部２３７に記憶された送客情報の送客先アプリＩＤに対応する報酬付与通知情報をユーザ端末１００から取得したときに、その送客情報に対応するリワード成立情報の新たなレコードを生成してリワード成立情報記憶部２３８に記憶させる。このとき、リワード処理部２４５は、リワード成立情報に

含まれる成立状態（RewardStatus）にフラグ「０」（未通知）を設定する。

[0220] 例えば、ＣＰリワードの場合、リワード処理部２４５は、送客情報記憶部２３７に記憶された送客情報の送客先アプリＩＤに対応する報酬付与通知情報を、その送客情報に対応するキャンペーン期間内にユーザ端末１００から取得した場合に、その送客情報に対応するリワード成立情報の新たなレコードを生成してリワード成立情報記憶部２３８に記憶させる。なお、キャンペーンに報酬付与期間が設定されているときには、リワード処理部２４５は、送客情報記憶部２３７に記憶された送客情報の送客先アプリＩＤに対応する報酬付与通知情報を、その報酬付与期間内に送客先アプリ２０から報酬付与通知情報を取得した場合に、その送客情報に対応するリワード成立情報の新たなレコードを生成してリワード成立情報記憶部２３８に記憶させてもよい。

[0221] そして、リワード処理部２４５は、通常リワード処理およびＣＰリワード処理のいずれにおいても、リワード成立情報に対応する報酬付与情報の通知をアプリサーバ３１０（ゲームＡ）に送信したことに応じて、そのリワード成立情報の成立状態（RewardStatus）をフラグ「１」（通知済）に更新する。

[0222] 計時部２４６は、時刻を計時して現在日時を取得する。なお、計時部２４６は、現在日時データを提供する日時情報提供サーバ（不図示）からネットワークＮＷを介して現在日時を取得してもよい。例えば、リワード処理部２４５は、計時部２４６が計時した現在日時を示す情報に基づいて、現在日時がキャンペーン期間内であるか否か、または報酬付与期間内であるか否かなどを判定する。なお、記憶部２３０に記憶して管理される各種情報記憶部（２３１～２３８）には、レコードが生成された日時を示すデータ登録日時と、生成されたレコードの一部を更新した日時を示すデータ更新日時を各レコードに記憶するようにしてもよい。例えば、インストール情報記憶部２３６で記憶するデータ登録日時には、計時部２４６が計時したユーザ端末１００から取得したインストール情報を取得した日時が記録され、ユーザ端末１０

０で当該インストール情報に対応したアプリケーションがインストールした日時を示すデータとなる。

[0223] 〔相互送客処理の動作の詳細〕

次に、図１４および図１５を参照して、本実施形態による相互送客システム５００の相互送客処理の動作の詳細について説明する。図１４及び図１５は、本実施形態による相互送客処理の動作の一例を示すフローチャートである。この図１４及び図１５に示す処理は、図４を参照して説明した概略処理の流れの詳細例を示すものである。

[0224] まず、図１４を参照して、ユーザ端末１００にインストールされている送客元アプリ１０（ゲームＡ）側の処理について説明する。すなわち、図４に示す送客元アプリ１０（ゲームＡ）がインストールされた後にＳＤＫ１１Ａが実行する処理（（１）の処理）から、管理サーバ２００が送客先アプリ２０（ゲームＢ）をインストール可能な画面に誘導する指示情報をユーザ端末１００に送信する処理（（６）の処理）までの詳細例を説明する。

[0225] ユーザ端末１００に送客元アプリ１０（ゲームＡ）がインストールされた場合、送客元アプリ１０（ゲームＡ）に組み込まれているＳＤＫ１１Ａの初期化処理部１０１は、初回起動時のみに実行する処理として、送客元アプリ１０のアプリＩＤ（ApID）と、送客元アプリ１０において登録されたユーザＸのアプリユーザＩＤ（ApUID）と、キャンペーンが設定されている場合にはキャンペーンＩＤ（CpID）とを、送客元アプリ１０（ゲームＡ）から取得する（ステップＳＡ１１）。

[0226] 次に、ＳＤＫ１１Ａの初期化処理部１０１は、ＳＤＫ１１Ａの初期化処理を実行する。まず、初期化処理部１０１は、初期化処理において、初期化処理済みであるか否かを判定する（ステップＳＡ１２）。初期化処理済みであると判定された場合（ステップＳＡ１２：ＹＥＳ）、初期化処理部１０１は、その後の初期化処理を実行しないで終了し、ステップＳＡ１７に処理を進める。一方、初期化処理済みでないと判定された場合（ステップＳＡ１２：ＮＯ）、固有識別情報取得部１０２は、端末記憶部１４０を参照して、リワ

ードユーザＩＤが取得済みであるか否かを判定する（ステップＳＡ１３）。このリワードユーザＩＤが取得済みであるか否かを判定は、ユーザ端末１００にインストールされたいずれの対象アプリケーションからも参照可能なように端末記憶部１４０のアプリ間共有エリアにリワードユーザＩＤが記憶されているか否かで判定される。

[0227] リワードユーザＩＤが取得済みであると判定された場合（ステップＳＡ１３：ＹＥＳ）、ＳＤＫ１１Ａの固有識別情報取得部１０２は、端末記憶部１４０からリワードユーザＩＤを読み出し、ステップＳＡ１６に処理を進める。

[0228] 一方、リワードユーザＩＤが取得済みでないと判定された場合（ステップＳＡ１３：ＮＯ）、固有識別情報取得部１０２は、ユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤ（相互送客システム５００においてユニークなＩＤ）を生成して取得する（ステップＳＡ１４）。

[0229] 次に、固有識別情報取得部１０２は、取得したリワードユーザＩＤを、端末記憶部１４０のアプリ間共有エリアに記憶させる（ステップＳＡ１５）。

[0230] 続いて、ＳＤＫ１１Ａのインストール通知部１０３は、送客元アプリ１０（ゲームＡ）がユーザ端末１００にインストールされたことを示すインストール通知情報を、管理サーバ２００に対して送信する（ＲＥＱ１１、ステップＳＡ１６）。ここでインストール通知情報には、このユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤ（RewardUID）と、インストールされた送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）と、この送客元アプリ１０（ゲームＡ）において登録されたユーザＸのアプリユーザＩＤ（ApUID）とが含まれる。

[0231] 次に、管理サーバ２００のインストール通知取得部２４１は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）から送信されたインストール通知情報を取得する。そして、インストール通知取得部２４１は、インストール通知情報を取得したことを示す応答情報（通知結果）を、当該ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）に対して送信する（ＲＥＳ１１）。また、管理サーバ２００のインスト

ール情報管理部２２２は、インストール通知取得部２４１が取得したインストール通知情報に含まれるリワードユーザＩＤ（RewardUID）と、送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）と、送客元アプリ１０（ゲームＡ）におけるユーザＸのアプリユーザＩＤ（ApUID）とを関連付けて、インストール情報としてインストール情報記憶部２３６に記憶させる（ステップＳＥ１１）。

[0232] ＳＤＫ１１Ａの初期化処理部１０１は、管理サーバ２００から送信された応答情報（通知結果）を取得すると、初期化済みを示すフラグを設定して初期化処理を終了する（ステップＳＡ１７）。

[0233] 次に、ユーザ端末１００において動作している送客元アプリ１０（ゲームＡ）に対してユーザＸが、ユーザ端末１００にインストール可能な対象アプリケーションのアプリケーションリストを取得するための入力部１１０に対する所定の操作（第１の操作）を行ったとする。

この送客元アプリ１０における所定の操作（第１の操作）に基づいて、ＳＤＫ１１Ａのリスト要求部１０４は、端末記憶部１４０のアプリ間共有エリアからリワードユーザＩＤを読み出すとともに（ステップＳＡ２３）、複数の対象アプリケーションの少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリスト（送客先アプリ２０の候補となる対象アプリケーションの情報）を要求するリスト要求通知情報を管理サーバ２００に対して送信する（ＲＥＱ１２、ステップＳＡ２４）。

ここでリスト要求通知情報には、このユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤ（RewardUID）と、送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）と、キャンペーンＩＤ（CpID）とが含まれる。なお、送客元アプリ１０（ゲームＡ）にキャンペーンが設定されていない場合にはキャンペーンＩＤ（CpID）には「ｎｕｌｌ」が設定される。また、リスト要求通知情報にキャンペーンＩＤ（CpID）を含めなくても、キャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５とキャンペーン情報記憶部２３４とを参照して、送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）に基づいて、送客元アプリ１０（ゲー

ムＡ）がキャンペーンを実施しているか否か、及びキャンペーンを実施している場合には対応するキャンペーンＩＤ（CpID）を管理サーバ２００内で取得することも可能である。

[0234] 管理サーバ２００のリスト通知部２４２は、ユーザ端末１００（送客元アプリ１０のＳＤＫ１１Ａ）から送信されたリスト要求通知情報を取得すると、取得したリスト要求通知情報に基づいて、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない（即ち、ユーザ端末１００にインストールされていない）少なくとも一の対象アプリケーションを抽出する。具体的には、リスト通知部２４２は、インストール情報記憶部２３６に記憶されているインストール情報において、取得したリスト要求通知情報に含まれるリワードユーザＩＤ（RewardUID）に関連付けられているアプリＩＤを、対象アプリ情報記憶部２３１に管理されている対象アプリケーションのアプリＩＤから除くことにより（フィルタリング）、ユーザ端末１００にインストールされていない少なくとも一の対象アプリケーションを抽出する（ステップＳＥ１５）。なお、リスト通知部２４２は、リスト要求通知情報に含まれる送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）と、キャンペーンＩＤ（CpID）とに基づいて、ユーザ端末１００にインストールされていない対象アプリケーションの中から、さらに送客元アプリ１０（ゲームＡ）との間でキャンペーンが設定されている特定アプリケーションのみを抽出してもよい。なお、ユーザ端末１００にインストールされていない対象アプリケーション（特定アプリケーション）が存在せずに抽出できない場合があり得る。

[0235] なお、このリスト要求通知情報の取得に応じてリスト通知部２４２がユーザ端末１００に対して送信するアプリケーションリストに含める対象アプリケーションをフィルタリングするフィルタ処理はアプリ間フィルタ記憶部２３３に記憶されている条件（フィルタ情報）に基づいて行うこともできる。このフィルタ処理については、第２の実施形態で説明する。

[0236] 次に、リスト通知部２４２は、抽出した対象アプリケーションのアプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザ端末１０

０において表示するためのアプリ一覧ページのデータを生成し（ステップＳＥ１６）、生成したアプリ一覧ページに対応したリダイレクト指示情報をユーザ端末１００に対して送信し、アプリ一覧ページにリダイレクトさせる（ＲＥＳ１２、ステップＳＥ１７）。なお、ユーザ端末１００にインストールされていない対象アプリケーション（特定アプリケーション）が存在しなかった場合には、対象アプリケーションの一覧ＬＴの替わりに対象アプリケーション（特定アプリケーション）が存在しない旨を記載したアプリ一覧ページを生成する。

[0237] ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）が、管理サーバ２００からアプリ一覧ページに対応したリダイレクト指示情報を取得すると、ＳＤＫ１１Ａの表示制御部１０５は、ブラウザ機能によりアプリ一覧ページを表示部１２０に表示させる（ステップＳＡ２５）。

ここで、表示制御部１０５は、それまで表示部１２０に表示させていた送客元アプリ１０（ゲームＡ）の表示画面にオーバーラップさせて、このアプリ一覧ページを表示させる。これにより、ユーザ端末１００の表示部１２０には、送客先アプリ２０として選択可能な対象アプリケーションの一覧ＬＴがアプリ一覧ページに表示される。

[0238] ユーザ端末１００の表示部１２０に表示された対象アプリケーションの一覧ＬＴの中からいずれかの対象アプリケーションがユーザＸにより選択されると、ＳＤＫ１１Ａの送客情報通知部１０６は、送客元アプリ１０（ゲームＡ）から、選択された対象アプリケーション（ここでは、送客先アプリ２０（ゲームＢ））へ送客されたことを示す送客情報を管理サーバ２００に対して送信する（ＲＥＱ１３、ステップＳＡ２６）。ここで、送客情報には、送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）と、送客先アプリ２０（ゲームＢ）のアプリＩＤ（ApID）と、リワードユーザＩＤ（RewardUID）と、キャンペーンＩＤ（CpID）とが含まれる。なお、送客元アプリ１０（ゲームＡ）と送客先アプリ２０（ゲームＢ）とにキャンペーンが設定されていない場合にはキャンペーンＩＤ（CpID）には「ｎｕｌｌ」が設定される。なお、

キャンペーンＩＤ（CpID）をユーザ端末１００から取得せずに、送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）に基づいて、管理サーバ２００内で取得することも可能である。

なお、ＳＤＫ１１Ａの表示制御部１０５は、送客先アプリ２０（ゲームＢ）が選択されると、ステップＳＡ２５において表示部１２０に表示されたアプリ一覧ページを閉じて、送客元アプリ１０（ゲームＡ）の表示画面に戻す。

[0239] 管理サーバ２００の送客情報取得部２４３は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）から送客情報を取得する。そして、送客情報管理部２２３は、送客情報取得部２４３が取得した送客情報に含まれる送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）と、送客先アプリ２０（ゲームＢ）のアプリＩＤ（ApID）と、リワードユーザＩＤ（RewardUID）と、キャンペーンＩＤ（CpID）とを関連付けて送客情報の記録として送客情報記憶部２３７に記憶させる（ステップＳＥ１８）。

[0240] 続いて、管理サーバ２００のインストール誘導指示部２４４は、送客情報取得部２４３が取得した送客情報に含まれる送客先アプリ２０（ゲームＢ）のアプリＩＤに基づいて送客先アプリ２０をインストール可能な画面に誘導する指示情報をユーザ端末１００に送信する。例えば、インストール誘導指示部２４４は、送客先アプリ２０（ゲームＢ）をインストール可能（ダウンロード可能）なストアサイトのストアページを表示するアプリケーションであるストア３０を起動させる指示情報をユーザ端末１００に送信する（ステップＳＥ１９）。

[0241] ユーザ端末１００は、管理サーバ２００からストア３０を起動させる指示情報を取得すると、ストア３０を起動して、送客先アプリ２０（ゲームＢ）をインストール可能（ダウンロード可能）なストアサイトのストアページを表示部１２０に表示させる（ステップＳＣ１１）。ここで、ユーザ端末１００は、それまで表示部１２０に表示させていた送客元アプリ１０（ゲームＡ）の表示画面にオーバーラップさせて、このストアページを表示部１２０に

表示させる。

[0242] このストア３０に表示されたストアページから、ユーザＸの操作により送客先アプリ２０（ゲームＢ）がユーザ端末１００にダウンロードされてインストールされた後、引き続きユーザＸの操作によりインストールされた送客先アプリ２０（ゲームＢ）が起動する。

[0243] 次に図１５を参照して、ユーザ端末１００にインストールされた送客先アプリ２０（ゲームＢ）が起動した後の処理について説明する。すなわち、図４に示す送客先アプリ２０（ゲームＢ）がインストールされた後にＳＤＫ１１Ｂが実行する処理（（８）の処理）から、管理サーバ２００が送客元アプリ１０（ゲームＡ）に対応するアプリサーバ３１０（ゲームＡ）に対して報酬付与情報を送信する処理（（１１）の処理）までの詳細例を説明する。なお、ユーザ端末１００に送客先アプリ２０（ゲームＢ）がインストールされた場合には、図１４を参照して説明した、送客元アプリ１０（ゲームＡ）がインストールされた場合の初回起動時の処理と初期化処理と同様の処理が行なわれる。

[0244] まず、送客先アプリ２０（ゲームＢ）に組み込まれているＳＤＫ１１Ｂの初期化処理部１０１は、初回起動時のみに実行する処理として、送客先アプリ２０のアプリＩＤ（ApID）と、送客先アプリ２０において登録されたユーザＸのアプリユーザＩＤ（ApUID）と、キャンペーンが設定されている場合にはキャンペーンＩＤ（CpID）とを、送客先アプリ２０（ゲームＢ）から取得する（ステップＳＢ１１）。

[0245] 次に、ＳＤＫ１１Ｂの初期化処理部１０１は、ＳＤＫ１１Ｂの初期化処理を実行する。初期化処理部１０１は、初期化処理済みであるか否かを判定し（ステップＳＢ１２）、初期化処理済みであると判定された場合（ステップＳＢ１２：ＹＥＳ）には初期化処理を終了し、初期化処理済みでないと判定された場合（ステップＳＢ１２：ＮＯ）には、ＳＤＫ１１Ｂの固有識別情報取得部１０２の処理に進む。ここで、このユーザ端末１００のリワードユーザＩＤは、既に取得済みであるため、続けてステップＳＢ１６のインストー

ル通知の処理に進む。

[0246] ＳＤＫ１１Ｂのインストール通知部１０３は、送客先アプリ２０（ゲームＢ）がユーザ端末１００にインストールされたことを示すインストール通知情報を、管理サーバ２００に対して送信する（ＲＥＱ１４、ステップＳＢ１６）。ここでインストール通知情報には、このユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤ（RewardUID）と、インストールされた送客先アプリ２０（ゲームＢ）のアプリＩＤ（ApID）と、この送客先アプリ２０（ゲームＢ）において登録されたユーザＸのアプリユーザＩＤ（ApUID）とが含まれる。

[0247] 次に、管理サーバ２００のインストール通知取得部２４１は、ステップＳＥ１１の処理と同様に、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ｂ）から送信されたインストール通知情報を取得する。そして、インストール通知取得部２４１は、インストール通知情報を取得したことを示す応答情報（通知結果）を、当該ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ｂ）に対して送信する（ＲＥＳ１４）。また、管理サーバ２００のインストール情報管理部２２２は、インストール通知取得部２４１が取得したインストール通知情報に含まれるリワードユーザＩＤ（RewardUID）と、送客先アプリ２０（ゲームＢ）のアプリＩＤ（ApID）と送客先アプリ２０（ゲームＢ）におけるユーザＸのアプリユーザＩＤ（ApUID）とを関連付けて、インストール情報としてインストール情報記憶部２３６に記憶させる（ステップＳＥ２１）。

ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ｂ）は、管理サーバ２００から応答情報（通知結果）を取得すると、ステップＳＡ２２の処理同様に、初期化済みを示すフラグを設定して初期化処理を終了する（ステップＳＢ１７）。

[0248] 次に、インストール通知取得部２４１が送客先アプリ２０に対応するインストール通知情報を取得したことにより、リワード処理部２４５は、送客元アプリ１０（ゲームＡ）から送客先アプリ２０（ゲームＢ）に対する送客情報が送客情報記憶部２３７に記憶されているか否かを判定する。そして、リワード処理部２４５は、この送客情報が送客情報記憶部２３７に記憶されている場合には（即ち、送客先アプリ２０に対する送客情報の記録が送客情報

管理部２２３において管理されていることを条件として）、送客先アプリ２０が相互送客システム５００により送客元アプリ１０から送客された対象アプリケーションであると判定し、ＣＰリワード処理または通常リワード処理を実行する。ここでは、ステップＳＥ１８の処理において、送客情報記憶部２３７に記憶された送客情報の記録により、送客先アプリ２０が相互送客システム５００により送客元アプリ１０から送客された対象アプリケーションであると判定される。

[0249] 続いて、リワード処理部２４５は、インストール通知取得部２４１において送客先アプリ２０（ゲームＢ）に対応するインストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内であるか否かを判定する（ステップＳＥ２２）。

[0250] 例えば、送客先アプリ２０（ゲームＢ）が送客元アプリ１０（ゲームＡ）との間でキャンペーンが設定されている特定アプリケーションである場合には、リワード処理部２４５は、キャンペーン情報記憶部２３４を参照して、インストール通知情報を取得したタイミング（インストール通知情報を取得したときの計時部２４６が計時した日時）が、当該キャンペーンのキャンペーン期間内であるか否かを判定する。

[0251] このステップＳＥ２２において、インストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内であると判定された場合（ステップＳＥ２２：ＹＥＳ）、リワード処理部２４５は、ユーザ端末１００の送客先アプリ２０のＳＤＫ１１Ｂからから報酬付与通知情報を取得したことに基づいてＣＰリワード処理を実行する。

[0252] 一方、このステップＳＥ２２において、インストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内でないと判定された場合（ステップＳＥ２２：ＮＯ）、リワード処理部２４５は、通常リワード処理を実行する。なお、送客先アプリ２０（ゲームＢ）が送客元アプリ１０（ゲームＡ）との間でキャンペーンが設定されていない対象アプリケーションである場合にも、このステップＳＥ２２において、インストール通知情報を取得したタイミング

がキャンペーン期間内でないと判定され（ステップＳＥ２２：ＮＯ）、リワード処理部２４５は、通常リワード処理を実行する。

[0253] まず、通常リワード処理の動作について説明する。ステップＳＥ２２において、インストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内でないと判定された場合（ステップＳＥ２２：ＮＯ）、リワード処理部２４５は、インストール通知取得部２４１が送客先アプリ２０からのインストール通知情報を取得し、且つ、送客先アプリ２０に対する送客情報の記録が送客情報管理部２２３において管理されていることに基づいて、当該送客情報に記憶されたリワード管理ＩＤに関連付けて、成果地点ＩＤ（RewardSpotID）を「ｎｕｌｌ」とし、成立状態（RewardStatus）をフラグ「０」（未通知）とするリワード成立情報を生成し、リワード成立情報記憶部２３８に記憶させる（ステップＳＥ２３）。

[0254] 次に、リワード処理部２４５は、生成したリワード成立情報に関連付けられたリワード管理ＩＤに対応した送客情報を、送客情報管理部２２３を参照して取得する。そして、リワード処理部２４５は、その送客情報に含まれる送客元アプリ１０（ゲームＡ）に対応するアプリサーバ３１０（ゲームＡ）に対して、送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリユーザＩＤ（ApUID）を含む報酬付与情報（通常リワード成立を示す情報）を送信する（ステップＳＥ２４）。なお、送信先となるアプリサーバ３１０（ゲームＡ）は、対象アプリ情報記憶部２３１に記憶されたアプリサーバ３１０（ゲームＡ）に対応する通知先ＵＲＬ（NoticeURL）で示される。

[0255] 次に、リワード処理部２４５は、送信した報酬付与情報に対応したリワード成立情報の成立状態（RewardStatus）をフラグ「１」（通知済み）として更新する。

[0256] アプリサーバ３１０（ゲームＡ）は、管理サーバ２００から通常リワードによる報酬付与情報（通常リワード成立を示す情報）を受信すると（ステップＳＦ２１）、当該報酬付与情報に含まれるアプリユーザＩＤ（ユーザＸのアプリユーザＩＤ）に対して、予め設定された通常リワードの報酬を付与す

る（ステップＳＦ２２）。

[0257] 次に、ＣＰリワード処理の動作について説明する。ステップＳＥ２２において、インストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内であると判定された場合（ステップＳＥ２２：ＹＥＳ）、リワード処理部２４５は、ユーザ端末１００の送客先アプリ２０のＳＤＫ１１Ｂから報酬付与通知情報を取得したことに基づいてＣＰリワード処理を実行する。

[0258] ユーザ端末１００においては、送客先アプリ２０（ゲームＢ）をユーザＸがプレイしてゲームを進行させる（ステップＳＤ１１）。そして、送客先アプリ２０（ゲームＢ）は、キャンペーンに対応して予め設定された報酬付与条件を充足したか否か（ＣＰリワードの成果地点に到達したか否か）を判定する（ステップＳＤ１２）。なお、このステップＳＤ１１及びステップＳＤ１２の処理は、ＳＤＫ１１Ｂが実行する処理ではなく送客先アプリ２０（ゲームＢ）が実行する処理である。

[0259] 送客先アプリ２０（ゲームＢ）のゲームの進行に応じて、キャンペーンに対応して予め設定された報酬付与条件を充足した（ＣＰリワードの成果地点に到達した）と判定されたとする（ステップＳＤ１２：ＹＥＳ）。

[0260] この場合、送客先アプリ２０（ゲームＢ）は、到達した成果地点に対応した成果地点ＩＤ（RewardSpotID）をＳＤＫ１１Ｂに通知する。通知を受けたＳＤＫ１１Ｂの報酬付与通知部１０７は、端末記憶部１４０のアプリ間共有エリアからリワードユーザＩＤを読み出し（ステップＳＢ３１）、読み出したリワードユーザＩＤ（RewardUID）、送客先アプリ２０（ゲームＢ）のアプリＩＤ（ApID）、キャンペーンＩＤ（CpID）、及び送客先アプリ２０（ゲームＢ）から取得した成果地点ＩＤ（RewardSpotID）を含む報酬付与通知情報（成果地点到達通知）を管理サーバ２００に対して送信する（ＲＥＱ１５、ステップＳＢ３２）。なお、成果地点が複数ある場合には、ステップＳＤ１１、ＳＤ１２の処理に戻り、成果地点に到達する毎に、送客先アプリ２０（ゲームＢ）は到達した成果地点に対応した成果地点ＩＤ（RewardSpotID）をＳＤＫ１１Ｂに通知する。そして、ＳＤＫ１１Ｂの報酬付与通知部１０７は

、報酬付与通知情報（成果地点到達通知）を管理サーバ２００に対して送信する。

[0261] 管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ｂ）から送信された報酬付与通知情報（成果地点到達通知）を取得し、且つ、送客先アプリ２０に対する送客情報の記録が送客情報管理部２２３において管理されていることに基づいて、当該送客情報に対応したリワード管理ＩＤに関連付けて、取得した報酬付与通知情報に含まれる成果地点ＩＤ（RewardSpotID）を設定し、成立状態（RewardStatus）をフラグ「０」（未通知）とするリワード成立情報を生成し、リワード成立情報記憶部２３８に記憶させる（ステップＳＥ２５）。

[0262] 次に、リワード処理部２４５は、生成したリワード成立情報に関連付けられたリワード管理ＩＤに対応した送客情報を、送客情報管理部２２３を参照して取得する。そして、その送客情報に含まれる送客元アプリ１０（ゲームＡ）に対応するアプリサーバ３１０（ゲームＡ）に対して、送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリユーザＩＤ（ApUID）、キャンペーンＩＤ（CpID）、及び成果地点ＩＤ（RewardSpotID）を含む報酬付与情報（ＣＰリワード成立を示す情報）を送信する（ステップＳＥ２６）。

[0263] 次に、リワード処理部２４５は、送信した報酬付与情報に対応したリワード成立情報の成立状態（RewardStatus）をフラグ「１」（通知済）として更新する。

[0264] なお、成果地点が複数ある場合には、リワード処理部２４５は、報酬付与通知情報（成果地点到達通知）を取得する毎に、送客情報管理部２２３に記録された送客情報に対応したリワード管理ＩＤに関連付けて、成立状態（RewardStatus）のフラグ「０」（未通知）とするリワード成立情報を生成し、リワード成立情報記憶部２３８に記憶させる。そして、リワード処理部２４５は、それぞれの報酬付与通知情報（成果地点到達通知）に基づく報酬付与情報（ＣＰリワード成立を示す情報）を、送客元アプリ１０（ゲームＡ）に対応するアプリサーバ３１０（ゲームＡ）に送信する。そして、送信した報酬

付与情報に対応したリワード成立情報の成立状態（RewardStatus）をフラグ「１」（通知済み）として更新する。

[0265] アプリサーバ３１０（ゲームＡ）は、管理サーバ２００からＣＰリワードによる報酬付与情報（ＣＰリワード成立を示す情報）を受信すると（ステップＳＦ３１）、当該報酬付与情報に含まれるアプリユーザＩＤ（ユーザＸのアプリユーザＩＤ）に対して、キャンペーンに対応して予め設定されたＣＰリワードの報酬を付与する（ステップＳＦ３２）。

[0266] 〔第１の実施形態のまとめ〕

（１）以上説明してきたように、本実施形態の相互送客システム５００において、管理サーバ２００（管理装置の一例）は、アプリケーション管理部２２１と、インストール通知取得部２４１と、リスト通知部２４２と、リワード処理部２４５と、を備えている。

アプリケーション管理部２２１は、管理の対象となる複数の対象アプリケーション（本システムに対応するアプリケーション）のうちの複数の特定アプリケーションに対して設定されたキャンペーン期間（第１の期間の一例）を有するキャンペーン（イベントの一例）を管理する。インストール通知取得部２４１は、複数の対象アプリケーションのうちリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）で特定されるユーザ端末１００（端末装置の一例）にインストールされた対象アプリケーションの当該インストールされたことを示すインストール通知情報を当該対象アプリケーションから取得する。リスト通知部２４２は、複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーション（第１アプリケーションの一例、送客元アプリ１０）からの要求に基づいて、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信する。

ここで、リスト通知部２４２が通知したアプリケーションリストに含まれる一または複数の対象アプリケーションからユーザ端末１００で選択された対象アプリケーション（第２アプリケーションの一例、送客先アプリ２０）

が送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）との間でキャンペーンが設定されているとする。この場合には、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がキャンペーン期間内にインストールされたと判定され、且つ当該キャンペーンに対応して予め設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて送客先アプリ２０から当該報酬付与条件が充足されたことを示す報酬付与通知情報を取得したときに、当該取得した報酬付与通知情報に基づくＣＰリワード処理（第１の報酬付与処理の一例）を実行する。

一方、ユーザ端末１００で選択された送客先アプリ２０が送客元アプリ１０との間でキャンペーンが設定されていないとする。この場合には、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０がインストールされたと判定されたときに、通常リワード処理（第２の報酬付与処理の一例）を実行する。

[0267] なお、管理サーバ２００のリスト通知部２４２は、複数の特定アプリケーションのうちユーザ端末１００にインストールされている特定アプリケーション（第１アプリケーションの一例、送客元アプリ１０）からの要求に基づいて、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信してもよい。

そして、リワード処理部２４５は、アプリケーションリストに含まれる一または複数の特定アプリケーションからユーザ端末１００で選択された特定アプリケーション（第２アプリケーションの一例、送客先アプリ２０）がキャンペーン期間内にインストールされたと判定され、且つ当該キャンペーンに対応して予め設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、送客先アプリ２０から当該報酬付与条件が充足されたことを示す報酬付与通知情報を取得した場合に、当該取得した報酬付与通知情報に基づくＣＰリワード処理を実行してもよい。

[0268] これにより、送客元アプリ１０が特定アプリケーションである場合には、管理サーバ２００は、この送客元アプリ１０との間でキャンペーンが設定さ

れている特定アプリケーションを少なくとも含むアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信することができる。なお、管理サーバ２００は、送客元アプリ１０との間でキャンペーンが設定されている特定アプリケーションのみのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信してもよい。そして、管理サーバ２００は、互いにキャンペーンが設定された送客元アプリ１０から送客先アプリ２０に対する送客が成立した場合にＣＰリワード処理する。このＣＰリワード処理では、通常リワード処理と異なり、キャンペーンに対応して予め設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて報酬が付与されることになるため、単に送客先アプリ２０がインストールされただけではなく、送客先アプリ２０の利用を条件に報酬を付与することができる。

[0269] つまり、本実施形態の相互送客システム５００は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションがＣＰリワード処理だけを実行するものでもよいし、管理の対象となる複数の対象アプリケーションがＣＰリワード処理と通常リワード処理の両方を実行するものでもよい。ＣＰリワード処理だけを実行する相互送客システム５００であれば、リスト通知部２４２がユーザ端末１００に対して送信するアプリケーションリストに含まれるのは一または複数の特定アプリケーションである。一方、ＣＰリワード処理と通常リワード処理の両方を実行する相互送客システム５００であれば、リスト通知部２４２がユーザ端末１００に対して送信するアプリケーションリストに含まれるのは一または複数の対象アプリケーションである。当該対象アプリケーションには特定アプリケーションも含まれる。

[0270] なお、相互送客システム５００では、一度インストールされた対象アプリケーションがアンインストールされた後に、再びインストールされた場合には、管理サーバ２００に当該対象アプリケーションの最初にインストールされたときのインストール情報が管理されていることによりインストールされたことがあることを特定することができる。そのため、本システムでは、この対象アプリケーションが再びインストールされた場合に、通常リワード処

理またはＣＰリワード処理の対象とならないようにすることができる。

[0271] （２）本実施形態の相互送客システム５００において、ユーザ端末１００は、上述の管理サーバ２００と通信可能な端末装置である。ここで、上述の管理サーバ２００は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに含まれる複数の特定アプリケーションに対して設定されたキャンペーン期間（第１の期間の一例）を有するキャンペーン（イベントの一例）を管理する。また、管理サーバ２００は、リワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）で特定されるユーザ端末１００からキャンペーン期間に通知される、一の特定アプリケーションから他の特定アプリケーションに対する送客情報であって、当該一の特定アプリケーションを示す送客元情報、当該他の特定アプリケーションを示す送客先情報、及びユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）を関連付けた送客情報を管理する。また、管理サーバ２００は、管理されている送客先情報に基づいた送客先情報に対応するアプリケーションがインストールされ、且つイベントに対応して予め設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて所定の報酬付与通知情報を受信した場合に送客元情報に対応するアプリケーションに対してキャンペーンに対応する報酬付与情報を送信する。

ユーザ端末１００は、インストール通知部１０３と、リスト要求部１０４と、送客情報通知部１０６とを備えている。

インストール通知部１０３は、ユーザ端末１００（自端末装置の一例）にインストールされた特定アプリケーションの当該インストールされたことを示すインストール通知情報であって、当該特定アプリケーションのアプリＩＤ（識別情報の一例）と、ユーザ端末１００のリワードユーザＩＤとを含むインストール通知情報を管理サーバ２００に対して送信する。リスト要求部１０４は、第１の操作に基づいて、複数の特定アプリケーションの少なくとも一の特定アプリケーションのアプリケーションリストを要求するリスト要求通知情報であって、動作している特定アプリケーション（送客元アプリ１０の一例）のアプリＩＤを示す送客元情報と、ユーザ端末１００に対応する

リワードユーザＩＤとを含むリスト要求通知情報を管理サーバ２００に対して送信する。送客情報通知部１０６は、キャンペーン期間に第２の操作に基づいて、動作している特定アプリケーション（送客元アプリ１０の一例）のアプリＩＤを示す送客元情報、当該特定アプリケーションで選択された特定アプリケーション（送客先アプリ２０の一例）のアプリＩＤを示す送客先情報、及びユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤを含む送客情報を管理サーバ２００に対して送信する。

[0272] また、本実施形態のユーザ端末１００は、報酬付与通知部１０７を備えている。例えば、上述したように、報酬付与通知部１０７は、キャンペーンに対応して予め設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、当該報酬付与条件を充足した特定アプリケーションのアプリＩＤを示す送客先情報と、ユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤとを含む報酬付与通知情報を、管理サーバ２００に対して送信する。なお、ユーザ端末１００は、報酬付与通知部１０７を備えていない構成としてもよい、その場合、アプリサーバ３００が、キャンペーンに対応して予め設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、報酬付与通知情報を管理サーバ２００に対して送信してもよい。このアプリサーバ３００が報酬付与通知情報を管理サーバ２００に対して送信する場合の処理については、後述の変形例の（３）にて説明する。

[0273] このように、本実施形態の相互送客システム５００では、相互送客システム５００に対応する対象アプリケーションに含まれる複数の特定アプリケーションに設定されたキャンペーンを管理する管理サーバ２００と、この管理サーバ２００と通信可能なユーザ端末１００とにより、ユーザ端末１００において、一の特定アプリケーション（送客元アプリ１０の一例）から他の特定アプリケーション（送客先アプリ２０の一例）がインストールされるように、他の特定アプリケーション（送客先アプリ２０の一例）に対する送客を行うことができる。また、相互送客システム５００では、ユーザ端末１００を一意に識別可能なリワードユーザＩＤを用いることにより、一つのユーザ

端末１００にインストールされた複数のアプリケーションにおいて登録されたユーザ情報（アプリユーザＩＤの一例）が異なる場合であっても、アプリケーション間の相互送客処理やリワード処理を容易に行うことができる。さらに、相互送客システム５００では、送客が成立した際に、通常リワードまたはＣＰリワードにより報酬が付与されるため、報酬を得たいユーザにとって新なアプリケーションを購入する動機付けとなる。これにより、アプリケーションの販売の促進に繋げることが可能となる。

したがって、本実施形態によれば、アプリケーション間の相互送客の利便性を向上させることができる。

[0274] （３）上述のインストール通知部１０３の機能と、リスト要求部１０４の機能と、送客情報通知部１０６の機能と、報酬付与通知部１０７の機能とが、複数の対象アプリケーションのそれぞれに組み込まれたＳＤＫ１１（ソフトウェア）に基づいて実行される。例えば、送客元アプリ１０に組み込まれたＳＤＫ１１Ａが、インストール通知部１０３の機能と、リスト要求部１０４の機能と、送客情報通知部１０６の機能とを実行し、送客先アプリ２０に組み込まれたＳＤＫ１１Ｂが、インストール通知部１０３の機能と、報酬付与通知部１０７の機能とを実行する。なお、ＳＤＫ１１ＡとＳＤＫ１１Ｂとはそれぞれ同様の機能を有しており、送客元アプリ１０に組み込まれているか、または送客先アプリ２０に組み込まれているかに応じて対応する機能を実行する。

[0275] これにより、アプリケーションにＳＤＫ１１を組み込むことにより、本実施形態の相互送客システム５００に対応した対象アプリケーションとすることができる。よって、例えば、既存のアプリケーションやこれから開発するアプリケーションにおいても、ＳＤＫ１１を組み込み可能なようにアプリケーションのプログラムを更新または小変更すれば、当該アプリケーションを相互送客システム５００に対応した対象アプリケーションとすることができる。

[0276] （４）管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、アプリケーションリス

トに含まれる一または複数の対象アプリケーションからユーザ端末１００で選択された送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）が送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）との間でキャンペーン期間（第１の期間の一例）を有するキャンペーン（イベントの一例）が設定されている場合であっても、当該送客先アプリ２０がキャンペーン期間外にインストールされたと判定されたときは、通常リワード処理（第２の報酬付与処理の一例）を実行する。

[0277] これによれば、送客先アプリ２０が、送客元アプリ１０との間でキャンペーンが設定されていても、当該キャンペーンのキャンペーン期間外にインストールされた場合には、通常リワードとすることができる。即ち、送客先アプリ２０が、送客元アプリ１０との間でキャンペーンが設定されている場合、送客先アプリ２０がインストールされたタイミングが、キャンペーン期間内であればＣＰリワード、それ以外の期間であれば通常リワードとすることができる。

[0278] （５）管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、インストール通知取得部２４１において送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に対応するインストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内（第１の期間内の一例）である場合に、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００（端末装置の一例）にインストールされたと判定する。

[0279] これにより、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００から送信された送客先アプリ２０のインストール通知情報の取得タイミングにより、送客先アプリ２０がユーザ端末１００インストールされたタイミングがキャンペーン期間内であるか否かを判定することができる。

[0280] なお、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）から送客先アプリ２０に対する送客情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内である場合に、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００にインストールされたと判定するようにしてもよい。つまり、キャンペーン期間内に送客情報が記録されれば、

ユーザ端末１００から送信された送客先アプリ２０のインストール通知情報の取得タイミングがキャンペーン期間外であってもキャンペーン期間内にユーザ端末１００にインストールされたと見なすようにする。

[0281] （６）リワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）は、ユーザ端末１００に記憶されている。ユーザ端末１００は、インストールされた対象アプリケーションが複数の対象アプリケーションのうちの最初にユーザ端末１００（自端末装置の一例）にインストールされた対象アプリケーションである場合、リワードユーザＩＤを取得し、取得したリワードユーザＩＤを、ユーザ端末１００にインストールされたいずれの対象アプリケーションからも参照可能なように端末記憶部１４０（記憶部の一例）に記憶させる固有識別情報取得部１０２を備えている。

[0282] これにより、相互送客システム５００によれば、ユーザ端末１００が、初めて対象アプリケーションがインストールされたときに自動でリワードユーザＩＤを取得し、取得したリワードユーザＩＤをその後にインストールされる対象アプリケーションでも共通に利用可能とするため、ユーザに特別な操作をさせることなくリワードユーザＩＤが取得されて本システムを利用可能とすることができる。

[0283] （７）具体的には、固有識別情報取得部１０２は、インストールされた対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされたときに、リワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）が端末記憶部１４０（記憶部の一例）に記憶されているか否かを判定し、リワードユーザＩＤが端末記憶部１４０に記憶されていないと判定した場合にリワードユーザＩＤを取得する。

これにより、ユーザ端末１００は、初めて対象アプリケーションがインストールされて起動したときにリワードユーザＩＤを取得することができる。

[0284] （８）インストール通知情報には、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）、及び当該インストール通知情報を送信した対象アプリケーションのアプリＩＤ（識別情報の一例）が含まれている。

ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）のインストール通知部１０３は、インストールされた対象アプリケーションがユーザ端末１００（自端末装置の一例）にインストールされたことを示すインストール通知情報であって、インストールされた対象アプリケーションのアプリＩＤ、及びリワードユーザＩＤを含むインストール通知情報を管理サーバ２００に対して送信する。

管理サーバ２００のインストール情報管理部２２２は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）から取得したインストール通知情報に含まれるリワードユーザＩＤ、及び対象アプリケーションのアプリＩＤを関連付けて管理する。

[0285] これにより、ユーザ端末１００に対象アプリケーションがインストールされた場合、管理サーバ２００は、インストールされた対象アプリケーションのアプリＩＤと、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤとを関連付けて管理することができる。よって、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００毎にインストールされている対象アプリケーションを特定することができる。

なお、本システムによらずに対象アプリケーションがインストールされた場合でも、管理サーバ２００は、インストールされた対象アプリケーションのアプリＩＤと、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤとを関連付けて管理しているので、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションを特定することができる。

[0286] （９）インストール通知情報には、さらにインストール通知情報を送信した対象アプリケーションのアプリユーザＩＤ（ユーザ情報の一例）が含まれてもよい。つまり、インストール通知取得部２４１は、アプリユーザ情報取得部として機能する。すなわち、管理サーバ２００は、リワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）と関連付けて対象アプリケーションのアプリユーザＩＤを取得するアプリユーザ情報取得部を備える。例えば、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）のインストール通知部１０３は、インストールされた対象アプリケーションをインストールしたユーザの当該インストールされた対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤをさらに含めたインストール通知

情報を、管理サーバ２００に対して送信する。管理サーバ２００は、インストール通知情報に含まれるアプリユーザＩＤを取得する。

また、対象アプリケーションによっては、ユーザ情報を登録するタイミングが、初めて起動したときだけでなく、例えばチュートリアルが終了したときなど、対象アプリケーションにより異なる場合がある。したがって、管理サーバ２００は、アプリユーザＩＤ（を、インストール通知情報以外の情報に含ませてユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）から取得するようにしてもよい。また、管理サーバ２００は、アプリユーザＩＤを、対象アプリケーションに対応したアプリサーバ３００から取得するようにしてもよい。

管理サーバ２００のインストール情報管理部２２２は、インストール通知情報に含まれるリワードユーザＩＤ、対象アプリケーションのアプリＩＤ（識別情報の一例）、及び対象アプリケーションの（における）アプリユーザＩＤを関連付けて管理する。ここで、インストール情報管理部２２２が管理するアプリユーザＩＤは、上述したように、管理サーバ２００が取得したインストール通知情報に含まれていたものでもよいし、インストール通知情報以外の情報に含まれていたものでもよい。

[0287] これにより、ユーザ端末１００に対象アプリケーションがインストールされた場合、管理サーバ２００は、インストールされた対象アプリケーションのアプリＩＤと、インストールされた対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤと、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤとを関連付けて管理することができる。即ち、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーション毎のアプリユーザＩＤをリワードユーザＩＤに関連付けて管理することができる。

[0288] （１０）管理サーバ２００のアプリケーション管理部２２１は、キャンペーン（イベントの一例）を示す情報とキャンペーンに関する情報を関連付けて、キャンペーン情報記憶部２３４またはキャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５に記憶させて管理する。

管理サーバ２００のリスト通知部２４２は、アプリケーション管理部２２

１が管理する上述の情報を参照して、アプリケーションリストに含まれる一または複数の特定アプリケーションに対応したキャンペーンに関する情報を送信する。

[0289] これにより、ユーザ端末１００は、管理サーバ２００から取得したアプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示部１２０に表示する際に、キャンペーンが設定されている特定アプリケーションにはそのキャンペーンに関する情報（キャンペーンの名称や説明、キャンペーン期間等）を対応付けて表示することができる。

[0290] （１１）管理サーバ２００のアプリケーション管理部２２１は、キャンペーン（イベントの一例）に関する情報として、ＣＰリワード（報酬の一例）を示す情報の掲載場所のリンク先を示す情報を含んで管理する。

管理サーバ２００のリスト通知部２４２は、アプリケーション管理部２２１が管理する上述の情報を参照して、キャンペーンに関する情報として、アプリケーションリストに含まれる一または複数の特定アプリケーションに対応した上述のリンク先を示す情報を送信する。

[0291] これにより、ユーザ端末１００は、管理サーバ２００から取得したアプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示部１２０に表示する際に、キャンペーンが設定されている特定アプリケーションにはそのキャンペーンのＣＰリワードを示す情報の掲載場所のリンク先を示す情報を対応付けて表示することができる。なお、ＣＰリワードを示す情報の掲載場所をリンク先としているのは、キャンペーン内容や時期に応じた多様な対応が可能なように、その掲載方法に自由度を持たせるためである。

[0292] （１２）具体的には、管理サーバ２００のアプリケーション管理部２２１（第１報酬情報管理部の一例）は、キャンペーン（イベントの一例）に対応して予め設定されたＣＰリワード（第１の報酬の一例）を示す情報の掲載場所のリンク先を示す情報をキャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５に記憶させて管理する。また、アプリケーション管理部２２１（第２報酬情報管理部の一例）は、複数の対象アプリケーションのそれぞれと通常リワード処理（

第２の報酬付与処理の一例）により付与される予め設定された通常リワードを示す情報とを対応付けた通常リワード情報を通常リワード情報記憶部２３２に記憶させて管理する。

そして、管理サーバ２００のリスト通知部は、複数の対象アプリケーションのうちの送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）との間でキャンペーンが設定されていない対象アプリケーションには通常リワードを示す情報が対応付けられて表示されるように、通常リワードを示す情報を含むアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信する。一方、リスト通知部は、複数の対象アプリケーションのうちの送客元アプリ１０との間でキャンペーンが設定されている対象アプリケーションには上述のリンク先を示す情報が対応付けられて表示されるように、当該リンク先を示す情報を含むアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信する。

[0293] これにより、ユーザ端末１００は、管理サーバ２００から取得したアプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示部１２０に表示する際に、キャンペーンが設定されていない対象アプリケーションには通常リワードを示す情報を表示し、キャンペーンが設定されている特定アプリケーションにはそのキャンペーンのＣＰリワード（報酬の一例）を示す情報の掲載場所のリンク先を示す情報を対応付けて表示することができる。

[0294] （１３）管理サーバ２００の送客情報取得部２４３は、送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）から送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に対する送客情報であって、リワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）、送客元アプリ１０のアプリＩＤ（識別情報の一例）、及び送客先アプリ２０のアプリＩＤ（識別情報の一例）を含む送客情報を取得する。送客情報取得部２４３が送客情報を取得すると、管理サーバ２００の送客情報管理部２２３は、当該取得した送客情報に含まれるリワードユーザＩＤ、送客元アプリ１０のアプリＩＤ、及び送客先アプリ２０のアプリＩＤを関連付けて送客情報の記録として送客情報記憶部２３７に記憶させて管理する。

そして、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、送客先アプリ２０

から報酬付与通知情報を取得した場合に、送客先アプリ２０に対する送客情報の記録が送客情報管理部２２３において管理されていることを条件として、通常リワード処理またはＣＰリワード処理（報酬付与処理の一例）を実行する。

[0295] これにより、相互送客システム５００は、本システムによらずに対象アプリケーションがインストールされた場合には送客情報の記録がないため、通常リワード及びＣＰリワードの対象としないようにすることができる。

[0296] （１４）管理サーバ２００のインストール誘導指示部２４４は、送客情報取得部２４３が取得した送客情報に含まれる送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）のアプリＩＤ（識別情報の一例）に基づいて送客先アプリ２０をインストール可能なストアページ（画面）に誘導する指示情報をユーザ端末１００に送信する。

[0297] これにより、ユーザ端末１００は、送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）から送客される対象アプリケーションが選択された場合に、選択された対象アプリケーションをインストール可能なストアページをユーザに特別な操作をさせることなく自動で表示することができる。

[0298] （１５）報酬付与通知情報には、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）、及び送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）のアプリＩＤ（識別情報の一例）が含まれている。

ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）の報酬付与通知部１０７は、上述の各情報を含む報酬付与通知情報を管理サーバ２００に対して送信する。

管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、ユーザ端末１００にインストールされた送客先アプリ２０から取得した報酬付与通知情報に基づいて、リワードユーザＩＤに関連付けられた送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）のアプリユーザＩＤ（ユーザ情報の一例）を含む報酬付与情報を、送客元アプリ１０に対応するアプリサーバ３１０（サーバ装置の一例）に送信する。

[0299] これにより、管理サーバ２００は、取得した報酬付与通知情報を送信した

ユーザ端末１００及び送客先アプリ２０を特定することができるとともに、このユーザ端末１００で送客元アプリ１０を利用するユーザ（ユーザＸ）に対して報酬が付与されるように、このユーザ（ユーザＸ）の送客元アプリ１０におけるアプリユーザＩＤを含む報酬付与情報を送客元アプリ１０に対応するアプリサーバ３１０に送信することができる。

[0300] （１６）ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）の報酬付与通知部１０７は、さらにキャンペーン（イベントの一例）のキャンペーンＩＤ（識別情報の一例）を含めた報酬付与通知情報を管理サーバ２００に対して送信する。

[0301] これにより、管理サーバ２００は、キャンペーン情報記憶部２３４またはキャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５を参照して、取得した報酬付与通知情報を送信した送客先アプリ２０に設定されているキャンペーンを特定するとともに、キャンペーンに関する情報（例えば、報酬付与期間）を特定することができる。特に送客先アプリ２０に複数のキャンペーンが設定されている場合にこのキャンペーンＩＤが報酬付与通知情報に含まれていることが有効である。例えば、一つの対象アプリケーションに対して、互いに異なるキャンペーン期間となる複数のキャンペーンを設定することができる。

[0302] （１７）複数の特定アプリケーションに対して、キャンペーン期間（第１の期間の一例）と重複しない別期間のキャンペーン（イベントの一例）とが設定されたとする。このときには、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、ユーザ端末１００において送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）のキャンペーン期間（第１の期間の一例）のキャンペーン（イベント）に対応したＣＰリワード処理（報酬付与処理の一例）を実行済みである場合には、上述の別期間のキャンペーンに対応したＣＰリワード処理（報酬付与処理の一例）を実行しない。

[0303] これにより、相互送客システム５００は、同じ送客先アプリ２０に対するＣＰリワード処理において、あるキャンペーンでＣＰリワードによる報酬が付与されたユーザに対しては、別のキャンペーンでのＣＰリワードによる報酬が再度付与されないようにすることができる。即ち、ＣＰリワードによる

報酬付与が行われた送客先アプリ２０は、別のＣＰリワードの対象とはならない。

[0304] 例えば、送客先アプリ２０をキャンペーンＡのキャンペーン期間にインストールしたユーザには、そのキャンペーンで設定された成果地点の到達に基づいて報酬が付与される。複数設けられた成果地点のそれぞれに到達した場合は、それぞれの到達に基づいてそれぞれ報酬が付与される。しかし、その後の期間でキャンペーンＡとは異なるキャンペーンＢが開始されても。そのキャンペーンＢで設定された成果地点に到達しても報酬は付与されない。

ここで、キャンペーンＢのキャンペーン期間が始まり、キャンペーンＢで設定された成果地点に到達した場合には、報酬付与通知情報がユーザ端末１００から管理サーバ２００に送信されてしまう。しかしながら、ユーザ端末１００からキャンペーンＢに対応する送客情報が管理サーバ２００に対して送信されていないので、管理サーバ２００は、キャンペーンＢに対応する送客情報を管理していない（送客情報記憶部２３７に該当するレコードがない）ことになる。その結果、リワード成立情報記憶部２３８にもこのキャンペーンＢに対応するリワード成立情報が管理されていないため、管理サーバ２００は、キャンペーンＢに対する報酬付与通知情報を取得しても、リワード成立情報を更新することができず、当該報酬付与通知情報を無効なものとして扱うことができる。したがって、ＣＰリワードの２重報酬付与を防止する制御が可能になる。

[0305] （１８）管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、ユーザ端末１００において送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）のＣＰリワード処理（第１の報酬付与処理の一例）及び通常リワード処理（第２の報酬付与処理の一例）の少なくとも一方を実行済みである場合には、他方の報酬付与処理を実行しない。

[0306] 例えば、管理サーバ２００は、通常リワード処理またはＣＰリワード処理が行われた送客先アプリ２０のリワード成立情報に含まれる成立状態が既に「１」（成立）に更新されている。そのため、管理サーバ２００は、この送

客先アプリ２０から再び報酬付与通知情報を取得しても、成立状態を「１」（成立）に更新可能なリワード成立情報がなく、当該報酬付与通知情報を無効なものとして扱うことができる。

[0307] これにより、相互送客システム５００は、同じ送客先アプリ２０に対して、通常リワードによる報酬と、ＣＰリワードによる報酬とが２重に付与されないようにすることができる。即ち、通常リワードによる報酬付与が行われた送客先アプリ２０は、ＣＰリワードの対象とはならない。また、ＣＰリワードによる報酬付与が行われた送客先アプリ２０は、通常リワードの対象とはならない。

[0308] （１９）上記実施形態では、キャンペーン（イベントの一例）に対して、キャンペーン期間（第１の期間の一例）の最初又は途中から開始し、キャンペーン期間の最後より後に終了する報酬付与期間（第２の期間の一例）が設定されている。ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）の報酬付与通知部１０７は、報酬付与通知情報を管理サーバ２００に対して送信する。そして、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、報酬付与期間内にユーザ端末１００にインストールされた送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）から報酬付与通知情報を取得した場合に、当該取得した報酬付与通知情報に基づくＣＰリワード処理（報酬付与処理の一例）を実行する。

[0309] これにより、相互送客システム５００は、キャンペーン期間の最後の直前に送客先アプリ２０がユーザ端末１００にインストールされた場合であっても、ＣＰリワードの報酬が付与される成果地点までの到達をユーザが試みる期間をユーザに与えることができる。また、管理サーバ２００は、報酬付与期間内に、ユーザ端末１００から報酬付与通知情報を取得した場合に、ＣＰリワード（報酬の一例）が付与されるようにすることができる。

[0310] （２０）なお、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）の報酬付与通知部１０７は、報酬付与条件が充足されたタイミングが報酬付与期間（第２の期間の一例）であった場合に、報酬付与通知情報を管理サーバ２００に対して送信してもよい。そして、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、報酬付与条

件が充足されたタイミングが報酬付与期間内であった場合に、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）から報酬付与通知情報を取得するとともに、当該取得した報酬付与通知情報に基づくＣＰリワード処理（報酬付与処理の一例）を実行してもよい。

[0311] この場合、ユーザ端末１００は、報酬付与条件が充足されたタイミングが報酬付与期間である場合にのみ報酬付与通知情報を管理サーバ２００に送信する。したがって、管理サーバ２００は、報酬付与期間内に報酬付与条件が充足された場合に、ユーザ端末１００から報酬付与通知情報を取得してＣＰリワード（報酬の一例）が付与されるようにすることができる。

[0312] （２１）キャンペーン（イベントの一例）に対応して予め設定された報酬付与条件は複数設けられていてもよい。ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）の報酬付与通知部１０７は、複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、報酬付与通知情報をそれぞれ管理サーバ２００に対して送信する。管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、複数の報酬付与条件のいずれかが充足されたことに基づいて、ユーザ端末１００にインストールされた送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）から報酬付与通知情報を取得した場合に、当該取得した報酬付与通知情報に基づくＣＰリワード処理（報酬付与処理の一例）を実行する。

[0313] これにより、相互送客システム５００は、送客先アプリ２０に設定されたキャンペーンの複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに応じて、それぞれ対応するＣＰリワード処理を実行することができる。つまり、ユーザはキャンペーン期間（報酬付与期間の一例）に設定された複数の報酬をできるだけ多く獲得するために送客先アプリ２０を継続して利用することになる。そのため送客先アプリ２０の利用を高めることができる。

[0314] （２２）管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、複数の報酬付与条件のいずれかが充足されたことに基づいて送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）から報酬付与通知情報を取得した場合に、取得したタイミングが報酬付与期間（第２の期間の一例）内であるとき報酬付与通知情報に基

づくＣＰリワード処理（報酬付与処理の一例）を実行する。

[0315] つまり、管理サーバ２００は、キャンペーンに複数の報酬付与条件が設定されている場合も、複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたタイミング（管理サーバ２００が報酬付与通知情報を取得したタイミング）が報酬付与期間内である場合にのみＣＰリワード（報酬の一例）を付与することができる。

[0316] （２３）複数の報酬付与条件のそれぞれは、例えば、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）による処理において予め設定された複数の成果地点のそれぞれに到達するタイミングである。ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）の報酬付与通知部１０７は、複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、複数の成果地点のうちの到達した成果地点を示す成果地点ＩＤ（成果地点情報の一例）を含む報酬付与通知情報をそれぞれ管理サーバ２００に対して送信する。そして、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、送客先アプリ２０から複数の成果地点のうちの到達した成果地点を示す成果地点ＩＤ（成果地点情報）を含む報酬付与通知情報を取得するとともに、当該取得した成果地点ＩＤ（成果地点情報）を含む報酬付与情報を送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）に対応するアプリサーバ３１０（サーバ装置の一例）に送信する。

[0317] つまり、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００において、送客先アプリ２０の複数の成果地点のそれぞれに到達したことに応じて、それぞれ到達した成果地点を示す成果地点ＩＤを、送客元アプリ１０に対応するアプリサーバ３１０に送信する。

これにより、相互送客システム５００は、送客先アプリ２０に設定されたキャンペーンの複数の成果地点のそれぞれが到達されたことに応じて、到達した成果地点のそれぞれに対応するＣＰリワード（報酬の一例）が付与されるようにすることができる。

[0318] （２４）ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）の報酬付与通知部１０７は、複数

の報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、複数の成果地点のいずれかに到達したことを示す到達情報を含む報酬付与通知情報を管理サーバ２００に対して送信してもよい。そして、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）から複数の成果地点のいずれかに到達したことを示す到達情報を含む報酬付与通知情報を取得するとともに、当該取得する毎に報酬付与通知情報の取得回数に応じた報酬付与情報を送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）に対応するアプリサーバ３１０（サーバ装置の一例）に送信してもよい。

[0319] つまり、管理サーバ２００は、複数の成果地点のいずれかに到達したときに送客元アプリ１０に対応するアプリサーバ３１０に送信する報酬付与情報には、成果地点ＩＤを含めずとも、報酬付与通知情報の取得回数を示す情報（即ち、成果地点に到達した回数であって、何番目の成果地点であるかを示す情報）を含めてもよい。この場合、アプリサーバ３１０と管理サーバ２００との間で、上述の回数を示す情報を含む報酬付与情報を授受するように予め取り決めてさえおけばよい。よって、相互送客システム５００は、成果地点ＩＤに代えて報酬付与通知情報の取得回数を示す情報を報酬付与情報に含めても、到達した成果地点のそれぞれに対応するＣＰリワード（報酬の一例）が付与されるようにすることができる。

[0320] （２５）管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）から複数の成果地点のいずれかに到達したことを示す到達情報を含む報酬付与通知情報を取得するとともに、当該取得した到達情報を含む報酬付与情報を送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）に対応するアプリサーバ３１０（サーバ装置の一例）に送信してもよい。

[0321] つまり、管理サーバ２００は、複数の成果地点のいずれかに到達したときに送客元アプリ１０に対応するアプリサーバ３１０に送信する報酬付与情報には、成果地点ＩＤを含めずとも、いずれかの成果地点に到達したこと示す

到達情報（例えば、単に成果地点に到達したことを示すフラグ情報）を含めてもよい。この場合、アプリサーバ３１０と管理サーバ２００との間で、単に到達情報を含む報酬付与情報を授受するように予め取り決めてさえおけばよい。そして、アプリサーバ３１０が、到達情報の取得回数を計数して計数結果に応じた報酬を付与してもよい。よって、相互送客システム５００は、成果地点ＩＤに代えて単に到達情報を報酬付与情報に含めても、到達した成果地点のそれぞれに対応するＣＰリワード（報酬の一例）が付与されるようにすることができる。

[0322] このように、ＣＰリワードによる報酬付与条件は複数設けることができる。ここで、相互送客システム５００は、それぞれの報酬付与条件の設定内容や報酬付与条件の総数等を関知する必要がなく、送客先アプリ２０において報酬付与条件が充足される毎（成果地点に到達する毎）に、成果地点ＩＤ、報酬付与通知情報の取得回数を示す情報、到達情報等をアプリサーバ３１０に送信するだけである。

[0323] なお、本実施形態では、相互送客システム５００に対応する対象アプリケーションに関する情報を管理サーバ２００が管理するため、本システムに対応しないアプリケーションまで検索対象となることを防止することができる。また、ユーザ端末１００にインストールされているアプリケーションを特定する方法としてはＵＲＬスキームを利用する方法があるが、その場合、管理サーバ２００からＵＲＬスキームを取得可能なように構成する必要がある。これに対し、本実施形態では、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションのインストール情報が管理サーバ２００に管理される。そのため、本実施形態では、送客先アプリ２０として選択する候補となるアプリケーションリストを生成する際の処理を容易に行うことができる。

[0324] また、送客先アプリ２０を購入するアプリストア４００（ストアサイトの一例）からダウンロードしてインストールする過程、およびインストール完了後に当該送客先アプリ２０を起動する過程は、ユーザの操作に委ねられており、その間にどうような操作がされるか不明である。例えば、送客先アプ

リ２０を購入するアプリストア４００へ誘導されたユーザは、そのついでに、他のアプリケーションをダウンロードする可能性もあり得る。このような場合であっても、相互送客システム５００では、送客元アプリ１０から送客先アプリ２０に対する送客情報を管理しているため、送客の事実に基づいて正しくリワード処理を行うことができる。

[0325] ＜第２の実施形態＞

次に、本発明の第２の実施形態を説明する。本実施形態の相互送客システム５００の構成は、第１の実施形態と同様であるので、本実施形態において特徴的な処理について説明する。第１の実施形態では、図１４を参照して、ステップＳＥ１５の処理でインストール済みの対象アプリケーションを除いたアプリケーションリストまたは送客元アプリ１０との間にキャンペーンが設定されている特定アプリケーションのアプリケーションリストとするフィルタ処理を説明したが、これに限られるものではない。本実施形態では、アプリ間フィルタ記憶部２３３に設定されている条件（フィルタ情報）に基づいて、アプリケーションリストに含める対象アプリケーションを所定の条件に基づいて選択する処理（フィルタリングする処理）について説明する。

[0326] アプリ間フィルタ記憶部２３３は、相互送客可能な対象アプリケーションを制限するためのアプリケーション間におけるフィルタ情報（アプリ間フィルタ情報）を記憶する。この相互送客可能な対象アプリケーションを制限するためのアプリ間フィルタ情報は、例えば、送客先アプリ２０として選択可能な対象アプリケーションの一覧ＬＴへの掲載を禁止する掲載禁止情報として設定される。

[0327] なお、このアプリ間フィルタ情報は、通常リワードにおいて有効であり、送客元アプリ１０との間でキャンペーンが設定されていない対象アプリケーション、送客元アプリ１０との間でキャンペーンが設定されていてもキャンペーン期間中ではない特定アプリケーションに対してフィルタリングする情報である。

[0328] 図１６は、アプリ間フィルタ記憶部２３３に記憶されるアプリ間フィルタ

情報の一例を示す図である。アプリ間フィルタ情報には、フィルタＩＤ（FilterID）と、ブロックするアプリＩＤ（ApIDfrom）と、ブロックされるアプリＩＤ（ApIDto）とが関連付けられている。フィルタＩＤ（FilterID）は、アプリ間フィルタ情報毎に識別可能なように各フィルタ情報が設定された順に発行される管理ＩＤである。

[0329] ブロックするアプリＩＤ（ApIDfrom）には、対象アプリケーションの一覧ＬＴへの掲載の禁止を設定する側の設定側アプリケーションのアプリＩＤが設定される。一方、ブロックされるアプリＩＤ（ApIDto）には、当該設定側アプリケーションの対象アプリケーションの一覧ＬＴへの掲載が禁止される側の被設定側アプリケーションのアプリＩＤが設定される。つまり、アプリ間フィルタ記憶部２３３は、ブロックするアプリＩＤ（設定側アプリケーションのアプリＩＤ）とブロックされるアプリＩＤ（被設定側アプリケーションのアプリＩＤ）とを組みにしたアプリ間フィルタ情報を記憶する。

[0330] リスト通知部２４２は、アプリ間フィルタ記憶部２３３に記憶されているアプリ間フィルタ情報を参照して、ブロックするアプリＩＤ（設定側アプリケーションのアプリＩＤ）に設定されている対象アプリケーションからの送客の場合には、送客先アプリ２０として選択可能なアプリケーションリストから、ブロックされるアプリＩＤ（被設定側アプリケーションのアプリＩＤ）に設定されている対象アプリケーションを除く。

例えば、送客元アプリ１０（ゲームＡ）から送客先アプリ２０（ゲームＢ）に対する送客を禁止したい場合には、ブロックするアプリＩＤに送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤを設定し、ブロックされるアプリＩＤに送客先アプリ２０（ゲームＢ）のアプリＩＤを設定すればよい。

[0331] なお、図１６に示すアプリ間フィルタ情報におけるブロックするアプリＩＤ（設定側アプリケーションのアプリＩＤ）とブロックされるアプリＩＤ（被設定側アプリケーションのアプリＩＤ）とは双方向に掲載が禁止される関係としてもよい。即ち、リスト通知部２４２は、アプリ間フィルタ記憶部２３３に記憶されているアプリ間フィルタ情報を参照して、ブロックされるア

プリＩＤ（被設定側アプリケーションのアプリＩＤ）に設定されている対象アプリケーションからの送客の場合には、送客先アプリ２０として選択可能なアプリケーションリストから、ブロックするアプリＩＤ（設定側アプリケーションのアプリＩＤ）に設定されている対象アプリケーションを除いてもよい。

[0332] また、対象アプリケーションによって、通常リワードは参加せずにＣＰリワードのみ参加したい場合には、当該対象アプリケーションのアプリＩＤをブロックされるアプリＩＤ（ApIDto）に設定し、ブロックするアプリＩＤ（ApIDfrom）に「ｎｕｌｌ」を設定する。これにより、キャンペーン期間外では、当該対象アプリケーションは、いずれの対象アプリケーションからの送客に対しても対象アプリケーションの一覧ＬＴへ掲載されないようになる。例えば、既にあるアプリケーションが相互送客システム５００に参加する前に、他のアプリケーションとの間で通常リワードによる相互送客を実施している場合であって、ＣＰリワードのみ本システムに参加したいアプリケーションに対応することができる。なお、通常リワードは参加せずにＣＰリワードのみ参加したい対象アプリケーションに関する情報は、対象アプリケーションに関する対象アプリケーション情報を記憶する対象アプリ情報記憶部２３１にて、対象アプリケーションのアプリＩＤ（ApID）と関連付けて記憶させるようにしてもよい。

[0333] 〔第２の実施形態のまとめ〕

以上説明したように、管理サーバ２００のアプリケーション管理部２２１は、アプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴへの掲載の禁止を設定する側の設定側アプリケーションと、当該設定側アプリケーションの対象アプリケーションの一覧ＬＴへの掲載が禁止される側の被設定側アプリケーションとを組みにしたアプリ間フィルタ情報（第１の掲載禁止情報の一例）をアプリ間フィルタ記憶部２３３に記憶させて管理する。

そして、管理サーバ２００のリスト通知部２４２は、アプリケーション管理部２２１が管理しているアプリ間フィルタ情報を参照して、送客元アプリ

１０（第１アプリケーションの一例）を被設定側アプリケーションに設定しているアプリ間フィルタ情報がある場合であって、当該アプリ間フィルタ情報で示す設定側アプリケーションが送客元アプリ１０との間でキャンペーン（イベントの一例）が設定されていないときは、当該設定側アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信する。

[0334] これにより、相互送客システム５００では、通常リワードにおいて相互送客させたくない対象アプリケーションの関係を管理サーバ２００に設定することができる。例えば、対象アプリケーションの中でレイティング（年齢制限）が設定されているものがあれば、レイティングが設定されていない送客元アプリ１０から、レイティングが設定されている送客先アプリ２０への送客を行わせないようにすることができる。

[0335] また、管理サーバ２００のリスト通知部２４２は、アプリケーション管理部２２１が管理しているアプリ間フィルタ情報を参照して、送客元アプリ１０を設定側アプリケーションに設定しているアプリ間フィルタ情報がある場合であって、当該第１の掲載禁止情報で示す被設定側アプリケーションが送客元アプリ１０との間でキャンペーンが設定されていないときは、当該被設定側アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信する。

[0336] これにより、アプリ間フィルタ情報の設定側アプリケーションと被設定側アプリケーションとのそれぞれに設定された対象アプリケーションは、互いに（双方向に）アプリケーションリストへの掲載を禁止（ブロック）することができる。

[0337] また、管理サーバ２００のアプリケーション管理部２２１は、アプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴへの掲載が禁止される側の被設定側アプリケーションのみが登録されたアプリ間フィルタ情報（第２の掲載禁止情報の一例）をアプリ間フィルタ記憶部２３３に記憶させて管理する。

そして、管理サーバ２００のリスト通知部２４２は、アプリケーション管理部２２１が管理しているアプリ間フィルタ情報を参照して、アプリ間フィルタ情報で示す被設定側アプリケーションが送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）との間でキャンペーン（イベントの一例）が設定されていないときは、当該被設定側アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信する。

また、アプリ間フィルタ情報に相当する情報は、対象アプリ情報記憶部２３１に記憶させて管理するようにしてもよい。つまり、対象アプリ情報記憶部２３１にアプリ間フィルタ情報に相当する情報が記憶された対象アプリケーションについては、ＣＰリワードのみ参加させるようにする。

[0338] これにより、キャンペーンのみ相互送客システム５００に参加したいような対象アプリケーションの場合に、キャンペーン期間外では、いずれの対象アプリケーションからの送客に対しても対象アプリケーションの一覧ＬＴへ掲載されないようにすることができる。

[0339] ＜第１及び第２の実施形態の変形例＞

[0340] 以上、この発明の実施形態について図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成は上述の実施形態に限られるものではなく、この発明の要旨を逸脱しない範囲の設計等も含まれる。例えば、上述の第１の実施形態と第２の実施形態とにおいて説明した各機能は、任意に組み合わせることができる。

[0341] （１）上記実施形態では、管理サーバ２００の通信部２１０（送受信部）は、インストール通知情報（第１情報の一例）、アプリケーションリスト（第２情報の一例、例えば複数の対象アプリケーションのうちの少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報）、リスト要求通知情報、送客情報（例えば、送客元情報又は送客先情報）、指示情報（インストール可能な画面をユーザ端末１００に表示させるための情報の一例）、又は報酬付与通知情報を直接的にユーザ端末１００と通信する例を説明した。同様にユーザ端末１００の端末通信部１３０（送受信部）は、インストール通知情報、アプリケーションリスト、リスト要求通知情報、送客情報、指示情報、又は報酬付与

通知情報を直接的に管理サーバ２００と通信する例を説明した。

[0342] ここで、管理サーバ２００の通信部２１０（送受信部）は、送客元アプリ１０（第１アプリケーション）又は送客先アプリ２０（第２アプリケーション）と、それぞれに対応するアプリサーバ３００（サーバ装置）を介して通信セッションを確立させた後で、直接的にユーザ端末１００と通信してもよい。同様にユーザ端末１００の端末通信部１３０（送受信部）は、送客元アプリ１０（インストールされた対象アプリケーション）又は送客先アプリ２０（選択された対象アプリケーション）と、それぞれに対応するアプリサーバ３００（サーバ装置）を介して通信セッションを確立させた後で、直接的に管理サーバ２００と通信してもよい。

[0343] なお、ユーザ端末１００から直接的に管理サーバ２００と通信する場合に、必要に応じて通信セッションを確立させるようにしてもよい。つまり、通信セッションを確立させる前に直接的に管理サーバ２００と通信する場合と、通信セッションを確立させた後に直接的に管理サーバ２００と通信する場合との両方を含んでもよい。

例えば、インストール通知情報は、通信セッションを確立させる前に直接的に管理サーバ２００と通信し、それ以外の情報については通信セッションを確立させた後に直接的に管理サーバ２００と通信するようにしてもよい。このようにすることで、通常リワードの対象となる送客先アプリ２０として、送客先アプリ２０に対応するアプリサーバ３２０を具備しないアプリケーション、すなわちユーザ端末１００においてスタンドアローンで動作するアプリケーションを対象アプリケーションとして扱うことが可能になる。つまり、スタンドアローンで動作するアプリケーションがインストールされたことを示すインストール通知情報を送信する際に、ユーザ端末１００は、アプリサーバ３００（サーバ装置）を介して通信セッションを確立させる処理を行わずに、直接的に管理サーバ２００と通信することができる。

[0344] 図１７は、通信セッションの確立処理の動作を説明するフローチャートである。この通信セッションの確立処理（通信セッション確立処理）は、送客

元アプリ１０または送客先アプリ２０がユーザ端末１００で起動され、ＳＤＫ１１ＡとＳＤＫ１１Ｂが初めて管理サーバ２００と通信を行う場合であって、例えば、図１４及び図１５を参照して説明した初期化処理の中で行われる。図１７では、図１４に示す初期化処理の中で行われる通信セッションの確立処理を示している。なお、この通信セッションの確立処理は、図１５に示す初期化処理の中でも同様に行うことができる。図１７において図１４の各処理に対応する部分には同一の符号を付け、その説明を省略する。なお、ユーザ端末１００とアプリサーバ３１０とは既に通信セッションが確立されている前提となる。

[0345] ステップＳＡ１２、ＳＡ１３、ＳＡ１４、ＳＡ１５の処理においてリワードユーザＩＤの取得済となり、ステップＳＡ１６、ＳＡ１７の処理においてインストール通知情報の通知済みとなると、ＳＤＫ１１Ａの初期化処理部１０１は、ワンタイムトークンの取得を要求するワンタイムトークン取得要求情報をアプリサーバ３１０に対して送信する（ステップＳＡ２１）。アプリサーバ３１０は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）からワンタイムトークン取得要求情報を取得すると、取得したワンタイムトークン取得要求情報に基づくワンタイムトークン生成要求情報を管理サーバ２００に対して送信する（ステップＳＦ１１）。管理サーバ２００は、アプリサーバ３１０からワンタイムトークン生成要求情報を取得すると、ワンタイムトークンを生成し、生成したワンタイムトークンをアプリサーバ３１０に対して送信する（ステップＳＥ１２）。アプリサーバ３１０は、管理サーバ２００からワンタイムトークンを取得すると、取得したワンタイムトークンをユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）に対して送信する（ステップＳＦ１２）。ＳＤＫ１１Ａの初期化処理部１０１は、アプリサーバ３１０からワンタイムトークンを取得すると、取得したワンタイムトークンを含んだセッション確立要求情報を管理サーバ２００に対して送信する（ステップＳＡ２２）。管理サーバ２００は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）からセッション確立要求情報を取得すると、取得したセッション確立要求情報に含まれるワンタイムトークンが

正しい情報である場合（ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）に対して送信したワンタイムトークンと一致する場合）には、通信セッションを確立して、相互送客システム５００による通信が許可される（ステップＳＥ１３）。以後、図１４を参照して説明した処理が行われる。なお、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）から取得したセッション確立要求情報に含まれるワンタイムトークンが正しい情報でない場合には通信エラーとし、相互送客システム５００による通信が許可されない。また、管理サーバ２００がユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）からセッション確立要求情報を取得できない場合には、当然、相互送客システム５００による通信が許可されない。

このように、通信セッションを確立させた後で、相互送客システム５００による通信を開始することで、相互送客システム５００を含むネットワークシステム１内のセキュリティを向上させることができる。

[0346] なお、インストール通知情報（第１情報の一例）、アプリケーションリスト（第２情報の一例、例えば複数の対象アプリケーションのうちの少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報）、リスト要求通知情報、送客情報（例えば、送客元情報又は送客先情報）、指示情報（インストール可能な画面をユーザ端末１００に表示させるための情報の一例）、又は報酬付与通知情報の一部は、ユーザ端末１００から直接的に管理サーバ２００と通信せずに、送客元アプリ１０（第１アプリケーション）又は送客先アプリ２０（第２アプリケーション）に対応するアプリサーバ３００（サーバ装置）を介してユーザ端末１００と通信してもよい。すなわち、管理サーバ２００の通信部２１０（送受信部）は、インストール通知情報、アプリケーションリスト、リスト要求通知情報、送客情報、指示情報、又は報酬付与通知情報を送客元アプリ１０（第１アプリケーション）又は送客先アプリ２０（第２アプリケーション）に対応するアプリサーバ３００（サーバ装置）を介してユーザ端末１００と通信、若しくは直接的にユーザ端末１００と通信するようにしてもよい。

[0347] さらに、管理サーバ２００の通信部２１０（送受信部）は、インストール通知情報、アプリケーションリスト、リスト要求通知情報、送客情報、指示情報、又は報酬付与通知情報を送客元アプリ１０（第１アプリケーション）又は送客先アプリ２０（第２アプリケーション）に対応するアプリサーバ３００（サーバ装置）を介してユーザ端末１００と通信してもよい。同様にユーザ端末１００の端末通信部１３０（送受信部）は、送客元アプリ１０（インストールされた対象アプリケーション）又は送客先アプリ２０（選択された対象アプリケーション）に対応するアプリサーバ３００（サーバ装置）を介して管理サーバ２００と通信してもよい。

このように、相互送客システム５００は、アプリサーバ３００を介してユーザ端末１００と管理サーバ２００とが通信しても、第１の実施形態及び第２の実施形態と同様の送客処理及びリワード処理を行うことができ、同様の効果を得ることができる。

[0348] （２）上記実施形態では、アプリユーザＩＤ（ApUID）をインストール通知情報などに含めて、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）から管理サーバ２００送信される例を説明したが、これに限られるものではない。例えば、アプリサーバ３００が、通信セッション確立処理でリワードユーザＩＤに関連付けて、アプリユーザＩＤを管理サーバ２００に送信するようにしてもよい。具体的には、ステップＳＡ２１にて、ＳＤＫ１１Ａの初期化処理部１０１が、ワンタイムトークン取得要求情報をアプリサーバ３００に対して送信する際にリワードユーザＩＤをアプリサーバ３００に通知する。さらに、アプリサーバ３００は、リワードユーザＩＤ、アプリＩＤ及びアプリユーザＩＤを管理サーバ２００に送信する。管理サーバ２００のインストール情報管理部２２２は、インストール情報記憶部２３６に記憶されるインストール情報のうち、取得したリワードユーザＩＤとアプリＩＤとに対応したインストール情報に対応するアプリユーザＩＤ（ApUID）として、アプリサーバ３００から取得したアプリユーザＩＤを記憶させる。このようにアプリユーザＩＤをユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）からでなく、アプリサーバ３００から送信するこ

とで、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）にて、アプリユーザＩＤを管理することが不要になる。

[0349] 上記のようにアプリサーバ３００が通信セッション確立処理でリワードユーザＩＤに関連付けてアプリユーザＩＤを管理サーバ２００に送信する場合には、インストールされた対象アプリケーションにおいてユーザ情報が登録された後でしか、通信セッション確立処理を行うことができない。しかしながら、ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションの当該インストールされたことを示すインストール通知情報の管理サーバ２００に対する送信は、ユーザ情報が登録されたことと直接関連させる必要がない。したがって、ユーザ端末１００は、インストールされた対象アプリケーションにおいて、ユーザ情報が登録されているか否かに関わりなく、インストール通知情報を管理サーバ２００に対して送信するようにしている。したがって、ユーザ端末１００がインストール通知情報を送信する際には、通信セッションが確立される前に送信されることになる。

[0350] （３）上記実施形態では、リワード処理部２４５は、ユーザ端末１００の送客先アプリ２０のＳＤＫ１１Ｂから報酬付与通知情報を取得したことに基づいてＣＰリワード処理を実行する例を説明したが、これに限られるものではない。例えば、送客先アプリ２０に対応するアプリサーバ３２０から報酬付与通知情報を取得したことに基づいてＣＰリワード処理を実行してもよい。この場合、報酬付与通知情報（成果地点到達通知）には、送客先アプリ２０のアプリＩＤとアプリユーザＩＤ、キャンペーンＩＤ、成果地点ＩＤ（RewardSpotID）を含めるようにすればよい。

例えば、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、アプリサーバ３２０から送信された報酬付与通知情報（成果地点到達通知）を取得する。次に、リワード処理部２４５は、インストール情報記憶部２３６に記憶されるインストール情報から、送客先アプリ２０のアプリＩＤとアプリユーザＩＤに対応したインストール情報を特定し、特定したインストール情報に対応したリワードユーザＩＤを逆引きする。そして、リワード処理部２４５は、逆引

きしたリワードユーザＩＤと送客先アプリ２０に対する送客情報の記録が送客情報管理部２２３において管理されていることに基づいて、当該送客情報に対応したリワード管理ＩＤに関連付けて、取得した報酬付与通知情報に含まれる成果地点ＩＤ（RewardSpotID）を設定し、成立状態（RewardStatus）をフラグ「０」（未通知）とするリワード成立情報を生成し、リワード成立情報記憶部２３８に記憶させる。この後の処理は上記実施形態と同じである。このように、報酬付与通知情報（成果地点到達通知）をアプリサーバ３２０から送信することで、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ｂ）の処理の負担を減らすことができる。

[0351] （４）上記実施形態では、リワードユーザＩＤが、最初に対象アプリケーションがインストールされたときに、インストールされたユーザ端末１００を一意に識別可能な固有識別情報（相互送客システム５００においてユニークな固有識別情報）として生成される例を説明したが、これに限られるものではない。例えば、ユーザ端末１００に固有に設定されている端末識別番号や電話番号（例えば、スマートフォンの場合）をリワードユーザＩＤとしてもよい。しかしながら、端末識別番号や電話番号等のような個人情報を利用せずに、本実施形態のようにリワードユーザＩＤを生成して利用する方がセキュリティ性を高めることができる。また、リワードユーザＩＤとして、端末識別番号や電話番号等を利用せずに、相互送客システム５００においてユニークな固有識別情報を採用することで、ユーザが所有するユーザ端末１００（端末装置）を買い替え等で変更する場合でも、所定の手続きを経てリワードユーザＩＤを変更後のユーザ端末１００に移行することで、変更前のユーザ端末１００からの状態を維持して相互送客システム５００を利用することが可能となる。

[0352] また、図１４のステップＳＡ２５及びステップＳＡ２６のアプリ一覧ページ（対象アプリケーションの一覧ＬＴ）を表示する処理と、アプリケーションリストからダウンロードする対象アプリケーションが選択されたときに送客情報を送信する処理とは、ＳＤＫ１１が実行する処理に代えて、ＳＤＫ１

１の処理とは関係のないユーザ端末１００にインストールされている他のアプリケーション（例えば、ブラウザ）が起動して実行されてもよい。例えば、管理サーバ２００からユーザ端末１００においてブラウザにリダイレクトされるようなアプリ一覧ページのデータを生成してユーザ端末１００に送信することにより、ユーザ端末１００においてブラウザが起動して、当該アプリ一覧ページが表示されるようにしてもよい。また、このアプリ一覧ページのデータにリスト要求通知情報に含まれる送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）を含めて送信することにより、アプリ一覧ページで選択された送客先アプリ２０（ゲームＢ）のアプリＩＤ（ApID）と、送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）と、リワードユーザＩＤ（RewardUID）とを含む送客情報を、上述のブラウザから管理サーバ２００に対して送信されるようにしてもよい。

[0353] また、ＣＰリワード処理においても、通常リワード処理と同様に送客先アプリ２０がインストールされたことに基づいて実行されるようにしてもよい。この場合、送客先アプリ２０における報酬付与条件を、送客先アプリ２０がユーザ端末１００にインストールされたこととしてもよい。

また、キャンペーンを実施する全ての特定アプリケーションが、送客先アプリ２０がインストールされたことが最初の成果地点とするならば、当該成果地点の達成に対応する報酬付与通知情報の送客先アプリ２０からの送付を行わなくてもよい。この場合には、管理サーバ２００が、通常リワードと同様な報酬付与処理を行い、アプリサーバ３１０に対してキャンペーンＩＤを含む報酬付与情報を送信することにより、アプリサーバ３１０から通常リワードに相当するＣＰリワードによる報酬が付与されるようになる。具体的には、図１５のフローチャートにおけるステップＳＥ２２の判定処理を行わずに、ＣＰリワードと通常リワードのどちらでも、ステップＳＥ２３～２４の処理を行わせればよい。

[0354] （５）上記実施形態では、相互送客システム５００に対応する対象アプリケーションとしてゲームを例に説明したが、この対象アプリケーションはゲー

ムに限られるものではなく、ゲーム以外のいずれのアプリケーションであってもよい。

[0355] また、管理サーバ２００の記憶部２３０は、管理サーバ２００とは異なるサーバ装置に備えられてもよい。そして、管理サーバ２００の管理部２２０または制御部２４０が管理サーバ２００とは異なるサーバ装置に備えられた記憶部２３０に対してネットワークＮＷを介して通信することにより、記憶部２３０が備える各部が記憶する各情報を管理してもよい。

[0356] また、管理サーバ２００とアプリサーバ３００とが一体となったサーバ装置として構成されてもよい。

[0357] （６）上述の管理部２２０、制御部２４０、またはＳＤＫ１１の機能を実現するためのプログラムをコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録して、この記録媒体に記録されたプログラムをコンピュータシステムに読み込ませ、実行することにより上述の各部の処理を行ってもよい。ここで、「記録媒体に記録されたプログラムをコンピュータシステムに読み込ませ、実行する」とは、コンピュータシステムにプログラムをインストールすることを含む。ここでいう「コンピュータシステム」とは、ＯＳや周辺機器等のハードウェアを含むものとする。また、「コンピュータシステム」は、インターネットやＷＡＮ、ＬＡＮ、専用回線等の通信回線を含むネットワークを介して接続された複数のコンピュータ装置を含んでもよい。また、「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、フレキシブルディスク、光磁気ディスク、ＲＯＭ、ＣＤ－ＲＯＭ等の可搬媒体、コンピュータシステムに内蔵されるハードディスク等の記憶装置のことをいう。このように、プログラムを記憶した記録媒体は、ＣＤ－ＲＯＭ等の非一過性の記録媒体であってもよい。また、記録媒体には、当該プログラムを配信するために配信サーバからアクセス可能な内部または外部に設けられた記録媒体も含まれる。配信サーバの記録媒体に記憶されるプログラムのコードは、端末装置で実行可能な形式のプログラムのコードと異なるものでもよい。すなわち、配信サーバからダウンロードされて端末装置で実行可能な形でインストールができるものであれば、配

信サーバで記憶される形式は問わない。なお、プログラムを複数に分割し、それぞれ異なるタイミングでダウンロードした後に端末装置で合体される構成や、分割されたプログラムのそれぞれを配信する配信サーバが異なっていてもよい。さらに「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、ネットワークを介してプログラムが送信された場合のサーバやクライアントとなるコンピュータシステム内部の揮発性メモリ（ＲＡＭ）のように、一定時間プログラムを保持しているものも含むものとする。また、上記プログラムは、上述した機能の一部を実現するためのものであってもよい。さらに、上述した機能をコンピュータシステムにすでに記録されているプログラムとの組み合わせで実現できるもの、いわゆる差分ファイル（差分プログラム）であってもよい。

[0358] また、上述した機能の一部または全部を、ＬＳＩ（Ｌａｒｇｅ Ｓｃａｌｅ Ｉｎｔｅｇｒａｔｉｏｎ）等の集積回路として実現してもよい。上述した各機能は個別にプロセッサ化してもよいし、一部、または全部を集積してプロセッサ化してもよい。また、集積回路化の手法はＬＳＩに限らず専用回路、または汎用プロセッサで実現してもよい。また、半導体技術の進歩によりＬＳＩに代替する集積回路化の技術が出現した場合、当該技術による集積回路を用いてもよい。

[0359] ＜第１及び第２の実施形態について：その１＞

以上説明した第１及び第２の実施形態について、以下のように記載することができるが、以下の記載に限られるものではない。

[0360] （１）本実施形態の相互送客システム５００において、管理サーバ２００（管理装置の一例）は、アプリケーション管理部２２１と、インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）と、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）と、リワード処理部２４５と、を備えている。

アプリケーション管理部２２１は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理する。ここで、管理の対象とは、例えば相互送客システム５００に対応する対象アプリケーションとして管理する対象のこ

とをいう。

インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションがユーザ端末１００（端末装置の一例）により実行された場合、当該対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたことに応じてユーザ端末１００から送信されたインストール通知情報（第１情報の一例）を取得する。

リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００により実行された対象アプリケーション（第１アプリケーション、送客元アプリ１０）に基づく要求を受けることにより、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）をユーザ端末１００に対して送信する。

リワード処理部２４５は、リスト通知部２４２がアプリケーションリストを送信したことに応じて、リスト通知部２４２から送信されたアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちの対象アプリケーション（第２アプリケーションの一例、送客先アプリ２０）がユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をする。

[0361] ここで、対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたとは、例えば、対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされて起動したことをいう。また、対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行可能な状態になったとは、例えば、対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされたことをいう。

なお、ユーザ端末１００に対象アプリケーションを実行するプログラムの一部がユーザ端末１００にインストールされ、当該プログラムの残りの部分をユーザ端末１００以外の装置が有する構成であってもよい。例えば、ユーザ端末１００にインストールされる対象アプリケーションを実行するプログラムは、当該対象アプリケーションの実行を開始するために最低限必要なプ

ログラムのみであってもよい。そして、残りのプログラムはユーザ端末１００と通信可能なサーバ装置（例えば、アプリサーバ３００）や他の端末装置（例えば、他のユーザ端末１００）が有する構成としてもよい。

また、ユーザ端末１００により実行される対象アプリケーションのプログラムの全部をユーザ端末１００以外の装置が有する構成であってもよい。つまり、対象アプリケーションを実行するプログラムは、ユーザ端末１００にはインストールされず、ユーザ端末１００と通信可能なサーバ装置（例えば、アプリサーバ３００）や他の端末装置（例えば、他のユーザ端末１００）が有する構成としてもよい。すなわち、対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたとは、ユーザ端末１００からの指示により、ユーザ端末１００と通信網を介して接続されるサーバ装置において当該対象アプリケーションが実行された場合も含む。すなわち、ユーザ端末１００により実行される対象アプリケーションは、所謂クラウド型やＷＥＢ型のアプリケーションであってもよい。この場合、対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行可能な状態になったとは、例えば、対象アプリケーションを実行する主体となるサーバ装置に対して利用可能な登録（例えば、ユーザ登録）を行い、ユーザ端末１００からの指示により通信網を介して当該対象アプリケーションを実行可能な状態になったことをいう。

[0362] また、インストール通知情報を例として説明した第１情報は、対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたことに応じてユーザ端末１００から送信された情報であればよく、インストールされたことを示す情報であってもよいし、インストールされたこと以外のことを示す情報であってもよい。インストールされたこと以外のことを示す情報とは、例えば、起動したことを示す情報、実行されたことを示す情報、単なるフラグ情報、等であってもよい。

つまり、管理サーバ２００は、対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたことに応じて取得した上述の第１情報により、ユーザ端末１００により実行された対象アプリケーションを認識できさえすればよい。

なお、上述の図１４を参照して説明した相互送客処理の動作においては、ユーザ端末１００は、対象アプリケーションがインストールされて最初に起動した際に、第１情報（図１４では、インストール通知情報）を管理サーバ２００に送信する例を説明したが、これに限られるものではない。例えば、ユーザ端末１００は、対象アプリケーションが起動する毎に、第１情報（例えば、インストール通知情報）を管理サーバ２００に送信してもよい。

[0363] また、アプリケーションリストを例として説明した第２情報は、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報が含まれていれば、その情報の形態はいずれの形態であってもよい。例えば、第２情報は、ユーザ端末１００で表示可能なアプリ一覧ページのデータであってもよいし、アプリ一覧ページのリンク先を示す情報（例えば、リダイレクト指示情報）であってもよい。なお、このアプリ一覧ページにおいては、複数の対象アプリケーションを示す情報が、上下方向（縦方向）の並びで表示（所謂リスト表示）されてもよいし、左右方向（横方向）の並びで表示されてもよいし、または、縦及び横方向に升目状（格子状）の並びで表示（所謂グリッド表示）されてもよい。また、第２情報は、ユーザ端末１００で表示可能なように、対象アプリケーションを示す情報（例えば、アプリ名称、アプリアイコン画像、アプリＩＤ等）が単に含まれているデータであってもよい。

なお、第２情報には、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報の他に、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得済みの少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報が含まれてもよい。この場合、第２情報には、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報と、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得済みの少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報とを区別可能な情報が含まれてもよい。

[0364] これにより、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００により実行された送

客元アプリ１０に基づく要求を受けることにより、ユーザ端末１００に未インストールの対象アプリケーションを示す情報をユーザ端末１００に対して送信することができる。

ここで、ユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０に基づく要求を受けるとは、例えば、ユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０において、ユーザ端末１００にインストール可能な対象アプリケーションのアプリケーションリストを取得するための所定の操作がユーザＸにより行われたことに応じてユーザ端末１００から送信されたリスト要求通知情報を管理サーバ２００が取得することである。なお、ユーザ端末１００は、ユーザの操作がなくとも、例えば送客元アプリ１０が起動したことに応じてリスト要求通知情報を管理サーバ２００に送信してもよい。すなわち、ユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０に基づく要求を受けるとは、例えば、送客元アプリ１０が起動したことに応じてユーザ端末１００から送信されたリスト要求通知情報を取得することとしてもよい。

[0365] また、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００に未インストールの対象アプリケーションのうちの送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて、報酬付与処理をすることができる。例えば、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００に未インストールの対象アプリケーションを示す情報をユーザ端末１００に送信することに応じて、ユーザ端末１００において当該情報により示される対象アプリケーションのうちユーザＸにより選択された送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて、送客元アプリ１０から送客先アプリ２０への送客が成立したと判定して、例えばユーザ端末１００を利用するユーザＸに対して報酬を付与することができる。

[0366] （２）例えば、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になったことにより上記報酬付与処理をしてもよい。

[0367] これにより、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になった（例えば、インストールされた）ことにより、送客元アプリ１０から送客先アプリ２０へ送客が成立したと判定して、例えばユーザ端末１００利用するユーザＸに対して報酬を付与することができる。

[0368] （３）リワード処理部２４５は、例えば、インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）が送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に対応するインストール通知情報（第１情報の一例）を取得した場合に、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行されたと判定してもよい。例えば、リワード処理部２４５は、ユーザ端末１００に送客先アプリ２０がインストールされて起動したことに応じて（すなわち、送客先アプリ２０が実行されたことに応じて）ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得した場合に、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行されたと判定してもよい。なお、リワード処理部２４５は、インストール通知情報に限らず第１情報を取得した場合に、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行されたと判定してもよい。

また、リワード処理部２４５は、第１情報にかかわらず、送客先アプリ２０がインストールされていることを示す情報を、例えば、ユーザ端末１００にインストールされている送客元アプリ１０以外の対象アプリケーションから、またはユーザ端末１００のＯＳの機能により取得した場合に、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行可能な状態になったと判定してもよい。

[0369] これにより、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００から送信された送客先アプリ２０のインストール通知情報を取得することにより、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行されたと判定することができる。なお、インストール通知取得部２４１が取得したインストール通知情報またはインストール情報管理部２２２が管理するインストール情報に基づいてリワード処理部２４５が上述の判定をしてもよいし、インストール情報管理部２２２

がインストール情報に基づいて判定して、当該判定した結果をリワード処理部２４５が取得してもよい。

[0370] （４）リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて報酬付与処理をしてもよい。例えば、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０がユーザ端末１００にインストールされ、且つ送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足された場合、送客元アプリ１０から送客先アプリ２０への送客が成立したとして、上記報酬付与処理をしてもよい。

[0371] このように、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて報酬が付与されることになるため、単に送客先アプリ２０がインストールされただけ又は実行されただけ（例えば、単に起動しただけ）ではなく、送客先アプリ２０の利用を条件に報酬を付与することができる。

[0372] （５）アプリケーション管理部２２１は、複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定されたキャンペーン期間（第１の期間の一例）に関する情報を管理する。また、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、上記キャンペーン期間が設定された対象アプリケーション（すなわち、特定アプリケーション）のうちユーザ端末１００（端末装置の一例）により実行された対象アプリケーション（第１アプリケーションの一例、送客元アプリ１０）に基づく要求を受けることにより、ユーザ端末１００から上記キャンペーン期間を取得していない少なくとも一の上記キャンペーン期間が設定された対象アプリケーション（特定アプリケーション）を示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）をユーザ端末１００に対して送信する。そして、リワード処理部２４５は、リスト通知部２４２がアプリケーションリストを送信したことに応じて、リスト通知部２４２から送信されたアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちの

対象アプリケーション（第２アプリケーションの一例、送客先アプリ２０）が上記キャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をする。

[0373] これにより、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０にキャンペーン期間が設定されている場合（すなわち、送客元アプリ１０が特定アプリケーションである場合）、当該送客元アプリ１０に基づく要求を受けることにより、キャンペーン期間が設定されている対象アプリケーションのうちのユーザ端末１００に未インストールの少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報をユーザ端末１００に対して送信することができる。なお、管理サーバ２００は、送客元アプリ１０との間でキャンペーン期間が設定されている対象アプリケーションのうちのユーザ端末１００に未インストールの少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報をユーザ端末１００に対して送信してもよい。

また、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００に未インストールの少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報うちの送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて、送客元アプリ１０から送客先アプリ２０へ送客がキャンペーン期間内に成立したと判定して、例えばユーザ端末１００利用するユーザＸに対して報酬を付与することができる。

[0374] （６）例えば、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がキャンペーン期間（第１の期間の一例）内にユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になったことにより上記報酬付与処理をしてもよい。

[0375] これにより、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行された又は実行可能な状態になった（例えば、インストールされた）場合のみ、送客元アプリ１０から送客先アプリ２０への送客がキャンペーン期間内に成立したと判定して、例えばユーザ端末１００利用するユーザＸに対して報酬を付与することができる。

[0376] なお、リワード処理部２４５は、インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）が送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に対応するインストール通知情報（第１情報の一例）を取得したタイミングがキャンペーン期間（第１の期間の一例）内であるか否かに応じて、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内又はキャンペーン期間外のいずれでユーザ端末１００により実行されたかを判定してもよい。

[0377] 例えば、リワード処理部２４５は、インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）が送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に対応するインストール通知情報（第１情報の一例）を取得したタイミングがキャンペーン期間（第１の期間の一例）内である場合に、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたと判定してもよい。

[0378] これにより、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００から送信された送客先アプリ２０のインストール通知情報の取得タイミングにより、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行されたタイミングがキャンペーン期間内であるか否かを判定することができる。

[0379] （７）リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がキャンペーン期間（第１の期間の一例）内にユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて報酬付与処理をしてもよい。

[0380] このように、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて報酬が付与されることになるため、単に送客先アプリ２０がインストールされただけ又は実行されただけ（例えば、単に起動しただけ）ではなく、送客先アプリ２０の利用を条件に報酬を付与することができる。

[0381] （８）例えば、アプリケーション管理部２２１は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちの複数の特定アプリケーションに対して設定さ

れたキャンペーン期間（第１の期間の一例）に関する情報を管理しているとする。インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションがユーザ端末１００（端末装置の一例）により実行された場合、当該対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたことに応じてユーザ端末１００から送信されたインストール通知情報（第１情報の一例）を取得する。また、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００により実行された対象アプリケーション（第１アプリケーション、送客元アプリ１０）に基づく要求を受けることにより、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）をユーザ端末１００に対して送信する。

そして、リワード処理部２４５は、リスト通知部２４２がアプリケーションリストを送信したことに応じて、リスト通知部２４２から送信されたアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちの対象アプリケーション（第２アプリケーションの一例、送客先アプリ２０）に対して上記キャンペーン期間が設定されている場合には、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）が上記キャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をする。

一方、リワード処理部２４５は、リスト通知部２４２から送信されたアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちから選択された対象アプリケーション（第２アプリケーションの一例、送客先アプリ２０）に対して上記キャンペーン期間が設定されていない場合には、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をする。

[0382] これにより、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０にキャンペーン期間が設定されていない場合には、期間によらずに送客元アプリ１０がユーザ端

末１００により実行された又は実行可能な状態となった場合（例えば、インストールされた場合）に報酬付与処理（例えば、通常リワード処理）を行い、送客先アプリ２０にキャンペーン期間が設定されている場合には、送客元アプリ１０がキャンペーン期間内にのみユーザ端末１００により実行された又は実行可能な状態になった場合（例えば、インストールされた場合）に報酬付与処理（例えば、ＣＰリワード処理）を行うことができる。

[0383] なお、送客先アプリ２０にキャンペーン期間が設定されていない場合の報酬付与処理（例えば、通常リワード処理）と、送客先アプリ２０にキャンペーン期間が設定されている場合の報酬付与処理（例えば、ＣＰリワード処理）とにおける、報酬付与の条件や報酬の内容は同じであってもよいし異なってもよい。

[0384] また、送客先アプリ２０にキャンペーン期間が設定されている場合とは、例えば、第1実施形態で説明したように、送客元アプリ１０と送客先アプリ２０との間でキャンペーン期間が設定されている場合があるが、これに限られるものではない。例えば、送客元の機能に特化した専用のアプリケーションから送客先アプリ２０へ送客するような場合には、当該専用のアプリケーションはキャンペーン期間が設定されるものではない。この場合、送客先アプリ２０にキャンペーン期間が設定されている場合とは、送客元とは関係なく、送客先アプリ２０に対してキャンペーン期間が設定されている場合としてもよい。なお、送客元の機能に特化した専用のアプリケーションから送客先アプリ２０へ送客する構成例については、第９の実施形態で説明する。

[0385] また、相互送客システム５００は、送客先アプリ２０にキャンペーン期間が設定されている場合の報酬付与処理（例えば、ＣＰリワード処理）のみをする構成としてもよいし、キャンペーン期間が設定されない場合の報酬付与処理（例えば、通常リワード処理）のみをする構成としてもよいし、両方の報酬付与処理をする構成としてもよい。

[0386] （９）リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に対してキャンペーン期間（第１の期間の一例）が設定されている

場合には、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、上述の報酬付与処理としてＣＰリワード処理（第１の報酬付与処理の一例）をする。

[0387] 一方、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に対してキャンペーン期間（第１の期間の一例）が設定されていない場合には、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になったことにより、上述の報酬付与処理として通常リワード処理（第２の報酬付与処理の一例）をする。

[0388] このように、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０に対してキャンペーン期間が設定されている場合のＣＰリワード処理では、単に送客先アプリ２０が実行されただけ又は実行可能な状態になっただけ（例えば、単に起動しただけ又はインストールされただけで起動していない状態）ではなく、送客先アプリ２０の利用を条件に報酬を付与することができる。一方、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０に対してキャンペーン期間が設定されていない通常リワード処理の場合には、送客先アプリ２０がインストールされただけ又は実行されただけ（例えば、単に起動しただけ）で報酬を付与することができる。

[0389] （１０）リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）にキャンペーン期間（第１の期間の一例）が設定されている場合であっても、当該送客先アプリ２０がキャンペーン期間外に実行された又は実行可能な状態になったときは、第２の報酬付与処理をする。

[0390] これによれば、送客先アプリ２０にキャンペーン期間が設定されていても、当該キャンペーン期間外に実行された又は実行可能な状態になった場合には、通常リワードとすることができる。即ち、送客先アプリ２０にキャンペーン期間が設定されている場合、送客先アプリ２０が実行された又は実行可能な状態になったタイミングが、キャンペーン期間内であればＣＰリワード処理、それ以外の期間であれば通常リワード処理とすることができる。

[0391] なお、ＣＰリワード処理において、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になったことにより報酬を付与してもよい。すなわち、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に対してキャンペーン期間（第１の期間の一例）が設定されている場合には、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことにより、上述の報酬付与処理としてＣＰリワード処理（第１の報酬付与処理の一例）をしてもよい。

[0392] また、通常リワード処理において、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて報酬を付与してもよい。

すなわち、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に対してキャンペーン期間（第１の期間の一例）が設定されていない場合には、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、上述の報酬付与処理として通常リワード処理（第２の報酬付与処理の一例）をしてもよい。

[0393] （１１）本実施形態の相互送客システム５００において、ユーザ端末１００（端末装置の一例）は、上述の管理サーバ２００（管理装置の一例）と通信可能な端末装置である。ここで、上述の管理サーバ２００は、複数の対象アプリケーションのうち、送客元となる対象アプリケーションから送客先となる対象アプリケーションへの送客を示す送客情報を管理し、前記送客情報に基づいて前記送客先の対象アプリケーションがインストールされたことを管理する。例えば、管理サーバ２００は、複数の対象アプリケーションのうち、送客元となる対象アプリケーションから送客先となる対象アプリケーションへの送客を示す送客情報として、送客元となる対象アプリケーションを示す送客元情報と送客先となる対象アプリケーションを示す送客先情報とを関

連付けて管理する。

ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）は、インストール通知部１０３と、リスト要求部１０４（要求部の一例）と、送客情報通知部１０６とを備えている。

インストール通知部１０３は、ユーザ端末１００（自端末装置の一例）にインストールされた一の対象アプリケーションにおいて、当該対象アプリケーションがインストールされたことを示すインストール通知情報（第１情報の一例）を管理サーバ２００に対して送信する。リスト要求部１０４は、一の対象アプリケーション（例えば、送客元アプリ１０、第１アプリケーション）における第１の操作に基づいて、複数の対象アプリケーションのうちの少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報を管理サーバ２００に対して要求する際に、当該一の対象アプリケーションを示す送客元情報（例えば、送客元アプリ１０のアプリＩＤ）を管理サーバ２００に対して送信する。送客情報通知部１０６は、管理サーバ２００から取得した上記少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報により示される対象アプリケーションのうちから、第２の操作に基づいて選択された対象アプリケーションを示す送客先情報（例えば、送客先アプリ２０のアプリＩＤ、第２アプリケーションのアプリＩＤ）を、管理サーバ２００に対して送信する。例えば、送客情報通知部１０６は、第２の操作に基づいて選択された対象アプリケーションを示す送客先情報を、送客情報として、管理サーバ２００に対して送信する。

[0394] このように、本実施形態の相互送客システム５００では、相互送客システム５００に対応する対象アプリケーションに含まれる複数の特定アプリケーションを管理する管理サーバ２００と、この管理サーバ２００と通信可能なユーザ端末１００とにより、ユーザ端末１００において、一の対象アプリケーション（例えば、送客元アプリ１０）から他の対象アプリケーション（例えば、送客先アプリ２０）がインストールされるように、他の対象アプリケーション（例えば、送客先アプリ２０）への送客を行うことができる。

したがって、本実施形態によれば、アプリケーション間の送客の利便性を向上させることができる。

[0395] ここで、送客情報とは、送客元アプリ１０から送客先アプリ２０への送客を示す情報である。典型的には、送客情報とは、ユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）に基づく要求を受けることにより管理サーバ２００のリスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）が送信したアプリケーションリスト（第２情報の一例）に応じて、送信したアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちの送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）を示す情報である。例えば、送客先アプリ２０のアプリＩＤを送客情報としてもよい。また、送客元アプリ１０のアプリＩＤ（送客元情報の一例）と関連付けて、送客先アプリ２０のアプリＩＤ（送客先情報の一例）を送客情報としてもよい。また、ユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤと関連付けて、送客先アプリ２０のアプリＩＤを送客情報としてもよい。

[0396] 例えば、送客情報通知部１０６は、ユーザ端末１００（自端末装置の一例）に対応するリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）と関連付けて、上記送客先情報を管理サーバ２００に対して送信してもよい。

これにより、管理サーバ２００は、送客情報を送信したユーザ端末１００を特定することができる。

[0397] （１２）また、管理サーバ２００は、複数の対象アプリケーションの一部又は全部の対象アプリケーションである特定アプリケーションに対して設定されたキャンペーン期間（第１の期間の一例）に関する情報を管理してもよい。つまり、複数の対象アプリケーションの全てにキャンペーン期間が設定されてもよいし、複数の対象アプリケーションの一部にキャンペーン期間が設定されてもよい。

ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）のリスト要求部１０４（要求部の一例）は、ユーザ端末１００（自端末装置の一例）にインストールされた一の特定アプリケーション（例えば、送客元アプリ１０）における第１の操作に基づ

いて、特定アプリケーションのうちの少なくとも一つの特定アプリケーションを示す情報を管理サーバ２００に対して要求する際に、上記一の特定アプリケーションを示す送客元情報（例えば、送客元アプリ１０のアプリＩＤ）を管理サーバ２００に対して送信してもよい。また、送客情報通知部１０６は、管理サーバ２００のうちから取得した上記少なくとも一つの特定アプリケーションを示す情報により示される特定アプリケーションのうちから、上記キャンペーン期間において第２の操作に基づいて選択された特定アプリケーションを示す送客先情報（例えば、送客先アプリ２０のアプリＩＤ）を、管理サーバ２００に対して送信してもよい。

[0398] このように、本実施形態の相互送客システム５００では、相互送客システム５００に対応する対象アプリケーションの一部又は全部の対象アプリケーションである特定アプリケーションに対して設定されたキャンペーン期間に関する情報を管理する管理サーバ２００と、この管理サーバ２００と通信可能なユーザ端末１００とにより、ユーザ端末１００において、一の特定アプリケーション（送客元アプリ１０の一例）から他の特定アプリケーション（送客先アプリ２０の一例）がインストールされるように、他の特定アプリケーション（送客先アプリ２０の一例）への送客を行うことができる。

[0399] （１３）上述のインストール通知部１０３の機能と、リスト要求部１０４（要求部の一例）の機能と、送客情報通知部１０６の機能とが、複数の対象アプリケーションのそれぞれに組み込まれたＳＤＫ１１（ソフトウェアの一例）に基づいて実行される。例えば、送客元アプリ１０に組み込まれたＳＤＫ１１Ａが、インストール通知部１０３の機能と、リスト要求部１０４の機能と、送客情報通知部１０６の機能とを実行する。なお、上述の報酬付与通知部１０７の機能が複数の対象アプリケーションのそれぞれに組み込まれたＳＤＫ１１に基づいて実行されてもよい。例えば、送客先アプリ２０に組み込まれたＳＤＫ１１Ｂが、インストール通知部１０３の機能と、報酬付与通知部１０７の機能とを実行してもよい。なお、ＳＤＫ１１ＡとＳＤＫ１１Ｂとはそれぞれ同様の機能を有して、送客元アプリ１０に組み込まれているか、

または送客先アプリ２０に組み込まれているかに応じて対応する機能を実行してもよい。

[0400] これにより、アプリケーションにＳＤＫ１１を組み込むことにより、本実施形態の相互送客システム５００に対応した対象アプリケーションとすることができる。よって、例えば、既存のアプリケーションやこれから開発するアプリケーションにおいても、ＳＤＫ１１を組み込み可能なようにアプリケーションのプログラムを更新または小変更すれば、当該アプリケーションを相互送客システム５００に対応した対象アプリケーションとすることができる。

[0401] （１４）ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）の報酬付与通知部１０７は、上記送客先情報により示される送客先アプリ２０（送客先として選択された対象アプリケーション又は特定アプリケーションの一例）に設定された報酬付与条件を充足した場合に、当該送客先アプリ２０を示す送客先情報（例えば、送客先アプリ２０のアプリＩＤ）、及びユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）と関連付けて、上述の報酬付与通知情報を管理サーバ２００に対して送信する。

[0402] なお、上記報酬付与通知情報には、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）、及び送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）におけるアプリユーザＩＤ（ユーザ情報の一例）が関連付けられてもよい。そして、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）の報酬付与通知部１０７は、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ、及び送客先アプリ２０におけるアプリユーザＩＤが関連付けられた報酬付与通知情報を管理サーバ２００に対して送信してもよい。

[0403] なお、報酬付与通知部１０７は、上述の報酬付与通知情報を直接的に管理サーバ２００に対して送信してもよいし、アプリサーバ３００（例えば、送客先アプリ２０に対応するアプリサーバ３２０）を介して間接的に管理サーバ２００に対して送信してもよい。また、ユーザ端末１００は、報酬付与通知部１０７を備えていない構成としてもよい、その場合、アプリサーバ３０

０（例えば、送客先アプリ２０に対応するアプリサーバ３２０）が、キャンペーンに対応して予め設定された報酬付与条件が充足されたか否かを判定し、報酬付与条件が充足されたと判定した場合、報酬付与通知情報を管理サーバ２００に対して送信してもよい。

[0404] そして、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、当該報酬付与条件が充足されたことを示す報酬付与通知情報を、ユーザ端末１００により実行された送客先アプリ２０又は送客先アプリ２０に対応するアプリサーバ３２０（サーバ装置の一例）から取得した場合に、当該取得した報酬付与通知情報に基づく報酬付与処理をする。

[0405] このように、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００において送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足された場合には、報酬付与通知情報を取得することにより、報酬付与処理を行うことができる。

[0406] 例えば、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、送客元アプリ１０におけるアプリユーザＩＤ（第１アプリケーションのユーザ情報の一例）が関連付けられた報酬付与情報を、ユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０又は送客元アプリ１０に対応するアプリサーバ３１０（サーバ装置の一例）に送信する。

ここで、管理サーバ２００は、対象アプリケーションのユーザ情報を取得するアプリユーザ情報取得部を備えている。例えば、アプリユーザ情報取得部は、ユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）と関連付けて対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤ（第１アプリケーションのユーザ情報の一例）を取得する。なお、インストール通知取得部２４１を、アプリユーザ情報取得部として機能させるようにしてもよい。すなわち、インストール通知情報にインストール通知情報を送信した対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを含めるようにしてもよい。このように、アプリユーザ情報取得部の機能を他の機能に含ませるようにし

てもよい。

[0407] これにより、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００において、送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足された場合、ユーザ端末１００を利用するユーザ（ユーザＸ）に対して、送客元アプリ１０における報酬が付与されるようにすることができる。

[0408] なお、報酬付与処理として、送客元アプリ１０における報酬がユーザに付与される処理の例を説明したが、送客元アプリ１０に代えて送客先アプリ２０における報酬がユーザに付与される処理としてもよい。この場合、管理サーバ２００は、例えば、送客情報記憶部２３７に記憶されている送客情報に含まれる送客先アプリＩＤ（ApIDto）と、対象アプリ情報記憶部２３１に記憶されている対象アプリケーション情報に含まれる通知先ＵＲＬ（NoticeURL）とに基づいて、送客先アプリ２０に対応するアプリサーバ３２０に報酬付与情報を送信してもよい。なお、報酬付与処理として、送客元アプリ１０における報酬と送客先アプリ２０における報酬との両方がユーザに付与される処理としてもよいし、複数の対象アプリケーションにおいて共通で利用できる報酬がユーザに付与される処理としてもよい。

[0409] また、報酬付与処理として、対象アプリケーションとは異なる他のアプリケーションで利用できる報酬、またはウェブサイトで利用できる報酬（例えば、通信網を介した通信により商品やサービスを売買するときに利用するできる通貨やポイント等）がユーザに付与される処理としてもよい。この場合、管理サーバ２００は、例えば、ユーザに付与された報酬に関する情報を一旦管理し、その後所定の手続きが行われることで、他のアプリケーションで利用できる報酬、またはウェブサイトで利用できる報酬となるように、当該管理している報酬に関する情報を他のアプリケーションに対応するサーバ装置、またはウェブサイトに対応するサーバ装置に送信してもよい。

[0410] （１５）管理サーバ２００の送客情報取得部２４３と、送客情報管理部２２３と、を備えている。送客情報取得部２４３は、送客先アプリ２０（第２アプリケーション）への送客を示す送客情報を取得する。送客情報管理部２２

３は、送客情報取得部２４３が取得した送客情報を管理する。リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行された又は実行可能な状態になった場合に、送客先アプリ２０に対応する送客情報が送客情報管理部２２３で管理されていることを条件として、上述の報酬付与処理をする。

[0411] これにより、相互送客システム５００は、本システムによって、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行された又は実行可能な状態になった場合には、送客情報があるため報酬付与処理を行う対象とし、本システムによらずに対象アプリケーションがインストールされた場合には、送客情報の記録がないため報酬付与処理を行う対象としないようにすることができる。

[0412] また、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足された場合に、送客先アプリ２０に対応する送客情報が送客情報管理部２２３で管理されていることを条件として、上述の報酬付与処理をしてもよい。

[0413] これにより、相互送客システム５００は、本システムによって、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行されて送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足された場合には、送客情報があるため報酬付与処理を行う対象とし、本システムによらずに対象アプリケーションがインストールされた場合には、送客情報の記録がないため報酬付与処理を行う対象としないようにすることができる。

[0414] 例えば、送客情報取得部２４３は、上述の送客情報として、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）、送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）のアプリＩＤ（識別情報の一例）、及び送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）のアプリＩＤ（識別情報の一例）と関連付けて取得する。そして、送客情報管理部２２３は、送客情報に関連付けられたリワードユーザＩＤ、送客元アプリ１０のアプリＩＤ、及び送客先アプリ２０のアプリＩＤを関連付けて送客情報の記録として管理する。

これにより、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０への送客が行われたユーザ端末１００と送客元アプリ１０とを特定することができるので、当該ユーザ端末１００を利用するユーザに対して送客元アプリ１０における報酬が付与される報酬付与処理を行うことができる。

[0415] なお、送客情報取得部２４３が取得する送客情報には、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ、送客元アプリ１０のアプリＩＤ、及び送客先アプリ２０のアプリＩＤが含まれ、送客情報管理部２２３は、送客情報に含まれるリワードユーザＩＤ、送客元アプリ１０のアプリＩＤ、及び送客先アプリ２０のアプリＩＤを関連付けて送客情報の記録として管理してもよい。また、この送客情報には、送客先アプリ２０のアプリＩＤが少なくとも含まれ、送客情報管理部２２３は、当該送客先アプリ２０のアプリＩＤ、または当該送客情報に関連付けられて他の情報として取得したリワードユーザＩＤまたは送客元アプリ１０のアプリＩＤを、当該送客先アプリ２０のアプリＩＤに関連付けて送客情報の記録として管理してもよい。

[0416] なお、送客情報管理部２２３は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）のアプリＩＤ（識別情報の一例）を、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）と関連付けて送客情報の記録として管理してもよい。

これにより、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０への送客が行われたユーザ端末１００を少なくとも特定することができるので、当該ユーザ端末１００を利用するユーザを報酬の付与対象とすることができる。例えば、送客元アプリ１０における報酬以外の報酬の付与の場合には、送客元アプリ１０のアプリＩＤを送客情報の記録として関連付けて管理しなくともよい。

[0417] また、送客情報管理部２２３は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）のアプリＩＤ（識別情報の一例）を、送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）のアプリＩＤ（識別情報の一例）と関連付けて送客情報の記録として管理してもよい。

これにより、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０への送客が行われた

ときの送客元アプリ１０を特定することができるので、例えば、送客元アプリ１０における報酬が付与される報酬付与処理を行うことができる。例えば、送客元アプリ１０における報酬を、送客が行われたユーザ端末１００に関わらない全てのユーザ又は特定のユーザに対して付与される場合には、リワードユーザＩＤを送客情報の記録として関連付けて管理しなくともよい。

[0418] （１６）ユーザ端末１００（端末装置の一例）は、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）で特定される。このリワードユーザＩＤは、複数の対象アプリケーションのうちの最初にユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションが起動したことを条件として取得され、ユーザ端末１００により実行されたいずれの対象アプリケーションからも参照可能なようにユーザ端末１００に記憶されている。

[0419] 例えば、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）は、固有識別情報取得部１０２を備えている。固有識別情報取得部１０２は、ユーザ端末１００にインストールされた一の対象アプリケーションが複数の対象アプリケーションのうちの最初にユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションである場合、リワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）を取得し、取得したリワードユーザＩＤを、ユーザ端末１００にインストールされる他の対象アプリケーションからも参照可能なように端末記憶部１４０（記憶部の一例）に記憶させる。

[0420] これにより、相互送客システム５００によれば、ユーザ端末１００は、初めて対象アプリケーションがインストールされたときに自動でリワードユーザＩＤを取得し、取得したリワードユーザＩＤをその後にインストールされる対象アプリケーションでも共通に利用可能とする。そのため、ユーザに特別な操作をさせることなくリワードユーザＩＤが取得されて本システムを利用可能とすることができる。

[0421] （１７）具体的には、固有識別情報取得部１０２は、リワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）が端末記憶部１４０（記憶部の一例）に記憶されているか否かを判定し、リワードユーザＩＤが端末記憶部１４０に記憶されてい

ないと判定した場合にリワードユーザＩＤを取得する。

これにより、ユーザ端末１００は、初めて対象アプリケーションがインストールされて起動したときにリワードユーザＩＤを取得することができる。

[0422] なお、固有識別情報としては、相互送客システム５００ａで独自に生成されたリワードユーザＩＤ以外にも、ユーザ端末１００ごとに一意に割り振られるＵＤＩＤ（Unique Device Identifier）、ＩＭＥＩ（International Mobile Equipment Identity）またはＩＭＳＩ（International Mobile Subscriber Identity）等の識別番号を利用してもよい。またこれら識別番号をハッシュ化又は暗号化して利用してもよい。つまり、相互送客システム５００の内部もしくは外部において生成または設定され、ユーザ端末１００で一意となる識別情報であればよい。また、固有識別情報として、ユーザ端末１００のＯＳの機能としてユーザ端末１００毎に対応付けられた互いに異なる情報であって、各アプリケーションによって使用することが許可されている情報（例えば、広告識別子（Advertising Identifier））を利用してもよい。また、固有識別情報として、ユーザ端末１００毎に対応づけられたＩＤをユーザ端末１００から取得することをせずに、ユーザ端末１００から、例えば、画面解像度・幅、タイムゾーン時差等の１００種類程度のパラメータを管理サーバ２００が取得して、所定のアルゴリズムを用いて生成したＩＤを用いてもよい。この場合、固有識別情報をユーザ端末１００に記憶しておかなくてもよい。

[0423] （１８）ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）のインストール通知部１０３は、ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションのアプリＩＤ（識別情報の一例）、及びユーザ端末１００（自端末装置の一例）に対応するリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）と関連付けて、インストール通知情報（第１情報の一例）を管理サーバ２００に対して送信する。

[0424] 管理サーバ２００のインストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）は、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）、及びインストール通知情報（第１情報の一例）を送信した対

象アプリケーションのアプリＩＤ（識別情報の一例）と関連付けてンストール通知情報を取得する。また、管理サーバ２００は、インストール情報管理部２２２（第１情報管理部の一例）を備えている。インストール情報管理部２２２は、インストール通知情報に関連付けられたリワードユーザＩＤ、及び上記対象アプリケーションのアプリＩＤを関連付けたインストール情報（管理情報の一例）を管理する。

[0425] これにより、ユーザ端末１００に対象アプリケーションがインストールされて起動した場合（即ち、ユーザ端末１００において対象アプリケーションが実行された場合）、管理サーバ２００は、当該対象アプリケーションのアプリＩＤと、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤとを関連付けて管理することができる。よって、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００毎にインストールされている（例えば、インストールされて起動したことがある）対象アプリケーションを特定することができる。

[0426] なお、インストール通知情報（第１情報の一例）には、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）、及びインストール通知情報（第１情報の一例）を送信した対象アプリケーションのアプリＩＤの両方が含まれていてもよいし、一方が含まれていてもよい。リワードユーザＩＤとアプリＩＤとのうちの一方がインストール通知情報に含まれている場合には、他方が当該一方に関連付けられてインストール通知情報以外の情報としてユーザ端末１００から管理サーバ２００に送信されてもよい。また、上述したようにインストール通知情報を例として説明した第１情報は、例えば単なるフラグ情報であってもよい。この場合には、リワードユーザＩＤとアプリＩＤとが当該フラグ情報に関連付けられてインストール通知情報以外の情報としてユーザ端末１００から管理サーバ２００に送信されてもよい。

[0427] （１９）また、本実施形態の管理サーバ２００は、対象アプリケーションのユーザ情報を取得するアプリユーザ情報取得部を備えている。例えば、アプリユーザ情報取得部は、ユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤ（

固有識別情報の一例）と関連付けて対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤ（第１アプリケーションのユーザ情報の一例）を取得する。なお、インストール通知取得部２４１を、アプリユーザ情報取得部として機能させるようにしてもよい。すなわち、インストール通知情報にインストール通知情報を送信した対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを含めるようにしてもよい。このように、アプリユーザ情報取得部の機能を他の機能に含ませるようにしてもよい。

[0428] ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）は、ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤ（対象アプリケーションにおけるユーザ情報の一例）をユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）と関連付けて管理サーバ２００に対して送信するアプリユーザ情報通知部を備えている。なお、インストール通知部１０３を、アプリユーザ情報通知部として機能させるようにしてもよい。すなわち、インストール通知情報にインストール通知情報を送信した対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを含めるようにしてもよい。このように、アプリユーザ情報通知部の機能を他の機能に含ませるようにしてもよい。

[0429] そして、管理サーバ２００のインストール情報管理部２２２（第１情報管理部の一例）は、インストール情報（管理情報の一例）に、アプリユーザ情報取得部が取得した対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤ（ユーザ情報の一例）を関連付けて管理する。例えば、インストール情報管理部２２２は、アプリユーザ情報取得部が取得した対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを、インストール情報において関連付けられている、当該対象アプリケーションのアプリＩＤ又はユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤと関連付けて管理する。

[0430] これにより、ユーザ端末１００に対象アプリケーションがインストールされた場合、管理サーバ２００は、インストールされた対象アプリケーションのアプリＩＤと、インストールされた対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤと、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤとを

関連付けて管理することができる。すなわち、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーション毎のアプリユーザＩＤをリワードユーザＩＤに関連付けて管理することができる。

[0431] （２０）管理サーバ２００のアプリケーション管理部２２１（第１報酬情報管理部の一例）は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に対してキャンペーン期間（第１の期間の一例）が設定されている場合に報酬付与処理として行うＣＰリワード処理（第１の報酬付与処理の一例）により付与されるＣＰリワード（第１の報酬の一例）を示す情報の掲載場所のリンク先を示す情報をキャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５に記憶させて管理する。また、アプリケーション管理部２２１（第２報酬情報管理部の一例）は、複数の対象アプリケーションのそれぞれと通常リワード処理（第２の報酬付与処理の一例）により付与される予め設定された通常リワードを示す情報とを対応付けた通常リワード情報を通常リワード情報記憶部２３２に記憶させて管理する。

そして、管理サーバ２００のリスト通知部は、複数の対象アプリケーションのうちの送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）との間でキャンペーンが設定されていない対象アプリケーションには通常リワードを示す情報が対応付けられて表示されるように、通常リワードを示す情報を含むアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信する。一方、リスト通知部は、複数の対象アプリケーションのうちの送客元アプリ１０との間でキャンペーンが設定されている対象アプリケーションには上述のリンク先を示す情報が対応付けられて表示されるように、当該リンク先を示す情報を含むアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信する。

[0432] これにより、ユーザ端末１００は、管理サーバ２００から取得したアプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示部１２０に表示する際に、キャンペーン期間が設定されていない対象アプリケーションには通常リワードにより付与される報酬に関する情報を表示し、キャンペーンが設定されている特定アプリケーションにはそのキャンペーンのＣＰリ

ワード（報酬の一例）により付与される報酬に関する情報の掲載場所のリンク先を示す情報を対応付けて表示することができる。

[0433] （２１）管理サーバ２００のインストール誘導指示部２４４（画面情報通知部の一例）は、送客情報取得部２４３が取得した送客情報に関連付けられた送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）のアプリＩＤ（識別情報の一例）に基づいて、送客先アプリ２０をインストール可能な画面をユーザ端末１００に表示させるための情報を、ユーザ端末１００に送信する。ここで、送客先アプリ２０をインストール可能な画面をユーザ端末１００に表示させるための情報とは、例えば、送客先アプリ２０をインストール可能（ダウンロード可能）なストアサイトのストアページを表示するアプリケーションであるストア３０を起動させる指示情報であって、当該対象アプリケーションをダウンロード可能な販売サイト（アプリストア４００）のページのＵＲＬ（ストアＵＲＬ）を含む情報である。

[0434] これにより、ユーザ端末１００は、送客元アプリ１０から送客される送客先アプリ２０が選択された場合に、選択された送客先アプリ２０をインストール可能なストアページをユーザに特別な操作をさせることなく自動で表示することができる。

[0435] （２２）キャンペーン期間（第１の期間の一例）が設定された対象アプリケーション（即ち、複数の特定アプリケーション）のうちの一部又は全部に対して、このキャンペーン期間と重複しない別期間が設定されたとする。この場合には、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、ユーザ端末１００において送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に設定されたキャンペーン期間に対応したＣＰリワード処理（報酬付与処理の一例）を実施済みである場合には、上述の別期間に対応したＣＰリワード処理（報酬付与処理の一例）をしない。

[0436] これにより、相互送客システム５００は、同じ送客先アプリ２０に対するＣＰリワード処理において、あるキャンペーンでＣＰリワードによる報酬が付与されたユーザに対しては、別のキャンペーンでのＣＰリワードによる報

酬が再度付与されないようにすることができる。即ち、ＣＰリワードによる報酬付与が行われた送客先アプリ２０は、別のＣＰリワードの対象とはならない。

[0437] （２３）管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に対してキャンペーン期間（第１の期間の一例）が設定されている場合に報酬付与処理として行うＣＰリワード処理（第１の報酬付与処理の一例）、及びキャンペーン期間が設定されていない場合に報酬付与処理として行う通常リワード処理（第２の報酬付与処理の一例）のうちの少なくとも一方をユーザ端末１００において実施済みである場合には、他方の報酬付与処理をしない。

[0438] 例えば、管理サーバ２００は、通常リワード処理またはＣＰリワード処理が行われた送客先アプリ２０のリワード成立情報に含まれる成立状態が既に「１」（成立）に更新されている。そのため、管理サーバ２００は、この送客先アプリ２０から再び報酬付与通知情報を取得しても、成立状態を「１」（成立）に更新可能なリワード成立情報がなく、当該報酬付与通知情報を無効なものとして扱うことができる。

[0439] これにより、相互送客システム５００は、同じ送客先アプリ２０に対して、通常リワードによる報酬と、ＣＰリワードによる報酬とが２重に付与されないようにすることができる。即ち、通常リワードによる報酬付与が行われた送客先アプリ２０は、ＣＰリワードの対象とはならない。また、ＣＰリワードによる報酬付与が行われた送客先アプリ２０は、通常リワードの対象とはならない。

[0440] （２４）管理サーバ２００のアプリケーション管理部２２１は、複数の対象アプリケーションの一部又は全部の対象アプリケーションである特定アプリケーションに対して設定されたキャンペーン期間（第１の期間の一例）に関する情報と、当該キャンペーン期間の一部または全部を含みキャンペーン期間の最後より後に終了する報酬付与期間（第２の期間の一例）の少なくとも終了期限に関する情報とを管理している。

[0441] リワード処理部２４５は、報酬付与期間内に、送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて報酬付与処理をする。

[0442] 例えば、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）の報酬付与通知部１０７は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に設定された報酬付与条件が充足された場合に、当該報酬付与条件が充足されたことを示す報酬付与通知情報を管理サーバ２００に対して送信する。

[0443] そして、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、報酬付与期間内に送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）から報酬付与条件が充足されたことを示す報酬付与通知情報を取得した場合に、当該取得した報酬付与通知情報に基づく報酬付与処理（例えば、ＣＰリワード処理）をする。

[0444] これにより、相互送客システム５００は、キャンペーン期間の最後の直前に送客先アプリ２０がユーザ端末１００にインストールされた場合であっても、ＣＰリワードの報酬が付与される成果地点までの到達をユーザが試みる期間をユーザに与えることができる。また、管理サーバ２００は、報酬付与期間内に、ユーザ端末１００から報酬付与通知情報を取得した場合に、報酬が付与されるようにすることができる。

[0445] （２５）送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に対応して報酬付与条件は複数設けられていてもよい。ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）の報酬付与通知部１０７は、複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、報酬付与通知情報をそれぞれ管理サーバ２００に対して送信する。管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、複数の報酬付与条件のいずれかが充足されたことに基づいて、報酬付与処理（例えば、通常リワード処理又はＣＰリワード処理）をする。

[0446] これにより、相互送客システム５００は、送客先アプリ２０対応する複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに応じて、報酬付与処理をすることができる。つまり、ユーザはキャンペーン期間（報酬付与期間の一例）に設定された複数の報酬をできるだけ多く獲得するために送客先アプリ２０を継続して利用することになる。そのため送客先アプリ２０の利用を高める

ことができる。

[0447] （２６）送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に対応して報酬付与条件は複数設けられている場合、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、複数の報酬付与条件のいずれかが充足されたことに基づいて送客先アプリ２０から報酬付与期間（第２の期間の一例）内に報酬付与通知情報を取得した場合に、取得した報酬付与通知情報に基づく報酬付与処理（例えば、ＣＰリワード処理）をする。

[0448] これにより、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０に複数の報酬付与条件が設定されている場合も、複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたタイミング（管理サーバ２００が報酬付与通知情報を取得したタイミング）が報酬付与期間内である場合にのみ報酬を付与することができる。

[0449] （２７）複数の報酬付与条件のそれぞれは、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）による処理において設定された複数の成果地点のそれぞれに到達するタイミングである。ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）の報酬付与通知部１０７は、複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、複数の成果地点のうちの到達した成果地点を示す成果地点ＩＤ（成果地点情報の一例）が関連付けられた報酬付与通知情報をそれぞれ管理サーバ２００に対して送信する。そして、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、送客先アプリ２０から複数の成果地点のうちの到達した成果地点を示す成果地点ＩＤ（成果地点情報）が関連付けられた報酬付与通知情報を取得するとともに、当該取得した成果地点ＩＤ（成果地点情報）が関連付けられた報酬付与情報を、ユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）、又は送客元アプリ１０に対応するアプリサーバ３１０（サーバ装置の一例）に送信する。

[0450] つまり、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００において、送客先アプリ２０の複数の成果地点のそれぞれに到達したことに応じて、それぞれ到達した成果地点を示す成果地点ＩＤを、送客元アプリ１０に対応するアプリサー

バ３１０に送信する。

これにより、相互送客システム５００は、送客先アプリ２０に設定された複数の成果地点のそれぞれが到達されたことに応じて、到達した成果地点のそれぞれに対応して報酬が付与されるようにすることができる。

[0451] （２８）ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）の報酬付与通知部１０７は、複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、複数の成果地点のいずれかに到達したことを示す到達情報が関連付けられた報酬付与通知情報を管理サーバ２００に対して送信してもよい。そして、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）から複数の成果地点のいずれかに到達したことを示す到達情報が関連付けられた報酬付与通知情報を取得するとともに、当該取得する毎に報酬付与通知情報の取得回数に応じた報酬付与情報を、ユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）、又は送客元アプリ１０に対応するアプリサーバ３１０（サーバ装置の一例）に送信してもよい。

[0452] つまり、管理サーバ２００は、複数の成果地点のいずれかに到達したときに送客元アプリ１０に対応するアプリサーバ３１０に送信する報酬付与情報には、成果地点ＩＤが関連付けられなくとも、報酬付与通知情報の取得回数を示す情報（即ち、成果地点に到達した回数であって、何番目の成果地点であるかを示す情報）が関連付けられてもよい。この場合、アプリサーバ３１０と管理サーバ２００との間で、上述の回数を示す情報を含む報酬付与情報を授受するように予め取り決めてさえおけばよい。よって、相互送客システム５００は、成果地点ＩＤに代えて報酬付与通知情報の取得回数を示す情報を報酬付与情報に含めても、到達した成果地点のそれぞれに対応して報酬が付与されるようにすることができる。

[0453] （２９）管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）から複数の成果地点のいずれかに到達したことを示す到達

情報が関連付けられた報酬付与通知情報を取得するとともに、当該取得した到達情報が関連付けられた報酬付与情報を、ユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）、又は送客元アプリ１０に対応するアプリサーバ３１０（サーバ装置の一例）に送信してもよい。

[0454] つまり、管理サーバ２００は、複数の成果地点のいずれかに到達したときに送客元アプリ１０に対応するアプリサーバ３１０に送信する報酬付与情報には、成果地点ＩＤが関連付けられなくとも、いずれかの成果地点に到達したこと示す到達情報（例えば、単に成果地点に到達したことを示すフラグ情報）が関連付けられてもよい。この場合、アプリサーバ３１０と管理サーバ２００との間で、単に到達情報を含む報酬付与情報を授受するように予め取り決めてさえおけばよい。そして、アプリサーバ３１０が、到達情報の取得回数を計数して計数結果に応じた報酬を付与してもよい。よって、相互送客システム５００は、成果地点ＩＤに代えて単に到達情報を報酬付与情報が関連付けられても、到達した成果地点のそれぞれに対応する報酬が付与されるようにすることができる。

[0455] （３０）管理サーバ２００のアプリケーション管理部２２１は、アプリケーションリスト（第２情報の一例）に基づく掲載の禁止を設定する設定側アプリケーションと、当該設定側アプリケーションのアプリケーションリストに基づく掲載が禁止される被設定側アプリケーションとを関連付けたアプリ間フィルタ情報（第１の掲載禁止情報の一例）を管理する。そして、管理サーバ２００のリスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、アプリケーション管理部２２１が管理しているアプリ間フィルタ情報を参照して、送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）を被設定側アプリケーションに設定しているアプリ間フィルタ情報がある場合は、当該設定側アプリケーションを示す情報をアプリケーションリストから除いた残りの情報を、ユーザ端末１００に対して送信する。

[0456] これにより、相互送客システム５００では、通常リワードにおいて相互送

客させたくない対象アプリケーションの関係を管理サーバ２００に設定することができる。例えば、対象アプリケーションの中でレイティング（年齢制限）が設定されているものがあれば、レイティングが設定されていない送客元アプリ１０から、レイティングが設定されている送客先アプリ２０への送客を行わせないようにすることができる。

[0457] また、管理サーバ２００のリスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、アプリケーション管理部２２１が管理しているアプリ間フィルタ情報（第１の掲載禁止情報の一例）を参照して、送客元アプリ１０を設定側アプリケーションに設定しているアプリ間フィルタ情報がある場合は、当該被設定側アプリケーションを示す情報をアプリケーションリストから除いた残りの情報を、ユーザ端末１００に対して送信する。

[0458] これにより、アプリ間フィルタ情報の設定側アプリケーションと被設定側アプリケーションとのそれぞれに設定された対象アプリケーションは、互いに（双方向に）アプリケーションリストへの掲載を禁止（ブロック）することができる。

[0459] また、管理サーバ２００のアプリケーション管理部２２１は、アプリケーションリスト（第２情報の一例）に基づく掲載が禁止される被設定側アプリケーションが登録されたアプリ間フィルタ情報（第２の掲載禁止情報の一例）を管理する。

そして、管理サーバ２００のリスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、アプリケーション管理部２２１が管理しているアプリ間フィルタ情報を参照して、アプリ間フィルタ情報により示される被設定側アプリケーションと送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）とに対してキャンペーン期間（第１の期間の一例）が設定されていないときは、当該被設定側アプリケーションを示す情報をアプリケーションリストから除いた残りの情報を、ユーザ端末１００に対して送信する。

[0460] これにより、キャンペーンのみ相互送客システム５００に参加したいような対象アプリケーションの場合に、キャンペーン期間外では、いずれの対象

アプリケーションからの送客に対しても対象アプリケーションの一覧ＬＴへ掲載されないようにすることができる。

[0461] （３１）また、上記実施形態において、インストール通知情報、リスト要求通知情報、送客情報、報酬付与通知情報などの各種情報にリワードユーザＩＤが含まれることにより、管理サーバ２００において、これらの各種情報が、これらの各種情報を送信したユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤと関連付けられる例を説明したが、これに限られるものではない。例えば、管理サーバ２００とユーザ端末１００との間で通信セッションが確立されている場合には、確立された通信セッションと当該ユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤとが関連付けられるようにしてもよい。これにより、各種情報にリワードユーザＩＤを含めなくても、確立された通信セッションにおいて送信された各種情報が、当該通信セッションに関連付けられているリワードユーザＩＤと関連付けられるようにしてもよい。

なお、これらの各種情報とリワードユーザＩＤとを関連付ける方法は一例であり、管理サーバ２００において、これらの各種情報と、これらの各種情報を送信したユーザ端末１００を特定するリワードユーザＩＤとが関連付けられれば、上記の方法に限られるものではない。

[0462] ＜第１及び第２の実施形態について：その２＞

以上説明した第１及び第２の実施形態について、以下のように記載することもできるが、以下の記載に限られるものではない。

[0463] （１）本実施形態の相互送客システム５００において、管理サーバ２００（管理装置の一例）は、アプリケーション管理部２２１と、インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）と、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）と、リワード処理部２４５と、を備えている。

アプリケーション管理部２２１は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理する。ここで、管理の対象とは、例えば相互送客システム５００に対応する対象アプリケーションとして管理する対象のことをいう。

インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションがユーザ端末１００（端末装置の一例）により実行された場合、当該対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたことに応じてユーザ端末１００から送信されたインストール通知情報（第１情報の一例）を取得する。

リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）に基づく要求を受けることにより、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）をユーザ端末１００に対して送信する。

リワード処理部２４５は、リスト通知部２４２がアプリケーションリストを送信したことに応じて、リスト通知部２４２から送信されたアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちの送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がユーザ端末１００により実行されたことに基づいて報酬付与処理をする。

[0464] ここで、対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたとは、例えば、対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされて起動したことをいう。

なお、ユーザ端末１００に対象アプリケーションを実行するプログラムの一部がユーザ端末１００にインストールされ、当該プログラムの残りの部分をユーザ端末１００以外の装置が有する構成であってもよい。例えば、ユーザ端末１００にインストールされる対象アプリケーションを実行するプログラムは、当該対象アプリケーションの実行を開始するために最低限必要なプログラムのみであってもよい。そして、残りのプログラムはユーザ端末１００と通信可能なサーバ装置（例えば、アプリサーバ３００）や他の端末装置（例えば、他のユーザ端末１００）が有する構成としてもよい。

また、ユーザ端末１００により実行される対象アプリケーションのプログ

ラムの全部をユーザ端末１００以外の装置が有する構成であってもよい。つまり、対象アプリケーションを実行するプログラムは、ユーザ端末１００にはインストールされず、ユーザ端末１００と通信可能なサーバ装置（例えば、アプリサーバ３００）や他の端末装置（例えば、他のユーザ端末１００）が有する構成としてもよい。すなわち、対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたとは、ユーザ端末１００からの指示により、ユーザ端末１００と通信網を介して接続されるサーバ装置において当該対象アプリケーションが実行された場合も含む。すなわち、ユーザ端末１００により実行される対象アプリケーションは、所謂クラウド型やＷＥＢ型のアプリケーションであってもよい。

[0465] このように、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００に未インストールの対象アプリケーションのうちの送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行されたことに基づいて報酬付与処理をする。よって、管理サーバ２００は、単に送客先アプリ２０がユーザ端末１００にインストールされただけではなく、ユーザ端末１００により送客先アプリ２０が実行されたことを条件として報酬付与処理をすることができる。したがって、本実施形態の相互送客システム５００によれば、報酬欲しさに送客先アプリ２０がインストールだけされて、実際には起動もされずに利用されないといった状況にならないようにすることができる。

[0466] （２）上記管理サーバ２００において、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、例えば、複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００により実行された対象アプリケーション（第１アプリケーション、送客元アプリ１０）に基づく要求を受けることにより、ユーザ端末１００からインストール通知情報（第１情報の一例）を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを特定可能な情報を第２情報（例えば、アプリケーションリスト）としてユーザ端末１００に対して送信する。

[0467] アプリケーションリストを例として説明した第２情報は、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケ

ーションを示す情報が含まれていれば、その情報の形態はいずれの形態であってもよい。例えば、第２情報は、ユーザ端末１００で表示可能なアプリ一覧ページのデータであってもよいし、アプリ一覧ページのリンク先を示す情報（例えば、リダイレクト指示情報）であってもよい。なお、このアプリ一覧ページにおいては、複数の対象アプリケーションを示す情報が、上下方向（縦方向）の並びで表示（所謂リスト表示）されてもよいし、左右方向（横方向）の並びで表示されてもよいし、または、縦及び横方向に升目状（格子状）の並びで表示（所謂グリッド表示）されてもよい。また、第２情報は、ユーザ端末１００で表示可能なように、対象アプリケーションを示す情報（例えば、アプリ名称、アプリアイコン画像、アプリＩＤ等）が単に含まれているデータであってもよい。

なお、第２情報には、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報の他に、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得済みの少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報が含まれてもよい。この場合、第２情報には、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報と、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得済みの少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報とを区別可能な情報が含まれてもよい。

つまり、第２情報は、ユーザ端末１００からインストール通知情報（第１情報の一例）を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを特定可能な情報ということができる。

[0468] これにより、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００により実行されたことがない（起動したことがない）対象アプリケーションを、ユーザ端末１００で特定できるようにすることができる。したがって、ユーザ端末１００は、実行されたことがない（起動したことがない）対象アプリケーションを、ユーザに選択可能なように表示することができる。

[0469] （３）管理サーバ２００のインストール通知取得部２４１（第１情報取得部

の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションがユーザ端末１００（端末装置の一例）により実行された場合、当該対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたことに応じてユーザ端末１００の当該対象アプリケーションから送信されたインストール通知情報（第１情報の一例）を取得する。また、リワード処理部２４５は、リスト通知部２４２がアプリケーションリストを送信したことに応じて、リスト通知部２４２から送信されたアプリケーションリスト（第２情報の一例）により示される対象アプリケーションのうちの対象アプリケーション（第２アプリケーションの一例、送客先アプリ２０）から送信されたインストール通知情報（第１情報の一例）を取得したことに基づいて報酬付与処理をする。

[0470] つまり、管理サーバ２００が取得するインストール通知情報は、当該インストール通知情報に対応する対象アプリケーションがユーザ端末１００で実行された（インストールされて起動した）ことに応じて、実行された対象アプリケーション（例えば、実行された対象アプリケーションに組み込まれたＳＤＫ１１）から送信される。例えば、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００の送客先アプリ２０（例えば、ＳＤＫ１１Ｂ）から送信されたインストール通知情報を取得することにより、送客先アプリ２０がユーザ端末１００で実行されたことを認識する。

[0471] このように、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００で実行された対象アプリケーションから送信されたインストール通知情報を取得するため、当該対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされただけではなく実行されたことを、より確実に把握することができる。よって、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００に送客先アプリ２０がインストールされただけではなく実行されたことを条件として、報酬付与処理をすることができる。

[0472] また、管理サーバ２００は、複数の対象アプリケーションのそれぞれに対して同様な制御を行うことができるため、複数の対象アプリケーション間の

相互送客を管理することができ、相互性のある報酬付与処理が可能となる。つまり、複数の対象アプリケーションのそれぞれが、送客元と送客先とのいずれにもなりうるため、対象アプリケーション間で互いに送客を行うことができる。例えば、対象アプリケーションが、送客先アプリ２０である場合には、当該対象アプリケーションが実行されたことが送客の成立となり、その送客の成立に基づいて送客元アプリ１０において報酬が付与される。そして、当該対象アプリケーションが、ユーザ端末１００にまだインストールされていない他の送客先アプリ２０への送客を行う送客元アプリ１０である場合は、送客の成立に基づいて当該対象アプリケーションにおいて報酬が付与されるというように、相互性のある報酬付与処理が可能となる。なお、複数の対象アプリケーションの全てが相互送客に対応している必要はなく、一部の対象アプリケーションが一方向の送客だけに対応していてもよい。

[0473] このように、本実施形態の相互送客システム５００によれば、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００で実行された対象アプリケーションのインストール通知情報を取得することにより、インストール通知情報を取得したことのない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報をユーザ端末１００に送信する。これにより、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００で実行されたことがない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報をユーザ端末１００に送信することができる。また、管理サーバ２００は、単に送客先アプリ２０がユーザ端末１００にインストールされただけではなく、ユーザ端末１００で送客先アプリ２０が実行されたことを条件として報酬付与処理をすることができる。

[0474] なお、上述したように、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない対象アプリケーションを、ユーザ端末１００により実行されたことがない対象アプリケーションとする。そのため、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００により一旦実行されてインストール通知情報を取得すればその後アンインストールされたとしても実行済みの対象アプリケーションとして認識することができ、実行されたことがない対象

アプリケーションから除外することができる。よって、管理サーバ２００は、例えばユーザ端末１００において同一の対象アプリケーションのインストール、実行（起動）、及びアンインストールが繰り返し行われたとしても、繰り返し報酬付与処理の対象とならないようにすることができる。

[0475] ＜第１及び第２の実施形態について：その３＞

以上説明した第１及び第２の実施形態について、以下のように記載することもできるが、以下の記載に限られるものではない。

[0476] （１）本実施形態の相互送客システム５００において、管理サーバ２００（管理装置の一例）は、アプリケーション管理部２２１と、インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例、アプリユーザ情報取得部の一例）と、インストール情報管理部２２２（第１情報管理部の一例）と、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）と、送客情報取得部２４３と、送客情報管理部２２３と、リワード処理部２４５と、を備えている。ここで、管理の対象とは、例えば相互送客システム５００に対応する対象アプリケーションとして管理する対象のことをいう。

アプリケーション管理部２２１は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理する。

インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションがユーザ端末１００（端末装置の一例）により実行された場合、当該対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたことに応じてユーザ端末１００から送信されたインストール通知情報（第１情報の一例）を取得する。なお、インストール通知情報には、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）及びインストール通知情報を送信した対象アプリケーションのアプリＩＤ（識別情報の一例）と関連付けられている。

また、インストール通知取得部２４１（アプリユーザ情報取得部の一例）は、インストール通知情報を送信した対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤ（対象アプリケーションのユーザ情報の一例）を取得する。

インストール情報管理部２２２（第１情報管理部の一例）は、インストール通知情報に関連付けられたリワードユーザＩＤ、インストール通知情報を送信した対象アプリケーションのアプリＩＤ、及びインストール通知情報を送信した対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤ（対象アプリケーションのユーザ情報の一例）、を関連付けてインストール情報（管理情報の一例）として管理する。

リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）に基づく要求を受けることにより、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）をユーザ端末１００に対して送信する。

送客情報取得部２４３は、アプリケーションリストを送信したことに応じて、リスト通知部２４２から送信されたアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちの送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）のアプリＩＤ、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ、及び送客元アプリ１０のアプリＩＤが関連付けられた送客情報を取得する。この送客情報は、送客元アプリ１０から送客先アプリ２０への送客を示す情報である。

送客情報管理部２２３は、送客情報取得部２４３が取得した送客情報を管理する。

リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行された場合に、送客先アプリ２０に対応する送客情報が送客情報管理部２２３で管理されていることを条件として、インストール情報管理部２２２が管理するインストール情報に基づいて報酬付与処理をする。

[0477] なお、インストール通知取得部２４１は、インストール通知情報を送信した対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤが含まれるインストール通知情報を取得してもよい。また、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００

に対応するリワードユーザＩＤと関連付けて対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを取得するアプリユーザ情報取得部を、インストール通知取得部２４１とは別に備えてもよい。

[0478] このように、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行された場合、送客元アプリ１０から送客先アプリ２０への送客（ユーザ端末１００を利用するユーザＸの送客）が成立したとして、報酬付与処理をする。

これにより、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行された場合、インストール情報管理部２２２が管理するインストール情報を参照して、送客先アプリ２０が実行される起因となった送客元アプリ１０におけるユーザＸに対して報酬が付与されるようにすることができる。よって、管理サーバ２００は、送客元アプリ１０と送客先アプリ２０との間でユーザ情報が異なる場合であっても、送客先アプリ２０が実行される起因となった送客元アプリ１０におけるユーザＸを特定し、送客元アプリ１０におけるユーザＸに対して報酬が付与されるようにすることができる。

[0479] 具体的には、ユーザ端末１００により送客先アプリ２０が実行されると、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００から送信された送客先アプリ２０のインストール通知情報を取得する。管理サーバ２００は、送客先アプリ２０のインストール通知情報を取得すると、送客先アプリ２０に対応する送客情報を管理しているか否かを判定する。インストール通知情報には、送客先アプリ２０のアプリＩＤとリワードユーザＩＤとが関連付けられているため、管理サーバ２００は、このインストール通知情報に関連付けられている送客先アプリ２０のアプリＩＤとリワードユーザＩＤとが関連付けられている送客情報を、送客先アプリ２０に対応する送客情報として管理しているか否かを判定する。管理サーバ２００は、送客先アプリ２０に対応する送客情報を管理していると判定した場合、管理しているインストール情報を参照して、当該送客情報に関連付けられている送客元アプリ１０のアプリＩＤとリワードユーザＩＤとに関連付けられている送客元アプリ１０におけるアプリユー

ザＩＤにより送客元アプリ１０におけるユーザＸを特定して報酬付与処理を行う。よって、管理サーバ２００は、互いにユーザ情報に互換性がない送客元アプリ１０から送客先アプリ２０への送客であっても、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行されて送客が成立した場合に、送客に寄与した送客元アプリ１０におけるユーザＸに対して報酬が付与されるようにすることができる。

[0480] なお、リスト通知部２４２は、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない対象アプリケーションのみを含むアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信してもよいし、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない対象アプリケーションとインストール通知情報を取得済みの対象アプリケーションとの両方を含むアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信してもよい。

[0481] （２）上記管理サーバ２００において、リスト通知部２４２は、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない対象アプリケーションであるか否かに関わらず、単に対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信してもよい。

例えば、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）に基づく要求を受けることにより、複数の対象アプリケーションのうちの少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）をユーザ端末１００に対して送信してもよい。

[0482] この場合も、管理サーバ２００は、インストール情報を管理しているため、ユーザ端末１００においてアプリケーションリストの中から選択された対象アプリケーションが実行された場合、当該対象アプリケーションが以前にユーザ端末１００により実行されたことがあるか否かを判定することができる。そして、管理サーバ２００は、当該対象アプリケーションが以前にユーザ端末１００により実行されたことがないと判定した場合には報酬付与処理

を行い、以前にユーザ端末１００により実行されたことがあると判定した場合には報酬付与処理を行わないようにすることができる。

[0483] （３）管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、報酬付与処理として、インストール情報管理部２２２が管理する管理情報に基づいて、送客元アプリ１０におけるアプリユーザＩＤ（第１アプリケーションのユーザ情報の一例）が関連付けられた報酬付与情報を、ユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０又は送客元アプリ１０に対応するアプリサーバ３１０（サーバ装置の一例）に送信する。

これにより、ユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０又はアプリサーバ３１０は、ユーザ端末１００のユーザＸに対して、送客元アプリ１０における報酬を付与することができる。したがって、管理サーバ２００は、送客に寄与した送客元アプリ１０におけるユーザＸに対して報酬が付与されるようにすることができる。

[0484] （４）管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がユーザ端末１００により実行され、且つ送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足された場合に、送客先アプリ２０に対応する送客情報が送客情報管理部２２３で管理されていることを条件として、報酬付与処理をする。

この場合、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行され、且つ送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足されたことが、送客元アプリ１０から送客先アプリ２０への送客が成立したこととなり、報酬付与処理が行われる。

[0485] このように、管理サーバ２００は、単に送客先アプリ２０が実行されただけ（例えば、単に起動しただけ）ではなく、送客先アプリ２０の利用を条件に報酬を付与することができる。

[0486] ＜第１及び第２の実施形態について：その４＞

以上説明した第１及び第２の実施形態について、以下のように記載することもできるが、以下の記載に限られるものではない。

[0487] （１）本実施形態の相互送客システム５００において、管理サーバ２００（管理装置の一例）は、アプリケーション管理部２２１と、インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）と、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）と、リワード処理部２４５と、を備えている。

アプリケーション管理部２２１は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理する。ここで、管理の対象とは、例えば相互送客システム５００に対応する対象アプリケーションとして管理する対象のことをいう。

インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションがユーザ端末１００（端末装置の一例）により実行された場合、当該対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたことに応じてユーザ端末１００から送信されたインストール通知情報（第１情報の一例）を取得する。

リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）に基づく要求を受けることにより、インストール通知取得部２４１が取得したインストール通知情報に基づいて、複数の対象アプリケーションの中から、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを抽出する。そして、リスト通知部２４２は、当該抽出した対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）をユーザ端末１００に対して送信する。

リワード処理部２４５は、リスト通知部２４２がアプリケーションリストを送信したことに応じて、リスト通知部２４２から送信されたアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちの送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がユーザ端末１００により実行されたことに基づいて報酬付与処理をする。

[0488] このように、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００により実行された対

象アプリケーションのインストール通知情報を取得することにより、インストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを抽出し、抽出した対象アプリケーションを示す情報をユーザ端末１００に送信する。これにより、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００により実行されたことがない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報をユーザ端末１００に送信することができる。

また、管理サーバ２００は、単に送客先アプリ２０がユーザ端末１００にインストールされただけではなく、ユーザ端末１００により送客先アプリ２０が実行されたことを条件として報酬付与処理をすることができる。

[0489] なお、上述したように、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない対象アプリケーションを、ユーザ端末１００により実行されたことがない対象アプリケーションとする。そのため、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００により一旦実行されてインストール通知情報を取得すればその後アンインストールされたとしても実行済みの対象アプリケーションとして認識することができ、実行されたことがない対象アプリケーションから除外することができる。よって、管理サーバ２００は、例えばユーザ端末１００において同一の対象アプリケーションのインストール、実行（起動）、及びアンインストールが繰り返し行われたとしても、繰り返し報酬付与処理の対象とならないようにすることができる。

[0490] （２）インストール通知情報（第１情報の一例）は、ユーザ端末１００において実行された対象アプリケーションを識別可能なアプリＩＤ（識別情報の一例）と関連付けられている。つまり、インストール通知情報はユーザ端末１００において実行された対象アプリケーションを直接的または間接的に識別可能である。なお、関連付けられているアプリＩＤがインストール通知情報に含まれている場合には、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００で実行された対象アプリケーションを、取得したインストール通知情報から直接的に識別可能である。また、関連付けられているアプリＩＤがインストール通知情報に含まれていない場合には、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００

で実行された対象アプリケーションを、別途取得したアプリＩＤから間接的に識別可能である。

これにより、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００で実行された対象アプリケーションを識別することができる。

[0491] （３）管理サーバ２００は、インストール情報管理部２２２（第１情報管理部の一例）をさらに備えている。インストール情報管理部２２２は、インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）が取得したインストール通知情報（第１情報の一例）を管理する。リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、インストール情報管理部２２２が管理するインストール通知情報に基づいて、複数の対象アプリケーションの中から、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを抽出する。そして、リスト通知部２４２は、当該抽出した対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）をユーザ端末１００に対して送信する。

[0492] このように、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００により実行された対象アプリケーションのインストール通知情報を管理することにより、インストール通知情報を取得していない（すなわち、インストール通知情報を管理していない）少なくとも一の対象アプリケーションを抽出し、抽出した対象アプリケーションを示す情報をユーザ端末１００に送信する。これにより、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００で実行されたことがない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報をユーザ端末１００に送信することができる。また、管理サーバ２００は、単に送客先アプリ２０がユーザ端末１００にインストールされただけではなく、ユーザ端末１００で送客先アプリ２０が実行されたことを条件として報酬付与処理をすることができる。

[0493] なお、上述したように、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない対象アプリケーションを、ユーザ端末１００により実行されたことがない対象アプリケーションとする。そのため、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００により一旦実行されてインストール

通知情報を取得すればその後アンインストールされたとしても実行済みの対象アプリケーションとして認識することができ、実行されたことがない対象アプリケーションから除外することができる。よって、管理サーバ２００は、例えばユーザ端末１００において同一の対象アプリケーションのインストール、実行（起動）、及びアンインストールが繰り返し行われたとしても、繰り返し報酬付与処理の対象とならないようにすることができる。

[0494] ＜第１及び第２の実施形態について：その５＞

以上説明した第１及び第２の実施形態について、以下のように記載することもできるが、以下の記載に限られるものではない。

[0495] （１）本実施形態の相互送客システム５００において、管理サーバ２００（管理装置の一例）は、アプリケーション管理部２２１と、インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）と、インストール情報管理部２２２（第１情報管理部の一例）と、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）と、リワード処理部２４５と、を備えている。

アプリケーション管理部２２１は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理する。ここで、管理の対象とは、例えば相互送客システム５００に対応する対象アプリケーションとして管理する対象のことをいう。

インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションがユーザ端末１００（端末装置の一例）により実行された場合、当該対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたことに応じてユーザ端末１００から送信されたインストール通知情報（第１情報の一例）を取得する。

インストール情報管理部２２２（第１情報管理部の一例）は、インストール通知取得部２４１が取得したインストール通知情報を管理する。

リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）に基づく要求を受けることにより、インストール情

報管理部２２２が管理するインストール通知情報に基づいて、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）をユーザ端末１００に対して送信する。

リワード処理部２４５は、リスト通知部２４２がアプリケーションリストを送信したことに応じて、リスト通知部２４２から送信されたアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちの送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がユーザ端末１００により実行されたことに基づいて報酬付与処理をする。

[0496] このように、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００で実行された対象アプリケーションのインストール通知情報を管理することにより、インストール通知情報を取得していない（すなわち、インストール通知情報を管理していない）少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報をユーザ端末１００に送信する。これにより、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００で実行されたことがない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報をユーザ端末１００に送信することができる。また、管理サーバ２００は、単に送客先アプリ２０がユーザ端末１００にインストールされただけではなく、ユーザ端末１００で送客先アプリ２０が実行されたことを条件として報酬付与処理をすることができる。

[0497] なお、上述したように、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない（すなわち、インストール通知情報を管理していない）対象アプリケーションを、ユーザ端末１００で実行されたことがない対象アプリケーションとする。そのため、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００により一旦実行されてインストール通知情報を取得すればその後アンインストールされたとしても実行済みの対象アプリケーションとして認識することができ、実行されたことがない対象アプリケーションから除外することができる。したがって、管理サーバ２００は、例えばユーザ端末１００において同一の対象アプリケーションのインストール、実行（起動）

、及びアンインストールが繰り返し行われたとしても、繰り返し報酬付与処理の対象とならないようにすることができる。

[0498] （２）リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、インストール情報管理部２２２（第１情報管理部の一例）が管理するインストール通知情報（第１情報の一例）に基づいて、複数の対象アプリケーションの中から、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを抽出し、当該抽出した対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）をユーザ端末１００に対して送信する。

これにより、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００で実行されたことがない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報をユーザ端末１００に送信することができる。

[0499] ＜第１及び第２の実施形態について：その６＞

以上説明した第１及び第２の実施形態について、以下のように記載することもできるが、以下の記載に限られるものではない。

[0500] （１）本実施形態の相互送客システム５００において、管理サーバ２００（管理装置の一例）は、アプリケーション管理部２２１と、インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）と、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）と、リワード処理部２４５と、を備えている。

アプリケーション管理部２２１は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定されたキャンペーン期間（第１の期間の一例）に関する情報を管理する。

インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションがユーザ端末１００（端末装置の一例）により実行された場合、当該対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたことに応じてユーザ端末１００から送信されたインストール通知情報（第１情報の一例）を取得する。

リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、キャンペーン期間が設

定された対象アプリケーション（すなわち、特定アプリケーション）のうちユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）であって、キャンペーン期間が設定された送客元アプリ１０に基づく要求を受けることにより、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一のキャンペーン期間が設定された対象アプリケーション（すなわち、特定アプリケーション）を示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）をユーザ端末１００に対して送信する。

リワード処理部２４５は、リスト通知部２４２がアプリケーションリストを送信したことに応じて、リスト通知部２４２から送信されたアプリケーションリストにより示される対象アプリケーション（すなわち、特定アプリケーション）のうちの送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたことに基づいて報酬付与処理をする。

[0501] このように、管理サーバ２００は、送客元アプリ１０にキャンペーン期間が設定されている場合には、キャンペーン期間が設定されている特定アプリケーションを示す情報をユーザ端末１００に対して送信する。そして、管理サーバ２００は、キャンペーン期間が設定されている特定アプリケーションのうちの送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたことに基づいて報酬付与処理をする。

つまり、同じキャンペーンに参加している送客元アプリ１０から送客先アプリ２０への送客では、キャンペーン期間中に送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行されたことに基づいて報酬付与処理が行われる。そのため、キャンペーン期間による報酬の付与が、キャンペーンに参加する特定アプリケーションの間での送客の動機付けとなる。例えば、キャンペーン期間が設定されているときの報酬を、キャンペーン期間が設定されていないときの報酬と比較して報酬価値を高めるようにすれば、より送客数（利用者数）を増加させることができるようになる。従って、本実施形態の相互送客システム５００によれば、特定の期間だけ相互送客を高めることができ、相互に

アプリケーションの販売の促進に繋げることが可能となる。換言すれば、相互にアプリケーションの利用者数の増大に繋げることが可能となる。つまり、送客とは利用者数を増大させることである。

[0502] また、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたことに基づいて報酬付与処理をする。そのため、本実施形態の相互送客システム５００によれば、報酬欲しさに送客先アプリ２０がインストールだけされて、実際には起動もされずに利用されないといった状況にならないようにすることができる。

[0503] （２）リワード処理部２４５は、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）がアプリケーションリスト（第２情報の一例）を送信したことに応じて、リスト通知部２４２から送信されたアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちの送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたか否かを判定する。そして、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたと判定した場合に、報酬付与処理をする。

[0504] このように、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたか否かを判定することにより、キャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたことを条件として、報酬付与処理をすることができる。

[0505] なお、リワード処理部２４５は、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）がアプリケーションリスト（第２情報の一例）を送信したことに応じて、リスト通知部２４２から送信されたアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちの送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたか否かを判定し、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたと判定し、且つ送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足された場合に、報酬付与処理をしてもよい。

[0506] このように、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたか否かを判定することにより、キャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行され、且つ送客先アプリ２０に設定された報酬付与条件が充足されたことを条件として、報酬付与処理をすることができる。よって、管理サーバ２００は、単に送客先アプリ２０がキャンペーン期間内に実行されただけ（例えば、単に起動しただけ）ではなく、送客先アプリ２０の利用を条件に報酬を付与することができる。

[0507] （３）リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたか否かを、例えば、以下のように判定する。

送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がユーザ端末１００により実行されたことに応じてユーザ端末１００から送信されたインストール通知情報（第１情報の一例）をインストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）が取得したとする。この場合、リワード処理部２４５は、まず、アプリケーション管理部２２１が管理する複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定されたキャンペーン期間（第１の期間の一例）に関する情報を参照して、送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）と送客先アプリ２０とにキャンペーン期間が設定されているか否かを判定する。そして、リワード処理部２４５は、送客元アプリ１０と送客先アプリ２０とにキャンペーン期間が設定されていると判定した場合に、送客先アプリ２０のインストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内であるか否かを判定することにより、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたか否かを判定する。なお、送客元アプリ１０は、送客先アプリ２０に対応する送客情報に関連付けられている送客元アプリ１０のアプリＩＤにより特定することができる。

[0508] 上記の判定処理は、図１５のステップＳＥ２２の処理に対応する。例えば、リワード処理部２４５は、キャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５を参照して、送客先アプリ２０と送客元アプリ１０とにキャンペーン期間が設定

されているか否かを判定する。次に、リワード処理部２４５は、送客元アプリ１０と送客先アプリ２０とにキャンペーン期間が設定されていると判定した場合には、送客先アプリ２０のインストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内であるか否かを判定する。そして、リワード処理部２４５は、インストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内であると判定した場合には、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたと判定する（図１５のステップＳＥ２２：ＹＥＳ）。一方、リワード処理部２４５は、インストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内ではないと判定した場合には、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されなかったと判定する（図１５のステップＳＥ２２：ＮＯ）。なお、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０と送客元アプリ１０との間にキャンペーン期間が設定されていない場合には、送客先アプリ２０のインストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内ではないため、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されなかったと判定する（図１５のステップＳＥ２２：ＮＯ）。

[0509] なお、リワード処理部２４５は、図１５のステップＳＥ２２において、まず、送客先アプリ２０にキャンペーン期間が設定されているか否かを判定し、次に、送客先アプリ２０にキャンペーン期間が設定されていると判定した場合に、送客元アプリ１０と送客先アプリ２０とにキャンペーン期間が設定されているか否かを判定してもよい。このとき、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０にキャンペーン期間が設定されていないと判定した場合には、送客先アプリ２０のインストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内ではないため、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されなかったと判定してもよい。

[0510] これにより、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたか否かに応じて報酬処理を行うことができる。

[0511] なお、ステップＳＥ２２における判定処理において、管理サーバ２００は、単に送客先アプリ２０に設定されているキャンペーン期間に基づいて、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたか否かを判定してもよい。

例えば、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がユーザ端末１００により実行されたことに応じてユーザ端末１００から送信されたインストール通知情報（第１情報の一例）をインストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）が取得したとする。その場合、リワード処理部２４５は、アプリケーション管理部２２１が管理する送客先アプリ２０に対して設定されたキャンペーン期間（第１の期間の一例）に関する情報を参照して、送客先アプリ２０のインストール通知情報を取得したタイミングが送客先アプリ２０に設定されたキャンペーン期間（第１の期間の一例）内であるか否かを判定することにより、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたか否かを判定してもよい。

[0512] 例えば、全ての対象アプリケーションに同一のキャンペーン期間が設定されるような場合、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０のインストール通知情報を取得したタイミングが、単に送客先アプリ２０に設定されているキャンペーン期間内であるか否かを判定することにより、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたか否かを判定することができる。

[0513] （４）管理サーバ２００は、送客情報取得部２４３と、送客情報管理部２２３と、をさらに備えている。送客情報取得部２４３は、送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）から送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）への送客を示す送客情報を取得する。送客情報管理部２２３は、送客情報取得部２４３が取得した送客情報を管理する。リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０がキャンペーン期間（第１の期間の一例）内にユーザ端末１００により実行された場合、送客先アプリ２０に対応する送客情報であって、キャンペーン期間が設定されていることを示す情報（例えば、キ

ャンペーンＩＤ）が関連付けられている送客情報が送客情報管理部２２３で管理されていることを条件として、報酬付与処理をする。

[0514] このように、管理サーバ２００は、キャンペーンに参加する特定アプリケーション間の送客では、キャンペーン期間が設定されていることを示す情報（例えば、キャンペーンＩＤ）が関連付けられている送客情報を管理するため、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行された場合、ＣＰリワードの対象とすることができる。なお、管理サーバ２００は、キャンペーンに参加していない送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行された場合には、キャンペーン期間が設定されていることを示す情報（例えば、キャンペーンＩＤ）が関連付けられていない送客情報を管理しているため、ＣＰリワードの対象としないようにすることができる（例えば、通常リワードの対象とする）。

[0515] なお、キャンペーン期間が設定されていることを示す情報は、キャンペーンを識別可能なキャンペーンＩＤとしてもよいが、キャンペーンを識別する必要が無い場合（例えば、１種類のキャンペーンのみの場合）には、少なくともキャンペーン期間が設定されていることが判別可能であればキャンペーンを識別できない情報であってもよい。

[0516] （４－１）管理サーバ２００は、同一のキャンペーンに参加する特定アプリケーション間の送客である場合に、例えば以下の処理により、キャンペーン期間が設定されていることを示す情報（例えば、キャンペーンＩＤ）を送客情報に関連付けて管理する。

[0517] 例えば、管理サーバ２００の送客情報取得部２４３は、送客元アプリ１０から送客先アプリ２０への送客を示す送客情報を、キャンペーン期間（第１の期間の一例）が設定されていることを示す情報（例えば、キャンペーンＩＤ）と関連付けて取得する。そして、送客情報管理部２２３は、送客情報取得部２４３が取得した、キャンペーン期間が設定されていることを示す情報（例えば、キャンペーンＩＤ）が関連付けられた送客情報を管理する。

[0518] ここで、図１４を参照して具体的な処理の例を説明する。例えば、図１４

のステップＳＡ２４において、送客元アプリ１０のＳＤＫ１１Ａのリスト要求部１０４は、アプリケーションリスト（送客先アプリ２０の候補となる対象アプリケーションの情報）を要求するリスト要求通知情報を管理サーバ２００に対して送信する。このとき、送客元アプリ１０がキャンペーンに参加する特定アプリケーションの場合、リスト要求通知情報にはキャンペーンＩＤが含まれる。

[0519] 管理サーバ２００のリスト通知部２４２は、リスト要求通知情報を取得すると、取得したリスト要求通知情報に基づいて、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を抽出し、抽出した対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザ端末１００において表示するためのアプリ一覧ページのデータを生成する（図１４のステップＳＥ１６）。そして、リスト通知部２４２は、生成したアプリ一覧ページに対応したリダイレクト指示情報をユーザ端末１００に対して送信し、アプリ一覧ページにリダイレクトさせる（図１４のステップＳＥ１７）。なお、このアプリ一覧ページには、対象アプリケーションのアプリＩＤが含まれるとともに、送客元アプリ１０と同一のキャンペーンに参加する対象アプリケーションのキャンペーンＩＤが含まれる。

[0520] ユーザ端末１００に表示された対象アプリケーションの一覧ＬＴの中から、送客元アプリ１０と同一のキャンペーンに参加する送客先アプリ２０がユーザＸにより選択されると、送客元アプリ１０のＳＤＫ１１Ａの送客情報通知部１０６は、送客元アプリ１０から送客先アプリ２０への送客を示す送客情報を管理サーバ２００に対して送信する（図１４のステップＳＡ２６）。ここで、送客情報には、例えば、送客元アプリ１０のアプリＩＤと、送客先アプリ２０のアプリＩＤと、リワードユーザＩＤと、キャンペーンＩＤとが含まれる。

[0521] 次に、管理サーバ２００の送客情報取得部２４３は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）から送信された送客情報を取得する。そして、送客情報管理部２２３は、送客情報取得部２４３が取得した送客情報に含まれる送客元ア

プリ１０のアプリＩＤと、送客先アプリ２０のアプリＩＤと、リワードユーザＩＤと、キャンペーンＩＤとを関連付けて送客情報の記録として送客情報記憶部２３７に記憶させる（図１４のステップＳＥ１８）。

[0522] このように、管理サーバ２００は、同一のキャンペーンに参加する送客元アプリ１０から送客先アプリ２０への送客を示す送客情報を、キャンペーン期間が設定されていることを示す情報（例えば、キャンペーンＩＤ）と関連付けて取得する。これにより、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行された場合、管理サーバ２００は、同一のキャンペーンに参加する特定アプリケーション間の送客であるか否かを判定することができ、同一のキャンペーンに参加する特定アプリケーション間の送客である場合には、ＣＰリワードの対象とすることができる。

[0523] 例えば、図１５に示すステップＳＥ２５において、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、ユーザ端末１００（送客先アプリ２０のＳＤＫ１１Ｂ）から送信された報酬付与通知情報（成果地点到達通知）を取得すると、送客先アプリ２０に対応する送客情報であって、キャンペーン期間が設定されていることを示す情報（例えば、キャンペーンＩＤ）が関連付けられている送客情報が送客情報管理部２２３において管理されていることを条件として、報酬付与処理（ＣＰリワード処理）をする。すなわち、リワード処理部２４５は、取得した報酬付与情報に含まれる送客先アプリ２０のアプリＩＤ、リワードユーザＩＤ、及びキャンペーンＩＤが関連付けられている送客情報が送客情報管理部２２３において管理されていることを条件として、報酬付与処理（ＣＰリワード処理）をする。

[0524] （４－２）管理サーバ２００は、同一のキャンペーンに参加する特定アプリケーション間の送客である場合に、以下の処理により、キャンペーン期間が設定されていることを示す情報（例えば、キャンペーンＩＤ）を送客情報に関連付けて管理してもよい。

[0525] 例えば、管理サーバ２００の送客情報管理部２２３は、送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）に設定されているキャンペーン期間（第１

の期間の一例）が設定されていることを示す情報（例えば、キャンペーンＩＤ）を関連付けて、送客情報取得部２４３が取得した送客情報を管理してもよい。

[0526] 具体的には、図１４のステップＳＡ２６において、送客元アプリ１０のＳＤＫ１１Ａの送客情報通知部１０６が管理サーバ２００に対して送信する送客情報には、送客元アプリ１０のアプリＩＤと、送客先アプリ２０のアプリＩＤと、リワードユーザＩＤとが含まれ、キャンペーンＩＤが含まれなくてもよい。そして、図１４のステップＳＥ１８において、管理サーバ２００の送客情報取得部２４３が、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）から送信された送客情報を取得すると、送客情報管理部２２３は、送客情報取得部２４３が取得した送客情報に含まれる送客元アプリ１０のアプリＩＤ、送客先アプリ２０のアプリＩＤ、及びリワードユーザＩＤと、送客元アプリ１０に設定されているキャンペーンＩＤとを関連付けて送客情報の記録として送客情報記憶部２３７に記憶させてもよい。この場合、送客情報管理部２２３は、送客元アプリ１０に設定されているキャンペーンＩＤを、例えば、図１４のステップＳＥ１５においてリスト通知部２４２が取得したリスト要求通知情報に含まれるキャンペーンＩＤを保持しておいて取得する。なお、送客情報管理部２２３は、送客元アプリ１０に設定されているキャンペーンＩＤを、キャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５を参照して取得してもよい。

[0527] このように、管理サーバ２００は、キャンペーン期間が設定されていることを示す情報（例えば、キャンペーンＩＤ）を、送客情報とともにユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）から取得しなくとも、事前に取得した送客元アプリ１０のキャンペーンＩＤとすることができるため、同一のキャンペーンに参加する送客元アプリ１０から送客先アプリ２０への送客を示す送客情報を、キャンペーン期間が設定されていることを示す情報（例えば、キャンペーンＩＤ）と関連付けて管理することができる。これにより、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行された場合、管理サーバ２００は、同一のキャンペーンに参加する特定アプリケーション間の送

客であるか否かを判定することができ、同一のキャンペーンに参加する特定アプリケーション間の送客である場合には、ＣＰリワードの対象とすることができる。

[0528] なお、このように、送客元アプリ１０に設定されているキャンペーンＩＤを送客情報に関連付けて管理する方法では、送客元アプリ１０と同一のキャンペーンに参加する送客先アプリ２０が選択されることが必須となる。例えば、全ての対象アプリケーションが同一のキャンペーンに参加しているような場合には、いずれの対象アプリケーションが送客先アプリ２０として選択されても、送客元アプリ１０と同一のキャンペーンに参加する送客先アプリ２０が選択されることになる。また、複数の対象アプリケーションの一部がキャンペーンに参加している場合や複数のキャンペーンがある場合には、管理サーバ２００からユーザ端末１００に送信するアプリケーションリストを、送客元アプリ１０と同一のキャンペーンに参加する対象アプリケーションのみのアプリケーションリストとすることにより、送客元アプリ１０と同一のキャンペーンに参加する送客先アプリ２０が選択されることになる。

[0529] 例えば、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、キャンペーン期間（第１の期間の一例）が設定された送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）に基づく要求を受けることにより、ユーザ端末１００からインストール通知情報（第１情報の一例）を取得していない少なくとも一のキャンペーン期間が設定された対象アプリケーションを示す情報のみのアプリケーションリスト（第２情報の一例）をユーザ端末１００に対して送信してもよい。

[0530] これにより、送客元アプリ１０と同一のキャンペーンに参加する送客先アプリ２０が選択されることになり、管理サーバ２００は、同一のキャンペーンに参加する送客元アプリ１０から送客先アプリ２０への送客を示す送客情報を、キャンペーン期間が設定されていることを示す情報（例えば、キャンペーンＩＤ）と関連付けて管理することができる。

[0531] なお、送客情報管理部２２３は、送客情報取得部２４３が取得した送客情

報に含まれる送客元アプリ１０のアプリＩＤ、送客先アプリ２０のアプリＩＤ、及びリワードユーザＩＤと、送客先アプリ２０に設定されているキャンペーンＩＤとを関連付けて送客情報の記録として送客情報記憶部２３７に記憶させてもよい。この場合、送客情報管理部２２３は、送客先アプリ２０に設定されているキャンペーンＩＤを、キャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５を参照して取得してもよい。

[0532] （４－３）管理サーバ２００は、同一のキャンペーンに参加する特定アプリケーション間の送客である場合に、以下の処理により、キャンペーン期間が設定されていることを示す情報（例えば、キャンペーンＩＤ）を送客情報に関連付けて管理してもよい。

[0533] 例えば、管理サーバ２００の送客情報管理部２２３は、アプリケーション管理部２２１が管理する複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定されたキャンペーン期間（第１の期間の一例）に関する情報を参照して、送客情報取得部２４３が取得した送客情報により示される送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）と送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）とにキャンペーン期間が設定されているか否かを判定してもよい。そして、送客情報管理部２２３は、送客元アプリ１０と送客先アプリ２０とにキャンペーン期間が設定されていると判定した場合には、キャンペーン期間が設定されていることを示す情報（例えば、キャンペーンＩＤ）を関連付けて送客情報を管理してもよい。

[0534] 具体的には、図１４のステップＳＡ２６において、送客元アプリ１０のＳＤＫ１１Ａの送客情報通知部１０６が管理サーバ２００に対して送信する送客情報には、送客元アプリ１０のアプリＩＤと、送客先アプリ２０のアプリＩＤと、リワードユーザＩＤとが含まれ、キャンペーンＩＤが含まれなくてもよい。そして、図１４のステップＳＥ１８において、管理サーバ２００の送客情報取得部２４３が、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）から送信された送客情報を取得すると、送客情報管理部２２３は、送客情報に含まれる送客元アプリ１０のアプリＩＤ、送客先アプリ２０のアプリＩＤ、及びリワー

ドユーザＩＤを関連付けて送客情報の記録として送客情報記憶部２３７に記憶させてもよい。また、送客情報管理部２２３は、キャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５を参照して、この送客情報に含まれる送客元アプリ１０のアプリＩＤと送客先アプリ２０のアプリＩＤとにより示される送客元アプリ１０と送客先アプリ２０とに、キャンペーン期間が設定されているか否かを判定してもよい。

[0535] 例えば、送客情報管理部２２３は、送客元アプリ１０と送客先アプリ２０とに同一のキャンペーンＩＤが設定されている場合には、送客情報に含まれる送客元アプリ１０のアプリＩＤ、送客先アプリ２０のアプリＩＤ、及びリワードユーザＩＤと、送客元アプリ１０と送客先アプリ２０とに設定されているキャンペーンＩＤとを関連付けて送客情報の記録として送客情報記憶部２３７に記憶させる。

なお、送客情報管理部２２３は、送客元アプリ１０と送客先アプリ２０とに同一のキャンペーンＩＤが設定されていない場合には、キャンペーンＩＤに代わりに「ｎｕｌｌ」を設定する。

[0536] このように、管理サーバ２００は、いずれの対象アプリケーションがキャンペーンに参加する特定アプリケーションであるかを示す情報（キャンペーン参加アプリ情報）を管理しているため、送客情報とともにキャンペーンＩＤをユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）から取得しなくとも、同一のキャンペーンに参加する特定アプリケーション間の送客による送客情報にはキャンペーンＩＤを関連付けて管理することができる。これにより、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行された場合、管理サーバ２００は、同一のキャンペーンに参加する特定アプリケーション間の送客であるか否かを判定することができ、同一のキャンペーンに参加する特定アプリケーション間の送客である場合には、ＣＰリワードの対象とすることができる。

[0537] （５）本実施形態の相互送客システム５００において、管理サーバ２００は、キャンペーン期間が設定されていることを示す情報（例えば、キャンペー

ンＩＤ）を送客情報に関連付けなくてもよい。そして、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行された場合、キャンペーンに参加する特定アプリケーション間の送客であるか否かを以下のように判定してもよい。

[0538] 例えば、管理サーバ２００の送客情報取得部２４３は、送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）から送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）への送客を示す送客情報を取得する。また、送客情報管理部２２３は、送客情報取得部２４３が取得した送客情報を管理する。そして、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０がキャンペーン期間（第１の期間の一例）内にユーザ端末１００により実行された場合、送客先アプリ２０に対応する送客情報が送客情報管理部２２３で管理されており、且つ送客情報により示される送客先アプリ２０と送客元アプリ１０とにキャンペーン期間が設定されていることを条件として、報酬付与処理をしてもよい。

[0539] 具体的には、図１４のステップＳＡ２６において、送客元アプリ１０のＳＤＫ１１Ａの送客情報通知部１０６が管理サーバ２００に対して送信する送客情報には、送客元アプリ１０のアプリＩＤと、送客先アプリ２０のアプリＩＤと、リワードユーザＩＤとが含まれ、キャンペーンＩＤが含まれなくてもよい。そして、図１４のステップＳＥ１８において、管理サーバ２００の送客情報取得部２４３が、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）から送信された送客情報を取得すると、送客情報管理部２２３は、送客情報取得部２４３が取得した送客情報に含まれる送客元アプリ１０のアプリＩＤ、送客先アプリ２０のアプリＩＤ、及びリワードユーザＩＤを関連付けて送客情報の記録として送客情報記憶部２３７に記憶させてもよい。

[0540] また、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行されたことに応じてユーザ端末１００から送信されたインストール通知情報をインストール通知取得部２４１が取得したとする。この場合、図１５のステップＳＥ２２において、リワード処理部２４５は、キャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５を参照して、送客先アプリ２０と送客元アプリ１０との間にキャンペーン

期間が設定されているか否かを判定する。次に、リワード処理部２４５は、送客元アプリ１０と送客先アプリ２０とにキャンペーン期間が設定されていると判定した場合には、送客先アプリ２０のインストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内であるか否かを判定する。そして、リワード処理部２４５は、インストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内であると判定した場合には、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたと判定する（図１５のステップＳＥ２２：ＹＥＳ）。一方、リワード処理部２４５は、インストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内ではないと判定した場合には、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されなかったと判定する（図１５のステップＳＥ２２：ＮＯ）。なお、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０と送客元アプリ１０との間にキャンペーン期間が設定されていない場合には、送客先アプリ２０のインストール通知情報を取得したタイミングがキャンペーン期間内ではないないため、送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されなかったと判定する（図１５のステップＳＥ２２：ＮＯ）。

[0541] リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０がキャンペーン期間（第１の期間の一例）内にユーザ端末１００により実行されたと判定した場合（図１５のステップＳＥ２２：ＹＥＳ）、図１５のステップＳＥ２５に処理を進める。

[0542] そして、図１５のステップＳＥ２５において、リワード処理部２４５は、ユーザ端末１００（送客先アプリ２０のＳＤＫ１１Ｂ）から送信された報酬付与通知情報（成果地点到達通知）を取得すると、送客先アプリ２０に対応する送客情報が送客情報管理部２２３において管理されているか否かを判定する。例えば、リワード処理部２４５は、取得した報酬付与情報に含まれる送客先アプリ２０のアプリＩＤ及びリワードユーザＩＤが関連付けられている送客情報（すなわち、送客先アプリ２０に対応する送客情報）が送客情報管理部２２３において管理されているか否かを判定する。

[0543] この判定により、送客先アプリ２０に対応する送客情報が管理されていると判定された場合、リワード処理部２４５は、アプリケーション管理部２２１が管理する複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定されたキャンペーン期間（第１の期間の一例）に関する情報（例えば、キャンペーン参加アプリ情報）を参照して、送客先アプリ２０と送客元アプリ１０とにキャンペーン期間が設定されているか否かを判定してもよい。そして、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０に対応する送客情報により示される送客先アプリ２０と送客元アプリ１０とにキャンペーン期間が設定されていることを条件として、報酬付与処理（ＣＰリワード処理）をしてもよい。

[0544] 例えば、リワード処理部２４５は、キャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５に記憶されているキャンペーン参加アプリ情報において、送客先アプリ２０のアプリＩＤと送客元アプリ１０のアプリＩＤとのそれぞれに同一のキャンペーンＩＤが関連付けられているか否かを判定する。そして、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０のアプリＩＤと送客元アプリ１０のアプリＩＤとのそれぞれに同一のキャンペーンＩＤが関連付けられていると判定した場合、報酬付与処理（ＣＰリワード処理）をする。一方、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０のアプリＩＤと送客元アプリ１０のアプリＩＤとのそれぞれに同一のキャンペーンＩＤが関連付けられていないと判定した場合、報酬付与処理（ＣＰリワード処理）を行わない。

[0545] これにより、管理サーバ２００は、送客元アプリ１０と同一のキャンペーンに参加する送客先アプリ２０がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行された場合、ＣＰリワードを行う対象とすることができる。また、管理サーバ２００は、送客元アプリ１０と同一のキャンペーンに参加していない送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行された場合、ＣＰリワードを行う対象としないようにすることができる。

[0546] ＜第１及び第２の実施形態について：その７＞

以上説明した第１及び第２の実施形態について、以下のように記載するこ

ともできるが、以下の記載に限られるものではない。

[0547] 上記実施形態では、管理サーバ２００が、複数の対象アプリケーションの中からキャンペーンに参加する特定アプリケーションを抽出又は判定したが、これに限られるものではない。例えば、ユーザ端末１００の送客元アプリ１０のＳＤＫ１１Ａが、キャンペーンに参加する特定アプリケーションを抽出又は判定してもよい。

[0548] 例えば、本実施形態の相互送客システム５００において、管理サーバ２００（管理装置の一例）は、アプリケーション管理部２２１と、インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）と、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）と、リワード処理部２４５と、を備え、各部が以下のような機能を有してもよい。

アプリケーション管理部２２１は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定されたキャンペーン期間（第１の期間の一例）に関する情報を管理する。

インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションがユーザ端末１００（端末装置の一例）により実行された場合、当該対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたことに応じてユーザ端末１００から送信されたインストール通知情報（第１情報の一例）を取得する。

リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、キャンペーン期間が設定された対象アプリケーション（すなわち、特定アプリケーション）のうちユーザ端末１００により実行された送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）であって、キャンペーン期間が設定された送客元アプリ１０に基づく要求を受けることにより、アプリケーション管理部２２１が管理するキャンペーン期間に関する情報と、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーション（すなわち、特定アプリケーション）を示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）と、をユーザ端末１００に対して送信する。

リワード処理部２４５は、リスト通知部２４２がアプリケーションリストを送信したことに応じて、リスト通知部２４２から送信されたアプリケーションリストにより示される対象アプリケーション（すなわち、特定アプリケーション）のうちの送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がキャンペーン期間内にユーザ端末１００により実行されたことに基づいて報酬付与処理をする。

[0549] また、管理サーバ２００と通信可能なユーザ端末１００（端末装置の一例）は、インストール通知部１０３と、リスト要求部１０４と、表示制御部１０５と、を備え、各部が以下のような機能を有してもよい。なお、管理サーバ２００は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定されたキャンペーン期間（第１の期間の一例）に関する情報を管理する。

インストール通知部１０３は、ユーザ端末１００（自端末装置の一例）にインストールされた対象アプリケーションのインストール通知情報（第１情報の一例）を管理サーバ２００に対して送信する。リスト要求部１０４は、一の対象アプリケーション（例えば、送客元アプリ１０、第１アプリケーション）における第１の操作に基づいて、複数の対象アプリケーションのうちの少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報を管理サーバ２００に対して要求する際に、当該一の対象アプリケーションを示す送客元情報（例えば、送客元アプリ１０のアプリＩＤ）を管理サーバ２００に対して送信する。また、リスト要求部１０４は、上記要求に応じて、管理サーバ２００がユーザ端末１００からインストール情報通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）と、管理サーバ２００が管理するキャンペーン期間に関する情報と、を管理サーバ２００から取得する。

表示制御部１０５は、リスト要求部１０４が取得したアプリケーションリスト（第２情報の一例）と、キャンペーン期間に関する情報とに基づくアプリケーションリスト（提示情報の一例）を生成するとともに、生成したアプ

リケーションリスト（提示情報の一例）に基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴ（表示情報の一例）を表示部１２０に表示させる。

[0550] このように、管理サーバ２００は、アプリケーションリストとキャンペーン期間に関する情報とをユーザ端末１００に送信する。また、ユーザ端末１００は、管理サーバ２００から送信されたアプリケーションリストとキャンペーン期間に関する情報とを取得し、取得したアプリケーションリストとキャンペーン期間に関する情報とに基づいて対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示する。これにより、管理サーバ２００は、対象アプリケーションのうちのキャンペーンに参加する特定アプリケーションをユーザ端末１００で区別可能にすることができる。ユーザ端末１００は、キャンペーンに参加する特定アプリケーションを区別可能に表示することや優先して表示することができる。また、ユーザ端末１００は、キャンペーンに参加する特定アプリケーションのみを表示することもできる。

[0551] ここで、図１４を参照して具体的な処理の例を説明する。図１４に示す処理では、管理サーバ２００のリスト通知部２４２は、リスト要求通知情報を取得すると、取得したリスト要求通知情報に基づいて、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を抽出し、抽出した対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザ端末１００において表示するためのアプリ一覧ページのデータを生成し（図１４のステップＳＥ１６）、生成したアプリ一覧ページに対応したリダイレクト指示情報をユーザ端末１００に対して送信し、アプリ一覧ページにリダイレクトさせる（図１４のステップＳＥ１７）。ここでは、これらのステップＳＥ１６及びステップＳＥ１７の処理に代えて、リスト通知部２４２は、キャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５に記憶されているキャンペーン参加アプリ情報と、ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーション（すなわち、特定アプリケーション）を示す情報を含むアプリケーションリストと、をユーザ端末１００に対して送信する。

[0552] なお、リスト通知部２４２は、キャンペーン参加アプリ情報記憶部２３５に記憶されているキャンペーン参加アプリ情報の一部をユーザ端末１００に対して送信してもよいし、全部を送信してもよい。一部を送信する場合、例えば、送客元アプリ１０と同一のキャンペーンに参加する特待アプリケーションのみのキャンペーン参加アプリ情報を、ユーザ端末１００に対して送信してもよい。

[0553] 次に、図１４のステップＳＡ２５の処理に代えて、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）のリスト要求部１０４は、管理サーバ２００からキャンペーン参加アプリ情報とアプリケーションリストとを取得すると、取得したキャンペーン参加アプリ情報とアプリケーションリストとに基づいて、キャンペーンに参加する特定アプリケーションのみを抽出したアプリケーションリスト、又は特定アプリケーションを区別可能な対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成する。そして、表示制御部１０５は、生成されたアプリケーションリストに基づいて、対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示部１２０に表示させる。例えば、表示制御部１０５は、対象アプリケーションの一覧ＬＴにおいて、特定アプリケーションのみの情報を表示させたり、特定アプリケーションにキャンペーン期間中であることを示す情報を関連付けて表示させたり、特定アプリケーションを優先して上位に表示させたりする。

なお、管理サーバ２００から取得した対象アプリケーションの中に、キャンペーンに参加する特定アプリケーションが含まれない場合には、表示制御部１０５は、送客先アプリ２０として選択可能な特定アプリケーションが無いことを示す情報を表示部１２０に表示させてもよい。

[0554] ＜第３の実施形態＞

次に、本発明の第３の実施形態を説明する。まず、本実施形態の相互送客システム５００ａの概要について説明する。

一般に、ユーザ端末１００にインストールされる対象アプリケーションには、相互送客システム５００を介してインストールされる場合と、相互送客

システム５００を介さずにユーザ自身がアプリストア４００にアクセスすることによってインストールされる場合とがある。ところで、対象アプリケーションの中には、ＳＤＫ１１が組み込まれていない旧バージョンからＳＤＫ１１を組み込んだバージョンにバージョンアップをすることで同システムに対応するものがある。以下の説明において、ＳＤＫ１１が組み込まれていない対象アプリケーションのことを「旧バージョンの対象アプリケーション」と称して説明する。

旧バージョンの対象アプリケーションは、管理サーバ２００との通信機能を有していないため、旧バージョンの対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされていても、管理サーバ２００に対してインストールされた旨を通知できない。そのため、上述した管理サーバ２００は、旧バージョンがインストールされていないものと認識することになる。つまり、旧バージョンの対象アプリケーションは、管理サーバ２００で管理の対象となる前の対象アプリケーションであるとも言える。したがって、第１及び第２の実施形態における相互送客システム５００では、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、ユーザに提示する対象アプリケーションの一覧ＬＴに、旧バージョンの対象アプリケーションが含まれることがある。

[0555] そこで、本実施形態では、旧バージョンの対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされている場合に、旧バージョンの対象アプリケーションを除外した対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示する相互送客システム５００ａの実施形態について説明する。

[0556] 〔第３の実施形態による相互送客システムの概要〕

図１８は、第３の実施形態の相互送客システム５００ａの概要を説明する説明図である。

この図において、本実施形態によるネットワークシステム１ａは、管理サーバ２００ａと、ユーザ端末１００とを備えている。

ここでは、ユーザ端末１００が、相互送客システム５００ａに対応したＳ

ＤＫ１０１１を備えている対象アプリケーション１０Ａ（例えばゲームＡ）と、ＳＤＫ１０１１を組み込んでいない旧バージョンの対象アプリケーション１０Ｂ（例えばゲームＣ）とをインストールしている場合を、図１８を参照して、本実施形態の相互送客システム５００ａの概要について説明する。

[0557] （１）対象アプリケーション１０Ａがユーザ端末１００にインストールされ、ユーザＸによって最初に起動した際に、対象アプリケーション１０Ａに組み込まれたＳＤＫ１０１１は、対象アプリケーション１０Ａがユーザ端末１００にインストールされていることを示すインストール通知情報（ゲームＡ）を送信する。これにより、管理サーバ２００ａは、ＳＤＫ１０１１から取得したインストール通知情報に基づいて、ユーザ端末１００に対象アプリケーション１０Ａがインストールされたことを示すインストール情報を管理する。

[0558] （２）対象アプリケーション１０ＡのＳＤＫ１０１１は、管理サーバ２００ａがユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない対象アプリケーションを示す未インストール情報を管理サーバ２００ａから取得する。なお、ここでの、対象アプリケーション１０Ａは、第１及び第２の実施形態における送客元アプリ１０と同様の機能を有する送客元アプリに対応する。

[0559] （３）対象アプリケーション１０ＡのＳＤＫ１０１１は、管理サーバ２００ａから取得した未インストール情報に示される対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーション（例えば対象アプリケーション１０Ｂ）が、ユーザ端末１００にインストールされているか否かを検出（インストール検出）する。つまり、未インストール情報は、ユーザ端末１００において検出すべき「旧バージョンの対象アプリケーション」の候補を示すものと言える。ＳＤＫ１０１１は、例えば、ＵＲＬスキームを利用して「旧バージョンの対象アプリケーション」がユーザ端末１００にインストールされているか否かを検出する。なお、ＵＲＬスキームを利用する方法の詳細については後述する。

[0560] （４）対象アプリケーション１０ＡのＳＤＫ１０１１は、旧バージョンの対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）がインストールされていることを示すインストール通知情報を管理サーバ２００ａに送信する。これにより、管理サーバ２００ａは、ＳＤＫ１０１１から取得したインストール通知情報（ゲームＣ）に基づいてユーザ端末１００に対象アプリケーション１０Ｂがインストールされていることを示すインストール情報を管理する。なお、管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションが旧バージョンか否かを含めて管理するようにしてもよい。

[0561] （５）管理サーバ２００ａは、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、旧バージョンの対象アプリケーション１０Ｂを除いたアプリケーションリスト（ゲームＣを含めない）をユーザ端末１００に対して送信する。

すなわち、管理サーバ２００ａは、管理している複数の対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされて起動した対象アプリケーションのインストール情報と、ユーザ端末１００にインストールされている上述の旧バージョンの対象アプリケーションのインストール情報とのいずれも管理していない少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成する。

そして、管理サーバ２００ａは、生成したアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信する。ユーザ端末１００は、管理サーバ２００ａから送信された上述のアプリケーションリストに基づいて、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションとして、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーション１０Ｂを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示部１２０に表示する。

[0562] このように、本実施形態による相互送客システム５００ａは、ユーザ端末１００に旧バージョンの対象アプリケーションがインストールされている場合であっても、当該旧バージョンの対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示部１２０に表示させてユーザに提示すること

ができる。

[0563] 次に、本実施形態による相互送客システム５００ａについて、詳細に説明する。

なお、本発明の第３の実施形態によるネットワークシステム１ａの構成、及びユーザ端末１００の構成は、図２に示す第１の実施形態におけるネットワークシステム１の構成、及び、図３に示す第１の実施形態におけるユーザ端末１００の構成と同様であるので、ここではその説明を省略する。

また、本実施形態による管理サーバ２００ａは、管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーション１０Ａから送信されたインストール通知情報に基づいてインストール情報を管理する。さらに、管理サーバ２００ａは、旧バージョンの対象アプリケーション１０Ｂがユーザ端末１００にインストールされていることを検出した対象アプリケーション１０Ａから送信された、当該旧バージョンの対象アプリケーションがインストールされていることを示す仮インストール通知情報に基づいてインストール情報を管理する。

[0564] 〔第３の実施形態によるユーザ端末１００（ＳＤＫ１０１１）の機能構成〕

図１９は、本実施形態によるユーザ端末１００のＳＤＫ１０１１に基づいて実行する機能構成の一例を示す構成図である。

この図１９を参照して、相互送客システム５００ａにおいてユーザ端末１００（ＳＤＫ１０１１）が実行する相互送客処理の機能構成について説明する。

この図において、ＳＤＫ１０１１は、初期化処理部１０１と、リスト要求部１０４と、表示制御部１０５と、送客情報通知部１０６と、報酬付与通知部１０７と、仮インストール通知部１０８と、リスト取得部１０９と、未インストール情報取得部１１１とを備えている。また、初期化処理部１０１は、固有識別情報取得部１０２と、インストール通知部１０３とを備えている。

なお、本実施形態におけるＳＤＫ１０１１は、仮インストール通知部１０

８と、リスト取得部１０９と、未インストール情報取得部１１１とを備えている点が、第１及び第２の実施形態と異なる。また、図１９において、図５と同様の構成に同一の符号を付し、ここでは説明を省略する。

[0565] 未インストール情報取得部１１１は、複数の対象アプリケーションのうち、管理サーバ２００ａ（後述するインストール情報管理部２２２）においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない対象アプリケーションを示す未インストール情報を、管理サーバ２００ａから取得する。すなわち、未インストール情報は、複数の対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーション１０Ａ（第１アプリケーションの一例）からインストール通知情報を取得していない対象アプリケーションを示す。

なお、仮インストール通知情報に基づいたインストール情報が管理サーバ２００ａで管理されている場合には、未インストール情報は、複数の対象アプリケーションのうち、対象アプリケーション１０Ａからインストール通知情報及び仮インストール通知情報のいずれも取得していない対象アプリケーションを示すものになる。

なお、未インストール情報取得部１１１が取得する未インストール情報には、未インストール情報に示される対象アプリケーションのアプリＩＤ（ApID）と、当該対象アプリケーションに対応するＵＲＬスキームとが含まれている。ここで、対象アプリケーションに対応するＵＲＬスキームは、後述する図２１に示すように、例えば、管理サーバ２００ａの対象アプリ情報記憶部２３１にアプリＩＤ（ＡｐＩＤ）と対応付けて記憶されている。

[0566] 仮インストール通知部１０８は、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを検出し、検出した当該対象アプリケーションの仮インストール通知情報を管理サーバ２００ａに対して送信する。具体的な処理の一例として、仮インストール通知部１０８は、未インストール情報取得部１１１が取得した未インストール情報に示される対象アプリケーションを対象として、ユーザ端末１００にインストールされている

旧バージョンの対象アプリケーションを検出する。そして、検出された旧バージョンの対象アプリケーションの仮インストール通知情報を管理サーバ２００ａに対して送信する。なお、対象アプリケーションから旧バージョンの対象アプリケーションを検出する場合に、インストールされているか否かを示す情報以外の、例えばアプリユーザＩＤなどの内部情報を取得することができない。したがって、仮インストール通知情報には、このユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤは含まれるが、当該旧バージョンの対象アプリケーションのアプリＩＤは含まれない。

[0567] また、具体的な処理の一例として、仮インストール通知部１０８は、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを検出する場合に、未インストール情報取得部１１１が取得したＵＲＬスキームを利用する。仮インストール通知部１０８は、対象アプリケーションに対応するＵＲＬスキームがオープン（使用）可能か否かを所定のメソッドを利用して確認する。メッソッドの利用の結果でオープン可能と確認された場合に、当該ＵＲＬスキームに対応した旧バージョンの対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされていると検出する。そして、仮インストール通知部１０８は、ユーザ端末１００にインストールされていると検出した１または複数の旧バージョンの対象アプリケーションに対応した仮インストール通知情報を管理サーバ２００ａに送信する。

このように、ＵＲＬスキームは、アプリケーションまたはアプリケーション内の特定の機能を呼び出すものであり、アプリケーション毎に定められている。そのため、ＵＲＬスキームを利用することにより、ユーザ端末１００にインストールされているアプリケーションの検出が可能となる。

[0568] リスト取得部１０９は、管理サーバ２００ａにおいてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない対象アプリケーションがある場合に、当該対象アプリケーションのアプリケーションリストを管理サーバ２００ａから取得する。アプリケーションリストに含まれる対象アプリケーションは、管理サーバ２００ａにおいてユーザ端末１００に対応するインス

トール情報が管理されていない少なくとも一の対象アプリケーションであって、一部でも又は全部でもよい。例えば、所定の条件に充足する対象アプリケーションだけが含まれるようにしてもよい。ここで、アプリケーションリストは、ユーザ端末１００で、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示するアプリ一覧ページのデータである。なお、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションが存在しない（対象アプリケーションを抽出できなかった）場合は、ユーザに対してその旨を通知する情報を当該データに含ませてもよい。

[0569] 〔第３の実施形態による管理サーバ２００ａの構成〕

次に、図２０を参照して、本実施形態による管理サーバ２００ａの構成の詳細について説明する。

図２０は、本実施形態による管理サーバ２００ａの構成の一例を示す構成図である。管理サーバ２００ａは、通信部２１０と、管理部２２０と、記憶部２３０と、制御部２４０ａとを備えている。なお、この図において、図６と同様の構成に同一の符号を付し、ここでは説明を省略する。

図２０において、制御部２４０ａは、インストール通知取得部２４１と、リスト通知部２４２と、送客情報取得部２４３と、インストール誘導指示部２４４と、リワード処理部２４５と、計時部２４６と、仮インストール通知取得部２４７と、未インストール情報通知部２４８とを備えている。

なお、本実施形態における制御部２４０ａは、仮インストール通知取得部２４７と、未インストール情報通知部２４８とを備えている点が、第１及び第２の実施形態と異なる。

[0570] また、本実施形態において、対象アプリ情報記憶部２３１に記憶される対象アプリケーション情報のデータ構成と、インストール情報管理部２２２に記憶されるインストール情報のデータ構成とが、第１及び第２の実施形態とは異なり、ここでは、まず、この本実施形態における対象アプリケーション情報のデータ構成、及びインストール情報のデータ構成について説明する。

[0571] 図２１は、本実施形態による対象アプリ情報記憶部２３１に記憶される対

象アプリケーション情報の一例を示す図である。

本実施形態による対象アプリ情報記憶部２３１は、図２１に示すように、対象アプリケーション情報を記憶する。対象アプリケーション情報には、対象アプリケーションのアプリＩＤ（ApID）と、通知先ＵＲＬ（NoticeURL）と、ストアＵＲＬ（ApStoreURL）と、上述した当該対象アプリケーションに対応するＵＲＬスキーム（ApURI）と、当該対象アプリケーションの名称を示すアプリ名称（ApNAME）と、当該対象アプリケーションに関する説明情報であるアプリ説明（ApDOC）と、当該対象アプリケーションを示すアイコン画像であるアプリアイコン画像（ApICO）と、アプリ価格（ApPRICE）とが関連付けられている。

本実施形態では、対象アプリケーション情報にＵＲＬスキーム（ApURI）が含まれる点が、第１及び第２の実施形態とは異なる。

[0572] 図２２は、本実施形態によるインストール情報記憶部２３６に記憶されるインストール情報の一例を示す図である。

本実施形態によるインストール情報記憶部２３６は、図２２に示すように、インストール情報を記憶する。インストール情報には、リワードユーザＩＤ（RewardUID）と、アプリＩＤ（ApID）と、アプリユーザＩＤ（ApUID）と、通知タイプ（Ttype）とが関連付けられている。なお、リワードユーザＩＤ（RewardUID）、アプリＩＤ（ApID）、及びアプリユーザＩＤ（ApUID）は、取得したインストール通知情報及び仮インストール通知情報に含まれる情報である。ただし、上述したように、旧バージョンの対象アプリケーションである場合に、仮インストール通知情報には、アプリユーザＩＤ（ApUID）が含まれないため、旧バージョンの対象アプリケーションに対応するインストール情報では、アプリユーザＩＤ（ApUID）は、「ｎｕｌｌ」が設定される。

本実施形態では、対象アプリケーション情報に通知タイプ（Ttype）が含まれる点が、第１及び第２の実施形態とは異なる。

[0573] ここで、通知タイプ（Ttype）は、上述したインストール通知部１０３によるインストール通知情報に基づいて記憶されたインストール情報と、仮イン

ストール通知部１０８による仮インストール通知情報に基づいて記憶されたインストール情報とを区別する情報である。すなわち、通知タイプ（Ttype）は、ユーザ端末１００にインストールされているアプリケーションが、ＳＤＫ１０１１を備える対象アプリケーションであるか、ＳＤＫ１０１１を備えない旧バージョンの対象アプリケーションであるかを区別する情報である。

[0574] 例えば、図２２に示す例では、通知タイプ（Ttype）が「０」である場合に、インストール通知情報に基づいて記憶されたインストール情報を示し、通知タイプ（Ttype）が「１」である場合に、仮インストール通知情報に基づいて記憶されたインストール情報を示している。例えば、図２２に示すインストール情報記憶部２３６には、リワードユーザＩＤ（RewardUID）の「０９６３４５６５」と、アプリＩＤ（ApID）の「００１」と、アプリユーザＩＤ（ApUID）の「５２８８」と、通知タイプ（Ttype）の「０」とが関連付けられてインストール情報として記憶されている。この場合、インストール情報は、通知タイプ（Ttype）が「０」であるので、ユーザ端末１００にインストールされているアプリケーションが、ＳＤＫ１０１１を備える対象アプリケーションであることを示している。また、例えば、図２１に示すインストール情報記憶部２３６には、リワードユーザＩＤ（RewardUID）の「０９６３４５６５」と、アプリＩＤ（ApID）の「００２」と、アプリユーザＩＤ（ApUID）の「ｎｕｌｌ」と、通知タイプ（Ttype）の「１」とが関連付けられてインストール情報として記憶されている。この場合、インストール情報は、通知タイプ（Ttype）が「１」であるので、ユーザ端末１００にインストールされているアプリケーションが、ＳＤＫ１０１１を備えない旧バージョンの対象アプリケーションであることを示している。

[0575] 次に図２０に戻り、制御部２４０の構成について説明する。

未インストール情報通知部２４８は、未インストール情報を、ＳＤＫ１０１１に対して送信する。未インストール情報通知部２４８は、例えば、アプリケーション管理部２２１とインストール情報管理部２２２とが管理する情報を参照することにより、未インストール情報を、ユーザ端末１００にイン

ストールされた対象アプリケーション１０Ａに対して送信する。ここで、未インストール情報は、複数の対象アプリケーションのうちインストール通知取得部２４１がユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーション１０Ａからインストール通知情報を取得していない対象アプリケーションを示す。また、アプリケーション管理部２２１とインストール情報管理部２２２とが管理する情報とは、対象アプリ情報記憶部２３１に記憶される対象アプリケーション情報、及びインストール情報記憶部２３６に記憶されるインストール情報のことである。

[0576] 具体的には、未インストール情報通知部２４８は、対象アプリ情報記憶部２３１に記憶されている対象アプリケーション情報のうちから、インストール情報記憶部２３６に記憶されているインストール情報にない対象アプリケーションを、通知タイプ（Ttype）を問わずに抽出する。そして、未インストール情報通知部２４８は、例えば、抽出した対象アプリケーションのアプリＩＤ（ApID）と当該対象アプリケーションに対応するＵＲＬスキームとを対象アプリ情報記憶部２３１から取得し、取得したアプリＩＤ（ApID）とＵＲＬスキームとを含んだ未インストール情報をユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーション１０Ａに対して送信する。

[0577] 仮インストール通知取得部２４７は、旧バージョンの対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされている場合、当該旧バージョンの対象アプリケーションがインストールされていることを示す仮インストール通知情報を、対象アプリケーション１０Ａから取得する。仮インストール通知取得部２４７は、例えば、未インストール情報通知部２４８が送信した未インストール情報に示される対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションの仮インストール通知情報を、対象アプリケーション１０Ａから取得する。そして、仮インストール通知取得部２４７は、取得した仮インストール通知情報を、インストール情報管理部２２２に供給する。

[0578] なお、本実施形態のリスト通知部２４２は、複数の対象アプリケーション

のうち、インストール情報管理部２２２においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない対象アプリケーションがある場合に、当該対象アプリケーションの一部または全部（少なくとも一の対象アプリケーション）のアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信する。リスト通知部２４２のその他の機能は、第１及び第２の実施形態のリスト通知部２４２と同様である。

なお、本実施形態のアプリケーション管理部２２１は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理する。また、本実施形態のインストール情報管理部２２２は、対象アプリケーション１０Ａから取得したインストール通知情報及び仮インストール通知情報に基づいて、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションのインストール情報を管理する。

[0579] 〔第３の実施形態による相互送客処理の動作の詳細〕

次に、本実施形態の相互送客システム５００ａの動作について説明する。

なお、本実施形態の相互送客システム５００ａの基本的な動作は、図１４及び図１５に示す第１の実施形態と同様であり、ここでは、図２３を参照して、本実施形態の対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成する処理を中心に、相互送客システム５００ａの動作について説明する。この図２３に示す処理は、図１８を参照して説明した概略処理の流れの詳細例を示すものである。

[0580] ここでは、図２３を参照して、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーション１０Ａ側の処理について説明する。また、対象アプリケーション１０Ａには、上述したＳＤＫ１０１１と同様のＳＤＫ１０１１Ａが組み込まれているものとする。

[0581] 図２３において、ステップＳＡ１１からステップＳＡ１７の処理は、図１４に示す第１の実施形態と同様であるので、ここではその説明を省略する。

ステップＳＥ１１において、管理サーバ２００ａのインストール情報管理部２２２は、インストール通知取得部２４１が取得したインストール通知情

報に含まれるリワードユーザＩＤ（RewardUID）、対象アプリケーション１０Ａ（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）、及び対象アプリケーション１０Ａ（ゲームＡ）におけるユーザＸのアプリユーザＩＤ（ApUID）と、通知タイプ（Ttype）とを関連付けて、インストール情報としてインストール情報記憶部２３６に記憶させる。なお、この場合、インストール情報管理部２２２は、通知タイプ（Ttype）を「０」として、インストール情報記憶部２３６に記憶させる。

[0582] 次に、ＳＤＫ１０１１Ａの未インストール情報取得部１１１は、ステップＳＡ１７０で端末記憶部１４０のアプリ間共有エリアから読み出したリワードユーザＩＤに対応する未インストール情報を要求する未インストール情報要求通知情報を生成する。生成した未インストール情報要求通知情報には、リワードユーザＩＤが含まれている。未インストール情報取得部１１１は、生成した未インストール情報要求通知情報を管理サーバ２００ａに対して送信する（ＲＥＱ１１Ａ、ステップＳＡ１７１）。

[0583] 次に、管理サーバ２００ａの未インストール情報通知部２４８は、対象アプリケーション１０ＡのＳＤＫ１０１１Ａから送信された未インストール情報要求通知情報に基づいて、未インストールの対象アプリケーションを抽出する（ステップＳＥ１１１）。具体的には、未インストール情報通知部２４８は、対象アプリ情報記憶部２３１に記憶されている対象アプリケーション情報のうちから、取得したリワードユーザＩＤに対応付けられてインストール情報記憶部２３６に記憶されているインストール情報にない未インストールの対象アプリケーションを全て抽出する。そして、未インストール情報通知部２４８は、抽出した全ての未インストールの対象アプリケーションに対応するアプリＩＤ（ApID）と、ＵＲＬスキームとを対象アプリ情報記憶部２３１から取得する。未インストール情報通知部２４８は、抽出した全ての未インストールの対象アプリケーションに対応した未インストール情報を、各対象アプリケーションに対応するアプリＩＤ（ApID）とＵＲＬスキームを含めて生成する。

次に、未インストール情報通知部２４８は、ＳＤＫ１０１１Ａに対して、生成した未インストール情報を通知する（ＲＥＳ１１Ａ、ステップＳＥ１１２）。なお、未インストール情報通知部２４８は、未インストールの対象アプリケーションが抽出されなかった場合には、未インストールの対象アプリケーションが存在しない旨の情報を、未インストール情報として通知するようにしてもよい。

[0584] 次に、ＳＤＫ１０１１Ａの未インストール情報取得部１１１は、管理サーバ２００ａの未インストール情報通知部２４８から送信された未インストール情報を取得する（ステップＳＡ１７２）。

[0585] 次に、ＳＤＫ１０１１Ａの仮インストール通知部１０８は、取得した未インストール情報に含まれる未インストールの対象アプリケーションのインストールを確認する（ステップＳＡ１７３）。具体的には、仮インストール通知部１０８は、未インストール情報取得部１１１が取得した未インストール情報に含まれるＵＲＬスキームを用いて、未インストールの対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションを検出する。管理サーバ２００ａでインストール情報が管理されていない対象アプリケーションにも関わらず、ＵＲＬスキームを用いて対象アプリケーションが検出されたということは、旧バージョンの対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされていることを示す。すなわち、仮インストール通知部１０８は、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを検出する。

例えば、仮インストール通知部１０８は、対象アプリケーションに対応するＵＲＬスキームがオープン可能か否かを所定のメソッドを利用して、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを検出する。

なお、ＵＲＬスキーム以外にインストールされているアプリケーションを検出可能な機能が具備されている場合には、仮インストール通知部１０８は、その機能を利用してもよい。

[0586] 次に、仮インストール通知部１０８は、管理サーバ２００ａに対してインストール確認の結果を通知する（ステップＳＡ１７４）。すなわち、仮インストール通知部１０８は、ユーザ端末１００にインストールされていると検出した旧バージョンの対象アプリケーションを示す仮インストール通知情報を管理サーバ２００ａに対して送信する（ＲＥＱ１１Ｂ）。なお、ユーザ端末１００に、旧バージョンの対象アプリケーションが存在しなかった場合には、仮インストール通知情報として旧バージョンの対象アプリケーションが存在しない旨の情報を通知するようにしてもよい。また、未インストール情報取得部１１１が取得した未インストール情報が未インストールの対象アプリケーションが存在しない旨を示す場合には、仮インストール通知部１０８は、仮インストール通知情報を管理サーバ２００ａに対して送信しないようにしてもよい。

[0587] 次に、管理サーバ２００ａの仮インストール通知取得部２４７は、ＳＤＫ１０１１Ａの仮インストール通知部１０８から送信された仮インストール通知情報を取得する（ＳＥ１１３）。すなわち、仮インストール通知取得部２４７は、例えば、未インストール情報通知部２４８が送信した未インストール情報に示される対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションの仮インストール通知情報を、対象アプリケーション１０ＡのＳＤＫ１０１１Ａから取得する。そして、仮インストール通知取得部２４７は、取得した仮インストール通知情報をインストール情報管理部２２２に供給する。

[0588] インストール情報管理部２２２は、仮インストール通知取得部２４７が取得した仮インストール通知情報に含まれるリワードユーザＩＤ（RewardUID）、対象アプリケーション１０Ａ（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）、及び対象アプリケーション１０Ａ（ゲームＡ）におけるユーザＸのアプリユーザＩＤ（ApUID）と、通知タイプ（Ttype）とを関連付けて、インストール情報としてインストール情報記憶部２３６に記憶させる。なお、この場合、インストール情報管理部２２２は、アプリユーザＩＤ（ApUID）を「ｎｕｌｌ」に設

定し、通知タイプ（Ttype）を「１」として、インストール情報記憶部２３６に記憶させる。

また、仮インストール通知取得部２４７は、仮インストール通知情報を取得したことを示す応答情報を、ＳＤＫ１０１１Ａに対して送信する（ＲＥＳ１１Ｂ）。

[0589] 仮インストール通知部１０８は、管理サーバ２００ａから送信された応答情報を取得する（ステップＳＡ１７５）。

[0590] 続くステップＳＡ２４以降の処理（なお、ステップＳＥ１５以降、及びステップＳＡ２５以降は、図示を省略）は、図１４に示すステップＳＡ２４からステップＳＡ２６、ステップＳＥ１５からステップＳＥ１９の処理、及びステップＳＣ１１の処理と同様であるので、ここでは説明を省略する。

なお、本実施形態では、ステップＳＥ１５及びステップＳＥ１６において、リスト通知部２４２は、複数の対象アプリケーションのうち、インストール情報管理部２２２においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない対象アプリケーションがある場合に、当該対象アプリケーションの一部または全部（少なくとも一の対象アプリケーション）のアプリケーションリストを抽出する。そして、リスト通知部２４２は、抽出した対象アプリケーションのアプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザ端末１００において表示するためのアプリ一覧ページのデータを生成する。なお、リスト通知部２４２は、一の対象アプリケーションも抽出できなかった場合には、ユーザに対してその旨を通知する情報を当該データに含めてもよい。なお、対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に送信し、対象アプリケーション１０ＡのＳＤＫ１０１１Ａにおいて、取得したアプリケーションリストに基づいて、対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザ端末１００で表示するためのデータを生成するようにしてもよい。

[0591] 〔第３の実施形態のまとめ〕

（１）以上説明してきたように、本実施形態の相互送客システム５００ａに

おいて、管理サーバ２００ａ（管理装置の一例）は、アプリケーション管理部２２１と、インストール通知取得部２４１と、仮インストール通知取得部２４７と、インストール情報管理部２２２と、リスト通知部２４２と、を備えている。

アプリケーション管理部２２１は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理する。インストール通知取得部２４１は、複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００（端末装置の一例）にインストールされた対象アプリケーション１０Ａ（第１アプリケーションの一例）から、当該対象アプリケーション１０Ａがユーザ端末１００にインストールされたことを示すインストール通知情報を取得する。仮インストール通知取得部２４７は、旧バージョンの対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされている場合、当該対象アプリケーションがインストールされていることを示す仮インストール通知情報を、対象アプリケーション１０Ａから取得する。ここで、旧バージョンの対象アプリケーションとは、複数の対象アプリケーションのうちのいずれかのアプリケーションであって、アプリケーション管理部２２１による管理の対象となる前のアプリケーションであり、管理サーバ２００ａとの通信機能を有していないものである。インストール情報管理部２２２は、対象アプリケーション１０Ａから取得したインストール通知情報及び仮インストール通知情報に基づいて、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションのインストール情報を管理する。そして、リスト通知部２４２は、複数の対象アプリケーションのうち、インストール情報管理部２２２においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信する。なお、リスト通知部２４２は、対象アプリケーション１０Ａからインストール通知情報及び仮インストール通知情報のいずれも取得していない少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信するものとして捉えることができる。

[0592] これにより、例えば、ＳＤＫ１０１１を組み込んでいない旧バージョンの対象アプリケーションが、ユーザ端末１００にインストールされている場合であっても、本実施形態の管理サーバ２００ａは、旧バージョンの対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信することができる。すなわち、本実施形態の管理サーバ２００ａは、例えば、旧バージョンの対象アプリケーションがインストールされている場合に、対象アプリケーションのアプリケーションリストに既に旧バージョンがインストールされている対象アプリケーションが誤ってユーザに提示されることを防止することができる。そのため、本実施形態の管理サーバ２００ａは、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、対象アプリケーションのバージョンに関わらず、ユーザが利用したことのない対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信することができる。その結果として、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、ユーザが利用したことのない対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザ端末１００においてユーザに提示させることができる。

[0593] （２）また、本実施形態の管理サーバ２００ａは、複数の対象アプリケーションのうち、インストール情報管理部２２２においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない対象アプリケーションを示す未インストール情報を、対象アプリケーション１０Ａ（第１アプリケーションの一例）に対して送信する未インストール情報通知部２４８を備えている。この未インストール情報は、ユーザ端末１００において検出すべき旧バージョンの対象アプリケーションの候補を示すものと言える。

そして、仮インストール通知取得部２４７は、未インストール情報通知部２４８が送信した未インストール情報に示される対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションの仮インストール通知情報を、対象アプリケーション１０Ａから取得する。なお、未インストール情報通知部２４８は、複数の対象アプリケ

ーションのうち対象アプリケーション１０Ａからインストール通知情報及び仮インストール通知情報のいずれも取得していない対象アプリケーションを示す未インストール情報を対象アプリケーション１０Ａに対して送信するものとして捉えることができる。

これにより、管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００において検出すべき旧バージョンの対象アプリケーションの候補を未インストール情報として通知することで、ユーザ端末１００において旧バージョンの対象アプリケーションの検出すべき対象を明確にすることができる。その結果として、全対象アプリケーションのうちから抽出する場合に比べて、この旧バージョンの対象アプリケーションの抽出の処理量を低減することができる。また、対象アプリケーション１０Ａは、この旧バージョンの対象アプリケーションの抽出のための処理時間を、全対象アプリケーションのうちから抽出する場合に比べて短縮することができる。

また、本実施形態の管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを管理することができる。その結果として、本実施形態の管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信することができる。その結果として、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、旧バージョンの対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザ端末１００においてユーザに提示させることができる。

[0594] （３）また、本実施形態の管理サーバ２００ａは、複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーション１０Ａ（第１アプリケーションの一例）からインストール通知情報を取得していない対象アプリケーションを示す未インストール情報を、対象アプリケーション１０Ａに対して送信する未インストール情報通知部２４８を備えている。この未インストール情報は、ユーザ端末１００において検出すべき旧バ

ージョンの対象アプリケーションの候補を示すものと言える。

そして、仮インストール通知取得部２４７は、未インストール情報通知部２４８が送信した未インストール情報に示される対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションの仮インストール通知情報を、対象アプリケーション１０Ａから取得する。

これにより、管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００において検出すべき旧バージョンの対象アプリケーションの候補を未インストール情報として通知することで、ユーザ端末１００において旧バージョンの対象アプリケーションの検出すべき対象を明確にすることができる。その結果として、全対象アプリケーションのうちから抽出する場合に比べて、この旧バージョンの対象アプリケーションの抽出の処理量を低減することができる。また、対象アプリケーション１０Ａは、この旧バージョンの対象アプリケーションの抽出のための処理時間を、全対象アプリケーションのうちから抽出する場合に比べて短縮することができる。

また、本実施形態の管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを管理することができる。その結果として、本実施形態の管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信することができる。その結果として、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、旧バージョンの対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザ端末１００においてユーザに提示させることができる。

[0595] （４）また、本実施形態の管理サーバ２００ａでは、未インストール情報通知部２４８は、アプリケーション管理部２２１とインストール情報管理部２２２とが管理する情報を参照することにより、未インストール情報をユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーション１０Ａに対して送信

する。ここで、未インストール情報は、複数の対象アプリケーションのうち、インストール情報管理部２２２においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない対象アプリケーションを示す。

なお、本実施形態の管理サーバ２００ａは、対象アプリケーション１０Ａ（第１アプリケーションの一例）から、旧バージョンの対象アプリケーション（ゲームＣとは異なる旧バージョンのゲーム）に対する仮インストール通知情報を取得している場合には、インストール情報管理部２２２は、インストール通知情報または仮インストール通知情報を送信した対象アプリケーションと、当該対象アプリケーションがインストールされたユーザ端末１００とを関連付けて管理し、未インストール情報通知部２４８は、複数の対象アプリケーションのうち対象アプリケーション１０Ａからインストール通知情報および仮インストール通知情報のうちいずれも取得していない対象アプリケーションを示す未インストール情報を、対象アプリケーション１０Ａに対して送信するようにしてもよい。

これにより、未インストール情報通知部２４８は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部２２１が管理する情報を参照して抽出した全対象アプリケーションと、インストール情報管理部２２２が管理する情報を参照して抽出されるユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されている対象アプリケーションとを比較することにより、ユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない対象アプリケーションを示す未インストール情報を特定することが可能となる。この未インストール情報は、ユーザ端末１００において検出すべき旧バージョンの対象アプリケーションの候補を示すものと言える。

[0596] （５）また、本実施形態の相互送客システム５００ａにおいて、ユーザ端末１００（端末装置の一例）は、管理サーバ２００ａと通信可能な端末装置である。ここで、管理サーバ２００ａは、管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーシ

ョンの当該インストールされたことを示すインストール通知情報と、旧バージョンの対象アプリケーション（管理の対象となる前の対象アプリケーションの一例）がユーザ端末１００にインストールされていることを示す仮インストール通知情報とに基づいて、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションのインストール情報を管理する。ユーザ端末１００は、インストール通知部１０３と、仮インストール通知部１０８と、リスト取得部１０９と、表示制御部１０５と、を備えている。

インストール通知部１０３は、自ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションのインストール通知情報を管理サーバ２００ａに対して送信する。仮インストール通知部１０８は、自ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを検出して、検出した当該対象アプリケーションの仮インストール通知情報を管理サーバ２００ａに対して送信する。リスト取得部１０９は、管理サーバ２００ａにおいてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストを管理サーバ２００ａから取得する。なお、リスト取得部１０９は、インストール通知情報及び仮インストール通知情報のいずれも送信していない少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストを管理サーバ２００ａから取得するものとして捉えることができる。そして、表示制御部１０５は、リスト取得部１０９が取得した対象アプリケーションのアプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示部１２０に表示させる。なお、リスト取得部１０９は、アプリケーションリストに基づいて表示するためのデータを示す対象アプリケーションの一覧ＬＴを管理サーバ２００ａから取得してもよい。なお、リスト取得部１０９は、インストール通知情報及び仮インストール通知情報のいずれも自ユーザ端末１００から送信していない少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストを管理サーバ２００ａから取得するものとして捉えることができる。

[0597] これにより、例えば、ＳＤＫ１０１１を組み込んでいない旧バージョンの

対象アプリケーションが、ユーザ端末１００にインストールされている場合に、本実施形態のユーザ端末１００は、旧バージョンの対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストを取得して、取得したアプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。よって、本実施形態のユーザ端末１００は、対象アプリケーションのバージョンに関わらず、ユーザが利用したことのない対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信することができる。その結果として、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、ユーザが利用したことのない対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザ端末１００においてユーザに提示させることができる。

[0598] （６）また、本実施形態のユーザ端末１００は、管理サーバ２００ａにおいてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない対象アプリケーションを示す未インストール情報を、管理サーバ２００ａから取得する未インストール情報取得部１１１、を備えている。なお、未インストール情報取得部１１１は、複数の対象アプリケーションのうちインストール通知情報および仮インストール通知情報のいずれも自ユーザ端末１００から送信していない対象アプリケーションを示す未インストール情報を、管理サーバ２００ａから取得するものとして捉えることができる。

そして、仮インストール通知部１０８は、未インストール情報取得部１１１が取得した未インストール情報に示される対象アプリケーションのうち、自ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションの仮インストール通知情報を管理サーバ２００ａに対して送信する。

これにより、本実施形態のユーザ端末１００の対象アプリケーション１０Ａは、例えば、取得した未インストール情報のうちから、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを抽出するので、全対象アプリケーションのうちから抽出する場合に比べて、この旧バ

ージョンの対象アプリケーションの抽出の処理量を低減することができる。また、本実施形態のユーザ端末１００は、この旧バージョンの対象アプリケーションの抽出のための処理時間を、全対象アプリケーションのうちから抽出する場合に比べて短縮することができる。

[0599] （７）また、本実施形態のユーザ端末１００は、複数の対象アプリケーションのうちインストール通知情報を自ユーザ端末１００から送信していない対象アプリケーションを示す未インストール情報を、管理サーバ２００ａから取得する未インストール情報取得部１１１、を備えていてもよい。そして、仮インストール通知部１０８は、未インストール情報取得部１１１が取得した未インストール情報に示される対象アプリケーションのうち、自ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションの仮インストール通知情報を管理サーバ２００ａに対して送信する。

これにより、本実施形態のユーザ端末１００の対象アプリケーション１０Ａは、例えば、取得した未インストール情報のうちから、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを抽出するので、全対象アプリケーションのうちから抽出する場合に比べて、この旧バージョンの対象アプリケーションの抽出の処理量を低減することができる。また、本実施形態のユーザ端末１００は、この旧バージョンの対象アプリケーションの抽出のための処理時間を、全対象アプリケーションのうちから抽出する場合に比べて短縮することができる。

[0600] （８）また、本実施形態では、未インストール情報取得部１１１は、未インストール情報に含まれる、未インストール情報に示される対象アプリケーションに対応するＵＲＬスキームを取得する。そして、仮インストール通知部１０８は、未インストール情報取得部１１１が取得したＵＲＬスキームを利用して、未インストール情報に示される対象アプリケーションのうち、自ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを検出する。

これにより、本実施形態のユーザ端末１００は、例えば、ユーザ端末１０

０において、ＵＲＬスキームがオープン可能か否かを判定するという簡易な手段により、旧バージョンの対象アプリケーションを検出することができる。

[0601] （９）また、本実施形態では、アプリケーション管理部２２１は、対象アプリケーションのアプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴへの掲載の禁止を設定する側の設定側アプリケーションと、当該設定側アプリケーションの対象アプリケーションの一覧ＬＴへの掲載が禁止される側の被設定側アプリケーションとを組みにしたアプリ間フィルタ情報（第１の掲載禁止情報）を管理してもよい。この場合、リスト通知部２４２は、アプリケーション管理部２２１が管理しているアプリ間フィルタ情報（第１の掲載禁止情報）を参照して、対象アプリケーション１０Ａを被設定側アプリケーションに設定しているアプリ間フィルタ情報（第１の掲載禁止情報）がある場合は、設定側アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信する。

また、本実施形態では、リスト通知部２４２は、アプリケーション管理部２２１が管理しているアプリ間フィルタ情報（第１の掲載禁止情報）を参照して、対象アプリケーション１０Ａを設定側アプリケーションに設定しているアプリ間フィルタ情報がある場合は、被設定側アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信してもよい。

また、本実施形態では、アプリケーション管理部２２１は、アプリケーションリストへの掲載が禁止される側の被設定側アプリケーションのみが登録されたアプリ間フィルタ情報（第２の掲載禁止情報）を管理してもよい。この場合、リスト通知部２４２は、アプリケーション管理部２２１が管理しているアプリ間フィルタ情報を参照して、被設定側アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信する。

[0602] これにより、相互送客システム５００ａでは、ユーザに対してインストー

ルを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、勧めたくない対象アプリケーションの関係を管理サーバ２００ａに設定することができる。例えば、対象アプリケーションの中でレイティング（年齢制限）が設定されているものがあれば、レイティングが設定されていない対象アプリケーション１０Ａから、レイティングが設定されている対象アプリケーションを勧めないようにすることができる。

[0603] （１０）また、本実施形態の管理サーバ２００ａは、リワード処理部２４５を備えている。リワード処理部２４５は、アプリケーションリストに含まれる一または複数の対象アプリケーションからユーザ端末１００で選択された第１の実施形態の送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）における所定の報酬付与条件が充足されたと判定された場合に、送客元アプリ１０に相当する対象アプリケーション１０Ａ（第１アプリケーションの一例）において所定の報酬が付与される報酬付与処理を実行する。

これにより、ユーザが利用したことのない送客先の対象アプリケーションをインストールすると送客元の対象アプリケーションに対して報酬を付与する相互送客システム５００ａにおいて、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、旧バージョンの対象アプリケーションを除外して、報酬付与の対象となるユーザが利用したことのない対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信することができる。その結果として、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、ユーザが利用したことのない対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザ端末１００においてユーザに提示させることができる。また、対象アプリケーションの一覧ＬＴに旧バージョンの対象アプリケーションが含まれてしまって、当該旧バージョンの対象アプリケーションが新バージョンの対象アプリケーションにアップデートされた場合に、管理サーバ２００ａが送客元アプリ１０に対して報酬を付与されてしまうことを防止することができる。

[0604] （１１）さらに、本実施形態の管理サーバ２００ａは、送客情報取得部２４

３と、送客情報管理部２２３と、を備えるようにして、リワード処理部２４５は、所定の報酬付与条件が充足されたと判定された場合に、第２アプリケーションに対する送客情報が送客情報管理部２２３で管理されていることを条件として、報酬付与処理を実行してもよい。ここで、送客情報取得部２４３が、対象アプリケーション１０Ａから第２アプリケーションに対する送客情報を取得し、送客情報管理部２２３が、送客情報取得部２４３が取得した送客情報を管理するようにしてもよい。

これにより、相互送客システム５００ａは、本システムによらずに対象アプリケーションがインストールされた場合には送客情報の記録がないため報酬付与の対象としないようにすることができる。

（１２）また、所定の報酬付与条件は、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がユーザ端末１００にインストールされたと判定されたときであってもよい。また、所定の報酬付与条件は、送客先アプリ２０がユーザ端末１００にインストールされたと判定され、且つ送客先アプリ２０において所定の成果が達成されたと判定されたときであってもよい。

このように、相互送客システム５００ａは、報酬付与条件を任意に設定することができる。

（１３）また、アプリケーション管理部２２１は、複数の対象アプリケーションのうちの複数の特定アプリケーションに対して設定された所定の期間を有するイベントを管理してもよい。この場合、所定の報酬付与条件とは、第２アプリケーションが特定アプリケーションであって、第２アプリケーションが所定の期間内にユーザ端末１００にインストールされたと判定され、且つ第２アプリケーションにおいて所定の成果が達成されたと判定されたときであってもよい。

[0605] これにより、複数の対象アプリケーションのうちで、キャンペーンを実施している特定のアプリケーションだけを報酬付与の対象とすることができる。キャンペーンを実施している特定のアプリケーションのうちで、旧バージョンの特定のアプリケーションがユーザ端末１００にインストールされてい

る場合であっても、ユーザに対してインストールを勧める特定アプリケーションを提示する場合に、旧バージョンの対象アプリケーションを除外して、ユーザが利用したことのない特定アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信することができる。その結果として、ユーザが利用したことのないキャンペーンを実施している対象アプリケーション（特定アプリケーション）の一覧をユーザ端末１００においてユーザに提示させることができる。

[0606] （１４）また、本実施形態のユーザ端末１００は、報酬付与通知部１０７を備えている。報酬付与通知部１０７は、自ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションにおいて所定の報酬付与条件が充足されたと判定された場合に、当該所定の報酬付与条件が充足されたことを示す報酬付与通知情報を管理サーバ２００ａに対して送信する。ここで、管理サーバ２００ａは、アプリケーションリストに含まれる一または複数の対象アプリケーションからユーザ端末１００で選択された対象アプリケーションにおける所定の報酬付与条件が充足されたと判定された場合に、当該対象アプリケーションにおいて所定の報酬が付与される報酬付与処理を実行する。

なお、所定の報酬付与条件とは、自ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションにおいて所定の成果が達成されたと判定されたときであってもよい。

また、所定の報酬付与条件は複数設けられており、報酬付与通知部１０７は、複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、報酬付与通知情報をそれぞれ管理サーバ２００ａに対して送信してもよい。

これにより、本実施形態のユーザ端末１００は、例えば、旧バージョンの対象アプリケーションがインストールされている場合に、旧バージョンの対象アプリケーションを除いた報酬付与の対象となるユーザが利用したことのない対象アプリケーションのアプリケーションリストを取得して、アプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。あるいは、旧バージョンの対象アプリケーションを除いた

報酬付与の対象となるユーザが利用したことのない対象アプリケーションのアプリケーションリストを取得して、アプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。その結果として、対象アプリケーションの一覧ＬＴに旧バージョンの対象アプリケーションが含まれてしまって、当該旧バージョンの対象アプリケーションが新バージョンの対象アプリケーションにアップデートされた場合に、管理サーバ２００ａが送客元アプリ１０に対して報酬を付与されてしまうことを防止することができる。

また、本実施形態のユーザ端末１００は、所定の報酬付与条件が充足されたと判定された場合に、当該所定の報酬付与条件が充足されたことを示す報酬付与通知情報を管理サーバ２００ａに対して送信することができる。

[0607] ＜第４の実施形態＞

次に、本発明の第４の実施形態を説明する。

本実施形態では、ＳＤＫ１１を組み込んでいない旧バージョンの対象アプリケーションがインストール（アップデート）されている場合に、旧バージョンの対象アプリケーションを除外した対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示する実施形態であって、対象アプリケーションのアプリケーションリストから旧バージョンの対象アプリケーションを除外する方法に関して、第３の実施形態とは異なる別の実施形態について説明する。すなわち、第３の実施形態では、管理サーバ２００ａがインストールを勧める対象アプリケーションをユーザに提示するためのアプリケーションリストをユーザ端末１００に送信する際に、アプリケーションリストからユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションをリストから除外した。そのため、事前にユーザ端末１００に対して旧バージョンの対象アプリケーションの候補となる未インストール情報を送信し、候補の中からユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションのインストール情報を取得するようにした。

一方、本実施形態は、管理サーバ２００ｂ（図２５参照）が、事前にユー

ザ端末１００に対して旧バージョンの対象アプリケーションの候補となる未インストール情報を送信しない方法である。すなわち、ユーザ端末１００は、未インストール情報を管理サーバ２００ｂから取得せずに、ユーザ端末１００にインストールされている全ての対象アプリケーション及び旧バージョンの対象アプリケーションを旧バージョンの対象アプリケーションの候補とみなして、当該旧バージョンの対象アプリケーションの仮インストール通知情報を管理サーバ２００ｂに送信する。なお、このとき対象アプリケーション１０Ａを除外してもよい。そして、管理サーバ２００ｂでは、インストール情報管理部２２２が管理する情報と比較して、インストール情報管理部２２２が管理していない対象アプリケーションを旧バージョンの対象アプリケーションであると特定する。

[0608] 〔第４の実施形態によるユーザ端末１００（ＳＤＫ２０１１）の機能構成〕

図２４は、本実施形態によるユーザ端末１００のＳＤＫ２０１１に基づいて実行する機能構成の一例を示す構成図である。

この図２４を参照して、相互送客システム５００ａにおいてユーザ端末１００（ＳＤＫ２０１１）が実行する相互送客処理の機能構成について説明する。

この図において、ＳＤＫ２０１１は、初期化処理部１０１と、リスト要求部１０４と、表示制御部１０５と、送客情報通知部１０６と、報酬付与通知部１０７と、仮インストール通知部１０８と、リスト取得部１０９と、を備えている。また、初期化処理部１０１は、固有識別情報取得部１０２と、インストール通知部１０３とを備えている。

本実施形態のＳＤＫ２０１１は、未インストール情報取得部１１１を備えていない点が、第３の実施形態と異なる。また、図２４において、図１９と同様の構成に同一の符号を付し、ここでは説明を省略する。

[0609] なお、本実施形態では、仮インストール通知部１０８は、ユーザ端末１００にインストールされているアプリケーションのうち対象アプリケーション及び旧バージョンの対象アプリケーションを検出する。そして、仮インスト

ール通知部１０８は、検出した当該対象アプリケーションの仮インストール通知情報を旧バージョンの対象アプリケーションの候補とみなして、当該アプリケーションの仮インストール通知情報を管理サーバ２００ｂに送信する。

[0610] 〔第４の実施形態による管理サーバ２００ｂの構成〕

次に、図２５を参照して、本実施形態による管理サーバ２００ｂの構成について説明する。

図２５は、本実施形態による管理サーバ２００ｂの構成の一例を示す構成図である。管理サーバ２００ｂは、通信部２１０と、管理部２２０と、記憶部２３０と、制御部２４０ｂとを備えている。なお、この図において、図２０と同様の構成に同一の符号を付し、ここでは説明を省略する。

本実施形態の制御部２４０ｂは、インストール通知取得部２４１と、リスト通知部２４２と、送客情報取得部２４３と、インストール誘導指示部２４４と、リワード処理部２４５と、計時部２４６と、仮インストール通知取得部２４７と、を備えている。本実施形態の制御部２４０ｂは、未インストール情報通知部２４８を備えていない点が第３の実施形態と異なる。

[0611] なお、本実施形態の仮インストール通知取得部２４７は、例えば、仮インストール通知部１０８から取得した仮インストール通知情報のうちから、アプリケーション管理部２２１が管理する対象アプリケーションを除いた仮インストール通知情報をインストール情報管理部２２２に供給する。すなわち、仮インストール通知取得部２４７は、仮インストール通知部１０８から取得した仮インストール通知情報のうちから、対象アプリ情報記憶部２３１に記憶されている対象アプリケーション情報に対応する対象アプリケーションを除いた仮インストール通知情報を抽出する。そして、仮インストール通知取得部２４７は、抽出した仮インストール通知情報をインストール情報管理部２２２に供給する。

[0612] 〔第４の実施形態による相互送客処理の動作の詳細〕

次に、本実施形態の相互送客システム５００ａの動作について説明する。

なお、本実施形態の相互送客システム５００ａの基本的な動作は、図１４及び図１５に示す第１の実施形態と同様であり、ここでは、図２６を参照して、本実施形態の対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成する処理を中心に、相互送客システム５００ａの動作について説明する。

[0613] なお、図２６に示す処理は、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーション１０Ａ側の処理を示している。

[0614] 図２６において、ステップＳＡ１１からステップＳＡ１７の処理は、図１４に示す第１の実施形態と同様であるので、ここではその説明を省略する。なお、対象アプリケーション１０Ａには、上述したＳＤＫ２０１１と同様のＳＤＫ２０１１Ａが組み込まれているものとする。

ステップＳＥ１１において、管理サーバ２００ｂのインストール情報管理部２２２は、インストール通知取得部２４１が取得したインストール通知情報に含まれるリワードユーザＩＤ（RewardUID）、対象アプリケーション１０Ａ（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）、及び対象アプリケーション１０Ａ（ゲームＡ）におけるユーザＸのアプリユーザＩＤ（ApUID）と、通知タイプ（Ttype）とを関連付けて、インストール情報としてインストール情報記憶部２３６に記憶させる。なお、この場合、インストール情報管理部２２２は、通知タイプ（Ttype）を「０」として、インストール情報記憶部２３６に記憶させる。

[0615] 次に、ＳＤＫ２０１１Ａは、端末記憶部１４０のアプリ間共有エリアからリワードユーザＩＤを読み出す（ステップＳＡ１７０）。そして、仮インストール通知部１０８は、ユーザ端末１００におけるアプリケーションのインストールを確認する（ステップＳＡ１７３ａ）。具体的な処理の一例では、仮インストール通知部１０８は、ＵＲＬスキームを利用して、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションおよび旧バージョンの対象アプリケーションを検出する。例えば、ユーザ端末１００は、端末記憶部１４０のアプリ間共有エリアに、対象アプリケーションのＵＲＬスキームとアプリＩＤとを関連付けたＵＲＬスキーム情報を予め記憶しているものと

する。仮インストール通知部１０８は、アプリＩＤと関連付けたＵＲＬスキーム情報に存在する対象アプリケーションに対応するＵＲＬスキームがオープン（使用）可能か否かを所定のメソッドを利用して確認する。メッソッドの利用の結果でオープン可能と確認された場合に、当該ＵＲＬスキームに対応した対象アプリケーションまたは旧バージョンの対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされていると特定する。つまり、インストールされていることが管理サーバ２００ｂで管理されている対象アプリケーションと、インストールされていることが管理サーバ２００ｂで管理されてない旧バージョンの対象アプリケーションが混在された状態で検出されることになる。すなわち、仮インストール通知部１０８は、検出した対象アプリケーションと旧バージョンの対象アプリケーションとを旧バージョンの対象アプリケーションの候補として検出し、その仮インストール通知情報を生成する。

[0616] 次に、仮インストール通知部１０８は、インストール確認の結果を管理サーバ２００ｂに対して通知する（ステップＳＡ１７４ａ、ＲＥＱ１１Ｃ）。すなわち、仮インストール通知部１０８は、ユーザ端末１００にインストールされていると検出した旧バージョンの対象アプリケーションの候補を示す仮インストール通知情報を管理サーバ２００ｂに対して送信する。

[0617] 次に、管理サーバ２００ｂの仮インストール通知取得部２４７は、仮インストール通知部１０８から送信された仮インストール通知情報を取得する（ＳＥ１１３ａ）。

仮インストール通知部１０８が送信する仮インストール通知情報は、旧バージョンの対象アプリケーションの候補であって、インストールされていることが管理サーバ２００ｂで管理されている対象アプリケーションと、インストールされていることが管理サーバ２００ｂで管理されてない旧バージョンの対象アプリケーションとが含まれている。そのため、インストール情報管理部２２２は、仮インストール通知取得部２４７が取得した仮インストール通知情報のうち、既にインストール情報記憶部２３６に記憶されている対

象アプリケーションを除いた、真の旧バージョンの対象アプリケーションを抽出する。なお、真の旧バージョンの対象アプリケーションが抽出できない場合もある。この場合、管理サーバ２００ｂでインストールされていることが管理されていない旧バージョンの対象アプリケーションがユーザ端末１００に存在しないことを示す。

インストール情報管理部２２２は、抽出した旧バージョンの対象アプリケーションを、仮インストール通知情報に含まれるリワードユーザＩＤ（RewardUID）、対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）のアプリＩＤ（ApID）、及び対象アプリケーション１０ＢにおけるユーザＸのアプリユーザＩＤ（ApUID）と、通知タイプ（Ttype）とを関連付けてインストール情報記憶部２３６に記憶させる。なお、この場合、インストール情報管理部２２２は、アプリユーザＩＤ（ApUID）を「ｎｕｌｌ」に設定し、通知タイプ（Ttype）を「１」として、インストール情報記憶部２３６に記憶させる。

また、仮インストール通知取得部２４７は、仮インストール通知情報を取得したことを示す応答情報を、当該ユーザ端末１００（ＳＤＫ２０１１Ａ）に対して送信する（ＲＥＳ１１Ｃ）。

[0618] 続くステップＳＡ１７５の処理は、図２３に示す第３の実施形態と同様であるので、ここでは説明を省略する。

また、ステップＳＡ２４以降の処理（なお、ステップＳＥ１５以降、及びステップＳＡ２５以降は、図示を省略）は、図１４に示すステップＳＡ２４からステップＳＡ２６、ステップＳＥ１５からステップＳＥ１９の処理、及びステップＳＣ１１の処理と同様であるので、ここでは説明を省略する。

なお、本実施形態では、ステップＳＥ１５及びステップＳＥ１６において、リスト通知部２４２は、対象アプリケーション１０Ａ（ゲームＡ）からインストール通知情報及び仮インストール通知情報のいずれも取得していない少なくとも一の対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）のアプリケーションリストを抽出する。そして、リスト通知部２４２は、抽出した対象アプリケーションのアプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧

ＬＴをユーザ端末１００においてユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションの一覧ＬＴとして表示するためのアプリ一覧ページのデータを生成する。なお、リスト通知部２４２は、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションが存在しない（対象アプリケーションを抽出できなかった）場合には、ユーザに対してその旨を通知する情報を当該データに含ませてもよい。

[0619] 〔第４の実施形態のまとめ〕

以上説明してきたように、本実施形態の相互送客システム５００ａにおいて、ユーザ端末１００の仮インストール通知部１０８は、自ユーザ端末１００にインストールされているアプリケーション及び旧バージョンの対象アプリケーション（管理の対象となる前の対象アプリケーションの一例）を検出して、検出した当該対象アプリケーションの仮インストール通知情報を、旧バージョンの対象アプリケーションの候補として管理サーバ２００ｂに送信する。

これにより、管理サーバ２００ｂが、第３の実施形態のように、ユーザ端末１００に対して旧バージョンの対象アプリケーションの候補となる未インストール情報を送信することなく、旧バージョンの対象アプリケーションの候補のうちから管理されていない旧バージョンの対象アプリケーションを抽出して管理の対象として追加することができる。したがって、対象アプリケーションのバージョンに関わらず、自ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションを管理することができる。よって、本実施形態のユーザ端末１００は、第３の実施形態と同様に、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、対象アプリケーションのバージョンに関わらず、ユーザが利用したことのない対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。

[0620] また、ＵＲＬスキーム以外にインストールされているアプリケーションを検出可能な機能が具備されている場合には、仮インストール通知部１０８は、その機能を利用してもよい。また、仮インストール通知部１０８は、アプ

リケーションのアプリＩＤを取得可能な場合には、検出したアプリケーションのアプリＩＤを含む仮インストール通知情報を管理サーバ２００ｂに送信してもよい。また、仮インストール通知部１０８は、検出したアプリケーションのアプリ名をアプリＩＤに代えた仮インストール通知情報を管理サーバ２００ｂに送信し、管理サーバ２００ｂ側でアプリ名をアプリＩＤに変換して登録するようにしてもよい。

[0621] ＜第５の実施形態＞

次に、本発明の第５の実施形態を説明する。

本実施形態では、ＳＤＫ１１を組み込んでいない旧バージョンの対象アプリケーションがインストール（アップデート）されている場合に、旧バージョンの対象アプリケーションを除外した対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示する実施形態であって、第３及び第４の実施形態とは異なる別の実施形態について説明する。すなわち、第３及び第４の実施形態では、管理サーバ２００ａ（２００ｂ）がインストールを勧める対象アプリケーションをユーザに提示するためのアプリケーションリストをユーザ端末１００に送信する際に、アプリケーションリストからユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを除外していた。

一方、本実施形態では、管理サーバ２００は旧バージョンの対象アプリケーションを対象アプリケーションのアプリケーションリストから除外せずにユーザ端末１００に送信する。そして、ユーザ端末１００にて、アプリケーションリストから旧バージョンの対象アプリケーションを除外する。これにより、ユーザ端末１００は、旧バージョンの対象アプリケーションを除外した対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示するようにする。

[0622] 〔第５の実施形態によるユーザ端末１００（ＳＤＫ３０１１）の機能構成〕

図２７は、本実施形態によるユーザ端末１００のＳＤＫ３０１１に基づいて実行する機能構成の一例を示す構成図である。

この図２７を参照して、相互送客システム５００ａにおいてユーザ端末１００（ＳＤＫ３０１１）が実行する相互送客処理の機能構成について説明す

る。

この図において、ＳＤＫ３０１１は、初期化処理部１０１と、リスト要求部１０４と、表示制御部１０５と、送客情報通知部１０６と、報酬付与通知部１０７と、リスト取得部１０９と、リスト生成部１１２と、を備えている。また、初期化処理部１０１は、固有識別情報取得部１０２と、インストール通知部１０３とを備えている。

[0623] 本実施形態のＳＤＫ３０１１は、仮インストール通知部１０８と、未インストール情報取得部１１１と、を備えていない点と、リスト生成部１１２を備えている点が、第３の実施形態と異なる。また、図２７において、図１９と同様の構成に同一の符号を付し、ここでは説明を省略する。

なお、本実施形態のリスト取得部１０９は、管理サーバ２００においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていないインストール通知情報を送信していない少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストを管理サーバ２００から取得する。また、リスト取得部１０９は、対象アプリケーションのアプリケーションリストとともに、対象アプリケーションのアプリケーションリストに含まれる対象アプリケーションに対応するＵＲＬスキームを取得する。

[0624] リスト生成部１１２は、リスト取得部１０９が取得した対象アプリケーションのアプリケーションリストに含まれる対象アプリケーションのうち、自ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴを生成する。具体的には、リスト生成部１１２は、リスト取得部１０９が取得したＵＲＬスキームを利用して、アプリケーションリストに含まれる対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを特定する。リスト生成部１１２は、アプリケーションリストに含まれる対象アプリケーションのうち、ＵＲＬスキームを利用して特定したユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成し直す。

[0625] また、本実施形態の管理サーバ２００の構成は、図６に示す第１の実施形態の管理サーバ２００と同様であり、ここではその説明を省略する。

[0626] 〔第５の実施形態による相互送客処理の動作の詳細〕

次に、本実施形態の相互送客システム５００ａの動作について説明する。

なお、本実施形態の相互送客システム５００ａの基本的な動作は、図１４及び図１５に示す第１の実施形態と同様であり、ここでは、図２８を参照して、本実施形態の対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成する処理を中心に、相互送客システム５００ａの動作について説明する。

[0627] なお、図２８に示す処理は、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーション１０Ａ側の処理を示している。また、対象アプリケーション１０Ａには、上述したＳＤＫ３０１１と同様のＳＤＫ３０１１Ａが組み込まれているものとする。

[0628] 図２８において、ステップＳＡ１１からステップＳＡ１７の処理、ステップＳＡ２３の処理、ステップＳＥ１１の処理、及びステップＳＥ１５の処理は、図１４に示す第１の実施形態と同様であるので、ここではその説明を省略する。

ステップＳＡ２４ａにおいて、リスト要求部１０４は、複数の対象アプリケーションの少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストを要求するリスト要求通知情報を管理サーバ２００に対して送信する（ＲＥＱ１２ａ）。

また、ステップＳＥ１６ａにおいて、管理サーバ２００のリスト通知部２４２は、対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成して、生成したアプリケーションリストをユーザ端末１００に送信する（ＲＥＳ１２ａ）。ここで、リスト通知部２４２は、ユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成する。なお、リスト通知部２４２は、アプリケーションリストに、対象アプリケーションに対応するＵＲＬスキームを含めてもよい。すなわち、リスト通知部２４２は、アプリケーションリストとともに

、アプリケーションリストに含まれる対象アプリケーションに対応するＵＲＬスキームをユーザ端末１００に対して送信し、ユーザ端末１００のリスト取得部１０９が、アプリケーションリスト及びＵＲＬスキームを取得する。

[0629] 次に、ＳＤＫ３０１１Ａのリスト生成部１１２は、旧バージョンの対象アプリケーションのインストールを確認する（ステップＳＡ２４１）。具体的には、リスト生成部１１２は、リスト取得部１０９が取得したアプリケーションリストに含まれるＵＲＬスキームを利用して、対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを特定する。すなわち、リスト生成部１１２は、アプリケーションリストに含まれる対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを検出する。

例えば、リスト生成部１１２は、アプリケーションリストに含まれるＵＲＬスキームを利用して、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを検出する。

[0630] 次に、リスト生成部１１２は、対象アプリケーションのアプリケーションリストから旧バージョンの対象アプリケーションを削除する（ステップＳＡ２４２）。すなわち、リスト生成部１１２は、アプリケーションリストに含まれる対象アプリケーションのうち、ＵＲＬスキームを利用して検出したユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成する。

[0631] 次に、ＳＤＫ３０１１Ａの表示制御部１０５は、リスト生成部１１２が生成した対象アプリケーションのアプリケーションリストに基づいて対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示部１２０に表示させる（ステップＳＡ２５ａ）。

[0632] また、ステップＳＡ２６以降の処理（なお、ステップＳＥ１７以降、及びステップＳＡ２６以降は、図示を省略）は、図１４に示すステップＳＡ２６、ステップＳＥ１７からステップＳＥ１９の処理、及びステップＳＣ１１の処理と同様であるので、ここでは説明を省略する。

[0633] 〔第５の実施形態のまとめ〕

以上説明してきたように、本実施形態の相互送客システム５００ａにおいて、ユーザ端末１００（端末装置の一例）は、管理サーバ２００と通信可能な端末装置である。ここで、管理サーバ２００は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションの当該インストールされたことを示すインストール通知情報に基づいて、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションのインストール情報を管理する。ユーザ端末１００は、インストール通知部１０３と、インストール通知部１０３と、リスト取得部１０９と、リスト生成部１１２と、表示制御部１０５と、を備えている。インストール通知部１０３は、自ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションのインストール通知情報を管理サーバ２００に対して送信する。リスト取得部１０９は、管理サーバ２００においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストを管理サーバ２００から取得する。リスト生成部１１２は、リスト取得部１０９が取得したアプリケーションリストに含まれる対象アプリケーションのうち、自ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーション（管理の対象となる前の対象アプリケーションの一例）を除いたアプリケーションリストを生成し直す。そして、表示制御部１０５は、リスト生成部１１２が生成したアプリケーションリストに基づいて対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示部１２０に表示させる。

[0634] これにより、例えば、ＳＤＫ３０１１を組み込んでいない旧バージョンの対象アプリケーションが、ユーザ端末１００にインストールされている場合であっても、本実施形態のユーザ端末１００は、旧バージョンの対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストに基づいた対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。つまり、ユーザ端末１００は、第３及び第４の実施形態と同様に、対象アプリ

ケーションのバージョンに関わらず、ユーザが利用したことのない対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。

[0635] また、本実施形態では、リスト取得部１０９は、アプリケーションリストとともに、アプリケーションリストに含まれる対象アプリケーションに対応するＵＲＬスキームを取得する。そして、リスト生成部１１２は、リスト取得部１０９が取得したＵＲＬスキームを利用して、アプリケーションリストに含まれる対象アプリケーションのうち、自ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを検出する。

これにより、本実施形態のユーザ端末１００は、例えば、ユーザ端末１００において、ＵＲＬスキームがオープン可能か否かを判定するという簡易な手段により、旧バージョンの対象アプリケーションを検出することができる。

[0636] 〔対象アプリケーションの一覧の表示例〕

以下、図２９を参照して、本実施形態の相互送客システム５００ａにおいて、ユーザ端末１００が生成して表示部１２０に表示させる対象アプリケーションの一覧ＬＴの表示例を説明する。図２９は、本実施形態による対象アプリケーションの一覧ＬＴの表示例を示す図である。

ここでは、ユーザ端末１００には、送客元となる対象アプリケーション１０Ａ（ゲームＡ）、旧バージョンの対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）、及び対象アプリケーション１０Ｆ（ゲームＧ）がインストールされているものとする。ここで、対象アプリケーション１０Ａ（ゲームＡ）及び対象アプリケーション１０Ｆ（ゲームＧ）は、ユーザ端末１００において起動したときに、それぞれインストール通知情報を管理サーバ２００に送信済みであるとする。従って、管理サーバ２００は、対象アプリケーション１０Ａ（ゲームＡ）及び対象アプリケーション１０Ｆ（ゲームＧ）がユーザ端末１００にインストールされていることを示すインストール情報を管理している。なお、対象アプリケーション１０Ｄ（ゲームＥ）及び対象アプリケーション１０Ｅ（ゲームＦ）は、ユーザ端末１００にインストールされていない対象

アプリケーションの例である。即ち、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００に対応する、対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）、対象アプリケーション１０Ｄ（ゲームＥ）、及び対象アプリケーション１０Ｅ（ゲームＦ）のインストール情報を管理していない。

[0637] 図２９（ａ）、（ｂ）、（ｃ）は、ユーザ端末１００が、管理サーバ２００から取得したアプリケーションリストに、管理サーバ２００においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報が含まれ、ユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されている対象アプリケーションを示す情報が含まれない場合に、当該アプリケーションリストに基づいて生成する対象アプリケーションの一覧ＬＴの表示例を示している。

[0638] まず、図２９（ａ）は、ユーザ端末１００が、取得したアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションの一覧ＬＴを生成したときの表示例を示す。ここでは、アプリケーションリストにより示される対象アプリケーションは、管理サーバ２００においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）、対象アプリケーション１０Ｄ（ゲームＥ）、及び対象アプリケーション１０Ｅ（ゲームＦ）である。この図２９（ａ）に示す対象アプリケーションの一覧ＬＴには、対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）を示す情報（Ｌ１０）、対象アプリケーション１０Ｄ（ゲームＥ）を示す情報（Ｌ２０）、及び対象アプリケーション１０Ｅ（ゲームＦ）を示す情報（Ｌ３０）が、ユーザ端末１００に未インストールの対象アプリケーション（即ち、送客先となる対象アプリケーションの候補）を示す情報として表示される。ここでは、対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）の旧バージョンがユーザ端末１００にインストールされているが、管理サーバ２００においてユーザ端末１００に対応する対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）のインストール情報を管理していないため、対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）を示す情報もユーザ端末１００に未インストールの対象アプリケーションとして表示

される。

[0639] 図２９（ｂ）は、ユーザ端末１００が、取得したアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちから旧バージョンの対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴを生成したときの表示例を示す。この図２９（ｂ）に示す対象アプリケーションの一覧ＬＴには、アプリケーションリストにより示される対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）、対象アプリケーション１０Ｄ（ゲームＥ）、及び対象アプリケーション１０Ｅ（ゲームＦ）のうちから、旧バージョンがインストールされている対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）を除いて、対象アプリケーション１０Ｄ（ゲームＥ）を示す情報（Ｌ２０）及び対象アプリケーション１０Ｅ（ゲームＦ）を示す情報（Ｌ３０）が、ユーザ端末１００に未インストールの対象アプリケーション（即ち、送客先となる対象アプリケーションの候補）を示す情報として表示される。

[0640] 図２９（ｃ）は、ユーザ端末１００が、取得したアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちの旧バージョンの対象アプリケーションを区別可能な対象アプリケーションの一覧ＬＴを生成したときの表示例を示す。例えば、ユーザ端末１００のリスト生成部１１２は、アプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちから、ＵＲＬスキームを利用して検出したユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションをユーザが区別可能な対象アプリケーションの一覧ＬＴを生成してもよい。この図２９（ｃ）に示す対象アプリケーションの一覧ＬＴには、対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）を示す情報（Ｌ１０）、対象アプリケーション１０Ｄ（ゲームＥ）を示す情報（Ｌ２０）、及び対象アプリケーション１０Ｅ（ゲームＦ）を示す情報（Ｌ３０）が表示されるとともに、対象アプリケーション１０Ｄ（ゲームＥ）を示す情報（Ｌ２０）及び対象アプリケーション１０Ｅ（ゲームＦ）を示す情報（Ｌ３０）には、それぞれ、ユーザ端末１００にインストールされていないことを示す情報（ここでは「未インストール」）が、ユーザ端末１００に未インス

トールの対象アプリケーション（即ち、送客先となる対象アプリケーションの候補）を示す情報として表示される。

よって、ユーザ端末１００は、取得したアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００に旧バージョンがインストールされている対象アプリケーションをユーザが区別可能な対象アプリケーションの一覧ＬＴを生成してユーザに提示することができる。

なお、対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）を示す情報（Ｌ１０）に、旧バージョンがインストールされていることを示す情報を表示するようにしてもよい。

[0641] また、管理サーバ２００から取得するアプリケーションリストには、さらに、インストール情報が管理されている少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報、及びインストール情報が管理されていない対象アプリケーションとインストール情報が管理されている対象アプリケーションとを区別可能な区別情報が含まれていてもよい。

図２９（ｄ）、（ｅ）、（ｆ）は、ユーザ端末１００が、管理サーバ２００から取得したアプリケーションリストに、管理サーバ２００において、ユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報、インストール情報が管理されている少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報、及びインストール情報が管理されていない対象アプリケーションとインストール情報が管理されている対象アプリケーションとを区別可能な区別情報が含まれている場合に、当該アプリケーションリストに基づいて生成する対象アプリケーションの一覧ＬＴの表示例を示している。

[0642] 図２９（ｄ）は、ユーザ端末１００が、取得したアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちから旧バージョンの対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴを生成したときの表示例を示す。ここでは、アプリケーションリストにより示される対象アプリケーション１０Ａ（ゲームＡ）、対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）、

対象アプリケーション１０Ｄ（ゲームＥ）、対象アプリケーション１０Ｅ（ゲームＦ）、及び対象アプリケーション１０Ｆ（ゲームＧ）のうちから、旧バージョンがインストールされている対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）が除かれる。従って、この図２９（ｄ）に示す対象アプリケーションの一覧ＬＴには、対象アプリケーション１０Ｄ（ゲームＥ）を示す情報（Ｌ２０）、対象アプリケーション１０Ｅ（ゲームＦ）を示す情報（Ｌ３０）、対象アプリケーション１０Ａ（ゲームＡ）を示す情報（Ｌ４０）、及び対象アプリケーション１０Ｆ（ゲームＧ）を示す情報（Ｌ５０）が表示される。また、対象アプリケーション１０Ａ（ゲームＡ）を示す情報（Ｌ４０）、及び対象アプリケーション１０Ｆ（ゲームＧ）を示す情報（Ｌ５０）には、それぞれ、ユーザ端末１００にインストールされていることを示す情報（ここでは「インストール済」）が表示される。つまり、対象アプリケーション１０Ｄ（ゲームＥ）を示す情報（Ｌ２０）及び対象アプリケーション１０Ｅ（ゲームＦ）を示す情報（Ｌ３０）が、ユーザ端末１００に未インストールの対象アプリケーション（即ち、送客先となる対象アプリケーションの候補）を示す情報であることを示している。ここで、ユーザ端末１００は、このユーザ端末１００にインストールされていることを示す情報（ここでは「インストール済」）を、アプリケーションリストに含まれる区別情報に基づいて生成する。

これにより、ユーザ端末１００は、取得したアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうち、インストール情報が管理されている対象アプリケーションが、少なくともインストール情報が管理されていない対象アプリケーションと区別可能な対象アプリケーションの一覧ＬＴを生成してユーザに提示することができる。

[0643] 図２９（ｅ）は、ユーザ端末１００が、取得したアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちから旧バージョンの対象アプリケーションを除かずに対象アプリケーションの一覧ＬＴを生成したときの表示例を示す。この図２９（ｅ）に示す対象アプリケーションの一覧ＬＴでは

、図２９（ｄ）に示すアプリケーションの一覧ＬＴに対して、対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）を示す情報（Ｌ１０）がさらに表示される点が異なる。また、対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）を示す情報（Ｌ１０）には、当該対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）の旧バージョンがインストールされていることを示す情報（ここでは、「旧バージョンインストール済」）が表示される。

これにより、ユーザ端末１００は、取得したアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうち、インストール情報が管理されている対象アプリケーションが、少なくともインストール情報が管理されていない対象アプリケーションと区別可能な対象アプリケーションの一覧ＬＴを生成してユーザに提示することができる。また、ユーザ端末１００は、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンがインストールされている対象アプリケーションをユーザが区別可能なように対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。

[0644] なお、図２９（ｅ）に示す対象アプリケーションの一覧ＬＴにおいて、旧バージョンがインストールされている対象アプリケーションを区別可能な情報を表示しなくともよい。例えば、図２９（ｆ）に示すように、対象アプリケーション１０Ｂ（ゲームＣ）を示す情報（Ｌ１０）には、ユーザ端末１００にインストールされていることを示す情報（ここでは「インストール済」）が表示されてもよい。

これにより、ユーザ端末１００は、取得したアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうち、インストール情報が管理されている対象アプリケーションが、少なくともインストール情報が管理されていない対象アプリケーションと区別可能な対象アプリケーションの一覧ＬＴを生成してユーザに提示することができる。

[0645] なお、図２９（ｄ）、（ｅ）、（ｆ）に示す対象アプリケーションの一覧ＬＴにおいて、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションを示す情報に、ユーザ端末１００にインストールされていることを示

す情報（ここでは「インストール済」）が表示されることに代えて又は加えて、ユーザ端末１００にインストールされていない対象アプリケーションを示す情報に、ユーザ端末１００にインストールされていないことを示す情報（例えば「未インストール」）が表示されるようにしてもよい。

[0646] ＜第６の実施形態＞

次に、本発明の第６の実施形態を説明する。第３、第４、及び第５の実施形態では、ＳＤＫ１１が組み込まれていない旧バージョンの対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされている場合に、このインストールされている旧バージョンの対象アプリケーションを除外した対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示する形態について説明した。本実施形態では、ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションのうち起動したことのない対象アプリケーションがある場合、この起動したことのない対象アプリケーションを除外した対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示する形態について説明する。

[0647] 例えば、対象アプリケーションをストアサイトからダウンロードしてユーザ端末１００にインストールしても、その対象アプリケーションは、起動しなければ（実行されなければ）管理サーバ２００に対してインストール通知情報を送信することができない。そのため、管理サーバ２００は、旧バージョンの対象アプリケーションの場合と同様に、この起動したことのない対象アプリケーションはユーザ端末１００にインストールされていないものと認識することになる。したがって、例えば、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、ユーザに提示する対象アプリケーションの一覧ＬＴに、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションが含まれることがある。

[0648] そこで、本実施形態では、第３、第４、及び第５の実施形態において説明した旧バージョンの対象アプリケーションを除外する場合と同様の処理を用いて、ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションのうち起動したことのない対象アプリケーションを除外した対象アプリケーション

の一覧ＬＴをユーザに提示する形態について説明する。

[0649] 〔第６の実施形態による相互送客システムの概要〕

図３０は、本実施形態の相互送客システム５００ａの概要を説明する説明図である。

この図３０に示すネットワークシステム１ａは、図１８に示す構成と同様に、管理サーバ２００ａと、ユーザ端末１００とを備えている。ここでは、ユーザ端末１００に、旧バージョンの対象アプリケーション１０Ｂ（例えばゲームＣ）に代えて、相互送客システム５００ａに対応したＳＤＫ１０１１を備えている対象アプリケーション１０Ｃ（例えばゲームＤ）がインストールされている点が、図１８に示す構成と異なる。なお、この図３０において、図１８の各部に対応する部分には同一の符号を付けている。

この図３０を参照して、本実施形態の相互送客システム５００ａの概要を説明する。

[0650] （１）対象アプリケーション１０Ａがユーザ端末１００にインストールされ、ユーザＸによって最初に起動した際に、対象アプリケーション１０Ａに組み込まれたＳＤＫ１０１１は、対象アプリケーション１０Ａがユーザ端末１００にインストールされたことを示すインストール通知情報（ゲームＡ）を送信する。これにより、管理サーバ２００ａは、ＳＤＫ１０１１から取得したインストール通知情報に基づいて、ユーザ端末１００に対象アプリケーション１０Ａがインストールされたことを示すインストール情報を管理する。

[0651] 一方、対象アプリケーション１０Ｃはユーザ端末１００にインストールされているが起動したことがないため、対象アプリケーション１０Ｃに組み込まれたＳＤＫ１０１１は、インストール通知情報を管理サーバ２００へ送信していない。つまり、管理サーバ２００ａは、対象アプリケーション１０Ｃがユーザ端末１００にインストールされたことを示すインストール通知情報を取得していないため、対象アプリケーション１０Ｃがユーザ端末１００にはインストールされていないものと認識している。

[0652] （２）対象アプリケーション１０ＡのＳＤＫ１０１１は、管理サーバ２００

ａがユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない対象アプリケーションを示す未インストール情報を管理サーバ２００ａから取得する。なお、この対象アプリケーション１０Ａは、第１及び第２の実施形態における送客元アプリ１０と同様の機能を有する送客元アプリに対応する。

[0653] （３）対象アプリケーション１０ＡのＳＤＫ１０１１は、管理サーバ２００ａから取得した未インストール情報により示される対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことがない対象アプリケーション（例えば対象アプリケーション１０Ｃ）が、ユーザ端末１００にインストールされているか否かを検出（インストール検出）する。つまり、未インストール情報は、ユーザ端末１００において検出すべき「ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことがない対象アプリケーション」の候補を示すものと言える。ＳＤＫ１０１１は、例えば、ＵＲＬスキームを利用して「ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことがない対象アプリケーション」がユーザ端末１００にインストールされているか否かを検出する。ここでは、ＳＤＫ１０１１は、未インストール情報により示される対象アプリケーションのうち「ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことがない対象アプリケーション」として、対象アプリケーション１０Ｃがユーザ端末１００にインストールされていると検出する。

[0654] （４）対象アプリケーション１０ＡのＳＤＫ１０１１は、対象アプリケーション１０Ｃ（ゲームＤ）がインストールされていることを示すインストール通知情報を管理サーバ２００ａに送信する。これにより、管理サーバ２００ａは、ＳＤＫ１０１１から取得したインストール通知情報（ゲームＤ）に基づいて、ユーザ端末１００に対象アプリケーション１０Ｃがインストールされていることを示すインストール情報を管理する。なお、管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションが起動したことがあるか否かを含めて管理するようにしてもよい。

[0655] （５）管理サーバ２００ａは、ユーザに対してインストールを勧める対象ア

プリケーションを提示する場合に、対象アプリケーション１０Ｃを除いたアプリケーションリスト（ゲームＤを含めない）をユーザ端末１００に対して送信する。

すなわち、管理サーバ２００ａは、管理している複数の対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされて起動した対象アプリケーションのインストール情報と、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションのインストール情報とのいずれも管理していない少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成する。

そして、管理サーバ２００ａは、生成したアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信する。ユーザ端末１００は、管理サーバ２００ａから送信された上述のアプリケーションリストに基づいて、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションとして、対象アプリケーション１０Ｃを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示部１２０に表示する。

[0656] このように、本実施形態による相互送客システム５００ａは、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションがある場合であっても、当該起動したことのない対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示部１２０に表示させてユーザに提示することができる。

[0657] なお、「ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーション」と、第３、第４、及び第５の実施形態において説明した「ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーション」とは、管理サーバ２００ａに対してインストール通知情報を送信していない理由が異なるが、ユーザ端末１００にインストールされているにもかかわらずインストール通知情報を送信していない対象アプリケーションであることには違いがない。そのため、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションと、旧バージョ

ンの対象アプリケーションとは、いずれも未インストール情報により示される対象アプリケーションに含まれる。そして、この未インストール情報により示される対象アプリケーションのうちから、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを検出する処理は、旧バージョンの対象アプリケーションを検出する処理と同様に、例えばＵＲＬスキームを利用して検出する処理とすることができる。

[0658] したがって、本実施形態においても、ユーザ端末１００に旧バージョンの対象アプリケーションがインストールされている場合には、未インストール情報のうちから旧バージョンの対象アプリケーションを除外することができる。また、ユーザ端末１００に旧バージョンの対象アプリケーションがインストールされており、且つユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションもある場合には、未インストール情報のうちから、旧バージョンの対象アプリケーションと起動したことのない対象アプリケーションのいずれも除外することができる。

[0659] 次に、本実施形態の構成及び処理を詳しく説明する。

本実施形態の構成及び処理は、上記第３、第４、及び第５の実施形態で説明したそれぞれの構成及び処理を適用することができる。

以下に、上記第３、第４、及び第５の実施形態で説明したそれぞれの構成及び処理を適用した本実施形態の構成及び処理を、第１例～第３例として説明する。

[0660] 〔第６の実施形態の構成及び処理の第１例〕

本実施形態の構成及び処理として、例えば、図１９から図２３を参照して説明した第３の実施形態の構成及び処理を適用することができる。

[0661] 本実施形態のユーザ端末１００のＳＤＫ１０１１に基づいて実行する機能構成として、図１９に示す機能構成を適用してもよい。ＳＤＫ１０１１は、初期化処理部１０１と、リスト要求部１０４と、表示制御部１０５と、送客情報通知部１０６と、報酬付与通知部１０７と、仮インストール通知部１０８と、リスト取得部１０９と、未インストール情報取得部１１１とを備えて

いる。本実施形態では、この図１９に示すＳＤＫ１０１１の機能構成において、仮インストール通知部１０８が、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを検出する。そして、仮インストール通知部１０８は、検出した当該対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされていることを示す仮インストール通知情報を管理サーバ２００ａに対して送信する。

[0662] 具体的には、仮インストール通知部１０８は、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを検出する場合、例えば、旧バージョンの対象アプリケーションを検出する処理と同様に、未インストール情報取得部１１１が取得したＵＲＬスキームを利用して検出する。

[0663] なお、ＵＲＬスキームを利用せずに、ＯＳの機能によりユーザ端末１００にインストール済みの対象アプリケーションを示す情報を取得可能な場合には、仮インストール通知部１０８は、このインストール済みの対象アプリケーションを示す情報を用いることにより、未インストール情報取得部１１１が取得した未インストール情報により示される対象アプリケーションのうちから、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを検出してもよい。

また、旧バージョンの対象アプリケーションとは違って、この起動したことのない対象アプリケーションにはＳＤＫ１０１１が組み込まれている。そのため、ＳＤＫ１０１１が、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションどうしを検出する機能を具備して、未インストール情報取得部１１１が取得した未インストール情報により示される対象アプリケーションのうちから、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを検出してもよい。

[0664] また、本実施形態では、図２０に示す管理サーバ２００ａの構成において、仮インストール通知取得部２４７は、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションがある場合、当該起動

したことのない対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされていることを示す仮インストール通知情報を、対象アプリケーション１０Ａから取得する。例えば、仮インストール通知取得部２４７は、未インストール情報通知部２４８が送信した未インストール情報により示される対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションの仮インストール通知情報を、対象アプリケーション１０Ａから取得する。そして、仮インストール通知取得部２４７は、取得した仮インストール通知情報を、インストール情報管理部２２２に供給する。

[0665] インストール情報管理部２２２は、仮インストール通知取得部２４７が取得した仮インストール通知情報に基づいて、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションのインストール情報をインストール情報記憶部２３６に記憶させる。インストール情報記憶部２３６に記憶されるインストール情報は、例えば、図２２に示す旧バージョンの対象アプリケーションのインストール情報と同様に、仮インストール通知情報に基づいて記憶されたインストール情報であるため、通知タイプ（Type）が「１」として記憶される。なお、このユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションの通知タイプ（Type）は、旧バージョンの対象アプリケーションとも区別可能なように、「０」及び「１」以外の通知タイプ（例えば「２」）としてもよい。

[0666] また、本実施形態による処理として、例えば図２３に示す処理を適用してもよい。

例えば、ステップＳＡ１７３の処理において、対象アプリケーション１０ＡのＳＤＫ１０１１Ａの仮インストール通知部１０８が、未インストール情報取得部１１１が取得した未インストール情報に含まれるＵＲＬスキームを用いて、未インストールの対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを検出する。そして、仮インストール通知部１０８は、管理サーバ２００ａに対

してインストール確認の結果を通知する（ステップＳＡ１７４）。すなわち、仮インストール通知部１０８は、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことがないと検出した対象アプリケーションを示す仮インストール通知情報を、旧バージョンの対象アプリケーションを示す仮インストール通知情報と同様に管理サーバ２００ａに対して送信する。なお、ユーザ端末１００に、起動したことのない対象アプリケーションが存在しなかった場合には、仮インストール通知情報として、起動したことのない対象アプリケーションが存在しない旨の情報を通知するようにしてもよい。

[0667] これにより、管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションのインストール情報を管理する（ステップＳＥ１１３ａ）ことができる。

[0668] 続くステップＳＡ２４以降の処理（なお、ステップＳＥ１５以降、及びステップＳＡ２５以降は、図示を省略）は、図２３を参照して説明したように、図１４に示すステップＳＡ２４からステップＳＡ２６、ステップＳＥ１５からステップＳＥ１９の処理、及びステップＳＣ１１の処理と同様であるので、ここでは説明を省略する。

例えば、ステップＳＥ１５及びステップＳＥ１６において、管理サーバ２００ａのリスト通知部２４２は、複数の対象アプリケーションのうち、インストール情報管理部２２２においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリストを抽出する。そして、リスト通知部２４２は、抽出した対象アプリケーションのアプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザ端末１００において表示するためのアプリ一覧ページのデータを生成する。なお、リスト通知部２４２は、一の対象アプリケーションも抽出できなかった場合には、ユーザに対してその旨を通知する情報を当該データに含めてもよい。なお、対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に送信し、対象アプリケーション１０ＡのＳＤＫ１０１１Ａにおいて、取得したアプリケーションリストに基

づいて、対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザ端末１００で表示するためのデータを生成するようにしてもよい。

[0669] これにより、管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信することができる。よって、ユーザ端末１００は、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。

[0670] なお、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションのうち、旧バージョンの対象アプリケーションと起動したことない対象アプリケーションとのいずれも同様に検出してアプリケーションリストから除外してもよい。

[0671] 〔第６の実施形態の構成及び処理の第２例〕

本実施形態の構成及び処理として、例えば、図２４から図２６を参照して説明した第４の実施形態の構成及び処理を適用してもよい。

[0672] 例えば、本実施形態の相互送客システム５００ａの構成において、図２４に示すユーザ端末１００のＳＤＫ２０１１に基づいて実行する機能構成と図２５に示す管理サーバ２００ｂの構成とを適用してもよい。

ＳＤＫ２０１１は、未インストール情報取得部１１１を備えていない点が、上述の第１例において説明した図１９に示すＳＤＫ１０１１の構成と異なる。また、管理サーバ２００ｂは、未インストール情報通知部２４８を備えていない点が、上述の第１例において説明した図２０に示す管理サーバ２００ａの構成と異なる。

[0673] すなわち、ユーザ端末１００は、未インストール情報を管理サーバ２００ｂから取得せずに、ユーザ端末１００にインストールされている全ての対象アプリケーションを起動したことのない対象アプリケーションの候補とみなして、当該起動したことのない対象アプリケーションの仮インストール通知情報を管理サーバ２００ｂに送信してもよい。なお、このとき対象アプリケ

ーション１０Ａを除外してもよい。そして、管理サーバ２００ｂでは、インストール情報管理部２２２が管理する情報と比較して、インストール情報管理部２２２が管理していない対象アプリケーションを起動したことのない対象アプリケーションであると特定してもよい。

[0674] また、本実施形態による処理として、図２６に示す処理を適用してもよい。

例えば、ステップＳＡ１７３ａにおいて、対象アプリケーション１０ＡのＳＤＫ２０１１Ａの仮インストール通知部１０８は、ＵＲＬスキームを利用して、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションを検出してもよい。ここでは、仮インストール通知部１０８は、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションのうち、起動したことのある対象アプリケーションを検出するとともに、起動したことない対象アプリケーションを検出してもよい。そして、ステップＳＡ１７４ａにおいて、仮インストール通知部１０８は、検出した対象アプリケーションを示す仮インストール通知情報を管理サーバ２００ｂに対して送信してもよい。

[0675] これにより、上述した第１例と同様に、管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションのインストール情報を管理することができる。また、管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信することができる。よって、ユーザ端末１００は、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。

なお、この第２例においても、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションのうち、旧バージョンの対象アプリケーションと起動したことない対象アプリケーションとのいずれも同様に検出してアプリケーションリストから除外してもよい。

[0676] 〔第６の実施形態の構成及び処理の第３例〕

本実施形態の構成及び処理として、例えば、図２７及び図２８を参照して説明した第５の実施形態の構成及び処理を適用してもよい。

[0677] 例えば、本実施形態の相互送客システム５００ａの構成において、図２７に示すユーザ端末１００のＳＤＫ３０１１に基づいて実行する機能構成を適用してもよい。ＳＤＫ３０１１は、仮インストール通知部１０８と、未インストール情報取得部１１１と、を備えていない点、及びリスト生成部１１２を備えた点が上述の第１例において説明した図１９に示すＳＤＫ１０１１の構成と異なる。本実施形態では、リスト生成部１１２は、リスト取得部１０９が取得した対象アプリケーションのアプリケーションリストに含まれる対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを除いたアプリケーションリストを生成してもよい。

[0678] すなわち、本実施形態では、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを対象アプリケーションのアプリケーションリストから除外せずにユーザ端末１００に送信してもよい。そして、ユーザ端末１００において、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを、管理サーバ２００から取得したアプリケーションリストから除外したアプリケーションリストを生成して（生成し直して）、生成したアプリケーションにリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示してもよい。

[0679] また、本実施形態による処理として、図２８に示す処理を適用してもよい。

例えば、ステップＳＡ２４１において、対象アプリケーション１０ＡのＳＤＫ３０１１Ａのリスト生成部１１２は、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを確認してもよい。具体的には、リスト生成部１１２は、リスト取得部１０９が取得したアプリ

ケーションリストに含まれるＵＲＬスキームを利用して、対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを特定してもよい。すなわち、リスト生成部１１２は、アプリケーションリストに含まれる対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを検出してもよい。

[0680] そして、ステップＳＡ２４２において、リスト生成部１１２は、対象アプリケーションのアプリケーションリストから、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを削除してもよい。すなわち、リスト生成部１１２は、アプリケーションリストに含まれる対象アプリケーションのうち、ＵＲＬスキームを利用して検出した、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成し直してもよい。

[0681] また、ステップＳＡ２５ａにおいて、ＳＤＫ３０１１Ａの表示制御部１０５は、リスト生成部１１２が生成した対象アプリケーションのアプリケーションリストに基づいて対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示部１２０に表示してもよい。

[0682] これにより、ユーザ端末１００は、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことのない対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。

なお、この第３例においても、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションのうち、旧バージョンの対象アプリケーションと起動したことない対象アプリケーションとのいずれも同様に検出してアプリケーションリストから除外してもよい。

[0683] なお、本実施形態における対象アプリケーションの一覧ＬＴの表示例として、図２９に示す表示例を適用してもよい。例えば、図２９に示す対象アプリケーションの一覧ＬＴの表示例において、「旧バージョンの対象アプリケ

ーション」を「インストールされているが起動したことがない対象アプリケーション」とすることで、同様に適用することができる。

[0684] 〔第３～第６の実施形態について〕

以上説明した第３～第６の実施形態について、以下のように記載することができるが、以下の記載に限られるものではない。

[0685] （１）相互送客システム５００ａにおいて、管理サーバ２００ａ（管理装置の一例）は、アプリケーション管理部２２１と、インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）と、仮インストール通知取得部２４７（第３情報取得部の一例）と、インストール情報管理部２２２と、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）と、を備えている。

アプリケーション管理部２２１は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理する。インストール通知取得部２４１は、複数の対象アプリケーションのうちの対象アプリケーション１０Ａ（第１アプリケーションの一例）がユーザ端末１００により実行されたことに応じてユーザ端末１００から送信されたインストール通知情報（第１情報の一例）を取得する。仮インストール通知取得部２４７は、対象アプリケーション１０Ａから、複数の対象アプリケーションのうち対象アプリケーション１０Ａ以外の対象アプリケーションである他アプリケーション（例えば、旧バージョンの対象アプリケーション１０Ｂ、又は対象アプリケーション１０Ｃ）がユーザ端末１００にインストールされていることを示す仮インストール通知情報（第３情報の一例）を取得する。インストール情報管理部２２２（インストール情報管理部の一例）は、インストール通知取得部２４１が取得したインストール通知情報及び仮インストール通知取得部２４７が取得した仮インストール通知情報に基づいて、ユーザ端末１００にいずれの対象アプリケーションがインストールされたかを示すインストール情報を管理する。そして、リスト通知部２４２は、インストール情報管理部２２２が管理するインストール情報に基づいて、複数の対象アプリケーションのうち、インストール情報管理部２２２においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管

理されていない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報）を、ユーザ端末１００に対して送信する。ここで、ユーザ端末１００に対応するインストール情報とは、例えば、対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたことに応じてユーザ端末１００から送信されたインストール通知情報のことをいう。

[0686] なお、管理サーバ２００ａ（管理装置の一例）は、少なくとも、アプリケーション管理部２２１と、インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）と、仮インストール通知取得部２４７（第３情報取得部の一例）と、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）と、を備えてもよい。そして、リスト通知部２４２は、ユーザ端末１００からインストール通知情報（第１情報の一例）及び仮インストール通知情報（第３情報の一例）のいずれも取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報）を、ユーザ端末１００に対して送信してもよい。

[0687] これにより、本実施形態の管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００に対応するインストール通知情報を取得していない対象アプリケーションを示すアプリケーションリストをユーザ端末１００に送信する際に、インストール通知情報を取得していない対象アプリケーションのうちユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信することができる。よって、本実施形態によれば、ユーザに対してインストールを勧める適切な対象アプリケーションの一覧ＬＴを提示することができる。

[0688] （２）ここで、複数の対象アプリケーションには、管理サーバ２００ａのアプリケーション管理部２２１による管理の対象となる以前にユーザ端末１００にインストール可能に提供され、当該提供後に当該管理の対象となった旧バージョンの対象アプリケーションが含まれる。

そして、対象アプリケーション１０Ａ以外にユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションである他アプリケーションは、例えば

、複数の対象アプリケーションのうち、アプリケーション管理部２２１による管理の対象となる以前にユーザ端末１００にインストールされた旧バージョンの対象アプリケーションであってもよい。

この旧バージョンの対象アプリケーション（他アプリケーションの一例）は、複数の対象アプリケーションのうちのユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションであって、インストール通知情報（第１情報の一例）を管理サーバ２００に送信する機能を具備しない対象アプリケーションである。なお、インストール通知情報を管理サーバ２００に送信する機能とは、例えば、ＳＤＫ１０１１（２０１１、３０１１）の機能である。つまり、この旧バージョンの対象アプリケーションは、例えばＳＤＫ１０１１（２０１１、３０１１）が組み込まれていないものである。

[0689] これにより、例えば、ＳＤＫ１０１１を組み込んでいない旧バージョンの対象アプリケーションが、ユーザ端末１００にインストールされている場合であっても、本実施形態の管理サーバ２００ａは、旧バージョンの対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信することができる。よって、本実施形態によれば、ユーザが利用したことのない対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。すなわち、本実施形態によれば、ユーザに対してインストールを勧める適切な対象アプリケーションの一覧ＬＴを提示することができる。

[0690] （３）なお、上述の他アプリケーションは、複数の対象アプリケーションのうちのユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションであって、ユーザ端末１００からインストール通知情報（第１情報の一例）を管理サーバ２００ａに送信していない対象アプリケーション、即ち、インストール通知情報を管理サーバ２００ａのインストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）が取得していない対象アプリケーションであってもよい。

[0691] これにより、例えば、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションがある場合であっても、本実施形態の

管理サーバ２００ａは、このインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信することができる。よって、本実施形態によれば、インストール済みの対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。すなわち、本実施形態によれば、ユーザに対してインストールを勧める適切な対象アプリケーションの一覧ＬＴを提示することができる。

[0692] （４）また、管理サーバ２００ａは、複数の対象アプリケーションのうち、インストール情報管理部２２２においてユーザ端末１００に対応するインストール情報（第１情報の一例）が管理されていない対象アプリケーションを示す未インストール情報（第４情報の一例）を、ユーザ端末１００に対して送信する未インストール情報通知部２４８（第４情報通知部の一例）を備えている。この未インストール情報は、ユーザ端末１００において検出すべき旧バージョンの対象アプリケーションの候補、又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションの候補を示すものと言える。

そして、仮インストール通知取得部２４７（第３情報取得部の一例）は、未インストール情報通知部２４８が送信した未インストール情報により示される対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされている上述の他アプリケーションを示す仮インストール通知情報（第３情報の一例）を、対象アプリケーション１０Ａ（第１アプリケーションの一例）から取得する。

[0693] なお、未インストール情報通知部２４８は、複数の対象アプリケーションのうち、インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）が、対象アプリケーション１０Ａ（第１アプリケーションの一例）からインストール通知情報（第１情報の一例）を取得していない対象アプリケーションを示す未インストール情報（第４情報の一例）を、ユーザ端末１００に対して送信してもよい。

[0694] また、未インストール情報通知部２４８は、複数の対象アプリケーション

のうち対象アプリケーション１０Ａからインストール通知情報及び仮インストール通知情報のいずれも取得していない対象アプリケーションを示す未インストール情報を、ユーザ端末１００に対して送信してもよい。

[0695] これにより、管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００において検出すべき旧バージョンの対象アプリケーションの候補、又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションの候補を未インストール情報として通知することで、ユーザ端末１００において旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションとして検出すべき対象を明確にすることができる。その結果として、全対象アプリケーションのうちから抽出する場合に比べて、この旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションの抽出の処理量を低減することができる。また、対象アプリケーション１０Ａは、この旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションの抽出のための処理時間を、全対象アプリケーションのうちから抽出する場合に比べて短縮することができる。

また、本実施形態の管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションを管理することができる。その結果として、本実施形態の管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信することができる。その結果として、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザ端末１００においてユーザに提示することができる。

[0696] （５）また、管理サーバ２００ａの未インストール情報通知部２４８（第４情報通知部の一例）は、アプリケーション管理部２２１が管理する前記複数の対象アプリケーションに関する情報とインストール情報管理部２２２とが管理するインストール情報とに基づいて、未インストール情報（第４情報の一例）を、ユーザ端末１００に対して送信する。ここで、未インストール情報は、複数の対象アプリケーションのうち、インストール情報管理部２２２においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない対象アプリケーションを示す。

[0697] これにより、未インストール情報通知部２４８は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部２２１が管理する情報を参照して抽出した全対象アプリケーションと、インストール情報管理部２２２が管理するインストール情報を参照して抽出されるユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されている対象アプリケーションとを比較することにより、ユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない対象アプリケーションを示す未インストール情報を特定することが可能となる。この未インストール情報は、ユーザ端末１００において検出すべき旧バージョンの対象アプリケーションの候補又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションを示すものと言える。

[0698] なお、管理サーバ２００ａは、対象アプリケーション１０Ａ（第１アプリケーションの一例）から、旧バージョンの対象アプリケーション（ゲームＣとは異なる旧バージョンのゲーム）又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーション（ゲームＤとは異なる対象アプリケーション）に対する仮インストール通知情報を取得している場合には、インストール情報管理部２２２は、インストール通知情報または仮インストール通知情報を送信した対象アプリケーションと、当該対象アプリケーションがインストールされたユーザ端末１００と、を関連付けて管理してもよい。そして、未インストール情報通知部２４８は、複数の対象アプリケーションのうち対

象アプリケーション１０Ａからインストール通知情報および仮インストール通知情報のうちいずれも取得していない対象アプリケーションを示す未インストール情報を、対象アプリケーション１０Ａに対して送信するようにしてもよい。

[0699] （６）また、相互送客システム５００ａにおいて、ユーザ端末１００（端末装置の一例）は、管理サーバ２００ａと通信可能な端末装置である。ここで、管理サーバ２００ａは、管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションから、当該対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされたことを示すインストール通知情報（第１情報の一例）と、当該対象アプリケーション以外の対象アプリケーションである他アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされていることを示す仮インストール通知情報（他インストール通知情報の一例、第３情報の一例）とに基づいて、ユーザ端末１００にいずれの対象アプリケーションがインストールされたかを示すインストール情報を管理する。

ユーザ端末１００は、インストール通知部１０３と、仮インストール通知部１０８（他インストール通知部の一例）と、リスト取得部１０９（取得部の一例）と、表示制御部１０５と、を備えている。インストール通知部１０３は、ユーザ端末１００（自端末装置の一例）にインストールされた対象アプリケーションのインストール通知情報を管理サーバ２００ａに対して送信する。仮インストール通知部１０８は、ユーザ端末１００にインストールされている他アプリケーションを検出して、検出した他アプリケーションの他インストール通知情報（例えば、仮インストール通知情報）を管理サーバ２００ａに対して送信する。ここで、他アプリケーションとは、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションとのいずれも含まれる。また、他インストール通知情報とは、旧バージョンの対象アプリケーションの仮インストール通知情報と、インストールされているが起

動したことがない対象アプリケーションの仮インストール通知情報とのいずれも含まれる。そして、リスト取得部１０９は、管理サーバ２００ａにおいてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリスト（アプリケーション通知情報の一例、第２情報の一例）を管理サーバ２００ａから取得する。そして、表示制御部１０５は、リスト取得部１０９が取得したアプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴ（表示情報の一例）を表示部１２０に表示させる。

[0700] なお、リスト取得部１０９は、インストール通知情報及び仮インストール通知情報（他インストール通知情報の一例）のいずれもユーザ端末１００から送信していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリストを管理サーバ２００ａから取得するものとして捉えることができる。

[0701] これにより、例えば、旧バージョンの対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされている場合、または、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションがある場合、本実施形態のユーザ端末１００は、旧バージョンの対象アプリケーション又は起動したことがない対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストを取得して、取得したアプリケーションリストに基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。よって、本実施形態のユーザ端末１００は、対象アプリケーションのバージョンに関わらず、ユーザ端末１００にインストールされていない対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信することができる。その結果として、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合にユーザ端末１００にインストールされていない対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザ端末１００においてユーザに提示することができる。すなわち、本実施形態によれば、ユーザに対してインストールを勧める適切な対象アプリケーションの一覧ＬＴを提示するこ

とができる。

[0702] （７）また、ユーザ端末１００は、管理サーバ２００ａにおいてユーザ端末１００（自端末装置の一例）に対応するインストール情報が管理されていない対象アプリケーションを示す未インストール情報を、管理サーバ２００ａから取得する未インストール情報取得部１１１、を備えている。

そして、仮インストール通知部１０８は、未インストール情報取得部１１１が取得した未インストール情報に示される対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされている他アプリケーション（例えば、旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーション）の仮インストール通知情報を管理サーバ２００ａに対して送信する。

[0703] なお、ユーザ端末１００は、複数の対象アプリケーションのうちインストール通知情報をユーザ端末１００（自端末装置の一例）から送信していない対象アプリケーションを示す未インストール情報を、管理サーバ２００ａから取得する未インストール情報取得部１１１を備えていてもよい。

[0704] また、未インストール情報取得部１１１は、複数の対象アプリケーションのうちインストール通知情報および仮インストール通知情報（他インストール通知情報の一例）のいずれもユーザ端末１００から送信していない対象アプリケーションを示す未インストール情報を、管理サーバ２００ａから取得してもよい。

[0705] これにより、ユーザ端末１００の対象アプリケーション１０Ａは、例えば、取得した未インストール情報のうちから、ユーザ端末１００にインストールされている旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションを抽出するので、全対象アプリケーションのうちから抽出する場合に比べて、この旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションの抽出の処理量を低減することができる。また、本実施形態のユーザ端末１００は、この旧バージョンの対象アプリケーション又はイン

ストールされているが起動したことがない対象アプリケーションの抽出のための処理時間を、全対象アプリケーションのうちから抽出する場合に比べて短縮することができる。

[0706] （８）仮インストール通知部１０８（他インストール通知部の一例）は、ユーザ端末１００（自端末装置の一例）が具備する機能を用いて、未インストール情報に示される対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされている他アプリケーション（例えば、旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーション）を検出する。

[0707] ここで、ユーザ端末１００が具備する機能とは、例えば、ユーザ端末１００のＯＳの機能であって、対象アプリケーションに対応するＵＲＬスキームを利用してユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションを検出する機能である。例えば、未インストール情報取得部１１１は、未インストール情報に含まれる、未インストール情報に示される対象アプリケーションに対応するＵＲＬスキームを管理サーバ２００ａから取得する。そして、仮インストール通知部１０８は、ユーザ端末１００のＯＳの機能により、未インストール情報取得部１１１が取得したＵＲＬスキームを利用して、未インストール情報に示される対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされている他アプリケーションを検出する。

[0708] これにより、ユーザ端末１００は、例えば、ユーザ端末１００において、ＵＲＬスキームがオープン可能か否かを判定するという簡易な手段により、ユーザ端末１００にインストールされている他アプリケーション（例えば、旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーション）を検出することができる。

[0709] なお、ユーザ端末１００が具備する機能とは、ＵＲＬスキームを利用してユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションを検出する機能に限られるものではない。例えば、ＵＲＬスキームを用いずに、ＯＳがユーザ端末１００にインストール済みの対象アプリケーションを示す情報

を取得可能な場合には、仮インストール通知部１０８は、このインストール済みの対象アプリケーションを示す情報を取得することにより、未インストール情報取得部１１１が取得した未インストール情報により示される対象アプリケーションのうち、ユーザ端末１００にインストールされている他アプリケーションを検出してもよい。

[0710] （９）また、ユーザ端末１００の仮インストール通知部１０８（他インストール通知部の一例）は、未インストール情報を管理サーバ２００ｂから取得せずに、仮インストール通知情報（他インストール通知情報の一例）を管理サーバ２００ｂに送信してもよい。

例えば、仮インストール通知部１０８は、ユーザ端末１００（自端末装置の一例）にインストールされている対象アプリケーション及び旧バージョンの対象アプリケーション（管理の対象となる以前に自端末装置にインストールされた対象アプリケーションの一例）を検出する。そして、仮インストール通知部１０８は、検出した対象アプリケーションの仮インストール通知情報を、他アプリケーション（例えば、旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーション）の候補として管理サーバ２００ｂに送信する。

[0711] これにより、管理サーバ２００ｂは、例えば第３の実施形態のように、ユーザ端末１００に対して旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションの候補となる未インストール情報を送信することなく、ユーザ端末１００にインストールされているアプリケーションのうちから、旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションを抽出して管理の対象として追加することができる。

[0712] （１０）管理サーバ２００ａ（２００ｂ）のアプリケーション管理部２２１は、アプリケーションリスト（第２情報の一例）に基づく掲載の禁止を設定する設定側アプリケーションと、当該設定側アプリケーションのアプリケーションリストに基づく掲載が禁止される被設定側アプリケーションとを関連

付けたアプリ間フィルタ情報（第１の掲載禁止情報の一例）を管理する。そして、管理サーバ２００ａ（２００ｂ）のリスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、アプリケーション管理部２２１が管理しているアプリ間フィルタ情報を参照して、対象アプリケーション１０Ａ（第１アプリケーションの一例）を被設定側アプリケーションに設定しているアプリ間フィルタ情報がある場合は、当該設定側アプリケーションを示す情報をアプリケーションリストから除いた残りの情報を、ユーザ端末１００に対して送信する。

[0713] また、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、アプリケーション管理部２２１が管理しているアプリ間フィルタ情報（第１の掲載禁止情報の一例）を参照して、対象アプリケーション１０Ａ（第１アプリケーションの一例）を設定側アプリケーションに設定しているアプリ間フィルタ情報がある場合は、当該被設定側アプリケーションを示す情報をアプリケーションリストから除いた残りの情報を、ユーザ端末１００に対して送信してもよい。

[0714] これにより、相互送客システム５００ａでは、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、勧めたくない対象アプリケーションの関係を管理サーバ２００ａに設定することができる。例えば、対象アプリケーションの中でレイティング（年齢制限）が設定されているものがあれば、レイティングが設定されていない対象アプリケーション１０Ａから、レイティングが設定されている対象アプリケーションを勧めないようにすることができる。

[0715] （１１）また、管理サーバ２００ａ（２００ｂ）は、リワード処理部２４５を備えていてもよい。そして、リワード処理部２４５は、アプリケーションリスト（第２情報の一例）により示される一または複数の対象アプリケーションのうちの第１実施形態で説明した送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）において所定の報酬付与条件が充足された場合に、ユーザ端末１００を利用するユーザに対して報酬が付与される報酬付与処理をしてもよい。ここで、第１実施形態で説明した送客先アプリ２０は、例えば、アプリ

ケーションリスト（第２情報の一例）により示される一または複数の対象アプリケーションのうちからユーザ端末１００で選択された対象アプリケーションである。

[0716] これにより、ユーザが利用したことのない送客先の対象アプリケーションをインストールすると送客元の対象アプリケーションに対して報酬を付与する相互送客システム５００ａにおいて、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションを除外したアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信することができる。

[0717] （１２）さらに、管理サーバ２００ａ（２００ｂ）は、第１実施形態で説明した送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）への送客を示す送客情報を取得する送客情報取得部２４３と、送客情報取得部２４３が取得した送客情報を管理する送客情報管理部２２３と、を備えてもよい。ここで、送客情報取得部２４３は、例えば、対象アプリケーション１０Ａから送客先アプリ２０に対する送客情報を取得してもよい。そして、リワード処理部２４５は、送客先アプリ２０に設定された所定の報酬付与条件が充足された場合に、送客先アプリ２０に対応する送客情報が送客情報管理部２２３で管理されていることを条件として、報酬付与処理をしてもよい。

これにより、相互送客システム５００ａは、本システムによらずに対象アプリケーションがインストールされた場合には、送客情報の記録がないため報酬付与の対象としないようにすることができる。

[0718] ここで、所定の報酬付与条件が充足された場合とは、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）がユーザ端末１００により実行された又は実行可能な状態になった場合のことであってもよい。また、所定の報酬付与条件が充足された場合とは、送客先アプリ２０がユーザ端末１００により実行された又は実行可能な状態になり、且つ送客先アプリ２０おいて所定の成果が達成された場合のことであってもよい。このように、相互送客システム５

００ａは、報酬付与条件を任意に設定することができる。

[0719] また、管理サーバ２００ａ（２００ｂ）のアプリケーション管理部２２１は、複数の対象アプリケーションのうちの複数の特定アプリケーションに対して設定された所定の期間に関する情報を管理してもよい。この場合、所定の報酬付与条件が充足された場合とは、送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）が特定アプリケーションであって、送客先アプリ２０が所定の期間内にユーザ端末１００により実行された又は実行可能な状態になった場合のことであってもよい。また、所定の報酬付与条件が充足された場合とは、送客先アプリ２０が特定アプリケーションであって、送客先アプリ２０が所定の期間内にユーザ端末１００により実行された又は実行可能な状態になり、且つ送客先アプリ２０において所定の成果が達成された場合のことであってもよい。このように、複数の対象アプリケーションのうちで、キャンペーンを実施している特定のアプリケーションだけを報酬付与の対象とすることができる。

[0720] （１３）また、ユーザ端末１００は、報酬付与通知部１０７を備えている。報酬付与通知部１０７は、ユーザ端末１００（自端末装置の一例）にインストールされた対象アプリケーションにおいて所定の報酬付与条件が充足された場合に、当該所定の報酬付与条件が充足されたことを示す報酬付与通知情報を管理サーバ２００ａ（２００ｂ）に対して送信する。ここで、管理サーバ２００ａ（２００ｂ）は、アプリケーションリスト（第２情報の一例、アプリケーション通知情報の一例）により示される一または複数の対象アプリケーションうちの対象アプリケーションにおける所定の報酬付与条件が充足された場合に、当該対象アプリケーションにおいて所定の報酬が付与される報酬付与処理をする。

[0721] なお、アプリケーションリスト（アプリケーション通知情報の一例）により示される一または複数の対象アプリケーションうちの対象アプリケーションとは、例えば、ユーザ端末１００において、アプリケーションリストに基づいて表示される対象アプリケーションの一覧ＬＴ（表示情報の一例）のう

ちから選択された対象アプリケーションのことをいう。

[0722] このように、相互送客システム５００ａにおいて、ユーザ端末１００は、所定の報酬付与条件が充足された場合に、報酬付与通知情報を管理サーバ２００ａ（２００ｂ）に対して送信するので、例えば、アプリケーションリストから選択された対象アプリケーション（例えば、第１実施形態における送客先アプリ２０）をインストールして利用したことにより、当該利用したユーザ（例えば、ユーザＸ）に対して報酬が付与されるようにすることができる。

[0723] なお、所定の報酬付与条件が充足された場合とは、ユーザ端末１００（自端末装置の一例）にインストールされた対象アプリケーションにおいて所定の成果が達成されたと判定された場合のことであってもよい。

[0724] また、所定の報酬付与条件は複数設けられており、報酬付与通知部１０７は、複数の報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、報酬付与通知情報をそれぞれ管理サーバ２００ａ（２００ｂ）に対して送信してもよい。

[0725] （１４）また、第５の実施形態で説明したように、ユーザ端末１００は、例えば、第１の実施形態の管理サーバ２００から取得したアプリケーションリストに基づいて、ユーザに提示する対象アプリケーションの一覧ＬＴ（例えば、対象アプリケーションを示す情報を一覧表示する画面）を生成してもよい。

例えば、相互送客システム５００ａにおいて、ユーザ端末１００（端末装置の一例）は、管理サーバ２００と通信可能な端末装置である。ここで、管理サーバ２００は、例えば、管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションの当該インストールされたことを示すインストール通知情報に基づいて、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションのインストール情報を管理する。なお、このインストール通知情報は、第１の情報の一例であって、ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションが実行

されたことに応じてユーザ端末１００から管理サーバ２００に送信される情報であればこれに限られない。

ユーザ端末１００は、インストール通知部１０３と、インストール通知部１０３と、リスト取得部１０９（取得部の一例）と、リスト生成部１１２（生成部の一例）と、表示制御部１０５と、を備えている。インストール通知部１０３は、ユーザ端末１００（自端末装置の一例）にインストールされた対象アプリケーションのインストール通知情報を管理サーバ２００に対して送信する。リスト取得部１０９は、管理サーバ２００においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリスト（アプリケーション通知情報の一例、第２情報の一例）を管理サーバ２００から取得する。リスト生成部１１２は、リスト取得部１０９が取得したアプリケーションリストに基づくアプリケーションリスト（提示情報の一例）を生成する。そして、表示制御部１０５は、リスト生成部１１２が生成したアプリケーションリスト（提示情報の一例）に基づく対象アプリケーションの一覧ＬＴ（表示情報の一例）を表示部１２０に表示させる。

これにより、ユーザ端末１００は、管理サーバ２００がユーザ端末１００に対応するインストール情報を管理している対象アプリケーション（即ち、ユーザ端末１００により実行されたことがある対象アプリケーション）を除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴを生成してユーザに提示することができる。

[0726] また、ユーザ端末１００のリスト生成部１１２（生成部の一例）は、ユーザ端末１００が具備する機能を用いて、リスト取得部１０９が取得したアプリケーションリストにより示される対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされている他の対象アプリケーション（例えば、旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーション）であるか否かを判定してもよい。

ここで、ユーザ端末１００が具備する機能とは、例えば、ユーザ端末１０

０のＯＳの機能であって、対象アプリケーションに対応するＵＲＬスキームを利用してユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションを検出する機能である。なお、ユーザ端末１００が具備する機能とは、ＵＲＬスキームを利用してユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションを検出する機能に限られるものではなく、ユーザ端末１００は、ＵＲＬスキームを用いずに、ユーザ端末１００にインストール済みの対象アプリケーションを示す情報を取得してもよい。なお、ユーザ端末１００にインストールされている他の対象アプリケーションには、旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションの他に、ユーザ端末１００にインストールされて起動済みの他の対象アプリケーションが含まれてもよい。

そして、リスト生成部１１２は、判定した結果に基づいて、アプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちから、上述の他の対象アプリケーション（例えば、旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーション）を除いたアプリケーションリスト（提示情報の一例）を生成し直してもよい。

これにより、ユーザ端末１００は、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。例えば、旧バージョンの対象アプリケーション（即ち、管理サーバ２００がインストール情報を管理していない対象アプリケーション）がユーザ端末１００にインストールされている場合であっても、ユーザ端末１００は、旧バージョンの対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。また、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことがない対象アプリケーション（即ち、管理サーバ２００がインストール情報を管理していない対象アプリケーション）がある場合であっても、ユーザ端末１００は、この起動したことがない対象アプリケーションを除いた対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。

[0727] また、ユーザ端末１００のリスト生成部１１２（生成部の一例）は、ユーザ端末１００が具備する機能を用いて判定した結果に基づいて、アプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちからユーザ端末１００にインストールされている他の対象アプリケーション（例えば、旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーション）をユーザが区別可能なアプリケーションリスト（提示情報の一例）を生成し直してもよい。

これにより、ユーザ端末１００は、管理サーバ２００から取得したアプリケーションリストにより示される対象アプリケーション（管理サーバ２００でインストール情報が管理されている対象アプリケーション）のうち、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションを区別可能な対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。例えば、旧バージョンの対象アプリケーション（即ち、管理サーバ２００がインストール情報を管理していない対象アプリケーション）がユーザ端末１００にインストールされている場合であっても、ユーザ端末１００は、旧バージョンの対象アプリケーションを区別可能な対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。また、ユーザ端末１００にインストールされているが起動したことがない対象アプリケーション（即ち、管理サーバ２００がインストール情報を管理していない対象アプリケーション）がある場合であっても、この起動したことがない対象アプリケーションを区別可能な対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。よって、ユーザ端末１００は、ユーザ端末１００に未インストールの対象アプリケーション（即ち、送客先となる対象アプリケーションの候補）を示す情報を、区別してユーザに提示することができる。

[0728] （１５）また、ユーザ端末１００のリスト取得部１０９（取得部の一例）が取得したアプリケーションリスト（第２情報の一例、アプリケーション通知情報の一例）には、さらに管理サーバ２００においてインストール情報が管理されている少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報、及びインス

トール情報が管理されていない対象アプリケーションとインストール情報が管理されている対象アプリケーションとを区別可能な区別情報が含まれていてもよい。

即ち、リスト取得部１０９が取得したアプリケーションリスト（第２情報の一例、アプリケーション通知情報の一例）には、管理サーバ２００において、ユーザ端末１００（自端末装置の一例）に対応するインストール情報が管理されていない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報、インストール情報が管理されている少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報、及びインストール情報が管理されていない対象アプリケーションとインストール情報が管理されている対象アプリケーションとを区別可能な区別情報が含まれていてもよい。

そして、リスト生成部１１２（生成部の一例）は、リスト取得部１０９が取得したアプリケーションリストに含まれる区別情報に基づいて、取得したアプリケーションリストに含まれる、インストール情報が管理されている対象アプリケーションが、少なくともインストール情報が管理されていない対象アプリケーションと区別可能なアプリケーションリスト（提示情報の一例）を生成し直してもよい。

これにより、ユーザ端末１００は、インストール情報が管理されていない少なくとも一の対象アプリケーション（例えば、ユーザ端末１００にインストールされていない対象アプリケーション）と、インストール情報が管理されている少なくとも一の対象アプリケーション（例えば、ユーザ端末１００にインストールされて起動済みの対象アプリケーション）とを区別可能な対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。

[0729] 例えば、リスト生成部１１２は、アプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちから、ユーザ端末１００にインストールされている他の対象アプリケーション（例えば、旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーション）を除いたアプリケーションリストを生成する際に、インストール情報が

管理されている対象アプリケーションが、少なくともインストール情報が管理されていない対象アプリケーションと区別可能なように生成してもよい。

これにより、ユーザ端末１００は、旧バージョンの対象アプリケーションがインストールされている場合又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションがある場合に、インストール情報が管理されていない少なくとも一の対象アプリケーションのうちから旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションを除いた対象アプリケーション（即ち、ユーザ端末１００にインストールされていない対象アプリケーション）と、インストール情報が管理されている少なくとも一の対象アプリケーション（例えば、ユーザ端末１００にインストールされて起動済みの対象アプリケーション）と、を区別可能な対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。よって、ユーザ端末１００は、ユーザ端末１００に未インストールの対象アプリケーション（即ち、送客先となる対象アプリケーションの候補）を示す情報を、ユーザに提示することができる。

[0730] また、リスト生成部１１２は、アプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうちから、ユーザ端末１００にインストールされている他の対象アプリケーション（例えば、旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーション）を区別可能なアプリケーションリストを生成する際に、インストール情報が管理されている対象アプリケーションが、少なくともインストール情報が管理されていない対象アプリケーションと区別可能なように生成してもよい。

これにより、ユーザ端末１００は、旧バージョンの対象アプリケーションがインストールされている場合又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションがある場合に、インストール情報が管理されていない少なくとも一の対象アプリケーションのうちから旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象ア

プリケーションを区別、且つ、インストール情報が管理されている少なくとも一の対象アプリケーション（例えば、ユーザ端末１００にインストールされて起動済みの対象アプリケーション）を区別可能な対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。よって、ユーザ端末１００は、ユーザ端末１００に未インストールの対象アプリケーション（即ち、送客先となる対象アプリケーションの候補）を示す情報を、ユーザに提示することができる。

なお、旧バージョンの対象アプリケーション又はインストールされているが起動したことがない対象アプリケーションと、インストール情報が管理されている少なくとも一の対象アプリケーション（例えば、ユーザ端末１００にインストールされて起動済みの対象アプリケーション）とは、いずれもユーザ端末１００に未インストールの対象アプリケーション（即ち、送客先となる対象アプリケーションの候補）ではないため、互いを区別して提示しなくてもよい。

[0731] なお、管理サーバ２００ａ（２００ｂ）のリスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、インストール情報管理部２２２においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない少なくとも一の対象アプリケーションを含む情報、インストール情報管理部２２２においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されている少なくとも一の対象アプリケーションを含む情報、及びインストール情報が管理されていない対象アプリケーションとインストール情報が管理されている対象アプリケーションとを区別可能な区別情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例、アプリケーション通知情報の一例）を、ユーザ端末１００に対して送信してもよい。

[0732] 即ち、ユーザ端末１００のリスト取得部１０９（取得部の一例）が取得したアプリケーションリスト（第２情報の一例、アプリケーション通知情報の一例）には、管理サーバ２００ａ（２００ｂ）において、ユーザ端末１００（自端末装置の一例）に対応するインストール情報が管理されていない少な

くとも一の対象アプリケーションを示す情報、インストール情報が管理されている少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報、及びインストール情報が管理されていない対象アプリケーションとインストール情報が管理されている対象アプリケーションとを区別可能な区別情報が含まれていてもよい。

[0733] このように、管理サーバ２００ａ（２００ｂ）がユーザ端末１００に対応するインストール情報を管理しているか否かを区別可能な区別情報をユーザ端末１００に送信することにより、ユーザ端末１００は、アプリケーションリストにより示される対象アプリケーションのうち管理サーバ２００ａ（２００ｂ）がインストール情報を管理していない対象アプリケーションをユーザが区別（判別）できるように、対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示することができる。

[0734] （１６）なお、相互送客システム５００ａにおいて、管理サーバ２００ａ（管理装置の一例）は、アプリケーション管理部２２１と、情報取得部と、インストール情報管理部２２２（インストール情報管理部）と、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）と、を備えた構成としてもよい。

この構成において、アプリケーション管理部２２１は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理する。

情報取得部は、複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションを示す情報をユーザ端末１００から取得する。ここで、情報取得部は、ユーザ端末１００において検出された、ユーザ端末１００にインストールされたアプリケーションを示す情報を取得する構成であり、ユーザ端末１００における検出方法はどのような方法であってもよい。例えば、ユーザ端末１００における検出方法は、ユーザ端末１００のＯＳの機能によりユーザ端末１００にインストールされたアプリケーションを示す情報を検出する方法としてもよいし、ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションのインストール記録や実行記録（例えば、ユーザ端末１００における処理を記録する常駐アプリケーションによる

記録、Ｃｏｏｋｉｅを用いた記録等）がある場合、その記録に基づいて検出する方法としてもよい。また、なお、情報取得部は、インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）であってもよいし、仮インストール通知取得部２４７（第３情報取得部の一例）であってもよい。

また、インストール情報管理部２２２は、上述の情報取得部が取得したユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションを示す情報に基づいて、ユーザ端末１００にいずれの対象アプリケーションがインストールされたかを示すインストール情報を管理する。そして、リスト通知部２４２は、インストール情報管理部２２２が管理するインストール情報に基づいて、複数の対象アプリケーションのうち、インストール情報管理部２２２においてユーザ端末１００に対応するインストール情報が管理されていない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例を、ユーザ端末１００に対して送信する。

[0735] このように、管理サーバ２００ａは、ユーザ端末１００に対応するインストール情報を管理していない少なくとも一の対象アプリケーションを示すアプリケーションリストをユーザ端末１００に送信することで、ユーザ端末１００にインストールされていない対象アプリケーションをユーザ端末１００に通知することができる。

[0736] ＜第７の実施形態＞

次に、本発明の第７の実施形態を説明する。まず、本実施形態の相互送客システム５００ｂの概要について説明する。

上述した相互送客システム５００（５００ａ）では、管理サーバ２００（２００ａ、２００ｂ）は、ユーザ端末１００と対応付けられたリワードユーザＩＤ（RewardUID）と関連付けてインストール済みの対象アプリケーションを管理している。そのため、同一のユーザであってもユーザ端末１００が異なれば別ユーザであると判断されてしまう。例えば、ユーザがユーザ端末１００を機種変更した場合、上述した相互送客システム５００（５００ａ）では、機種変更前のユーザ端末１００で利用していた対象アプリケーションで

あるにも関わらず、機種変更後のユーザ端末１００において、例えば、報酬付与の対象となる対象アプリケーションとしてユーザに提示されてしまうことがある。このように、上述した相互送客システム５００（５００ａ）では、ユーザ端末１００を機種変更した場合や、同一のユーザで複数のユーザ端末１００を使用している場合に、ユーザに対してインストールを勧める対象でない対象アプリケーションが、インストールを勧める対象となる対象アプリケーションとしてユーザに提示されてしまうことがある。

[0737] そこで、本実施形態では、ユーザ端末１００を機種変更した場合や、同一のユーザで複数のユーザ端末１００を使用している場合であっても、ユーザに対してインストールを勧める対象でない対象アプリケーションを除外した適切な対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示する相互送客システム５００ｂの実施形態について説明する。

[0738] 〔第７の実施形態による相互送客システムの概要〕

図３１は、第７の実施形態の相互送客システム５００ｂの概要を説明する説明図である。

この図において、本実施形態によるネットワークシステム１ｂは、第１～第５の実施形態と同様に、管理サーバ２００ｃと、ユーザ端末１００とを備えている。なお、この図において、ユーザ端末１００Ａは、ユーザＸの機種変更前のユーザ端末１００を示し、対象アプリケーション１０－１～１０－３（アプリ１～アプリ３）をインストールしている。また、ユーザ端末１００Ｂは、ユーザＸの機種変更後のユーザ端末１００を示し、対象アプリケーション１０－１（アプリ１）及び対象アプリケーション１０－４（アプリ４）をインストールしている。なお、ユーザ端末１００Ａ及びユーザ端末１００Ｂにインストールされていない対象アプリケーションを対象アプリケーション１０－５（アプリ５）及び対象アプリケーション１０－６（アプリ６）として説明する。なお、特に区別しない場合には、「－１」、「－２」等の記載を省略して対象アプリケーション１０として説明する。

また、この図において、管理サーバ２００ｃは、相互送客システム５００

ｂの対象アプリケーション情報として、「アプリ１（ApID＝００１）」～「アプリ６（ApID＝００６）」を記憶しているものとする。

ここでは、図３１を参照して、ユーザＸが、ユーザ端末１００Ａからユーザ端末１００Ｂに機種変更した場合の一例で、本実施形態の相互送客システム５００ｂの概要について説明する。

[0739] まず、機種変更前のユーザ端末１００Ａは、各対象アプリケーションをインストールして最初に起動する際に、（１）～（３）で示すように各対象アプリケーションに対応するインストール通知情報を管理サーバ２００ｃに対して送信する。なお、インストール通知情報には、例えば、リワードユーザＩＤ（RewardUID）と、アプリＩＤ（ApID）と、アプリユーザＩＤ（ApUID）とが含まれている。

管理サーバ２００ｃは、各対象アプリケーションに対応するインストール通知情報を取得して、インストール情報として記憶する。ここでは、（１）～（３）により、ユーザ端末１００Ａに対応するインストール情報Ｔ１が管理サーバ２００ｃに記憶される。

[0740] 次に、ユーザＸがユーザ端末１００Ａからユーザ端末１００Ｂに機種変更したとする。機種変更後のユーザ端末１００Ｂは、各対象アプリケーションをインストールして最初に起動する際に、（４）、（５）で示すように各対象アプリケーションに対応するインストール通知情報を管理サーバ２００ｃに対して送信する。これにより、ユーザ端末１００Ｂに対応するインストール情報Ｔ２が管理サーバ２００ｃに記憶される。

[0741] 例えば、管理サーバ２００ｃがユーザ端末１００Ｂにインストールされた対象アプリケーション１０－１からリスト要求通知情報を取得した場合に、管理サーバ２００ｃは、ユーザ端末１００Ｂに対応するインストール情報Ｔ２に含まれるアプリユーザＩＤ（ApUID）が、他のユーザ端末１００に対応するインストール情報に含まれていないかを検索し、他のユーザ端末１００に対応するインストール情報に、当該アプリユーザＩＤ（ApUID）が含まれている場合に、同一のユーザＸのユーザ端末１００であると判定する。ここでは

、インストール情報Ｔ２に含まれるアプリユーザＩＤ（ApUID）の「５２８８」が、ユーザ端末１００Ａに対応するインストール情報Ｔ１に含まれているので、管理サーバ２００ｃは、ユーザ端末１００Ａとユーザ端末１００Ｂとが、同一のユーザＸのユーザ端末１００と判定し、リワードユーザＩＤ（RewardUID）の「０９６３４５６５」と「２４９５７２３４」とを関連付ける。これにより、インストール情報Ｔ１とインストール情報Ｔ２とが対応付けられる。そして、管理サーバ２００ｃは、対応付けたインストール情報Ｔ１とインストール情報Ｔ２とに基づいて、例えば、（６）で示すようにユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成し、生成した対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００Ｂに対して送信する。この例では、対象アプリケーション情報として記憶されている対象アプリケーションのうち、「アプリ５（ApID＝００５）」及び「アプリ６（ApID＝００６）」がインストール情報Ｔ１又はインストール情報Ｔ２に含まれていないので、管理サーバ２００ｃは、「アプリ５（ApID＝００５）」及び「アプリ６（ApID＝００６）」を示す対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００Ｂに対して送信する。

その結果、ユーザ端末１００Ｂは、対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示する。

このように、本実施形態では、管理サーバ２００ｃは、アプリユーザＩＤ（ApUID）に基づいて、異なるユーザ端末１００のリワードユーザＩＤ（RewardUID）を関連付けて管理する。

[0742] 次に、本実施形態による相互送客システム５００ｂについて、詳細に説明する。

なお、本発明の第７の実施形態によるネットワークシステム１ｂの構成、及びユーザ端末１００の構成は、図２に示す第１の実施形態におけるネットワークシステム１の構成、及び、図３に示す第１の実施形態におけるユーザ端末１００の構成と同様であるので、ここではその説明を省略する。また、

本実施形態のユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）の機能構成は、図５に示す第１の実施形態と同様であるので、ここではその説明を省略する。

[0743] 〔第７の実施形態による管理サーバ２００ｃの構成〕

次に、図３２を参照して、本実施形態による管理サーバ２００ｃの構成の詳細について説明する。

図３２は、本実施形態による管理サーバ２００ｃの構成の一例を示す構成図である。管理サーバ２００ｃは、図４を参照して説明したように、通信部２１０と、管理部２２０と、記憶部２３０と、制御部２４０ｃとを備えている。なお、この図において、図６と同様の構成に同一の符号を付し、ここでは説明を省略する。

[0744] ここで、図３３を参照して、インストール情報記憶部２３６が記憶するインストール情報について説明する。

図３３は、本実施形態によるインストール情報記憶部２３６に記憶される情報の一例を示す図であって、図３１に示したインストール情報と同じものである。

この図において、インストール情報記憶部２３６は、リワードユーザＩＤ（RewardUID）と、アプリＩＤ（ApID）と、アプリユーザＩＤ（ApUID）とを関連付けたインストール情報を記憶している。また、インストール情報Ｔ１は、機種変更前のユーザ端末１００Ａに対応し、インストール情報Ｔ２は、機種変更後のユーザ端末１００Ｂに対応している。

[0745] 図３２に戻り、制御部２４０ｃは、インストール通知取得部２４１と、リスト通知部２４２と、送客情報取得部２４３と、インストール誘導指示部２４４と、リワード処理部２４５と、計時部２４６と、他端末情報抽出部２４９とを備えている。

なお、本実施形態における制御部２４０ｃは、他端末情報抽出部２４９を備えている点が、第１及び第２の実施形態と異なる。

[0746] なお、本実施形態のインストール情報管理部２２２は、インストール通知情報を送信した対象アプリケーション（第１アプリケーションの一例）がイ

ンストールされたユーザ端末１００を特定するリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）と対象アプリケーションのアプリＩＤ（識別情報の一例）とを関連付けて管理するとともに、当該リワードユーザＩＤと関連付け情報とを関連付けて管理する。ここで、関連付け情報とは、同一のユーザのユーザ端末１００を関連付けるための情報である。ここでは、互いに異なるユーザ端末１００（ユーザ端末１００Ａ、ユーザ端末１００Ｂ）であっても同一のユーザの同一のアプリケーションでは、同一のアプリユーザＩＤが設定されることを利用して、関連付け情報として、例えば、このアプリユーザＩＤを使用する。本実施形態では、インストール情報管理部２２２は、リワードユーザＩＤと対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤとを関連付けて管理する。

また、インストール通知情報には、例えば、リワードユーザＩＤと、対象アプリケーションのアプリＩＤ及びアプリユーザＩＤとが含まれる。そのため、インストール情報管理部２２２は、例えば、図３３に示すようにインストール情報記憶部２３６に、リワードユーザＩＤと、アプリＩＤと、アプリユーザＩＤとを関連付けて記憶させ、リワードユーザＩＤと、アプリＩＤと、アプリユーザＩＤとを関連付けて管理する。

[0747] 他端末情報抽出部２４９は、インストール情報管理部２２２を照会することにより、インストール通知情報を送信した対象アプリケーションがインストールされたユーザ端末１００を特定するリワードユーザＩＤに関連付けられている関連付け情報を介して、当該リワードユーザＩＤに関連付けられる他のリワードユーザＩＤを抽出する。

[0748] 上述したように、互いに異なるユーザ端末１００（ユーザ端末１００Ａ、ユーザ端末１００Ｂ）の両方にインストールされている同一のアプリケーションでは、互いに同一のアプリユーザＩＤが設定されることを利用して、異なるリワードユーザＩＤを関連付けることができる。そこで、他端末情報抽出部２４９は、第１の抽出方法として、関連付け情報として対象アプリケーションにおけるユーザ情報の一例としてアプリユーザＩＤを利用する。

具体的には、他端末情報抽出部２４９は、対象アプリケーションがインストールされたユーザ端末１００を特定するリワードユーザＩＤに関連付けられている対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤが、当該リワードユーザＩＤの他に関連付けられている他のリワードユーザＩＤを抽出する。なお、相互送客システム５００ｂに対応する複数の対象アプリケーションの間で、アプリユーザＩＤが互いに一意性があって、ある対象アプリケーションのアプリユーザＩＤが他の対象アプリケーションで使用されない保証があれば、関連付け情報としてアプリユーザＩＤだけを利用してもよいが、一意性が保証されない場合には、関連付け情報として、対象アプリケーションのアプリＩＤとアプリユーザＩＤとの組を利用すればよい。すなわち、他端末情報抽出部２４９は、インストール情報記憶部２３６に記憶されているインストール情報のうちから、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションに対応するアプリＩＤとアプリユーザＩＤとの組と一致するアプリユーザＩＤ、またはアプリＩＤとアプリユーザＩＤとの組を抽出し、抽出したアプリユーザＩＤに関連付けられている他のリワードユーザＩＤ（自ユーザ端末１００以外のリワードユーザＩＤ）を抽出する。

このように、他端末情報抽出部２４９は、関連付け情報として、対象アプリケーションがインストールされたユーザ端末１００を特定するリワードユーザＩＤに関連付けられている対象アプリケーションのアプリＩＤ、またはアプリＩＤとアプリユーザＩＤとの組を利用する。

[0749] ところで、互いに異なるユーザ端末１００（ユーザ端末１００Ａ、ユーザ端末１００Ｂ）で、同一のアプリケーションを利用していない場合がある。例えば、旧端末（ユーザ端末１００Ａ）で利用していなかった対象アプリケーション（例えば、対象アプリケーション１０－４）を、新端末（ユーザ端末１００Ｂ）で利用している場合である。この場合には、当該対象アプリケーションのアプリユーザＩＤを利用した関連付けができない。そこで、同一のユーザ端末１００（ユーザ端末１００Ｂ）にインストールされている他の対象アプリケーション（例えば、対象アプリケーション１０－１）のアプリ

ユーザＩＤを利用するようにする。すなわち、他端末情報抽出部２４９は、第２の抽出方法として、関連付け情報として、対象アプリケーション（例えば、対象アプリケーション１０－４）のアプリユーザＩＤと同一のリワードユーザＩＤに関連付けられている他の対象アプリケーション（例えば、対象アプリケーション１０－１）のアプリユーザＩＤを利用するようにしてもよい。具体的には、他端末情報抽出部２４９は、インストール情報記憶部２３６に記憶されているインストール情報のうちから、対象アプリケーションのアプリユーザＩＤと同一のリワードユーザＩＤに関連付けられている他の対象アプリケーションのアプリユーザＩＤを抽出する。さらに、他端末情報抽出部２４９は、インストール情報記憶部２３６に記憶されているインストール情報のうちから、抽出した他の対象アプリケーションのアプリユーザＩＤと一致するアプリユーザＩＤを抽出し、抽出したアプリユーザＩＤに関連付けられている他のリワードユーザＩＤ（自ユーザ端末１００以外のリワードユーザＩＤ）を抽出する。この例でも、アプリＩＤだけではなく、アプリＩＤとアプリユーザＩＤとの組を用いてもよい。

このように、他端末情報抽出部２４９は、関連付け情報として、対象アプリケーションのアプリユーザＩＤと同一のリワードユーザＩＤに関連付けられている他の対象アプリケーションのアプリユーザＩＤを利用する。または、対象アプリケーションのアプリＩＤとアプリユーザＩＤとの組と同一のリワードユーザＩＤに関連付けられている他の対象アプリケーションのアプリＩＤとアプリユーザＩＤとの組を利用する。

なお、他端末情報抽出部２４９は、第１の抽出方法により他のリワードユーザＩＤ（自ユーザ端末１００以外のリワードユーザＩＤ）が抽出できなかった場合に、さらに第２の抽出方法により抽出するようにしてもよい。また、第１の抽出方法までに留めるようにしてもよい。なお、第１の抽出方法までに留める場合には、ユーザに提示したユーザが利用したことのない対象アプリケーションの一覧ＬＴの中に、旧端末（ユーザ端末１００Ａ）にインストールされていた対象アプリケーションが含まれる場合がある。

[0750] なお、本実施形態のリスト通知部２４２は、対象アプリケーションがインストールされたユーザ端末１００、及び他端末情報抽出部２４９が抽出した他のリワードユーザＩＤにより特定される他のユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーション１０のうちのいずれからもインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信する。すなわち、リスト通知部２４２は、機種変更後のユーザ端末１００（ユーザ端末１００Ｂ）にインストールされている対象アプリケーションだけでなく、機種変更前のユーザ端末１００（ユーザ端末１００Ａ）にインストールされていた対象アプリケーションを含めて、アプリケーション管理部２２１が管理する対象アプリケーションから除外したアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信する。

[0751] 〔第７の実施形態による相互送客処理の動作の詳細〕

次に、本実施形態の相互送客システム５００ｂの動作について説明する。

なお、本実施形態の相互送客システム５００ｂの基本的な動作は、図１４及び図１５に示す第１の実施形態と同様であり、ここでは、図３４を参照して、本実施形態の対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成する処理を中心に、相互送客システム５００ｂの動作について説明する。なお、ここで説明する例は、図３１と同様の状態を前提にして説明する。また、ここで説明する例は、インストール情報記憶部２３６に記憶されているインストール情報は、図３２に示す状態であることを前提に説明する。

[0752] なお、ここでは、図３４を参照して、ユーザ端末１００（ユーザ端末１００Ｂ）にインストールされている対象アプリケーション（例えば、対象アプリケーション１０－１）側の処理について説明する。また、図３４に示す処理において、対象アプリケーションは、第１及び第２の実施形態におけるＳＤＫ１１を備えているものとして説明する。

[0753] 図３４において、ステップＳＡ１１からステップＳＡ２４の処理、及びステップＳＥ１１の処理は、図１４に示す第１の実施形態と同様であるので、

ここではその説明を省略する。

ステップＳＡ２４において、リスト要求部１０４が、リスト要求通知情報を管理サーバ２００ｃに対して送信する（ＲＥＱ１２）と、ステップＳＥ１１５において、管理サーバ２００ｃの他端末情報抽出部２４９は、旧端末（ユーザ端末１００Ａ）にインストールされていた対象アプリケーションを抽出する。なお、リスト要求通知情報には、少なくとも対象アプリケーションのアプリＩＤと、このユーザ端末１００Ｂに対応するリワードユーザＩＤとが含まれる。

[0754] 例えば、管理サーバ２００ｃが図３１に示すユーザ端末１００Ｂにインストールされた対象アプリケーション１０－１からリスト要求通知情報を取得した場合は、上述した第１の抽出方法にしたがって、他端末情報抽出部２４９は、以下のように、ユーザ端末１００Ａにインストールされていた対象アプリケーションを抽出する。

他端末情報抽出部２４９は、リスト要求通知情報に含まれるリワードユーザＩＤ（「２４９５７２３４」）とアプリＩＤ（「００１」）を取得する。次に、リワードユーザＩＤ（「２４９５７２３４」）に関連付けられたアプリＩＤ（「００１」）に対応するアプリユーザＩＤ（「５２８８」）とアプリＩＤ（「００１」）との組を取得する。他端末情報抽出部２４９は、取得したアプリユーザＩＤ（「５２８８」）とアプリＩＤ（「００１」）との組が含まれる他のリワードユーザＩＤに関連付けられているインストール情報を抽出する。

他端末情報抽出部２４９は、抽出したインストール情報に関連付けられているリワードユーザＩＤ（「０９６３４５６５」）を特定する。なお、他端末情報抽出部２４９は、特定されたリワードユーザＩＤ（「０９６３４５６５」）と、リワードユーザＩＤ（「２４９５７２３４」）とを関連付けたリワードユーザＩＤの組として、記憶部２３０に記憶させてもよい。

[0755] 他端末情報抽出部２４９は、特定されたリワードユーザＩＤ（「０９６３４５６５」）に関連付けられているアプリＩＤに対応する対象アプリケーシ

ョンを旧端末（ユーザ端末１００Ａ）にインストールされていた対象アプリケーションとして抽出する。例えば、他端末情報抽出部２４９は、図３１に示す対象アプリケーション１０－１～１０－３（アプリ１～アプリ３）を抽出する。

[0756] また、例えば、ユーザＸが図３１に示す対象アプリケーション１０－４からリスト要求通知情報を取得した場合は、上述した第１の抽出方法と第２の抽出方法を組み合わせて他端末情報抽出部２４９は、以下のように、ユーザ端末１００Ａにインストールされていた対象アプリケーションを抽出する。

他端末情報抽出部２４９は、リスト要求通知情報に含まれるリワードユーザＩＤ（「２４９５７２３４」）とアプリＩＤ（「００４」）を取得する。次に、リワードユーザＩＤ（「２４９５７２３４」）に関連付けられたアプリＩＤ（「００４」）に対応するアプリユーザＩＤ（「１９２２」）とアプリＩＤ（「００４」）との組を取得する。他端末情報抽出部２４９は、取得したアプリユーザＩＤ（「１９２２」）とアプリＩＤ（「００４」）との組が含まれる他のリワードユーザＩＤに関連付けられているインストール情報を抽出する。この場合、他にアプリユーザＩＤ（「１９２２」）が含まれるインストール情報が存在しない。したがって、他端末情報抽出部２４９は、リワードユーザＩＤ（「２４９５７２３４」）に関連付けられたインストール情報Ｔ２のうちから、他の対象アプリケーション（対象アプリケーション１０－１）のアプリユーザＩＤ（「５２８８」）とアプリＩＤ（「００１」）との組を取得する。

[0757] 次に、他端末情報抽出部２４９は、取得したアプリユーザＩＤ（「５２８８」）とアプリＩＤ（「００１」）との組が含まれる他のリワードユーザＩＤに関連付けられているインストール情報を抽出する。他端末情報抽出部２４９は、抽出したインストール情報に関連付けられているリワードユーザＩＤ（「０９６３４５６５」）を特定する。

他端末情報抽出部２４９は、特定されたリワードユーザＩＤ（「０９６３４５６５」）に関連付けられているアプリＩＤに対応する対象アプリケーシ

ョンを旧端末（ユーザ端末１００Ａ）にインストールされていた対象アプリケーションとして抽出する。例えば、他端末情報抽出部２４９は、図３１に示す対象アプリケーション１０－１～１０－３（アプリ１～アプリ３）を抽出する。

[0758] 次に、管理サーバ２００ｃのリスト通知部２４２は、対象アプリケーションのフィルタリング処理を行う（ステップＳＥ１５ｂ）。リスト通知部２４２は、対象アプリケーションがインストールされたユーザ端末１００、及び他端末情報抽出部２４９が抽出した他のリワードユーザＩＤにより特定される他のユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーション１０のうちのいずれからもインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成する。すなわち、リスト通知部２４２は、アプリケーション管理部２２１が管理する対象アプリケーション情報のうちから、ユーザ端末１００Ａに対応するリワードユーザＩＤ（「０９６３４５６５」）に関連付けられたインストール情報Ｔ１と、ユーザ端末１００Ｂに対応するリワードユーザＩＤ（「２４９５７２３４」）に関連付けられたインストール情報Ｔ２とを除いた対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成する。例えば、図３１に示す例では、リスト通知部２４２は、対象アプリケーション１０－５（アプリ５）及び対象アプリケーション１０－６（アプリ６）を示す対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成する。

[0759] 続くステップＳＥ１６以降の処理は、図１４に示すステップＳＡ２５の処理、ステップＳＡ２６の処理、ステップＳＥ１６からステップＳＥ１９の処理、及びステップＳＣ１１の処理と同様であるので、ここでは説明を省略する。

[0760] 〔第７の実施形態のまとめ〕

（１）以上説明してきたように、本実施形態の相互送客システム５００ｂにおいて、管理サーバ２００ｃ（管理装置の一例）は、アプリケーション管理部２２１と、インストール通知取得部２４１と、インストール情報管理部２

２２と、他端末情報抽出部２４９と、リスト通知部２４２と、を備えている。アプリケーション管理部２２１は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理する。インストール通知取得部２４１は、複数の対象アプリケーションのうちユーザ端末１００（端末装置の一例）にインストールされた対象アプリケーション１０－１（第１アプリケーションの一例）から、当該対象アプリケーションがインストールされたことを示すインストール通知情報を取得する。インストール情報管理部２２２は、インストール通知情報を送信した対象アプリケーション１０－１がインストールされたユーザ端末１００を特定するリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）と対象アプリケーション１０－１のアプリＩＤとを関連付けて管理するとともに、当該リワードユーザＩＤと関連付け情報（例えば、アプリユーザＩＤ）とを関連付けて管理する。他端末情報抽出部２４９は、インストール情報管理部２２２を照会することにより、インストール通知情報を送信した対象アプリケーション１０－１がインストールされたユーザ端末１００を特定するリワードユーザＩＤに関連付けられている関連付け情報を介して、当該リワードユーザＩＤに関連付けられる他のリワードユーザＩＤを抽出する。リスト通知部２４２は、対象アプリケーション１０－１がインストールされたユーザ端末１００、及び他端末情報抽出部２４９が抽出した他のリワードユーザＩＤにより特定される他のユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーション１０のうちのいずれからもインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーション（例えば、対象アプリケーション１０－５（アプリ５）、対象アプリケーション１０－６（アプリ６））のアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信する。

[0761] これにより、本実施形態の管理サーバ２００ｃは、例えば、ユーザ端末１００を機種変更した場合に、機種変更前のユーザ端末１００（ユーザ端末１００Ａ）にインストールされている対象アプリケーションと、機種変更後のユーザ端末１００（ユーザ端末１００Ｂ）にインストールされている対象アプリケーションとを関連付けて管理することができる。そのため、管理サー

バ２００ｃは、例えば、ユーザ端末１００を機種変更した後に、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、ユーザが利用したことのない対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示させることができる。すなわち、管理サーバ２００ｃは、ユーザ端末１００を機種変更した場合や、同一のユーザで複数のユーザ端末１００を使用している場合に、同一のユーザの他のユーザ端末１００において既にインストールされている対象アプリケーションを、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションのアプリケーションリストとして当該ユーザに提示されてしまうことを抑制することができる。

[0762] （２）また、本実施形態では、インストール情報管理部２２２は、ユーザ端末１００（端末装置の一例）を特定するリワードユーザＩＤと対象アプリケーション（第１アプリケーションの一例）のアプリＩＤ（識別情報の一例）と対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤ（ユーザ情報の一例）とを関連付けて管理する。そして、他端末情報抽出部２４９は、関連付け情報として、対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを利用する。

これにより、本実施形態の管理サーバ２００ｃは、管理サーバ２００ｃが管理している情報であるアプリユーザＩＤを利用するので、関連付け情報として、新たな情報を追加する場合に比べて、簡易な手段により異なるユーザ端末１００間のリワードユーザＩＤを関連付けることができる。

[0763] （３）また、本実施形態では、他端末情報抽出部２４９は、上述した第１の抽出方法のように対象アプリケーション（第１アプリケーションの一例）がインストールされたユーザ端末１００（端末装置の一例）を特定するリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）に関連付けられている対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤが、当該リワードユーザＩＤの他に関連付けられている他のリワードユーザＩＤを抽出する。

これにより、本実施形態の管理サーバ２００ｃは、アプリユーザＩＤを利用して、異なるユーザ端末１００間のリワードユーザＩＤを関連付けることができる。

[0764] （４）また、本実施形態では、他端末情報抽出部２４９は、関連付け情報として、対象アプリケーション（第１アプリケーションの一例）におけるアプリユーザＩＤに関連付けられているリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）に関連付けられている他の対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを利用する。

これにより、本実施形態の管理サーバ２００ｃは、上述した第２の抽出方法のように対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを利用して、当該リワードユーザＩＤに関連付けられる他のリワードユーザＩＤを抽出することができなかった場合であっても、他の対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを利用して、異なるユーザ端末１００間のリワードユーザＩＤを関連付けることができる。

[0765] （５）また、本実施形態では、他端末情報抽出部２４９は、関連付け情報として、対象アプリケーション（第１アプリケーションの一例）がインストールされたユーザ端末１００（端末装置の一例）を特定するリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）に関連付けられている対象アプリケーションのアプリＩＤと、対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤとを利用する。

これにより、関連付け情報として、アプリＩＤとアプリユーザＩＤとの両方を利用するので、本実施形態の管理サーバ２００ｃは、例えば、異なる対象アプリケーションにおいて同一のアプリユーザＩＤが使用されている場合に、誤って同一のユーザであると判定することを防止することができる。

[0766] （６）また、本実施形態では、インストール通知情報には、ユーザ端末１００（端末装置の一例）を特定するリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）、及び対象アプリケーション（第１アプリケーションの一例）のアプリＩＤ（識別情報の一例）が含まれる。そして、インストール情報管理部２２２は、インストール通知取得部２４１が取得したユーザ端末１００を特定するリワードユーザＩＤと対象アプリケーションのアプリＩＤとを関連付けて管理する。

これにより、本実施形態の管理サーバ２００ｃは、ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションをリワードユーザＩＤと対象アプリケーションのアプリＩＤとに基づいて管理することができる。

[0767] （７）また、本実施形態の管理サーバ２００ｃは、ユーザ端末１００を特定するリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）と関連付けて対象アプリケーション（第１アプリケーションの一例）のアプリユーザＩＤ（ユーザ情報の一例）を取得するアプリユーザ情報取得部を備える。なお、インストール通知取得部２４１を、アプリユーザ情報取得部として機能させるようにしてもよい。すなわち、インストール通知情報にインストール通知情報を送信した対象アプリケーションのアプリユーザＩＤを含めるようにしてもよい。このように、アプリユーザ情報取得部の機能を他の機能に含ませるようにしてもよい。そして、インストール情報管理部２２２は、アプリユーザ情報取得部が取得した対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを、ユーザ端末１００を特定するリワードユーザＩＤと関連付けて管理する。

これにより、ユーザ端末１００に対象アプリケーションがインストールされた場合、管理サーバ２００ｃは、インストールされた対象アプリケーションのアプリＩＤと、インストールされた対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤと、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤとを関連付けて管理することができる。すなわち、管理サーバ２００ｃは、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーション毎のアプリユーザＩＤをリワードユーザＩＤに関連付けて管理することができる。

[0768] （８）また、本実施形態の管理サーバ２００ｃは、リワード処理部２４５を備えている。このリワード処理部２４５は、アプリケーションリストに含まれる一または複数の対象アプリケーションからユーザ端末１００で選択された対象アプリケーション１０－５や１０－６（第２アプリケーションの一例）における所定の報酬付与条件が充足されたと判定された場合に、対象アプリケーション１０－１や１０－４（第１アプリケーションの一例）において所定の報酬が付与される報酬付与処理を実行する。

これにより、本実施形態の管理サーバ２００ｃは、所定の報酬付与条件が充足されたと判定された場合に、対象アプリケーション１０－１や１０－４において所定の報酬を付与することができる。ここで、本実施形態の管理サーバ２００ｃは、報酬付与の対象となる対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成して、生成したアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信する。すなわち、本実施形態の管理サーバ２００ｃは、ユーザ端末１００を機種変更した場合や、同一のユーザで複数のユーザ端末１００を使用している場合に、報酬付与の対象でない対象アプリケーションを除外したアプリケーションリストを、ユーザ端末１００に対して送信する。そのため、本実施形態の管理サーバ２００ｃは、ユーザ端末１００を機種変更した場合や、同一のユーザで複数のユーザ端末１００を使用している場合であっても、報酬付与の対象となる対象アプリケーションの適切なアプリケーションリストをユーザに提示させることができる。よって、本実施形態の管理サーバ２００ｃは、ユーザ端末１００を機種変更した場合や、同一のユーザで複数のユーザ端末１００を使用している場合に、報酬付与の対象でない対象アプリケーションが、報酬付与の対象となる対象アプリケーションとしてユーザに提示されてしまうことを抑制することができる。

[0769] なお、本実施形態では、インストール情報記憶部２３６は、リワードユーザＩＤ（RewardUID）とアプリＩＤ（ApID）との関連付けと、リワードユーザＩＤ（RewardUID）とアプリユーザＩＤ（ApUID）とをひとつのデータテーブルとして構成したが、図３５に示すように、２つのデータテーブルに分けて構成してもよい。すなわち、インストール情報記憶部２３６は、リワードユーザＩＤ（RewardUID）とアプリＩＤ（ApID）との関連付ける第１のデータテーブルと、アプリユーザＩＤ（ApUID）とアプリユーザＩＤ（ApUID）を関連付ける第２のデータテーブルとに分けて構成してもよい。この場合には、互いのデータテーブルを関連付ける主キーとなるデータをそれぞれのデータテーブルに対応付けるようにする。

図３５に示す例では、インストール情報記憶部２３６は、第１のデータテ

ーブルと、第２のデータテーブルとを記憶している。インストール情報記憶部２３６は、第１データテーブルとして、例えば、主キーとしてのインストールＩＤ（InstID）と、リワードユーザＩＤ（RewardUID）と、アプリＩＤ（ApID）と、通知タイプ（Ttype）とを関連付けて記憶する。また、インストール情報記憶部２３６は、第２のデータテーブルとして、主キーとしてのインストールＩＤ（InstID）と、アプリＩＤ（ApID）と、アプリユーザＩＤ（ApUID）とを関連付けて記憶する。

[0770] また、上述した本実施形態では、関連付け情報として、アプリユーザＩＤとを利用する場合について説明したが、これに限定されるものではない。管理サーバ２００ｃは、関連付け情報として、例えば、ユーザによって入力された連携コード（例えば、メールアドレスなど）を利用してもよい。この場合、他端末情報抽出部２４９は、ユーザによって入力された連携コードが一致するリワードユーザＩＤを関連付けることで、異なるユーザ端末１００間のリワードユーザＩＤを関連付けることができる。

[0771] ＜第８の実施形態＞

次に、本発明の第８の実施形態を説明する。まず、本実施形態の相互送客システム５００ｃの概要について説明する。

上述した相互送客システム５００（５００ａ）では、一つのユーザ端末１００に一つのリワードユーザＩＤを対応付けて管理している。そのため、同一のユーザ端末１００であってもリワードユーザＩＤに変更が生じた場合には、変更前のユーザ端末１００と変更後のユーザ端末１００とが異なるユーザ端末１００であると判断されてしまう。

[0772] ここで、リワードユーザＩＤに変更が生じた場合とは、例えば、リワードユーザＩＤの変更がユーザに許可されていてユーザにより変更された場合、相互送客システム５００ｃの都合や処理により変更された場合、または相互送客システム５００ｃ以外の都合や処理により変更された場合等のことをいう。

例えば、ユーザ端末１００のＯＳの機能としてユーザ端末１００毎に対応

付けられた互いに異なる情報であって、各アプリケーションによって使用することが許可されている情報（以下、ＩＤ情報と称する）がある場合、このＩＤ情報をリワードユーザＩＤとして利用することができる。このＩＤ情報は、例えば、広告識別子（Advertising Identifier）であってもよい。

[0773] ここで、このＩＤ情報の変更がユーザに許可されている場合、当該ＩＤ情報をユーザが変更するとリワードユーザＩＤが変更されることになる。なお、リワードユーザＩＤとして、ユーザ端末１００に設定されている電話番号やユーザがユーザ端末１００において利用しているメールアドレス等を利用してもよく、その場合、利用している電話番号やメールアドレス等が変更された場合、リワードユーザＩＤが変更されることになる。

[0774] リワードユーザＩＤが変更された場合、上述した相互送客システム５００（５００ａ）では、同一のユーザ端末１００であるにも関わらず、例えば、リワードユーザＩＤの変更後に、リワードユーザＩＤの変更前に利用していた対象アプリケーションが、報酬付与の対象となる対象アプリケーションとしてユーザに提示されてしまうことがある。このように、上述した相互送客システム５００（５００ａ）では、ユーザ端末１００においてリワードユーザＩＤが変更された場合、ユーザに対してインストールを勧める対象でない対象アプリケーションが、インストールを勧める対象となる対象アプリケーションとしてユーザに提示されてしまうことがある。

[0775] そこで、本実施形態では、同一のユーザ端末１００においてリワードユーザＩＤが変更された場合であっても、ユーザに対してインストールを勧める対象でない対象アプリケーションを除外した適切な対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示する相互送客システム５００ｃの実施形態について説明する。

[0776] 〔第８の実施形態による相互送客システムの概要〕

図３６は、本実施形態の相互送客システム５００ｃの概要を説明する説明図である。

この図において、本実施形態によるネットワークシステム１ｃの基本的な

構成は、第１～第７の実施形態の構成と同様であり、管理サーバ２００ｄと、ユーザ端末１００とを備えている。この図では、ユーザ端末１００には、リワードユーザＩＤの変更前又は変更後に対象アプリケーション１０－１～１０－４（アプリ１～アプリ４）がインストールされたことを示している。符号１００Ｍに示す領域に図示した対象アプリケーション１０－１～１０－３（アプリ１～アプリ３）は、リワードユーザＩＤの変更前にインストールされて起動し、インストール通知情報を管理サーバ２００ｄに送信済みであることを示している。一方、符号１００Ｎに示す領域に図示した対象アプリケーション１０－４（アプリ４）は、リワードユーザＩＤの変更後にインストールされて起動し、インストール通知情報を管理サーバ２００ｄに送信したことを示している。また、符号１００Ｎに示す領域に図示した対象アプリケーション１０－１（アプリ１）は、リワードユーザＩＤの変更前にインストールされた対象アプリケーション１０－１（アプリ１）がリワードユーザＩＤの変更後に起動して、インストール通知情報を管理サーバ２００ｄに送信したことを便宜的に表している。なお、リワードユーザＩＤの変更前にインストールされた対象アプリケーション１０－２、１０－３（アプリ２、アプリ３）は、例えばリワードユーザＩＤの変更後に一度も起動しておらず、インストール通知情報を管理サーバ２００ｄに送信していないものとする。

[0777] なお、リワードユーザＩＤの変更前及び変更後のいずれもユーザ端末１００にインストールされたことがない対象アプリケーションを対象アプリケーション１０－５（アプリ５）及び対象アプリケーション１０－６（アプリ６）として説明する。なお、特に区別しない場合には、「－１」、「－２」等の記載を省略して対象アプリケーション１０として説明する。

また、この図において、管理サーバ２００ｄは、相互送客システム５００ｃの対象アプリケーション情報として、「アプリ１（ApID＝００１）」～「アプリ６（ApID＝００６）」を記憶しているものとする。

ここでは、図３６を参照して、ユーザＸが、ユーザ端末１００においてリワードユーザＩＤを変更した場合を一例として、本実施形態の相互送客シス

テム５００ｃの概要について説明する。

[0778] まず、ユーザ端末１００は、リワードユーザＩＤの変更前に各対象アプリケーション１０－１～１０－３がインストールされて最初に起動する際に、（１）～（３）に示すように各対象アプリケーション１０－１～１０－３に対応するインストール通知情報を管理サーバ２００ｄに対して送信する。なお、この（１）～（３）で送信されるインストール通知情報には、例えば、変更前のリワードユーザＩＤ（RewardUID）と、アプリＩＤ（ApID）と、アプリユーザＩＤ（ApUID）とが含まれている。

[0779] 管理サーバ２００ｄは、各対象アプリケーション１０－１～１０－３に対応するインストール通知情報を取得して、インストール情報として記憶する。ここでは、（１）～（３）により、変更前のリワードユーザＩＤに対応するインストール情報Ｔ１０が管理サーバ２００ｄに記憶される。

[0780] 次に、ユーザＸがユーザ端末１００において、リワードユーザＩＤ（RewardUID）を変更したとする。そして、リワードユーザＩＤ（RewardUID）の変更後に、ユーザ端末１００は、（４）に示すように変更前にインストール済みの対象アプリケーション１０－１に対応するンストール通知情報を管理サーバ２００ｄに対して送信する。例えば、リワードユーザＩＤ（RewardUID）の変更後に対象アプリケーション１０－１が初めて起動したときに、ユーザ端末１００は、対象アプリケーション１０－１に対応するインストール通知情報を管理サーバ２００ｄに対して送信する。なお、リワードユーザＩＤの変更前にインストールされた対象アプリケーションがリワードユーザＩＤの変更後にインストール通知情報を送信する処理については、図３８を参照して後述する。

また、リワードユーザＩＤ（RewardUID）の変更後にユーザ端末１００に対象アプリケーション１０－４がインストールされると、ユーザ端末１００は、対象アプリケーション１０－４が最初に起動する際に、（５）に示すように対象アプリケーション１０－４に対応するインストール通知情報を管理サーバ２００ｄに対して送信する。

この（４）、（５）で送信されるインストール通知情報には、例えば、変更後のリワードユーザＩＤ（RewardUID）と、アプリＩＤ（ApID）と、アプリユーザＩＤ（ApUID）とが含まれている。

[0781] 管理サーバ２００ｄは、対象アプリケーション１０－１に対応するインストール通知情報及び対象アプリケーション１０－４に対応するインストール通知情報を取得して、インストール情報として記憶する。ここでは、（４）、（５）により、変更後のリワードユーザＩＤ（RewardUID）に対応するインストール情報Ｔ２０が管理サーバ２００ｄに記憶される。

[0782] 例えば、管理サーバ２００ｄは、ユーザＸのユーザ端末１００のリワードユーザＩＤの変更後に対象アプリケーション１０－１から送信されたリスト要求通知情報を取得した場合、変更後のリワードユーザＩＤに対応するインストール情報Ｔ２０に含まれるアプリユーザＩＤ（ApUID）が、他のリワードユーザＩＤに対応するインストール情報に含まれていないかを検索する。そして、管理サーバ２００ｄは、当該アプリユーザＩＤ（ApUID）が他のリワードユーザＩＤに対応するインストール情報に含まれている場合には、当該インストール情報を、ユーザＸの同一のユーザ端末１００（上述のリスト要求通知情報を送信したユーザ端末１００）から取得したインストール通知情報により記憶したものであると判定する。

[0783] ここでは、インストール情報Ｔ２０に含まれるアプリユーザＩＤ（ApUID）の「５２８８」が、他のリワードユーザＩＤ（RewardUID）に対応するインストール情報Ｔ１０（すなわち、変更前のリワードユーザＩＤ（RewardUID）に対応するインストール情報Ｔ１０）に含まれている。そのため、管理サーバ２００ｄは、同一のアプリユーザＩＤ（ApUID）の「５２８８」が含まれるインストール情報Ｔ１０とインストール情報Ｔ２０とが、ユーザＸの同一のユーザ端末１００におけるインストール情報であると判定し、変更前のリワードユーザＩＤ（RewardUID）の「０９６３４５６５」と、変更後のリワードユーザＩＤ（RewardUID）の「２４９５７２３４」とを関連付ける。

[0784] これにより、管理サーバ２００ｄは、インストール情報Ｔ１０とインスト

ール情報Ｔ２０とを対応付ける。そして、管理サーバ２００ｄは、対応付けたインストール情報Ｔ１０とインストール情報Ｔ２０とに基づいてユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成し、例えば（６）に示すように、生成した対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信する。この例では、対象アプリケーション情報として記憶されている対象アプリケーションのうち、「アプリ５（ApID＝００５）」及び「アプリ６（ApID＝００６）」がインストール情報Ｔ１０又はインストール情報Ｔ２０に含まれていないので、管理サーバ２００ｄは、「アプリ５（ApID＝００５）」及び「アプリ６（ApID＝００６）」を示す対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信する。

その結果、ユーザ端末１００は、対象アプリケーションの一覧ＬＴを表示する。

[0785] このように、本実施形態では、管理サーバ２００ｄは、アプリユーザＩＤ（ApUID）に基づいて、同一のユーザ端末１００における変更前のリワードユーザＩＤ（RewardUID）と変更後のリワードユーザＩＤ（RewardUID）とを関連付けて、同一のユーザ端末１００のリワードユーザＩＤ（RewardUID）として管理する。そして、管理サーバ２００ｄは、変更前のリワードユーザＩＤ（RewardUID）と変更後のリワードユーザＩＤ（RewardUID）とのそれぞれに対応するユーザ端末１００を同一のユーザ端末１００であると判定し、当該ユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示すアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信する。

これにより、ユーザ端末１００は、ユーザＸにインストールを勧める対象でない対象アプリケーション（すなわち、ユーザ端末１００にインストール済みの対象アプリケーション）を除外した適切な対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザＸに提示することができる。

[0786] 次に、本実施形態による相互送客システム５００ｃについて、詳細に説明

する。

本実施形態によるネットワークシステム１ｃの構成、及びユーザ端末１００の構成は、図２に示す第１の実施形態におけるネットワークシステム１の構成、及び、図３に示す第１の実施形態におけるユーザ端末１００の構成と同様であるので、ここではその説明を省略する。また、本実施形態のユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）の機能構成は、図５に示す第１の実施形態と同様であるので、ここではその説明を省略する。

[0787] なお、図３６を参照して説明したようにアプリユーザＩＤ（ApUID）に基づいて変更前と変更後の２種類のリワードユーザＩＤ（RewardUID）を関連付けて管理する本実施形態の方法は、上述の第７の実施形態で説明した、アプリユーザＩＤ（ApUID）に基づいて機種変更前のリワードユーザＩＤ（RewardUID）と機種変更後のリワードユーザＩＤ（RewardUID）とを関連付けて管理する方法と同様の方法である。

従って、本実施形態による相互送客システム５００ｃの構成は、第７の実施形態による相互送客システム５００ｂの構成と同様の構成としてもよい。すなわち、相互送客システム５００ｃが備える管理サーバ２００ｄの構成は、図３２に示す第７の実施形態による管理サーバ２００ｃの構成と同様の構成としてもよい。

[0788] 〔第８の実施形態による相互送客システム５００ｃの構成〕

図３７は、本実施形態による管理サーバ２００ｄの構成の一例を示す構成図である。この図３７を参照して、本実施形態による管理サーバ２００ｄの構成の詳細について説明する。

管理サーバ２００ｄは、通信部２１０と、管理部２２０と、記憶部２３０と、制御部２４０ｄとを備えている。なお、この図において、図３２と同様の構成に同一の符号を付し、ここでは説明を省略する。この図３７に示す管理サーバ２００ｄの構成は、図３２に示す管理サーバ２００ｃの構成に対して、他端末情報抽出部２４９に代えて情報抽出部２４９ａを備えている点が異なる。ここで、上述したように管理サーバ２００ｄの構成は、図３２に示

す管理サーバ２００ｃの構成と同様の構成としてもよいため、情報抽出部２４９ａが有する機能として、他端末情報抽出部２４９が有する機能を適用することができる。

[0789] 例えば、本実施形態による情報抽出部２４９ａは、図３２に示す他端末情報抽出部２４９と同様に、インストール情報管理部２２２が管理するインストール情報に含まれるリワードユーザＩＤ及び関連付け情報（例えば、対象アプリケーションにおけるユーザ情報）に基づいて、当該関連付け情報に関連付けられたリワードユーザＩＤを抽出する。これにより、本実施形態の情報抽出部２４９ａは、変更後のリワードユーザＩＤにより特定されるユーザ端末１００における変更前のリワードユーザＩＤを抽出する。

[0790] つまり、第７の実施形態では他端末情報抽出部２４９が、関連付け情報に関連付けられたリワードユーザＩＤを抽出することにより、機種変更前のリワードユーザＩＤと機種変更後のリワードユーザＩＤとを抽出した。これに対して本実施形態では情報抽出部２４９ａが、他端末情報抽出部２４９が有する機能と同様の機能により、関連付け情報に関連付けられたリワードユーザＩＤを抽出することにより、同一のユーザ端末１００における変更前のリワードユーザＩＤと変更後のリワードユーザＩＤ（RewardUID）とを抽出する。

[0791] 上述の関連付け情報としては、第７の実施形態で第１の抽出方法として説明したように、対象アプリケーションにおけるユーザ情報（例えば、アプリユーザＩＤ）を利用してもよい。

具体的には、情報抽出部２４９ａは、対象アプリケーションがインストールされたユーザ端末１００を特定するリワードユーザＩＤに関連付けられている対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤが、当該リワードユーザＩＤの他に関連付けられている他のリワードユーザＩＤを抽出してもよい。

例えば、情報抽出部２４９ａは、リワードユーザＩＤの変更前にインストールされた対象アプリケーションのうち、リワードユーザＩＤの変更後にも

インストール通知情報を送信した対象アプリケーション（例えば、対象アプリケーション１０－１）のアプリユーザＩＤを利用してもよい。そして、情報抽出部２４９ａは、変更後のリワードユーザＩＤに関連付けられているアプリユーザＩＤが、当該変更後のリワードユーザＩＤの他に関連付けられている他のリワードユーザＩＤを抽出することにより、同一のユーザ端末１００の変更前のリワードユーザＩＤを抽出してもよい。

[0792] なお、ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションには、リワードユーザＩＤの変更前にはインストールされていない対象アプリケーション（例えば、対象アプリケーション１０－４）が含まれる場合がある。この場合には、この対象アプリケーション（例えば、対象アプリケーション１０－４）のアプリユーザＩＤを利用して、変更前のリワードユーザＩＤを抽出することができない。そのため、上述の関連付け情報として、第７の実施形態で第２の抽出方法として説明したように、対象アプリケーション（例えば、対象アプリケーション１０－４）のアプリユーザＩＤと同一のリワードユーザＩＤに関連付けられている他の対象アプリケーション（例えば、対象アプリケーション１０－１）のアプリユーザＩＤを利用するようにしてもよい。

[0793] なお、上述の関連付け情報として、対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤのみを利用してもよいし、対象アプリケーションのアプリＩＤとアプリユーザＩＤとの組を利用してもよい。

[0794] なお、本実施形態による情報抽出部２４９ａは、、第７の実施形態による他端末情報抽出部２４９と同様に、機種変更前のリワードユーザＩＤと機種変更後のリワードユーザＩＤとをさらに抽出してもよい。

[0795] また、本実施形態のリスト通知部２４２は、情報抽出部２４９ａが抽出したリワードユーザＩＤに対応するユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示すアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信する。例えば、リスト通知部２４２は、変更前のリワードユーザＩＤ又は変更後のリワードユーザＩＤに

対応するユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示すアプリケーションリストを、変更後のリワードユーザＩＤに対応するユーザ端末１００に対して送信する。すなわち、リスト通知部２４２は、アプリケーション管理部２２１が管理する複数の対象アプリケーションのうちから、ユーザ端末１００において、リワードユーザＩＤの変更後にインストールされた対象アプリケーションだけでなく、リワードユーザＩＤの変更前にインストールされた対象アプリケーションを含めて除外した少なくとも一の対象アプリケーションのアプリケーションリストをユーザ端末１００に対して送信する。

[0796] 〔第８の実施形態による相互送客処理の動作の詳細〕

本実施形態の相互送客システム５００ｃの基本的な動作は、図１４及び図１５に示す第１の実施形態と同様であり、ここでは、本実施形態の対象アプリケーションのアプリケーションリストを生成する処理の動作について説明する。

[0797] 本実施形態の相互送客システム５００ｃにおいてアプリケーションリストを生成する処理の動作では、図３４に示すステップＳＥ１１５の処理において、他端末情報抽出部２４９がユーザＸの旧端末（機種変更前のユーザ端末１００Ａ）にインストールされた対象アプリケーションを抽出する処理に代えて、情報抽出部２４９ａが、ユーザＸのユーザ端末１００においてリワードユーザＩＤの変更前にインストールされた対象アプリケーションを抽出する処理を実行する。

[0798] なお、本実施形態において情報抽出部２４９ａが実行するステップＳ１１５の具体的な処理は、第７の実施形態において他端末情報抽出部２４９が実行する処理と同様であり、関連付け情報（例えば、アプリユーザＩＤ）に関連付けられたリワードユーザＩＤを抽出する処理である。

例えば、情報抽出部２４９ａは、上述の第１の抽出方法にしたがってユーザ端末１００の変更前のリワードユーザＩＤを抽出して、リワードユーザＩＤの変更前にインストールされた対象アプリケーションを抽出する。なお、

情報抽出部２４９ａは、第２の抽出方法にしたがってユーザ端末１００の変更前のリワードユーザＩＤを抽出してもよいし、第１の抽出方法と第２の抽出方法とを組み合わせてユーザ端末１００の変更前のリワードユーザＩＤを抽出してもよい。

[0799] 〔第８の実施形態によるインストール通知情報の送信処理の例〕

次に、本実施形態において、ユーザ端末１００においてリワードユーザＩＤの変更前にインストールされている対象アプリケーションのインストール通知情報を、リワードユーザＩＤの変更後に管理サーバ２００ｄに送信する処理について説明する。

[0800] インストール通知情報の送信処理は、例えば、第１の実施形態において図１４を参照して説明した初期化処理において行われる。この図１４に示す初期化処理では、対象アプリケーションがユーザ端末１００にインストールされて起動した際に、当該対象アプリケーションのインストール通知情報をユーザ端末１００から管理サーバ２００に送信して初期化済みとなると、当該対象アプリケーションの次の起動からは、インストール通知情報を送信する処理が行われない。そのため、その後にユーザ端末１００のリワードユーザＩＤが変更されても、図１４に示す処理では、変更後にユーザ端末１００からインストール通知情報を送信することができない。

[0801] そこで、本実施形態では、ユーザ端末１００のリワードユーザＩＤが変更された場合には、変更前にインストール通知を送信済みの対象アプリケーションであっても再度インストール通知情報をユーザ端末１００から管理サーバ２００ｄに送信する処理を行う。

[0802] 図３８は、本実施形態による初期化処理の一例を示すフローチャートである。この図３８は、図１４に示す初期化処理（ステップＳＡ１１～ＳＡ１７）の他の形態を示しており、初期化処理に関連する処理以外は図１４に示す各処理と同様であり、その図示を省略している。

[0803] この図３８に示す初期化処理では、ユーザ端末１００のＯＳの機能としてユーザ端末１００毎に対応付けられた互いに異なるＩＤ情報が、端末記憶部

１４０に記憶されているものとし、このＩＤ情報をリワードユーザＩＤとして利用する場合を例として説明する。なお、このＩＤ情報は、例えば、ＯＳにより設定されて端末記憶部１４０に記憶されていてもよいし、ＯＳの起動後に当該ＯＳの指示にしたがってユーザにより設定されて端末記憶部１４０に記憶されてもよい。また、ＯＳにより、このＩＤ情報の変更がユーザに許可されているものとする。

[0804] 以下、図３８を参照して、リワードユーザＩＤが変更された場合、初期化処理において、再度インストール通知情報を管理サーバ２００ｄに送信する処理の動作を説明する。なお、この図３８において、図１４の各処理に対応する処理には同じ符号を付しており、その説明を適宜省略する。

[0805] ＳＤＫ１１Ａの初期化処理部１０１は、初期化処理において、初期化処理済みであるか否かを判定する（ステップＳＡ１２）。初期化処理済みでないと判定された場合（ステップＳＡ１２：ＮＯ）、ＳＤＫ１１Ａの固有識別情報取得部１０２は、端末記憶部１４０を参照して、リワードユーザＩＤが取得済みであるか否かを判定する（ステップＳＡ１３）。

[0806] リワードユーザＩＤが取得済みでないと判定された場合（ステップＳＡ１３：ＮＯ）、固有識別情報取得部１０２は、ユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤを生成して取得する。ここでは、固有識別情報取得部１０２は、端末記憶部１４０を参照して、ＯＳの機能としてユーザ端末１００に対応付けられたＩＤ情報をリワードユーザＩＤとして取得する（ステップＳＡ１４ａ）。そして、固有識別情報取得部１０２は、リワードユーザＩＤとして取得したＩＤ情報を、リワードユーザＩＤとして端末記憶部１４０のアプリ間共有エリアに記憶させる（ステップＳＡ１５）。

[0807] 一方、リワードユーザＩＤが取得済みであると判定された場合（ステップＳＡ１３：ＹＥＳ）、固有識別情報取得部１０２は、端末記憶部１４０からリワードユーザＩＤを読み出し、ステップＳＡ１６に処理を進める。

[0808] 続いて、ＳＤＫ１１Ａのインストール通知部１０３は、送客元アプリ１０（ゲームＡ）がユーザ端末１００にインストールされたことを示すインスト

ール通知情報を、管理サーバ２００ｄに対して送信する（ステップＳＡ１６）。ここでインストール通知情報には、このユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤ（RewardUID）と、インストールされた送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）と、この送客元アプリ１０（ゲームＡ）において登録されたユーザＸのアプリユーザＩＤ（ApUID）とが含まれる。

[0809] 次に、管理サーバ２００ｄのインストール通知取得部２４１は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）から送信されたインストール通知情報を取得し、当該取得したことを示す応答情報（通知結果）を、当該ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）に対して送信する。また、管理サーバ２００ｄのインストール情報管理部２２２は、インストール通知取得部２４１が取得したインストール通知情報に含まれるリワードユーザＩＤ（RewardUID）と、送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）と、送客元アプリ１０（ゲームＡ）におけるユーザＸのアプリユーザＩＤ（ApUID）とを関連付けて、インストール情報としてインストール情報記憶部２３６に記憶させる（ステップＳＥ１１）。

[0810] ＳＤＫ１１Ａの初期化処理部１０１は、管理サーバ２００ｄから送信された応答情報（通知結果）を取得すると、初期化済みを示すフラグを設定して初期化処理を終了する（ステップＳＡ１７）。

[0811] 一方、ステップＳＡ１２において初期化処理済みであると判定された場合（ステップＳＡ１２：ＹＥＳ）、固有識別情報取得部１０２は、端末記憶部１４０に記憶されているＩＤ情報とリワードユーザＩＤ（RewardUID）とを比較することにより、ＩＤ情報が変更されたか否かを判定する（ステップＳ１２１）。端末記憶部１４０に記憶されているＩＤ情報とリワードユーザＩＤ（RewardUID）とが一致することによりＩＤ情報が変更されていないと判定された場合（ステップＳ１２１：ＮＯ）、初期化処理部１０１は、初期化処理を終了する。

[0812] 一方、端末記憶部１４０に記憶されているＩＤ情報とリワードユーザＩＤ（RewardUID）とが一致しないことによりＩＤ情報が変更されたと判定された

場合（ステップＳ１２１：ＹＥＳ）、固有識別情報取得部１０２は、この変更後のＩＤ情報をリワードユーザＩＤとして取得し（ステップＳＡ１４ａ）、取得したＩＤ情報を変更後のリワードユーザＩＤとして、端末記憶部１４０のアプリ間共有エリアに記憶させる（ステップＳＡ１５）。なお、固有識別情報取得部１０２は、この変更後のリワードユーザＩＤを端末記憶部１４０に記憶させる場合、変更前のリワードユーザＩＤに代えて変更後のリワードユーザＩＤを記憶させてもよいし、変更前のリワードユーザＩＤを残して変更後のリワードユーザＩＤを区別可能なように記憶させてもよい。

[0813] そして、インストール通知部１０３は、送客元アプリ１０（ゲームＡ）がユーザ端末１００にインストールされたことを示すインストール通知情報を、管理サーバ２００ｄに対して送信する（ＲＥＱ１１、ステップＳＡ１６）。ここでインストール通知情報には、このユーザ端末１００に対応する変更後のリワードユーザＩＤ（RewardUID）と、インストールされた送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）と、この送客元アプリ１０（ゲームＡ）において登録されたユーザＸのアプリユーザＩＤ（ApUID）とが含まれる。

[0814] 管理サーバ２００ｄは、リワードユーザＩＤの変更後にユーザ端末１００から送信されたインストール通知情報を取得し、取得したインストール通知情報に含まれる変更後のリワードユーザＩＤ（RewardUID）と、送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）と、送客元アプリ１０（ゲームＡ）におけるユーザＸのアプリユーザＩＤ（ApUID）とを関連付けて、インストール情報（例えば、図３６に示すインストール情報Ｔ２０）としてインストール情報記憶部２３６に記憶させる（ステップＳＥ１１）。

[0815] これにより、ユーザ端末１００は、リワードユーザＩＤが変更された場合、変更前にインストールされてインストール通知情報を送信済みの対象アプリケーションのインストール通知情報を、当該変更後に送信することができる。よって、管理サーバ２００ｄは、ユーザ端末１００においてリワードユーザＩＤが変更された場合、この変更前と変更後とのそれぞれでインストー

ル通知情報を送信した対象アプリケーションのアプリユーザＩＤにに基づいて、変更前のリワードユーザＩＤと変更後のリワードユーザＩＤとを関連付けて管理することができる。

[0816] なお、ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションが初めて起動した際に、ステップＳＡ１３においてリワードユーザＩＤが取得済みであると判定された場合、固有識別情報取得部１０２は、端末記憶部１４０に記憶されているＩＤ情報とリワードユーザＩＤ（RewardUID）とを比較して、比較結果に基づいた処理をしてもよい。例えば、インストール通知部１０３は、端末記憶部１４０に記憶されているＩＤ情報とリワードユーザＩＤ（RewardUID）とが一致しない場合には当該ＩＤ情報をリワードユーザＩＤ（RewardUID）としてインストール通知情報を管理サーバ２００ｄに送信してもよい。

[0817] これにより、ユーザ端末１００は、ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションが初めて起動した際に、リワードユーザＩＤが取得済みであって、ＩＤ情報が変更されているにも関わらず変更前のＩＤ情報が未だリワードユーザＩＤとして端末記憶部１４０に記憶されている場合であっても、変更後のＩＤ情報をリワードユーザＩＤとしたインストール通知情報を管理サーバ２００ｄに送信することができる。また、対象アプリケーションが初めて起動した際には、変更後のＩＤ情報をリワードユーザＩＤとして端末記憶部１４０に記憶させないようにすることにより、変更前にインストールされてインストール通知情報を送信済みの対象アプリケーションのうちの少なくとも一つの対象アプリケーションのインストール通知情報を変更後に送信することができる。

[0818] なお、初期化処理部１０１は、ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションが起動する際に、インストール通知情報を毎回送信するように制御してもよい。この場合、管理サーバ２００ｄは、ユーザ端末１００からリワードユーザＩＤの変更前のたインストール通知情報と、リワードユーザＩＤの変更後のインストール通知情報とをそれぞれ取得して管理して

もよい。

[0819] ＜第７及び第８の実施形態について＞

以上説明した第７及び第８の実施形態について、以下のように記載することができるが、以下の記載に限られるものではない。

[0820] （１）第７実施形態の相互送客システム５００ｂにおいて、管理サーバ２００ｂ（管理装置の一例）は、アプリケーション管理部２２１と、インストール通知取得部２４１と、インストール情報管理部２２２と、他端末情報抽出部２４９と、リスト通知部２４２と、を備えている。また、第８実施形態の相互送客システム５００ｃにおいて、管理サーバ２００ｃ（管理装置の一例）は、アプリケーション管理部２２１と、インストール通知取得部２４１と、インストール情報管理部２２２と、情報抽出部２４９ａと、リスト通知部２４２と、を備えている。上述したように、情報抽出部２４９ａが有する機能は、他端末情報抽出部２４９が有する機能と同様とすることができるため、第８の実施形態の管理サーバ２００ｄの構成は、第７実施形態の管理サーバ２００ｃの構成と同様の構成としてもよい。以下では、管理サーバ２００ｄの構成を例に、管理サーバ２００ｃと管理サーバ２００ｄとのいずれも包含する構成として記述する。

アプリケーション管理部２２１は、管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理する。インストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）は、複数の対象アプリケーションのうちの対象アプリケーション１０－１（第１アプリケーションの一例）がユーザ端末１００により実行されたことに応じてユーザ端末１００から送信されたインストール通知情報（第１情報の一例）と、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）とを関連付けて、ユーザ端末１００から取得する。インストール情報管理部２２２（情報管理部の一例）は、インストール通知取得部２４１が取得したユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤと関連付け情報とを関連付けて管理する。情報抽出部２４９ａ（抽出部の一例）は、インストール情報管理部２２２が管理するリワードユ

ーザＩＤ及び関連付け情報に基づいて、当該関連付け情報に関連付けられたリワードユーザＩＤを抽出する。リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、情報抽出部２４９ａが抽出したリワードユーザＩＤに対応するユーザ端末１００からインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーション（例えば、対象アプリケーション１０－５（アプリ５）、対象アプリケーション１０－６（アプリ６））を示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）を、対象アプリケーション１０－１が実行されたユーザ端末１００に対して送信する。

[0821] 例えば、管理サーバ２００ｄの情報抽出部２４９ａ（抽出部の一例）は、関連付け情報に関連付けられた複数のリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）を抽出する。リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、情報抽出部２４９ａが抽出した複数のリワードユーザＩＤのそれぞれに対応するユーザ端末１００からインストール通知情報（第１情報の一例）を取得していない少なくとも一の対象アプリケーション（例えば、対象アプリケーション１０－５（アプリ５）、対象アプリケーション１０－６（アプリ６））を示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）を、対象アプリケーション１０－１が実行されたユーザ端末１００に対して送信する。

これにより、本実施形態の管理サーバ２００ｄ（２００ｃ）は、複数のリワードユーザＩＤを関連付けて管理することができる。なお、関連付け情報に関連付けられているリワードユーザＩＤは、複数であるとは限られるものではなく１つの場合もある。

[0822] 具体的には、管理サーバ２００ｄの情報抽出部２４９ａ（抽出部の一例）は、関連付け情報に関連付けられた複数のリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）として、対象アプリケーション１０－１（第１アプリケーション）が実行されたユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤである第１固有識別情報と、対象アプリケーション１０－１が実行されたユーザ端末１００にこの第１固有識別情報が対応付けられる以前に対応付けられた第２固有識別情報とを抽出してもよい。

そして、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、情報抽出部２４９ａが抽出した第１固有識別情報又は第２固有識別情報に対応するユーザ端末１００からインストール通知情報（第１情報の一例）を取得していない少なくとも一の対象アプリケーション（例えば、対象アプリケーション１０－５（アプリ５）、対象アプリケーション１０－６（アプリ６））を示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）を、第１固有識別情報に対応するユーザ端末１００に対して送信してもよい。

[0823] これにより、管理サーバ２００ｄ（２００ｃ）は、例えば、ユーザ端末１００のリワードユーザＩＤを変更した場合に、リワードユーザＩＤの変更前にユーザ端末１００にインストールされて起動した（実行された）対象アプリケーションと、リワードユーザＩＤの変更後にユーザ端末１００にインストールされて起動した（実行された）対象アプリケーションとを関連付けて管理することができる。そのため、管理サーバ２００ｄ（２００ｃ）は、例えば、ユーザ端末１００のリワードユーザＩＤを変更した後に、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、ユーザが利用したことのない対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示させることができる。すなわち、管理サーバ２００ｄ（２００ｃ）は、ユーザ端末１００のリワードユーザＩＤを変更した場合に、リワードユーザＩＤの変更前にユーザ端末１００にインストールされて起動した（実行された）対象アプリケーションを、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションの対象アプリケーションの一覧ＬＴとして当該ユーザに提示されてしまうことを抑制することができる。したがって、本実施形態によれば、ユーザに対してインストールを勧める適切な対象アプリケーションの一覧ＬＴを提示することができる。

[0824] （２）また、管理サーバ２００ｄの情報抽出部２４９ａ（抽出部の一例）は、関連付け情報に関連付けられた複数のリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）として、対象アプリケーション１０－１（第１アプリケーション）が実行されたユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤである

第１固有識別情報と、第１固有識別情報に対応するユーザ端末１００とは異なる他のユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤである第２固有識別情報とを抽出してもよい。

そして、リスト通知部２４２（第２情報通知部の一例）は、情報抽出部２４９ａが抽出した第１固有識別情報に対応するユーザ端末１００、及び第２固有識別情報に対応するユーザ端末１００のうちのいずれからもインストール通知情報（第１情報の一例）を取得していない少なくとも一の対象アプリケーション（例えば、対象アプリケーション１０－５（アプリ５）、対象アプリケーション１０－６（アプリ６））を示す情報を含むアプリケーションリスト（第２情報の一例）を、第１固有識別情報に対応するユーザ端末１００に対して送信してもよい。

[0825] これにより、管理サーバ２００ｄ（２００ｃ）は、例えば、ユーザ端末１００を機種変更した場合に、機種変更前のユーザ端末１００（ユーザ端末１００Ａ）にインストールされて起動した（実行された）対象アプリケーションと、機種変更後のユーザ端末１００（ユーザ端末１００Ｂにインストールされて起動した（実行された）対象アプリケーションとを関連付けて管理することができる。そのため、管理サーバ２００ｄ（２００ｃ）は、例えば、ユーザ端末１００を機種変更した後に、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションを提示する場合に、ユーザが利用したことのない対象アプリケーションの一覧ＬＴをユーザに提示させることができる。すなわち、管理サーバ２００ｄ（２００ｃ）は、ユーザ端末１００を機種変更した場合や、同一のユーザで複数のユーザ端末１００を使用している場合に、同一のユーザの他のユーザ端末１００において既にインストールされている対象アプリケーションを、ユーザに対してインストールを勧める対象アプリケーションのアプリケーションリストとして当該ユーザに提示されてしまうことを抑制することができる。

[0826] （３）インストール情報管理部２２２（情報管理部の一例）は、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）と、対

象アプリケーション（第１アプリケーションの一例）におけるアプリユーザＩＤ（ユーザ情報の一例）とを関連付けて管理する。そして、情報抽出部２４９ａ（抽出部の一例）は、関連付け情報として、対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを利用してもよい。

これにより、管理サーバ２００ｄ（２００ｃ）は、管理サーバ２００ｄ（２００ｃ）が管理している情報であるアプリユーザＩＤを利用するので、関連付け情報として、新たな情報を追加する場合に比べて、簡易な手段により複数のリワードユーザＩＤを関連付けることができる。

[0827] 例えば、情報抽出部２４９ａ（抽出部の一例）は、上述した第１の抽出方法のように対象アプリケーション（第１アプリケーションの一例）がインストールされたユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤに関連付けられている対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤが、当該リワードユーザＩＤの他に関連付けられている他のリワードユーザＩＤを抽出する。

これにより、管理サーバ２００ｄ（２００ｃ）は、アプリユーザＩＤを利用して、同一のユーザ端末１００における変更前と変更後のリワードユーザＩＤ、又は、異なるユーザ端末１００間のリワードユーザＩＤを関連付けることができる。

[0828] （４）また、情報抽出部２４９ａ（抽出部の一例）は、関連付け情報として、対象アプリケーション（第１アプリケーションの一例）におけるアプリユーザＩＤ（ユーザ情報の一例）に関連付けられているリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）に関連付けられている他の対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを利用してもよい。

[0829] これにより、管理サーバ２００ｄ（２００ｃ）は、上述した第２の抽出方法のように対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを利用して、当該リワードユーザＩＤに関連付けられる他のリワードユーザＩＤを抽出することができなかった場合であっても、他の対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを利用して、同一のユーザ端末１００における変更前と変更後のリワードユーザＩＤ、又は、異なるユーザ端末１００間のリワードユー

ザＩＤを関連付けることができる。

[0830] （５）また、情報抽出部２４９ａ（抽出部の一例）は、関連付け情報として、対象アプリケーション（第１アプリケーションの一例）が実行されたユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）に関連付けられている対象アプリケーションのアプリＩＤ（第１アプリケーションを識別する識別情報の一例）と、当該対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤ（ユーザ情報の一例）とを利用してもよい。

[0831] これにより、関連付け情報として、アプリＩＤとアプリユーザＩＤとの両方を利用するので、管理サーバ２００ｄ（２００ｃ）は、例えば、ある対象アプリケーションにおける第１のユーザのアプリユーザＩＤと同一のアプリユーザＩＤが、第１のユーザとは異なる第２のユーザの他の対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤとして使用されている場合に、誤って同一のユーザであると判定することを防止することができる。

[0832] （６）また、対象アプリケーション（第１アプリケーションの一例）におけるアプリユーザＩＤ（ユーザ情報の一例）は、ユーザ端末１００により実行された対象アプリケーションを利用するユーザを識別する情報である。管理サーバ２００ｄは、例えば、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）と関連付けて対象アプリケーション（第１アプリケーションの一例）におけるアプリユーザＩＤ（ユーザ情報の一例）を取得するアプリユーザ情報取得部を備えてもよい。なお、インストール通知取得部２４１を、アプリユーザ情報取得部として機能させるようにしてもよい。すなわち、インストール通知情報にインストール通知情報を送信した対象アプリケーションのアプリユーザＩＤを含めるようにしてもよい。このように、アプリユーザ情報取得部の機能を他の機能に含ませるようにしてもよい。

そして、インストール情報管理部２２２は、アプリユーザ情報取得部が取得した対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤと関連付けて管理してもよい。

[0833] これにより、ユーザ端末１００により対象アプリケーションが実行された場合、管理サーバ２００ｄ（２００ｃ）は、実行された対象アプリケーションのアプリＩＤと、実行された対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤと、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤとを関連付けて管理することができる。すなわち、管理サーバ２００ｄ（２００ｃ）は、ユーザ端末１００により実行された対象アプリケーション毎のアプリユーザＩＤをリワードユーザＩＤに関連付けて管理することができる。

[0834] なお、関連付け情報としてユーザ情報を利用する場合に、アプリユーザＩＤを利用するのは一例であって、これに限られるものではない。例えば、関連付け情報として利用するユーザ情報は、対象アプリケーションにおけるユーザを識別可能な情報であればよく、ユーザ名、ユーザのニックネームやハンドルネーム（別名）、又はユーザ画像等としてもよい。

[0835] （７）また、管理サーバ２００ｄのインストール通知取得部２４１（第１情報取得部の一例）は、対象アプリケーション（第１アプリケーションの一例）のアプリＩＤ（識別情報の一例）をユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤ（固有識別情報の一例）と関連付けて取得してもよい。そして、インストール情報管理部２２２（情報管理部の一例）は、インストール通知取得部２４１が取得した対象アプリケーションのアプリＩＤを、ユーザ端末１００に対応付けられたリワードユーザＩＤと関連付けて管理する。

これにより、管理サーバ２００ｄ（２００ｃ）は、いずれの対象アプリケーションがユーザ端末１００により実行されたかを、リワードユーザＩＤと対象アプリケーションのアプリＩＤとに基づいて管理することができる。

[0836] （８）また、管理サーバ２００ｄは、リワード処理部２４５を備えている。このリワード処理部２４５は、アプリケーションリスト（第２情報の一例）により示される一または複数の対象アプリケーションうちの対象アプリケーション１０－５や１０－６（第２アプリケーションの一例）における所定の報酬付与条件が充足された場合に、ユーザ端末１００を利用するユーザ（例えばユーザＸ）に対して報酬が付与される報酬付与処理をする。ここで、対

象アプリケーション１０－５や１０－６（第２アプリケーションの一例）は、例えば、アプリケーションリストにより示される一または複数の対象アプリケーションうちからユーザ端末１００で選択された対象アプリケーションである。

これにより、管理サーバ２００ｄ（２００ｃ）は、所定の報酬付与条件が充足されたと判定された場合に、対象アプリケーション１０－１や１０－４において所定の報酬を付与することができる。

[0837] ＜第９の実施形態＞

次に、本発明の第９の実施形態を説明する。上記第１の実施形態では、ユーザ端末１００にインストールされている対象アプリケーションにＳＤＫ１１（ＳＤＫ１１Ａ）が組み込まれている送客元アプリ１０から、ユーザ端末１００にインストールされていない送客先アプリ２０へ送客する送客処理の例を説明した。本実施形態では、送客元アプリ１０に代えて、送客元の機能に特化した専用のアプリケーションから送客先アプリ２０へ送客する送客処理の例を説明する。

[0838] 〔第９の実施形態による相互送客システムの概要〕

図３９は、本実施形態の相互送客システム５００ｄの概要を説明する説明図である。本実施形態によるネットワークシステム１ｄは、第１の実施形態と同様に、管理サーバ２００と、ユーザ端末１００とを備えている。この図３９において、図４の各部と対応する部分には同一の符号を付け、その説明を省略する。

[0839] この図３９に示す相互送客システム５００ｄは、送客元アプリ１０を、送客先アプリ２０への送客の機能を有した専用のアプリケーション（以下、「専用アプリ６０」とも称する）に代えた点が、図４に示す相互送客システム５００に対して異なる。この専用アプリ６０は、例えば、アプリストア４００からユーザ端末１００に対してインストール可能（ダウンロード可能）なように提供される。この図では、ユーザ端末１００には専用アプリ６０がインストールされており、専用アプリ６０から、送客先アプリ２０への送客が

行われる例を示している。

[0840] 専用アプリ６０には、例えば第１の実施形態において説明したＳＤＫ１１Ａの機能が含まれている。このように、ユーザ端末１００にインストールされている専用アプリ６０が、ＳＤＫ１１Ａの機能を備えていることにより、相互送客システム５００ｄでは、送客元アプリ１０から送客先アプリ２０に対する送客処理と同様に、専用アプリ６０から送客先アプリ２０に対する送客処理を行うことができる。

[0841] なお、ここでは、送客元が専用アプリ６０であるため、送客元における報酬ではなく送客先アプリ２０（ゲームＢ）における報酬がユーザＸに対して付与される例としている。管理サーバ２００は、（１１Ａ）に示すように送客先アプリ２０（ゲームＢ）に対応するアプリサーバ３２０に報酬付与情報を送信する。

[0842] 例えば、送客先アプリ２０（ゲームＢ）がキャンペーン中ではない通常時期であれば、管理サーバ２００は、送客先アプリ２０（ゲームＢ）がユーザ端末１００にインストールされたと判定されたことにより、送客先アプリ２０（ゲームＢ）に対応するアプリサーバ３２０に報酬付与情報を送信する。また、送客先アプリ２０（ゲームＢ）がキャンペーン中であれば、管理サーバ２００は、例えば、ユーザ端末１００にインストールされた送客先アプリ２０（ゲームＢ）において報酬付与条件が充足されたことを示す報酬付与通知情報を取得した場合に送客先アプリ２０（ゲームＢ）に対応するアプリサーバ３２０に報酬付与情報を送信する。

[0843] なお、送客先アプリ２０（ゲームＢ）がキャンペーン中であるとは、送客先アプリ２０が送客元（ここでは、専用アプリ６０）との間で同一のキャンペーンに参加していてそのキャンペーン中であるとしてもよいし、送客先アプリ２０が単独でキャンペーンに参加していてそのキャンペーン中であるとしてもよい。

[0844] 〔第９の実施形態のユーザ端末１００（専用アプリ６０）の機能構成〕

図４０は、本実施形態によるユーザ端末１００において、専用アプリ６０

に基づいて端末制御部１５０が実行する送客処理の機能構成の一例を示す構成図である。

専用アプリ６０は、初期化処理部１０１と、リスト要求部１０４と、表示制御部１０５と、送客情報通知部１０６とを備えている。ここで、専用アプリ６０は、図５に示すＳＤＫ１１の機能構成のうち少なくとも送客元としての機能構成（例えば、ＳＤＫ１１Ａの機能構成）のみを備えていればよいので、送客先の機能構成として特有な報酬付与通知部１０７を備えなくともよい。

なお、専用アプリ６０は、ＳＤＫ１１Ａが組み込まれている構成としてもよい。

[0845] この構成により、専用アプリ６０は、ＳＤＫ１１Ａが組み込まれている送客元アプリ１０と同様に、対象アプリケーションの一覧ＬＴから選択された送客先アプリ２０に対する送客情報を管理サーバ２００に対して送信する処理を行うことができる。

[0846] また、専用アプリ６０は送客先のアプリケーションになることはない。そのため、ユーザ端末１００に専用アプリ６０がインストールされているか否かを管理サーバ２００が管理しなくてもよい。よって、専用アプリ６０は、インストール通知情報を管理サーバ２００に送信しなくともよいため、図４０に示すインストール通知部１０３を備えていない構成としてもよい。

[0847] 〔第９の実施形態の相互送客処理の動作例〕

次に、本実施形態による相互送客システム５００ｄによる送客処理の動作を説明する。相互送客システム５００ｄによる送客処理は、送客元アプリ１０の処理を専用アプリ６０が行うことにより、図１４を参照して説明した第１の実施形態による送客処理と同様の処理とすることができる。

[0848] なお、相互送客システム５００ｄによる送客処理は、第１の実施形態による送客処理と部分的に異なる処理を行うようにしてもよい。例えば、上述したように、専用アプリ６０が送客元となるため、専用アプリ６０がインストールされているか否かを管理サーバ２００が管理しない処理としてもよい。

[0849] 図４１は、本実施形態による送客処理の動作の一例を示すフローチャートである。この図４１に示す例では、図１４に示す送客元アプリ１０が実行する処理を、送客元アプリ１０に代えて専用アプリ６０が実行する例であって、ユーザ端末１００に専用アプリ６０がインストールされているか否かを管理サーバ２００が管理しない例である。この図４１において、図１４に示す各処理に対応する部分には同じ符号を付けており、その説明を適宜省略する。

[0850] ユーザ端末１００に専用アプリ６０がインストールされて起動すると、専用アプリ６０の初期化処理部１０１は、初期化処理を実行する。この図に示す初期化処理は、リワードユーザＩＤを取得する処理であり、インストール通知情報を管理サーバ２００に送信する処理は行われない。例えば、専用アプリ６０の固有識別情報取得部１０２は、初期化処理において、端末記憶部１４０を参照して、リワードユーザＩＤが取得済みであるか否かを判定する（ステップＳＡ１３）。そして、固有識別情報取得部１０２は、リワードユーザＩＤが取得済みでない場合には、リワードユーザＩＤを生成して取得し（ステップＳＡ１４）、端末記憶部１４０のアプリ間共有エリアに記憶させ（ステップＳＡ１５）、初期化処理を終了する。

[0851] すなわち、専用アプリ６０がインストールされる以前に、いずれかの対象アプリケーションがインストールされている場合には、その対象アプリケーションがインストールされたときに取得されたリワードユーザＩＤが相互送客システム５００ｄにおいて用いられる。一方、専用アプリ６０がインストールされる以前に、いずれの対象アプリケーションもインストールされていない場合には、専用アプリ６０がインストールされて起動したときに、相互送客システム５００ｄにおいて用いられるリワードユーザＩＤが取得される。

[0852] 上述の初期化処理以降の処理は、図１４を参照して説明した処理と同様であり、送客先アプリ２０へ送客する送客情報が専用アプリ６０から管理サーバ２００に対して送信される。よって、本実施形態による相互送客システム

５００ｄでは、専用アプリ６０が送客元となることにより、第１の実施形態と同様に、送客先アプリ２０に対する送客情報の記録を管理サーバ２００が管理することができる。

[0853] なお、本実施形態では、送客元が専用アプリ６０であるため、例えば送客元における報酬を付与することがない場合には、送客元を特定しなくてもよい。そのため、本実施形態では、送客情報には、送客元を識別するための専用アプリ６０のアプリＩＤが含まれなくてもよく、少なくとも送客先アプリ２０（ゲームＢ）のアプリＩＤ（ApID）と、リワードユーザＩＤ（RewardUID）とが含まれればよい。

[0854] 以上説明したように、本実施形態の相互送客システム５００ｄは、専用アプリ６０を送客元として、専用アプリ６０から送客先アプリ２０に対する送客処理を行うことにより、第１の実施形態で説明した相互送客システム５００と同様に、送客先アプリ２０へ送客することができる。なお、専用アプリ６０から送客先アプリ２０に対する送客処理の場合には、送客先アプリ２０は送客元ともなり得るが、専用アプリ６０は送客先になることはない。従って、専用アプリ６０に関しては、送客先アプリ２０への一方向の送客処理となる。

[0855] なお、本実施形態による専用アプリ６０を送客元とする構成は、上記第２～第９の実施形態にも適用することができる。

例えば、第２の実施形態において、ユーザ端末１００にインストールされている専用アプリ６０からの要求に基づいて、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００に送信するアプリケーションリストに含める対象アプリケーションを所定の条件に基づいて選択する処理（フィルタリングする処理）を行ってもよい。

[0856] また、第３～第５の実施形態において、図１８に示す対象アプリケーション１０Ａを、送客元の機能に特化した専用のアプリケーションとしてもよい。また、第６の実施形態において、図３０に示す対象アプリケーション１０Ａを、送客元の機能に特化した専用のアプリケーションとしてもよい。例え

ば、上述の専用のアプリケーションは、専用アプリ６０と同様に少なくとも送客元としての機能構成のみを備えた構成としてもよい。そのため、上述の専用のアプリケーションは、例えば、図１９に示すＳＤＫ１０１１の機能構成のうち送客先の機能構成として特有な報酬付与通知部１０７を除いた構成としてもよい。また、上述の専用のアプリケーションは、例えば、図２４に示すＳＤＫ２０１１の機能構成のうち送客先の機能構成として特有な報酬付与通知部１０７を除いた構成としてもよい。また、上述の専用のアプリケーションは、例えば、図２７に示すＳＤＫ３０１１の機能構成のうち送客先の機能構成として特有な報酬付与通知部１０７を除いた構成としてもよい。なお、上述の専用のアプリケーションは、専用アプリ６０と同様にインストール通知部１０３を除いた構成としてもよい。

[0857] また、第７及び第８の実施形態において、ユーザ端末１００に専用アプリ６０がインストールされてもよい。

例えば、第７の実施形態において、機種変更後のユーザ端末１００Ｂにインストールされた専用アプリ６０からの要求に基づいて、管理サーバ２００ｃは、機種変更後のユーザ端末１００Ｂと機種変更前のユーザ端末１００Ａとのいずれからもインストール通知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示すアプリケーションリストをユーザ端末１００Ｂに送信してもよい。この場合、管理サーバ２００ｃは、例えば上述の第７の実施形態において説明した第２の抽出方法にしたがって、機種変更後のユーザ端末１００Ｂと機種変更前のユーザ端末１００Ａとの両方にインストールされたいずれかの対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを利用して、機種変更後のユーザ端末１００Ｂのリワードユーザ ＩＤと機種変更前のユーザ端末１００Ａのリワードユーザ ＩＤとを関連付けてもよい。

また、第８の実施形態において、ユーザ端末１００に対応するリワードユーザＩＤが変更された場合、ユーザ端末１００にインストールされた専用アプリ６０からの要求に基づいて、管理サーバ２００ｄは、リワードユーザＩＤの変更後とリワードユーザ ＩＤの変更前とのいずれからもインストール通

知情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示すアプリケーションリストをユーザ端末１００に送信してもよい。この場合、管理サーバ２００ｄは、例えば上述の第８の実施形態において説明した第２の抽出方法にしたがって、リワードユーザＩＤの変更後とリワードユーザＩＤの変更前との両方にインストール通知情報を送信したいずれかの対象アプリケーションにおけるアプリユーザＩＤを利用して、変更後のリワードユーザＩＤと変更前のリワードユーザＩＤとを関連付けてもよい。

[0858] ＜第１～第９の実施形態の変形例＞

[0859] 以上、この発明の実施形態について図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成は上述の実施形態に限られるものではなく、この発明の要旨を逸脱しない範囲の設計等も含まれる。例えば、上述の第１～第９の実施形態において説明した各機能は、任意に組み合わせることができる。なお、以下の記載において、管理サーバ２００、２００ａ、２００ｂ、２００ｃ、２００ｄを、特に区別しない場合には、単に「管理サーバ２００」として記載する。

[0860] （１）上記実施形態では、管理サーバ２００の通信部２１０（送受信部の一例）は、インストール通知情報（第１情報の一例）、アプリケーションリスト（第２情報の一例、アプリケーション通知情報の一例）、リスト要求通知情報、送客情報（例えば、送客元情報又は送客先情報）、指示情報（インストール可能な画面をユーザ端末１００に表示させるための情報の一例）、又は報酬付与通知情報を直接的にユーザ端末１００と通信する例を説明した。同様にユーザ端末１００の端末通信部１３０（送受信部）は、インストール通知情報、アプリケーションリスト、リスト要求通知情報、送客情報、指示情報、又は報酬付与通知情報を直接的に管理サーバ２００と通信する例を説明した。

[0861] ここで、管理サーバ２００の通信部２１０（送受信部）は、送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）又は送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）と、それぞれに対応するアプリサーバ３００（サーバ装置の一例）を介して通信セッションを確立させた後で、直接的にユーザ端末１

００と通信してもよい。同様にユーザ端末１００の端末通信部１３０（送受信部）は、送客元アプリ１０（インストールされた対象アプリケーション）又は送客先アプリ２０（選択された対象アプリケーション）と、それぞれに対応するアプリサーバ３００を介して通信セッションを確立させた後で、直接的に管理サーバ２００と通信してもよい。

[0862] なお、ユーザ端末１００から直接的に管理サーバ２００と通信する場合に、必要に応じて通信セッションを確立させるようにしてもよい。つまり、通信セッションを確立させる前に直接的に管理サーバ２００と通信する場合と、通信セッションを確立させた後に直接的に管理サーバ２００と通信する場合との両方を含んでもよい。

例えば、インストール通知情報は、通信セッションを確立させる前に直接的に管理サーバ２００と通信し、それ以外の情報については通信セッションを確立させた後に直接的に管理サーバ２００と通信するようにしてもよい。このようにすることで、通常リワードの対象となる送客先アプリ２０として、送客先アプリ２０に対応するアプリサーバ３２０を具備しないアプリケーション、すなわちユーザ端末１００においてスタンドアローンで動作するアプリケーションを対象アプリケーションとして扱うことが可能になる。つまり、スタンドアローンで動作するアプリケーションがインストールされたことを示すインストール通知情報を送信する際に、ユーザ端末１００は、アプリサーバ３００を介して通信セッションを確立させる処理を行わずに、直接的に管理サーバ２００と通信することができる。

[0863] 図１７は、通信セッションの確立処理の動作を説明するフローチャートである。この通信セッションの確立処理（通信セッション確立処理）は、送客元アプリ１０または送客先アプリ２０がユーザ端末１００で起動され、ＳＤＫ１１ＡとＳＤＫ１１Ｂが初めて管理サーバ２００と通信を行う場合であって、例えば、図１４及び図１５を参照して説明した初期化処理の中で行われる。図１７では、図１４に示す初期化処理の中で行われる通信セッションの確立処理を示している。なお、この通信セッションの確立処理は、図１５に

示す初期化処理の中でも同様に行うことができる。図１７において図１４の各処理に対応する部分には同一の符号を付け、その説明を省略する。なお、ユーザ端末１００とアプリサーバ３１０とは既に通信セッションが確立されている前提となる。

[0864] ステップＳＡ１２、ＳＡ１３、ＳＡ１４、ＳＡ１５の処理においてリワードユーザＩＤの取得済となり、ステップＳＡ１６、ＳＡ１７の処理においてインストール通知情報の通知済みとなると、ＳＤＫ１１Ａの初期化処理部１０１は、ワンタイムトークンの取得を要求するワンタイムトークン取得要求情報をアプリサーバ３１０に対して送信する（ステップＳＡ２１）。アプリサーバ３１０は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）からワンタイムトークン取得要求情報を取得すると、取得したワンタイムトークン取得要求情報に基づくワンタイムトークン生成要求情報を管理サーバ２００に対して送信する（ステップＳＦ１１）。管理サーバ２００は、アプリサーバ３１０からワンタイムトークン生成要求情報を取得すると、ワンタイムトークンを生成し、生成したワンタイムトークンをアプリサーバ３１０に対して送信する（ステップＳＥ１２）。アプリサーバ３１０は、管理サーバ２００からワンタイムトークンを取得すると、取得したワンタイムトークンをユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）に対して送信する（ステップＳＦ１２）。ＳＤＫ１１Ａの初期化処理部１０１は、アプリサーバ３１０からワンタイムトークンを取得すると、取得したワンタイムトークンを含んだセッション確立要求情報を管理サーバ２００に対して送信する（ステップＳＡ２２）。管理サーバ２００は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）からセッション確立要求情報を取得すると、取得したセッション確立要求情報に含まれるワンタイムトークンが正しい情報である場合（ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）に対して送信したワンタイムトークンと一致する場合）には、通信セッションを確立して、相互送客システム５００による通信が許可される（ステップＳＥ１３）。以後、図１４を参照して説明した処理が行われる。なお、管理サーバ２００は、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）から取得したセッション確立要求情報

に含まれるワンタイムトークンが正しい情報でない場合には通信エラーとし、相互送客システム５００による通信が許可されない。また、管理サーバ２００がユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ａ）からセッション確立要求情報を取得できない場合には、当然、相互送客システム５００による通信が許可されない。

このように、通信セッションを確立させた後で、相互送客システム５００による通信を開始することで、相互送客システム５００を含むネットワークシステム１内のセキュリティを向上させることができる。

[0865] なお、インストール通知情報（第１情報の一例）、アプリケーションリスト（第２情報の一例、アプリケーション通知情報の一例）、リスト要求通知情報、送客情報（例えば、送客元情報又は送客先情報）、指示情報（インストール可能な画面をユーザ端末１００に表示させるための情報の一例）、又は報酬付与通知情報の一部は、ユーザ端末１００から直接的に管理サーバ２００と通信せずに、送客元アプリ１０（第１アプリケーションの一例）又は送客先アプリ２０（第２アプリケーションの一例）に対応するアプリサーバ３００（サーバ装置の一例）を介してユーザ端末１００と通信してもよい。すなわち、管理サーバ２００の通信部２１０（送受信部）は、インストール通知情報、アプリケーションリスト、リスト要求通知情報、送客情報、指示情報、又は報酬付与通知情報を送客元アプリ１０又は送客先アプリ２０に対応するアプリサーバ３００を介してユーザ端末１００と通信、若しくは直接的にユーザ端末１００と通信するようにしてもよい。

[0866] さらに、管理サーバ２００の通信部２１０（送受信部の一例）は、インストール通知情報、アプリケーションリスト、リスト要求通知情報、送客情報、指示情報、又は報酬付与通知情報を送客元アプリ１０又は送客先アプリ２０に対応するアプリサーバ３００を介してユーザ端末１００と通信してもよい。同様にユーザ端末１００の端末通信部１３０（送受信部）は、送客元アプリ１０（インストールされた対象アプリケーション）又は送客先アプリ２０（選択された対象アプリケーション）に対応するアプリサーバ３００を介

して管理サーバ２００と通信してもよい。

このように、相互送客システム５００は、アプリサーバ３００を介してユーザ端末１００と管理サーバ２００とが通信しても、第１の実施形態及び第２の実施形態と同様の送客処理及びリワード処理を行うことができ、同様の効果を得ることができる。

[0867] （２）上記実施形態では、アプリユーザＩＤ（ApUID）をインストール通知情報などに含めて、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）から管理サーバ２００送信される例を説明したが、これに限られるものではない。例えば、アプリサーバ３００が、通信セッション確立処理でリワードユーザＩＤに関連付けて、アプリユーザＩＤを管理サーバ２００に送信するようにしてもよい。具体的には、ステップＳＡ２１にて、ＳＤＫ１１Ａの初期化処理部１０１が、ワンタイムトークン取得要求情報をアプリサーバ３００に対して送信する際にリワードユーザＩＤをアプリサーバ３００に通知する。さらに、アプリサーバ３００は、リワードユーザＩＤ、アプリＩＤ及びアプリユーザＩＤを管理サーバ２００に送信する。管理サーバ２００のインストール情報管理部２２２は、インストール情報記憶部２３６に記憶されるインストール情報のうち、取得したリワードユーザＩＤとアプリＩＤとに対応したインストール情報に対応するアプリユーザＩＤ（ApUID）として、アプリサーバ３００から取得したアプリユーザＩＤを記憶させる。このようにアプリユーザＩＤをユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）からでなく、アプリサーバ３００から送信することで、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１）にて、アプリユーザＩＤを管理することが不要になる。

[0868] 上記のようにアプリサーバ３００が通信セッション確立処理でリワードユーザＩＤに関連付けてアプリユーザＩＤを管理サーバ２００に送信する場合には、インストールされた対象アプリケーションにおいてユーザ情報が登録された後でしか、通信セッション確立処理を行うことができない。しかしながら、ユーザ端末１００にインストールされた対象アプリケーションの当該インストールされたことを示すインストール通知情報の管理サーバ２００に

対する送信は、ユーザ情報が登録されたことと直接関連させる必要がない。したがって、ユーザ端末１００は、インストールされた対象アプリケーションにおいて、ユーザ情報が登録されているか否かに関わりなく、インストール通知情報を管理サーバ２００に対して送信するようにしている。したがって、ユーザ端末１００がインストール通知情報を送信する際には、通信セッションが確立される前に送信されることになる。

[0869] （３）上記実施形態では、リワード処理部２４５は、ユーザ端末１００の送客先アプリ２０のＳＤＫ１１Ｂから報酬付与通知情報を取得したことに基づいてＣＰリワード処理を実行する例を説明したが、これに限られるものではない。例えば、送客先アプリ２０に対応するアプリサーバ３２０から報酬付与通知情報を取得したことに基づいてＣＰリワード処理を実行してもよい。この場合、報酬付与通知情報（成果地点到達通知）には、送客先アプリ２０のアプリＩＤとアプリユーザＩＤ、キャンペーンＩＤ、成果地点ＩＤ（RewardSpotID）を含めるようにすればよい。

例えば、管理サーバ２００のリワード処理部２４５は、アプリサーバ３２０から送信された報酬付与通知情報（成果地点到達通知）を取得する。次に、リワード処理部２４５は、インストール情報記憶部２３６に記憶されるインストール情報から、送客先アプリ２０のアプリＩＤとアプリユーザＩＤに対応したインストール情報を特定し、特定したインストール情報に対応したリワードユーザＩＤを逆引きする。そして、リワード処理部２４５は、逆引きしたリワードユーザＩＤと送客先アプリ２０に対する送客情報の記録が送客情報管理部２２３において管理されていることに基づいて、当該送客情報に対応したリワード管理ＩＤに関連付けて、取得した報酬付与通知情報に含まれる成果地点ＩＤ（RewardSpotID）を設定し、成立状態（RewardStatus）をフラグ「０」（未通知）とするリワード成立情報を生成し、リワード成立情報記憶部２３８に記憶させる。この後の処理は上記実施形態と同じである。このように、報酬付与通知情報（成果地点到達通知）をアプリサーバ３２０から送信することで、ユーザ端末１００（ＳＤＫ１１Ｂ）の処理の負担を

減らすことができる。

[0870] （４）上記実施形態では、リワードユーザＩＤが、最初に対象アプリケーションがインストールされたときに、インストールされたユーザ端末１００を一意に識別可能な固有識別情報（相互送客システム５００においてユニークな固有識別情報）として生成される例を説明したが、これに限られるものではない。例えば、ユーザ端末１００に固有に設定されている端末識別番号や電話番号（例えば、スマートフォンの場合）をリワードユーザＩＤとしてもよい。しかしながら、端末識別番号や電話番号等のような個人情報を利用せずに、本実施形態のようにリワードユーザＩＤを生成して利用する方がセキュリティ性を高めることができる。また、リワードユーザＩＤとして、端末識別番号や電話番号等を利用せずに、相互送客システム５００においてユニークな固有識別情報を採用することで、ユーザが所有するユーザ端末１００（端末装置の一例）を買い替え等で変更する場合でも、所定の手続きを経てリワードユーザＩＤを変更後のユーザ端末１００に移行することで、変更前のユーザ端末１００からの状態を維持して相互送客システム５００を利用することが可能となる。

[0871] また、図１４のステップＳＡ２５のアプリ一覧ページを表示する処理と、アプリケーションリストからダウンロードする対象アプリケーションが選択されたときに送客情報を送信する処理とは、ＳＤＫ１１が実行する処理に代えて、ＳＤＫ１１の処理とは関係のないユーザ端末１００にインストールされている他のアプリケーション（例えば、ブラウザ）が起動して実行されてもよい。例えば、管理サーバ２００からユーザ端末１００においてブラウザにリダイレクトされるようなアプリ一覧ページのデータを生成してユーザ端末１００に送信することにより、ユーザ端末１００においてブラウザが起動して、当該アプリ一覧ページが表示されるようにしてもよい。また、このアプリ一覧ページのデータにリスト要求通知情報に含まれる送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）を含めて送信することにより、アプリ一覧ページで選択された送客先アプリ２０（ゲームＢ）のアプリＩＤ（ApID）

と、送客元アプリ１０（ゲームＡ）のアプリＩＤ（ApID）と、リワードユーザＩＤ（RewardUID）とを含む送客情報を、上述のブラウザから管理サーバ２００に対して送信されるようにしてもよい。

[0872] また、ＣＰリワード処理においても、通常リワード処理と同様に送客先アプリ２０がインストールされたことに基づいて実行されるようにしてもよい。この場合、送客先アプリ２０における報酬付与条件を、送客先アプリ２０がユーザ端末１００にインストールされたこととしてもよい。

また、キャンペーンを実施する全ての特定アプリケーションが、送客先アプリ２０がインストールされたことが最初の成果地点とするならば、当該成果地点の達成に対応する報酬付与通知情報の送客先アプリ２０からの送付を行わなくてもよい。この場合には、管理サーバ２００が、通常リワードと同様な報酬付与処理を行い、アプリサーバ３１０に対してキャンペーンＩＤを含む報酬付与情報を送信することにより、アプリサーバ３１０から通常リワードに相当するＣＰリワードによる報酬が付与されるようになる。具体的には、図１５のフローチャートにおけるステップＳＥ２２の判定処理を行わずに、ＣＰリワードと通常リワードのどちらでも、ステップＳＥ２３～２４の処理を行わせればよい。

[0873] （５）上記実施形態では、相互送客システム５００に対応する対象アプリケーションとしてゲームを例に説明したが、この対象アプリケーションはゲームに限られるものではなく、ゲーム以外のいずれのアプリケーションであってもよい。

[0874] また、管理サーバ２００の記憶部２３０は、管理サーバ２００とは異なるサーバ装置に備えられてもよい。そして、管理サーバ２００の管理部２２０または制御部２４０が管理サーバ２００とは異なるサーバ装置に備えられた記憶部２３０に対してネットワークＮＷを介して通信することにより、記憶部２３０が備える各部が記憶する各情報を管理してもよい。

[0875] また、管理サーバ２００とアプリサーバ３００とが一体となったサーバ装置として構成されてもよい。

[0876] また、上記実施形態において、ＳＤＫ１０１１（２０１１、３０１１）は、リスト要求部１０４とリスト取得部１０９とを異なる構成として備える場合について説明したが、リスト要求部１０４がリスト取得部１０９を含み、リスト要求部１０４がリスト取得部１０９として機能する構成としてもよい。また、ＳＤＫ１０１１（２０１１、３０１１）は、インストール通知部１０３と仮インストール通知部１０８とを異なる構成として備える場合について説明したが、インストール通知部１０３が仮インストール通知部１０８を含み、インストール通知部１０３が仮インストール通知部１０８としてする構成としてもよい。

[0877] また、上記第３及び第４の実施形態において、ＳＤＫ１０１１Ａの未インストール情報取得部１１１が、リワードユーザＩＤを含む未インストール情報要求通知情報を管理サーバ２００ａに対して送信する場合について説明したが、これに限定されるものではない。例えば、未インストール情報取得部１１１が、リワードユーザＩＤを含まずに、対象アプリケーションのアプリＩＤを含む未インストール情報要求通知情報を管理サーバ２００に対して送信してもよい。この場合、管理サーバ２００の未インストール情報通知部２４８は、対象アプリ情報記憶部２３１に記憶されている対象アプリケーション情報のうち、対象アプリケーションのアプリＩＤ以外の全ての対象アプリケーションを抽出し、抽出した対象アプリケーションに対応するアプリＩＤ（ApID）と、ＵＲＬスキーム（ApURI）とを未インストール情報として、ユーザ端末１００に送信してもよい。

[0878] （６）上述の管理部２２０、制御部２４０（２４０ａ、２４０ｂ、２４０ｃ、２４０ｄ）、ＳＤＫ１１（１０１１、２０１１、３０１１）、または専用アプリ６０の機能を実現するためのプログラムをコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録して、この記録媒体に記録されたプログラムをコンピュータシステムに読み込ませ、実行することにより上述の各部の処理を行ってもよい。ここで、「記録媒体に記録されたプログラムをコンピュータシステムに読み込ませ、実行する」とは、コンピュータシステムにプログラムをイン

ストールすることを含む。ここでいう「コンピュータシステム」とは、ＯＳや周辺機器等のハードウェアを含むものとする。また、「コンピュータシステム」は、インターネットやＷＡＮ、ＬＡＮ、専用回線等の通信回線を含むネットワークを介して接続された複数のコンピュータ装置を含んでもよい。また、「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、フレキシブルディスク、光磁気ディスク、ＲＯＭ、ＣＤ－ＲＯＭ等の可搬媒体、コンピュータシステムに内蔵されるハードディスク等の記憶装置のことをいう。このように、プログラムを記憶した記録媒体は、ＣＤ－ＲＯＭ等の非一過性の記録媒体であってもよい。また、記録媒体には、当該プログラムを配信するために配信サーバからアクセス可能な内部または外部に設けられた記録媒体も含まれる。配信サーバの記録媒体に記憶されるプログラムのコードは、端末装置で実行可能な形式のプログラムのコードと異なるものでもよい。すなわち、配信サーバからダウンロードされて端末装置で実行可能な形でインストールができるものであれば、配信サーバで記憶される形式は問わない。なお、プログラムを複数に分割し、それぞれ異なるタイミングでダウンロードした後に端末装置で合体される構成や、分割されたプログラムのそれぞれを配信する配信サーバが異なっていてもよい。さらに「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、ネットワークを介してプログラムが送信された場合のサーバやクライアントとなるコンピュータシステム内部の揮発性メモリ（ＲＡＭ）のように、一定時間プログラムを保持しているものも含むものとする。また、上記プログラムは、上述した機能の一部を実現するためのものであってもよい。さらに、上述した機能をコンピュータシステムにすでに記録されているプログラムとの組み合わせで実現できるもの、いわゆる差分ファイル（差分プログラム）であってもよい。

[0879] また、上述した機能の一部または全部を、ＬＳＩ（Ｌａｒｇｅ Ｓｃａｌｅ Ｉｎｔｅｇｒａｔｉｏｎ）等の集積回路として実現してもよい。上述した各機能は個別にプロセッサ化してもよいし、一部、または全部を集積してプロセッサ化してもよい。また、集積回路化の手法はＬＳＩに限らず専用回

路、または汎用プロセッサで実現してもよい。また、半導体技術の進歩によりＬＳＩに代替する集積回路化の技術が出現した場合、当該技術による集積回路を用いてもよい。

符号の説明

[0880] １、１ａ、１ｂ、１ｃ、１ｄ　ネットワークシステム、１０　送客元アプリ、１０Ａ、１０Ｂ、１０Ｃ、１０－１、１０－２、１０－３、１０－４、１０－５、１０－６　対象アプリケーション、１１、１１Ａ、１１Ｂ、１０１１、１０１１Ａ、２０１１、２０１１Ａ、３０１１、３０１１Ａ　ＳＤＫ、２０　送客先アプリ、３０　ストア、６０　専用アプリケーション、１００　ユーザ端末、１０１　初期化処理部、１０２　固有識別情報取得部、１０３　インストール通知部、１０４　リスト要求部、１０５　表示制御部、１０６　送客情報通知部、１０７　報酬付与通知部、１０８　仮インストール通知部、１０９　リスト取得部、１１０　入力部、１１１　未インストール情報取得部、１２０　表示部、１３０　端末通信部、１４０　端末記憶部、１５０　端末制御部、２００、２００ａ、２００ｂ、２００ｃ、２００ｄ　管理サーバ、２１０　通信部、２２０　管理部、２２１　アプリケーション管理部、２２２　インストール情報管理部、２２３　送客情報管理部、２３０　記憶部、２３１　対象アプリ情報記憶部、２３２　通常リワード情報記憶部、２３３　アプリ間フィルタ記憶部、２３４　キャンペーン情報記憶部、２３５　キャンペーン参加アプリ情報記憶部、２３６　インストール情報記憶部、２３７　送客情報記憶部、２３８　リワード成立情報記憶部、２４０、２４０ａ、２４０ｂ、２４０ｃ、２４０ｄ　制御部、２４１　インストール通知取得部、２４２　リスト通知部、２４３　送客情報取得部、２４４　インストール誘導指示部、２４５リワード処理部、２４６　計時部、２４７　仮インストール通知取得部、２４８　未インストール情報通知部、２４９　他端末情報抽出部、２４９ａ　情報抽出部、３００　アプリサーバ、３１０　アプリサーバ（ゲームＡ）、３２０　アプリサーバ（ゲームＢ）、４００　アプリストア、５００、５００ａ、５００ｂ、５００ｃ、５００ｄ

相互送客システム

請求の範囲

[請求項1] 管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得する第１情報取得部と、

前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、

を備えることを特徴とする管理装置。

[請求項2] 前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことにより前記報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項１に記載の管理装置。

[請求項3] 前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項１に記載の管理装置。

[請求項4] 前記リワード処理部は、

前記第１情報取得部が前記第２アプリケーションに対応する前記第１情報を取得した場合に、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたと判定する

ことを特徴とする請求項１から３の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項5] 前記アプリケーション管理部は、

前記複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定された第１の期間に関する情報を管理し、

前記第２情報通知部は、

前記第１の期間が設定された対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の前記第１の期間が設定された対象アプリケーションを示す情報を含む前記第２情報を前記端末装置に対して送信し、

前記リワード処理部は、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項１に記載の管理装置。

[請求項6] 前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことにより前記報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項５に記載の管理装置。

[請求項7] 前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置によ

り実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項５に記載の管理装置。

[請求項8] 前記リワード処理部は、

前記第１情報取得部が前記第２アプリケーションに対応する前記第１情報を取得したタイミングが前記第１の期間内である場合に、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたと判定する

ことを特徴とする請求項５から７の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項9] 前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、当該報酬付与条件が充足されたことを示す報酬付与通知情報を、前記端末装置により実行された前記第２アプリケーション又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置から取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づく報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項３または７に記載の管理装置。

[請求項10] 前記第１情報取得部は、

前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、及び前記第１情報を送信した対象アプリケーションの識別情報と関連付けて前記第１情報を取得し、

前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、及び前記対象アプリケーションの識別情報を関連付けた管理情報を管理する第１情報管理部、

を備えることを特徴とする請求項１から９の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項11] 対象アプリケーションのユーザ情報を取得するアプリユーザ情報取

得部、

を備え、

前記第１情報管理部は、前記管理情報に前記対象アプリケーションのユーザ情報を関連付けて管理する

ことを特徴とする請求項１０に記載の管理装置。

[請求項12] 対象アプリケーションにおけるユーザ情報を取得するアプリユーザ情報取得部、

を備え、

前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記第１アプリケーションのユーザ情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信する

ことを特徴とする請求項１から１１の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項13] 前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報を取得する送客情報取得部と、

前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する送客情報管理部と、

を備え、

前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行された又は実行可能な状態になった場合に、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されていることを条件として、前記報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項１から１２の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項14] 前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報を取得する送客情報取得部と、

前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する送客情報管理部と、

を備え、

前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションに設定された前記報酬付与条件が充足された場合に、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されていることを条件として、前記報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項３または７に記載の管理装置。

[請求項15] 前記送客情報管理部は、

前記第２アプリケーションの識別情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報と関連付けて前記送客情報の記録として管理する

ことを特徴とする請求項１３または１４に記載の管理装置。

[請求項16] 前記送客情報管理部は、

前記第２アプリケーションの識別情報を、前記第１アプリケーションの識別情報と関連付けて前記送客情報の記録として管理する

ことを特徴とする請求項１３から１５の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項17] 前記送客情報取得部は、

前記送客情報として、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報と関連付けて取得し、

前記送客情報管理部は、

前記送客情報に関連付けられた前記固有識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報を関連付けて前記送客情報の記録として管理する

ことを特徴とする請求項１３から１６の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項18] 前記送客情報取得部が取得した前記送客情報に関連付けられた前記第２アプリケーションの識別情報に基づいて、前記第２アプリケーションをインストール可能な画面を前記端末装置に表示させるための情報を、前記端末装置に送信する画面情報通知部、

を備えることを特徴とする請求項１７に記載の管理装置。

[請求項19] 前記リワード処理部は、

前記第１の期間が設定された対象アプリケーションのうちの一部又は全部に対して、前記第１の期間と重複しない別期間が設定された場合に、前記端末装置において前記第２アプリケーションに設定された前記第１の期間に対応した前記報酬付与処理を実施済みである場合には、前記別期間に対応した前記報酬付与処理をしない

ことを特徴とする請求項５から８の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項20] 前記アプリケーション管理部は、

前記第１の期間の一部または全部を含み前記第１の期間の最後より後に終了する第２の期間の少なくとも終了期限に関する情報を管理し、

前記リワード処理部は、

前記第２の期間内に前記報酬付与条件が充足されたことに基づいて前記報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項７に記載の管理装置。

[請求項21] 前記アプリケーション管理部は、

前記第１の期間の一部または全部を含み前記第１の期間の最後より後に終了する第２の期間の少なくとも終了期限に関する情報を管理し、

前記リワード処理部は、

前記第２の期間内に前記第２アプリケーションから前記報酬付与条

件が充足されたことを示す報酬付与通知情報を取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づく前記報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項７または２０に記載の管理装置。

[請求項22] 前記第２アプリケーションに対応して前記報酬付与条件は複数設けられており、

前記リワード処理部は、

前記複数の前記報酬付与条件のいずれかが前記第２の期間内に充足されたことに基づいて前記報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項２０に記載の管理装置。

[請求項23] 前記第２アプリケーションに対応して前記報酬付与条件は複数設けられており、

前記リワード処理部は、

前記複数の前記報酬付与条件のいずれかが充足されたことに基づいて前記第２アプリケーションから第２の期間内に前記報酬付与通知情報を取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づく前記報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項２１に記載の管理装置。

[請求項24] 前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれは、前記第２アプリケーションによる処理において設定された複数の成果地点のそれぞれに到達するタイミングであり、

前記リワード処理部は、

前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、前記第２アプリケーションから前記複数の成果地点のうちの到達した成果地点を示す成果地点情報が関連付けられた前記報酬付与通知情報を取得するとともに、当該取得した前記成果地点情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信する

ことを特徴とする請求項２３に記載の管理装置。

[請求項25] 前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれは、前記第２アプリケーションによる処理において設定された複数の成果地点のそれぞれに到達するタイミングであり、

前記リワード処理部は、

前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、前記第２アプリケーションから前記複数の成果地点のいずれかに到達したことを示す到達情報が関連付けられた前記報酬付与通知情報を取得するとともに、当該取得する毎に前記報酬付与通知情報の取得回数に応じた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信する

ことを特徴とする請求項２３に記載の管理装置。

[請求項26] 前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれは、前記第２アプリケーションによる処理において設定された複数の成果地点のそれぞれに到達するタイミングであり、

前記リワード処理部は、

前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、前記第２アプリケーションから前記複数の成果地点のいずれかに到達したことを示す到達情報が関連付けられた前記報酬付与通知情報を取得するとともに、当該取得した前記到達情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信する

ことを特徴とする請求項２３に記載の管理装置。

[請求項27] 前記端末装置は、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報で特定され、

前記固有識別情報は、前記複数の対象アプリケーションのうちの最初に前記端末装置にインストールされた対象アプリケーションが起動

したことを条件として取得され、前記端末装置により実行されたいずれの対象アプリケーションからも参照可能なように前記端末装置に記憶されている

ことを特徴とする請求項１から２６の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項28] 前記第１情報、又は第２情報を、前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置を介して前記端末装置と通信、若しくは直接的に前記端末装置と通信する送受信部、

を備えることを特徴とする請求項１から２７の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項29] 前記送受信部は、前記第１アプリケーション又は前記第２アプリケーションと、それぞれに対応するサーバ装置を介して通信セッションを確立させた後で、直接的に前記端末装置と通信する

ことを特徴とする請求項２８に記載の管理装置。

[請求項30] 管理の対象となる複数の対象アプリケーションの一部または全部の対象アプリケーションである特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するアプリケーション管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、及び当該実行された対象アプリケーションの識別情報と関連付けて、前記端末装置から取得する第１情報取得部と、

前記第１情報取得部が取得した前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、及び前記対象アプリケーションの識別情報を関連付けて管理する第１情報管理部と、

前記アプリケーション管理部及び前記第１情報管理部を参照して、

前記特定アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の前記特定アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される前記特定アプリケーションのうちの第２アプリケーションの識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報と関連付けて、前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報として前記端末装置から取得する送客情報取得部と、

前記送客情報取得部が取得した前記送客情報に関連付けられた前記第２アプリケーションの識別情報に基づいて前記第２アプリケーションをインストール可能な画面を、前記端末装置に表示させるための情報を前記端末装置に送信する画面情報通知部と、

前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報が関連付けられた報酬付与通知情報を、前記端末装置により実行された前記第２アプリケーション又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置から取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づいて、前記固有識別情報に関連付けられた前記第１アプリケーションのユーザ情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信するリワード処理部と、

を備えることを特徴とする管理装置。

[請求項31] 前記第１情報、前記第２情報、前記送客情報、前記インストール可能な画面を前記端末装置に表示させるための情報、又は前記報酬付与通知情報を、前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置を介して前記端末装置と通信、若しくは直接的に前記端末装置と通信する送受信部、

を備えることを特徴とする請求項３０に記載の管理装置。

[請求項32] 前記送受信部は、前記第１アプリケーション又は前記第２アプリケーションと、それぞれに対応するサーバ装置を介して通信セッションを確立させた後で、直接的に前記端末装置と通信する

ことを特徴とする請求項３１に記載の管理装置。

[請求項33] 管理装置における管理方法であって、

管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するステップと、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得するステップと、

前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信するステップと、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記送信した前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をするステップと、

を含むことを特徴とする管理方法。

[請求項34] 管理装置における管理方法であって、

管理の対象となる複数の対象アプリケーションの一部または全部の対象アプリケーションである特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するステップと、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、及び当該実行された対象アプリケーションの識別情報と関連付けて、前記端末装置から取得するステップと、

前記取得した前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、及び前記対象アプリケーションの識別情報を関連付けて管理するステップと、

前記特定アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の前記特定アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信するステップと、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記送信した前記第２情報により示される前記特定アプリケーションのうちの第２アプリケーションの識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報と関連付けて、前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報として前記端末装置から取得するステップと、

前記取得した前記送客情報に関連付けられた前記第２アプリケーションの識別情報に基づいて前記第２アプリケーションをインストール可能な画面を、前記端末装置に表示させるための情報を前記端末装置に送信するステップと、

前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報が関連付けられた報酬付与通知情報を、前記端末装置により実行された前記第２アプリケーション又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置から取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づいて、前記固有識別情報に関連付けられた前記第１アプリケーションのユーザ情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信するステップと、

を含むことを特徴とする管理方法。

[請求項35] コンピュータに、

管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するステップと、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得するステップと、

前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信するステップと、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記送信した前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこ

とに基づいて報酬付与処理をするステップと、

を実行させるためのプログラム。

[請求項36] コンピュータに、

管理の対象となる複数の対象アプリケーションの一部または全部の対象アプリケーションである特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するステップと、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、及び当該実行された対象アプリケーションの識別情報と関連付けて、前記端末装置から取得するステップと、

前記取得した前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、及び前記対象アプリケーションの識別情報を関連付けて管理するステップと、

前記特定アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の前記特定アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信するステップと、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記送信した前記第２情報により示される前記特定アプリケーションのうちの第２アプリケーションの識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報と関連付けて、前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報として前記端末装置から取得するステップと、

前記取得した前記送客情報に関連付けられた前記第２アプリケーションの識別情報に基づいて前記第２アプリケーションをインストール

可能な画面を、前記端末装置に表示させるための情報を前記端末装置に送信するステップと、

前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報が関連付けられた報酬付与通知情報を、前記端末装置により実行された前記第２アプリケーション又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置から取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づいて、前記固有識別情報に関連付けられた前記第１アプリケーションのユーザ情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信するステップと、

を実行させるためのプログラム。

[請求項37] 管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得する第１情報取得部と、

前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの

第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、

を備えることを特徴とする管理装置。

[請求項38] 管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得する第１情報取得部と、

前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを特定可能な情報を第２情報として前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、

を備えることを特徴とする管理装置。

[請求項39] 前記第１情報取得部は、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが前記端末装置により実行された場合、前記端末装置の当該対象アプリケーションから送信された前記第１情報を取得し、

前記リワード処理部は、

前記端末装置の前記第２アプリケーションから送信された前記第１情報を取得したことに基づいて報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項３８に記載の管理装置。

[請求項40] 管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理

するアプリケーション管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置の当該対象アプリケーションから送信された第１情報を取得する第１情報取得部と、

前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションから送信された前記第１情報を取得したことに基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、

を備えることを特徴とする管理装置。

[請求項41] 管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報及び前記第１情報を送信した対象アプリケーションの識別情報と関連付けて取得する第１情報取得部と、

前記第１情報を送信した対象アプリケーションのユーザ情報を取得するアプリユーザ情報取得部と、

前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、前記第１情報を送信した対象アプリケーションの識別情報、及び前記第１情報を送信

した対象アプリケーションのユーザ情報、を関連付けて管理情報として管理する第１情報管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションの識別情報、前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報、及び前記第１アプリケーションの識別情報が関連付けられた、前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報を取得する送客情報取得部と、

前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する送客情報管理部と、

前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行された場合に、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されていることを条件として、前記第１情報管理部が管理する前記管理情報に基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、

を備えることを特徴とする管理装置。

[請求項42] 管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報及び前記第１情報を送信した対象アプリケーションの識別情報と関連付

けて取得する第１情報取得部と、

前記第１情報を送信した対象アプリケーションのユーザ情報を取得するアプリユーザ情報取得部と、

前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、前記第１情報を送信した対象アプリケーションの識別情報、及び前記第１情報を送信した対象アプリケーションのユーザ情報、を関連付けて管理情報として管理する第１情報管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記複数の対象アプリケーションのうちの少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、

前記第２情報を送信したことに応じて前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションの識別情報、前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報、及び前記第１アプリケーションの識別情報が関連付けられた、前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報を取得する送客情報取得部と、

前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する送客情報管理部と、

前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行された場合に、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されていることを条件として、前記第１情報管理部が管理する前記管理情報に基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、

を備えることを特徴とする管理装置。

[請求項43] 前記リワード処理部は、

前記報酬付与処理として、前記第１情報管理部が管理する前記管理

情報に基づいて、前記第１アプリケーションのユーザ情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信する

ことを特徴とする請求項４１または４２に記載の管理装置。

[請求項44] 前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行され、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足された場合に、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されていることを条件として、前記報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項４１から４３のいずれか一項に記載の管理装置。

[請求項45] 管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得する第１情報取得部と、

前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記第１情報取得部が取得した前記第１情報に基づいて、前記複数の対象アプリケーションの中から、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを抽出し、当該抽出した対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの

第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、

を備えることを特徴とする管理装置。

[請求項46] 前記第１情報は、前記端末装置において前記対象アプリケーションを識別可能な識別情報と関連付けられている

ことを特徴とする請求項４５に記載の管理装置。

[請求項47] 前記第１情報取得部が取得した前記第１情報を管理する第１情報管理部、

を備え、

前記第２情報通知部は、

前記第１情報管理部が管理する前記第１情報に基づいて、前記複数の対象アプリケーションの中から、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを抽出し、当該抽出した対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する

ことを特徴とする請求項４５または４６に記載の管理装置。

[請求項48] 管理の対象となる複数の対象アプリケーションに関する情報を管理するアプリケーション管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得する第１情報取得部と、

前記第１情報取得部が取得した前記第１情報を管理する第１情報管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記第１情報管理部が管理する前記第１情報に基づいて、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーション

を示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、

を備えることを特徴とする管理装置。

[請求項49] 前記第２情報通知部は、

前記第１情報管理部が管理する前記第１情報に基づいて、前記複数の対象アプリケーションの中から、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを抽出し、当該抽出した対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する

ことを特徴とする請求項４８に記載の管理装置。

[請求項50] 管理の対象となる複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定された第１の期間に関する情報を管理するアプリケーション管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得する第１情報取得部と、

前記第１の期間が設定された対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションであって、前記第１の期間が設定された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の前記第１の期間が設定された対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送

信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたことに基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、

を備えることを特徴とする管理装置。

[請求項51] 前記リワード処理部は、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたか否かを判定し、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたと判定した場合に、報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項５０に記載の管理装置。

[請求項52] 前記リワード処理部は、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたか否かを判定し、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたと判定し、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足された場合に、報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項５０に記載の管理装置。

[請求項53] 前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された前記第１情報を前記１第情報取得部が取得した場合、前記アプリケーション管理部が管理する前記第２アプリケーションに対して設定された前記第１の期間に関する情報を参照して、当該取得したタイミングが前記第２アプリケーションに設定された前記第１の期間内であるか否かを判定することにより、前記

第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたか否かを判定する

ことを特徴とする請求項５０から５２のいずれか一項に記載の管理装置。

[請求項54] 前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された前記第１情報を前記１第情報取得部が取得した場合、前記アプリケーション管理部が管理する複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定された前記第１の期間に関する情報を参照して、前記第１アプリケーションと前記第２アプリケーションとに前記第１の期間が設定されているか否かを判定し、前記第１の期間が設定されていると判定した場合に、当該取得したタイミングが前記第１の期間内であるか否かを判定することにより、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたか否かを判定する

ことを特徴とする請求項５０から５２のいずれか一項に記載の管理装置。

[請求項55] 前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報を取得する送客情報取得部と、

前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する送客情報管理部と、

を備え、

前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行された場合、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報であって、前記第１の期間が設定されていることを示す情報が関連付けられている前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されていることを条件として、報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項５０から５４のいずれか一項に記載の管理装置。

[請求項56] 前記送客情報取得部は、

前記送客情報を、前記第１の期間が設定されていることを示す情報と関連付けて取得し、

前記送客情報管理部は、

前記送客情報取得部が取得した、前記第１の期間が設定されていることを示す情報が関連付けられた前記送客情報を管理する

ことを特徴とする請求項５５に記載の管理装置。

[請求項57] 前記送客情報管理部は、

前記第１アプリケーションに設定されている前記第１の期間が設定されていることを示す情報を関連付けて、前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する

ことを特徴とする請求項５５に記載の管理装置。

[請求項58] 前記第２情報通知部は、

前記第１の期間が設定された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の前記第１の期間が設定された対象アプリケーションを示す情報のみの前記第２情報を前記端末装置に対して送信する

ことを特徴とする請求項５７に記載の管理装置。

[請求項59] 前記送客情報管理部は、

前記アプリケーション管理部が管理する複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定された前記第１の期間に関する情報を参照して、前記送客情報取得部が取得した前記送客情報により示される前記第１アプリケーションと前記第２アプリケーションとに前記第１の期間が設定されているか否かを判定し、前記第１の期間が設定されていると判定した場合には、前記第１の期間が設定されていることを示す情報を関連付けて前記送客情報を管理する

ことを特徴とする請求項５５に記載の管理装置。

[請求項60] 前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報を取得する送客情報取得部と、

前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する送客情報管理部と、

を備え、

前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行された場合、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されており、且つ前記送客情報により示される前記第２アプリケーションと前記第１アプリケーションとに前記第１の期間が設定されていることを条件として、報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項５０から５４のいずれか一項に記載の管理装置。

[請求項61] 前記リワード処理部は、

前記アプリケーション管理部が管理する複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定された前記第１の期間に関する情報を参照して、前記第２アプリケーションと前記第１アプリケーションとに前記第１の期間が設定されているか否かを判定する

ことを特徴とする請求項６０に記載の管理装置。

[請求項62] 管理の対象となる複数の対象アプリケーションの一部または全部に対して設定された第１の期間に関する情報を管理するアプリケーション管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得する第１情報取得部と、

前記第１の期間が設定された対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションであって、前記第１の期間が設定された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記アプリケーション管理部が管理する前記第１の期間に関する情報と、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報と、を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたことに基づいて報酬付与処理をするリワード処理部と、

を備えることを特徴とする管理装置。

[請求項63] 管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちの複数の特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するアプリケーション管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得する第１情報取得部と、

前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合には、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置

により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をし、前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されていない場合には、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて前記報酬付与処理をするリワード処理部と、

を備えることを特徴とする管理装置。

[請求項64] 前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合には、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことにより、前記報酬付与処理として第１の報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項６３に記載の管理装置。

[請求項65] 前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合には、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記報酬付与処理として第１の報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項６３に記載の管理装置。

[請求項66] 前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されていない場合には、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことにより、前記報酬付与処理として第２の報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項６３から６５の何れか１項に記載の管理装置。

[請求項67] 前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されてい

ない場合には、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記報酬付与処理として第２の報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項６３から６５の何れか１項に記載の管理装置。

[請求項68] 前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションに設定された前記報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記報酬付与条件が充足されたことを示す報酬付与通知情報を、前記端末装置により実行された前記第２アプリケーション又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置から取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づく前記報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項６５または６７に記載の管理装置。

[請求項69] 前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションに前記第１の期間が設定されている場合であっても、当該第２アプリケーションが前記第１の期間外に実行された又は実行可能な状態になったときは、前記第２の報酬付与処理をする

ことを特徴とする請求項６６または６７に記載の管理装置。

[請求項70] 前記リワード処理部は、

前記第１情報取得部が前記第２アプリケーションに対応する前記第１情報を取得した場合に、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたと判定する

ことを特徴とする請求項６３から６９の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項71] 前記リワード処理部は、

前記第１情報取得部が前記第２アプリケーションに対応する前記第

１情報を取得したタイミングが前記第１の期間内であるか否かに応じて、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内又は前記第１の期間外のいずれで前記端末装置により実行されたかを判定する

ことを特徴とする請求項６３から７０の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項72] 前記アプリケーション管理部は、

前記第２情報に基づく掲載の禁止を設定する設定側アプリケーションと、当該設定側アプリケーションにおける前記第２情報に基づく掲載が禁止される被設定側アプリケーションとを関連付けた第１の掲載禁止情報を管理し、

前記第２情報通知部は、

前記アプリケーション管理部が管理している前記第１の掲載禁止情報を参照して、前記第１アプリケーションを前記被設定側アプリケーションに設定している前記第１の掲載禁止情報がある場合は、当該設定側アプリケーションを示す情報を前記第２情報から除いた残りの情報を前記端末装置に対して送信する

ことを特徴とする請求項６３から７１の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項73] 前記第２情報通知部は、

前記アプリケーション管理部が管理している前記第１の掲載禁止情報を参照して、前記第１アプリケーションを前記設定側アプリケーションに設定している第１の掲載禁止情報がある場合は、当該被設定側アプリケーションを示す情報を前記第２情報から除いた残りの情報を、前記端末装置に対して送信する

ことを特徴とする請求項７２に記載の管理装置。

[請求項74] 前記アプリケーション管理部は、

前記第２情報に基づく掲載が禁止される被設定側アプリケーションが登録された第２の掲載禁止情報を管理し、

前記第２情報通知部は、

前記アプリケーション管理部が管理している前記第２の掲載禁止情報を参照して、前記第２の掲載禁止情報により示される前記被設定側アプリケーションと前記第１アプリケーションとに対して前記第１の期間が設定されていないときは、当該被設定側アプリケーションを示す情報を除いた前記第２情報を、前記端末装置に対して送信する

ことを特徴とする請求項６３から７３の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項75] 前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合に前記報酬付与処理として行う第１の報酬付与処理により付与される第１の報酬を示す情報の掲載場所のリンク先を示す情報を管理する第１報酬情報管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのそれぞれと、前記第１の期間が設定されていない場合に前記報酬付与処理として行う第２の報酬付与処理により付与される第２の報酬を示す情報とを対応付けた第２報酬情報を管理する第２報酬情報管理部と、

を備え、

前記第２情報通知部は、

前記複数の対象アプリケーションのうちの前記第１アプリケーションとの間で前記第１の期間が設定されていない対象アプリケーションを示す情報には、前記第２の報酬を示す情報が関連付けられた前記第２情報を前記端末装置に対して送信し、一方、前記複数の対象アプリケーションのうちの前記第１アプリケーションとの間で前記第１の期間が設定されている対象アプリケーションを示す情報には、前記リンク先を示す情報が関連付けられた前記第２情報を前記端末装置に対して送信する

ことを特徴とする請求項６３から７４の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項76] 前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報を取得する送客情報取得部と、

前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する送客情報管理部と、

を備え、

前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又実行可能な状態になった場合に、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されていることを条件として、前記報酬付与処理を実行する

ことを特徴とする請求項６３から７５の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項77] 前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報を取得する送客情報取得部と、

前記送客情報取得部が取得した前記送客情報を管理する送客情報管理部と、

を備え、

前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションに設定された前記報酬付与条件が充足された場合に、前記第２アプリケーションに対応する前記送客情報が前記送客情報管理部で管理されていることを条件として、前記報酬付与処理を実行する

ことを特徴とする請求項６５または６７に記載の管理装置。

[請求項78] 前記送客情報管理部は、

前記第２アプリケーションの識別情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報と関連付けて前記送客情報の記録として管理する

ことを特徴とする請求項７６または７７に記載の管理装置。

[請求項79] 前記送客情報管理部は、

前記第２アプリケーションの識別情報を、前記第１アプリケーションの識別情報と関連付けて前記送客情報の記録として管理する

ことを特徴とする請求項７６から７８の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項80] 前記送客情報取得部は、

前記送客情報として、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報と関連付けて、取得し、

前記送客情報管理部は、

前記送客情報に関連付けられた前記固有識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報を関連付けて前記送客情報の記録として管理する

ことを特徴とする請求項７６から７９の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項81] 前記送客情報取得部が取得した前記送客情報に関連付けられた前記第２アプリケーションの識別情報に基づいて、前記第２アプリケーションをインストール可能な画面を前記端末装置に表示させるための情報を、前記端末装置に送信する画面情報通知部、

を備えることを特徴とする請求項８０に記載の管理装置。

[請求項82] 前記リワード処理部は、

前記複数の特定アプリケーションのうちの一部又は全部に対して、前記第１の期間と重複しない別期間が設定された場合に、前記第２アプリケーションに設定された前記第１の期間に対応した前記報酬付与処理を前記端末装置において実施済みである場合には、前記別期間に対応した前記報酬付与処理をしない

ことを特徴とする請求項６３から８１の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項83] 前記リワード処理部は、

前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合に前記報酬付与処理として行う第１の報酬付与処理、及び前記第１の期間が設定されていない場合に前記報酬付与処理として行う第２の報酬付与処理のうちの少なくとも一方を前記端末装置において実施済みである場合には、他方の報酬付与処理をしない

ことを特徴とする請求項６３から８２の何れか一項に記載の管理装置。

[請求項84] 管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちの複数の特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するアプリケーション管理部と、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、及び当該実行された対象アプリケーションの識別情報と関連付けて、前記端末装置から取得する第１情報取得部と、

前記第１情報取得部が取得した前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、及び前記対象アプリケーションの識別情報を関連付けて管理する第１情報管理部と、

前記アプリケーション管理部及び前記第１情報管理部を参照して、前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信する第２情報通知部と、

前記第２情報通知部が前記第２情報を送信したことに応じて、前記第２情報通知部から送信された前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションの識別情報、前記第１ア

プリケーションの識別情報、及び前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報と関連付けて、前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報として前記端末装置から取得する送客情報取得部と、

前記送客情報取得部が取得した前記送客情報に関連付けられた前記第２アプリケーションの識別情報に基づいて前記第２アプリケーションをインストール可能な画面を、前記端末装置に表示させるための情報を前記端末装置に送信する画面情報通知部と、

前記端末装置で選択された前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合には、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに対応して設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報が関連付けられた報酬付与通知情報を、前記端末装置により実行された前記第２アプリケーション又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置から取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づいて、前記固有識別情報に関連付けられた前記第１アプリケーションのユーザ情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信する報酬付与処理をし、前記端末装置で選択された前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されていない場合には、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて、前記報酬付与処理をするリワード処理部と、

を備えることを特徴とする管理装置。

[請求項85] 管理装置における管理方法であって、

管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちの複数の特定

アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するステップと、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得するステップと、

前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信するステップと、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記送信した前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合には、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をし、前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されていない場合には、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて前記報酬付与処理をするステップと、

を含むことを特徴とする管理方法。

[請求項86] 管理装置における管理方法であって、

管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちの複数の特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するステップと、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送

信された第１情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、及び当該実行された対象アプリケーションの識別情報と関連付けて、前記端末装置から取得するステップと、

前記取得した前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、及び前記対象アプリケーションの識別情報を関連付けて管理するステップと、

前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信するステップと、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記送信した前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションの識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報と関連付けて、前記第１アプリケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報として前記端末装置から取得するステップと、

前記取得した前記送客情報に関連付けられた前記第２アプリケーションの識別情報に基づいて前記第２アプリケーションをインストール可能な画面を、前記端末装置に表示させるための情報を前記端末装置に送信するステップと、

前記端末装置で選択された前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合には、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに対応して設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報が関連付けられた報酬付与通知情報を、前記端末装置により実

行された前記第２アプリケーション又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置から取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づいて、前記固有識別情報に関連付けられた前記第１アプリケーションのユーザ情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信する報酬付与処理をし、前記端末装置で選択された前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されていない場合には、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて、前記報酬付与処理をするステップと、

を含むことを特徴とする管理方法。

[請求項87] コンピュータに、

管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちの複数の特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するステップと、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を取得するステップと、

前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信するステップと、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記送信した前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合には、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと

又は実行可能な状態になったことに基づいて報酬付与処理をし、前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されていない場合には、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて前記報酬付与処理をするステップと、

を実行させるためのプログラム。

[請求項88] コンピュータに、

管理の対象となる複数の対象アプリケーションのうちの複数の特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理するステップと、

前記複数の対象アプリケーションのうちのいずれかの対象アプリケーションが端末装置により実行された場合、当該対象アプリケーションが前記端末装置により実行されたことに応じて前記端末装置から送信された第１情報を、前記端末装置に対応付けられた固有識別情報、及び当該実行された対象アプリケーションの識別情報と関連付けて、前記端末装置から取得するステップと、

前記取得した前記第１情報に関連付けられた前記固有識別情報、及び前記対象アプリケーションの識別情報を関連付けて管理するステップと、

前記複数の対象アプリケーションのうち前記端末装置により実行された第１アプリケーションに基づく要求を受けることにより、前記端末装置から前記第１情報を取得していない少なくとも一の対象アプリケーションを示す情報を含む第２情報を前記端末装置に対して送信するステップと、

前記第２情報を送信したことに応じて、前記送信した前記第２情報により示される対象アプリケーションのうちの第２アプリケーションの識別情報、前記第１アプリケーションの識別情報、及び前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報と関連付けて、前記第１アプリ

ケーションから前記第２アプリケーションへの送客を示す送客情報として前記端末装置から取得するステップと、

前記取得した前記送客情報に関連付けられた前記第２アプリケーションの識別情報に基づいて前記第２アプリケーションをインストール可能な画面を、前記端末装置に表示させるための情報を前記端末装置に送信するステップと、

前記端末装置で選択された前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されている場合には、前記第２アプリケーションが前記第１の期間内に前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったこと、且つ前記第２アプリケーションに対応して設定された報酬付与条件が充足されたことに基づいて、前記端末装置に対応付けられた前記固有識別情報、及び前記第２アプリケーションの識別情報が関連付けられた報酬付与通知情報を、前記端末装置により実行された前記第２アプリケーション又は前記第２アプリケーションに対応するサーバ装置から取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に基づいて、前記固有識別情報に関連付けられた前記第１アプリケーションのユーザ情報が関連付けられた報酬付与情報を、前記端末装置により実行された前記第１アプリケーション又は前記第１アプリケーションに対応するサーバ装置に送信する報酬付与処理をし、前記端末装置で選択された前記第２アプリケーションに対して前記第１の期間が設定されていない場合には、前記第２アプリケーションが前記端末装置により実行されたこと又は実行可能な状態になったことに基づいて、前記報酬付与処理をするステップと、

を実行させるためのプログラム。

[請求項89] 複数の対象アプリケーションのうち、送客元となる対象アプリケーションから送客先となる対象アプリケーションへの送客を示す送客情報を管理し、前記送客情報に基づいて前記送客先の対象アプリケーションがインストールされたことを管理する管理装置と通信可能な端末

装置であって、

自端末装置にインストールされた一の対象アプリケーションにおいて、当該対象アプリケーションがインストールされたことを示すインストール通知情報を前記管理装置に対して送信するインストール通知部と、

前記一の対象アプリケーションにおける第１の操作に基づいて、前記複数の対象アプリケーションのうちの少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報を前記管理装置に対して要求する際に、前記一の対象アプリケーションを示す送客元情報を前記管理装置に対して送信する要求部と、

前記管理装置から取得した前記少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報により示される対象アプリケーションのうちから、第２の操作に基づいて選択された対象アプリケーションを示す送客先情報を、前記管理装置に対して送信する送客情報通知部と、

を備えることを特徴とする端末装置。

[請求項90] 前記管理装置は、複数の対象アプリケーションの一部又は全部の対象アプリケーションである特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報を管理し、

前記要求部は、

自端末装置にインストールされた一の特定アプリケーションにおける第１の操作に基づいて、前記特定アプリケーションのうちの少なくとも一つの特定アプリケーションを示す情報を前記管理装置に対して要求する際に、前記一の特定アプリケーションを示す情報を前記送客元情報として前記管理装置に対して送信し、

前記送客情報通知部は、

前記要求部からの要求に応じて前記管理装置から取得した前記少なくとも一つの特定アプリケーションを示す情報により示される特定アプリケーションのうちから、前記第１の期間において前記第２の操作

に基づいて選択された特定アプリケーションを示す情報を、前記送客先情報として前記管理装置に対して送信する

ことを特徴とする請求項８９に記載の端末装置。

[請求項91] 前記送客情報通知部は、

前記送客元情報と関連付けて、前記送客先情報を前記管理装置に対して送信する

ことを特徴とする請求項８９または９０に記載の端末装置。

[請求項92] 前記送客情報通知部は、

自端末装置に対応する固有識別情報と関連付けて、前記送客情報を前記管理装置に対して送信する

ことを特徴とする請求項８９から９１の何れか一項に記載の端末装置。

[請求項93] 前記インストール通知部は、

前記一の対象アプリケーションの識別情報、及び自端末装置に対応する固有識別情報と関連付けて、前記インストール通知情報を前記管理装置に対して送信する

ことを特徴とする請求項８９から９２の何れか一項に記載の端末装置。

[請求項94] 前記一の対象アプリケーションが前記複数の対象アプリケーションのうちの最初に自端末装置にインストールされた対象アプリケーションである場合、前記固有識別情報を取得し、取得した前記固有識別情報を、自端末装置にインストールされる他の対象アプリケーションからも参照可能なように記憶部に記憶させる固有識別情報取得部、

を備えることを特徴とする請求項９２または９３に記載の端末装置。

[請求項95] 前記固有識別情報取得部は、

前記固有識別情報が前記記憶部に記憶されているか否かを判定し、前記固有識別情報が前記記憶部に記憶されていないと判定した場合に

前記固有識別情報を取得する

ことを特徴とする請求項９４に記載の端末装置。

[請求項96] 前記一の対象アプリケーションに設定された報酬付与条件を充足した場合に、当該対象アプリケーションを示す前記送客先情報、及び前記固有識別情報と関連付けて、報酬付与通知情報を前記管理装置に対して送信する報酬付与通知部と、

を備えることを特徴とする請求項９２から９５の何れか一項に記載の端末装置。

[請求項97] 前記一の対象アプリケーションにおけるユーザ情報を前記固有識別情報と関連付けて前記管理装置に対して送信するアプリユーザ情報通知部、

を備え、

前記報酬付与通知部は、

前記報酬付与通知情報に関連付けられた前記固有識別情報に関連付けられている前記対象アプリケーションにおけるユーザ情報と関連付けて報酬付与情報を、前記端末装置にインストールされている前記対象アプリケーション又は前記対象アプリケーションに対応するサーバ装置に送信する前記管理装置に対して、前記報酬付与通知情報を送信する

ことを特徴とする請求項９６に記載の端末装置。

[請求項98] 前記管理装置は、複数の対象アプリケーションの一部又は全部の対象アプリケーションである特定アプリケーションに対して設定された第１の期間に関する情報と、前記第１の期間の一部または全部を含み前記第１の期間の最後より後に終了する第２の期間の少なくとも終了期限に関する情報とを管理し、

前記報酬付与通知部は、

前記第２の期間内に前記報酬付与通知部から通知された前記報酬付与通知情報を取得した場合に、当該取得した前記報酬付与通知情報に

基づく報酬付与情報を送信する前記管理装置に対して、前記報酬付与通知情報を送信する

ことを特徴とする請求項９６または９７に記載の端末装置。

[請求項99] 前記報酬付与条件は複数設けられており、

前記報酬付与通知部は、

前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、前記報酬付与通知情報をそれぞれ前記管理装置に対して送信する

ことを特徴とする請求項９６から９８の何れか一項に記載の端末装置。

[請求項100] 前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれは、前記対象アプリケーションによる処理において予め設定された複数の成果地点のそれぞれに到達する条件であり、

前記報酬付与通知部は、

複数の前記報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、前記複数の成果地点のうちの到達した成果地点を示す成果地点情報が関連付けられた前記報酬付与通知情報をそれぞれ前記管理装置に対して送信する

ことを特徴とする請求項９９に記載の端末装置。

[請求項101] 前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれは、前記対象アプリケーションによる処理において予め設定された複数の成果地点のそれぞれに到達する条件であり、

前記報酬付与通知部は、

前記複数の前記報酬付与条件のそれぞれが充足されたことに基づいて、前記複数の成果地点のいずれかに到達したことを示す到達情報が関連付けられた前記報酬付与通知情報を前記管理装置に対して送信する

ことを特徴とする請求項９９または１００に記載の端末装置。

[請求項102] 前記インストール通知情報、前記送客元情報、前記少なくとも一つ

の対象アプリケーションを示す情報、又は前記送客情報を、前記インストールされた対象アプリケーションに対応するサーバ装置又は前記選択された対象アプリケーションに対応するサーバ装置を介して前記管理装置と通信、若しくは直接的に前記管理装置と通信する送受信部、

を備えることを特徴とする請求項８９から１０１の何れか一項に記載の端末装置。

[請求項103] 前記送受信部は、前記インストールされた対象アプリケーション又は前記選択された対象アプリケーションと、それぞれに対応するサーバ装置を介して通信セッションを確立させた後で、直接的に前記管理装置と通信する

ことを特徴とする請求項１０２に記載の端末装置。

[請求項104] 前記インストール通知部の機能と、前記要求部の機能と、前記送客情報通知部の機能とが、前記複数の対象アプリケーションのそれぞれに組み込まれたソフトウェアに基づいて実行される

ことを特徴とする請求項８９から１０３の何れか一項に記載の端末装置。

[請求項105] 複数の対象アプリケーションのうち、送客元となる対象アプリケーションから送客先となる対象アプリケーションへの送客を示す送客情報を管理し、前記送客情報に基づいて前記送客先の対象アプリケーションがインストールされたことを管理する管理装置と通信可能な端末装置の制御方法であって、

自端末装置にインストールされた一の対象アプリケーションにおいて、当該対象アプリケーションがインストールされたことを示すインストール通知情報を前記管理装置に対して送信するステップと、

前記一の対象アプリケーションにおける第１の操作に基づいて、前記複数の対象アプリケーションのうちの少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報を前記管理装置に対して要求する際に、前記一

の対象アプリケーションを示す送客元情報を前記管理装置に対して送信するステップと、

前記管理装置から取得した前記少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報により示される対象アプリケーションのうちから、第２の操作に基づいて選択された対象アプリケーションを示す送客先情報を、前記管理装置に対して送信するステップと、

を含むことを特徴とする制御方法。

[請求項106] 複数の対象アプリケーションのうち、送客元となる対象アプリケーションから送客先となる対象アプリケーションへの送客を示す送客情報を管理し、前記送客情報に基づいて前記送客先の対象アプリケーションがインストールされたことを管理する管理装置と通信可能な端末装置が備えたコンピュータに、

自端末装置にインストールされた一の対象アプリケーションにおいて、当該対象アプリケーションがインストールされたことを示すインストール通知情報を前記管理装置に対して送信するステップと、

前記一の対象アプリケーションにおける第１の操作に基づいて、前記複数の対象アプリケーションのうちの少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報を前記管理装置に対して要求する際に、前記一の対象アプリケーションを示す送客元情報を前記管理装置に対して送信するステップと、

前記管理装置から取得した前記少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報により示される対象アプリケーションのうちから、第２の操作に基づいて選択された対象アプリケーションを示す送客先情報を、前記管理装置に対して送信するステップと、

を実行させるためのプログラム。

[請求項107] 複数の対象アプリケーションのうち、送客元となる対象アプリケーションから送客先となる対象アプリケーションへの送客を示す送客情報を管理し、前記送客情報に基づいて前記送客先の対象アプリケーシ

ョンがインストールされたことを管理する管理装置と通信可能な端末装置にインストールされるアプリケーションのプログラムに組み込まれるプログラムであって、

コンピュータに、

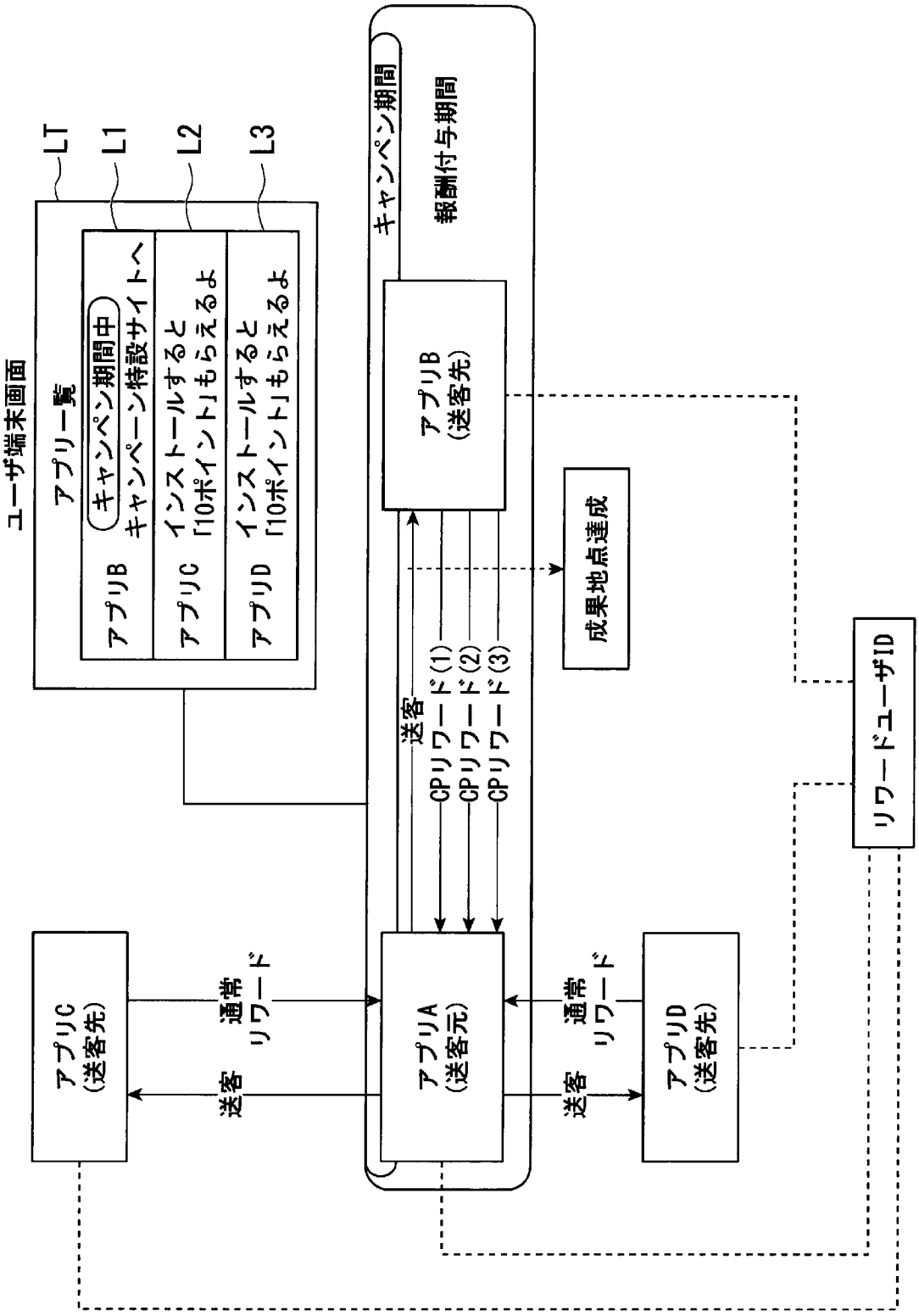
自端末装置にインストールされた一の対象アプリケーションにおいて、当該対象アプリケーションがインストールされたことを示すインストール通知情報を前記管理装置に対して送信するステップと、

前記一の対象アプリケーションにおける第１の操作に基づいて、前記複数の対象アプリケーションのうちの少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報を前記管理装置に対して要求する際に、前記一の対象アプリケーションを示す送客元情報を前記管理装置に対して送信するステップと、

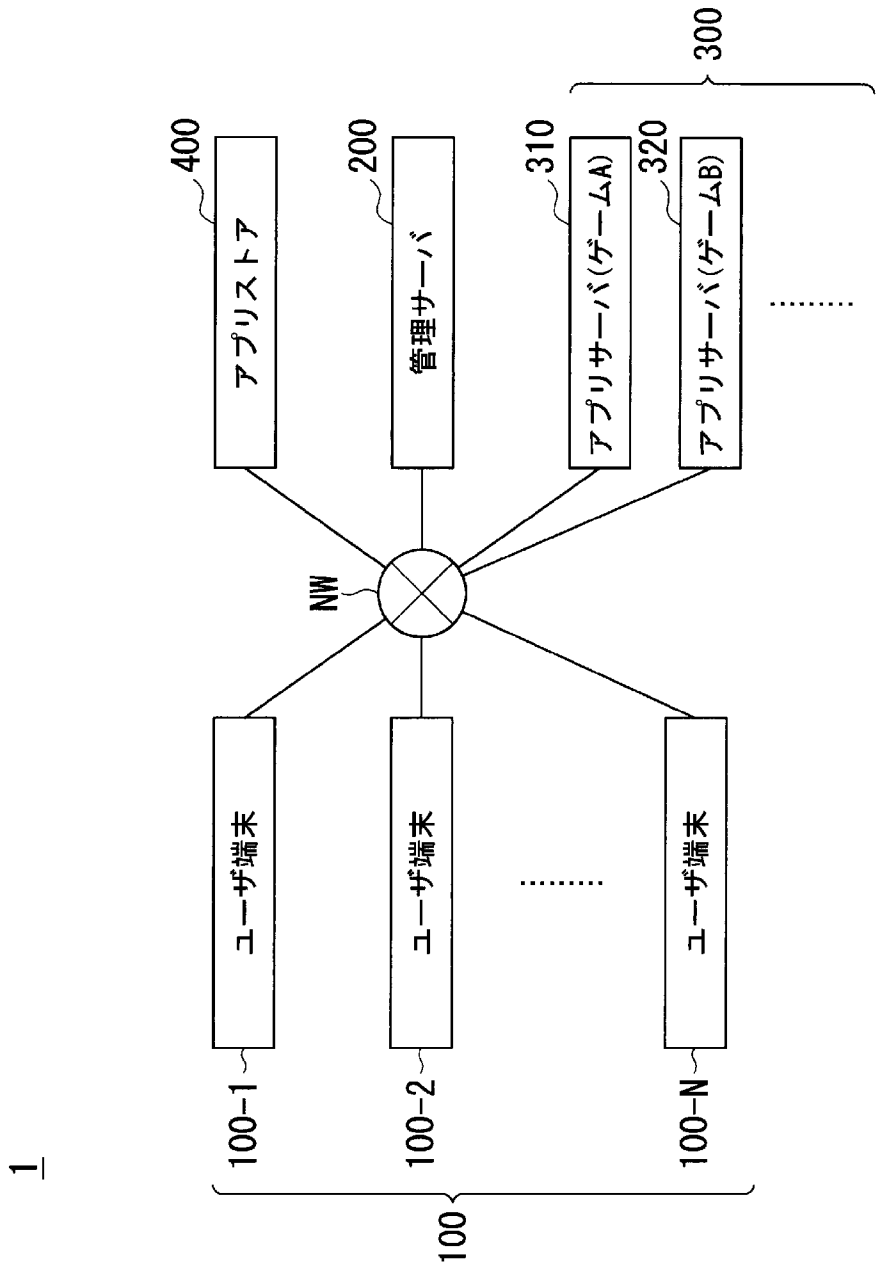
前記管理装置から取得した前記少なくとも一つの対象アプリケーションを示す情報により示される対象アプリケーションのうちから、第２の操作に基づいて選択された対象アプリケーションを示す送客先情報を、前記管理装置に対して送信するステップと、

を実行させるためのプログラム。

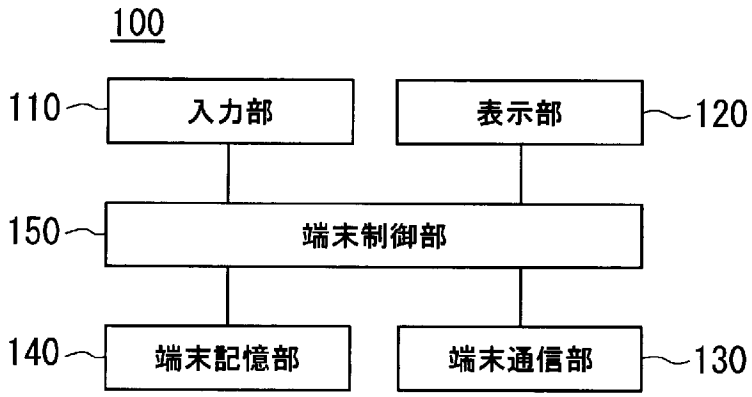
[図1]


ユーザ端末画面
アプリ一覧
LT
L1
L2
L3
アプリB
キャンペン期間中
キャンペーン特設サイトへ
アプリC
インストールすると
「10ポイントもらえるよ
アプリD
インストールすると
「10ポイントもらえるよ
キャンペン期間
報酬付与期間
アプリB
(送客先)
成果地点達成
送客
CPリワード(1)
CPリワード(2)
CPリワード(3)
リワードユーザID
アプリC
(送客先)
通常
リワード
送客
アプリA
(送客元)
通常
リワード
送客
アプリD
(送客先)

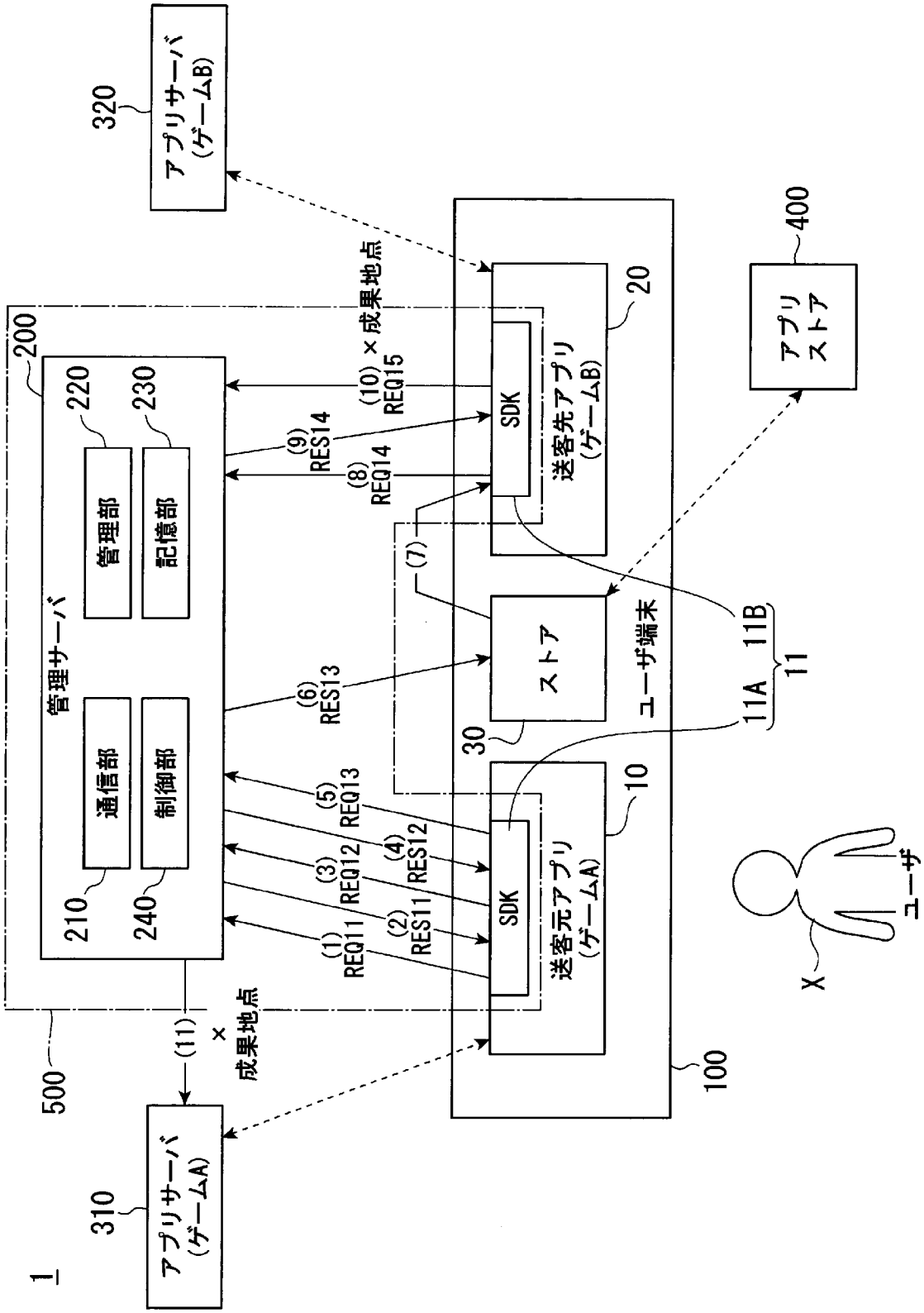
[図2]


1
100
100-1
100-2
100-N
ユーザ端末
ユーザ端末
ユーザ端末
NW
400
アプリストア
200
管理サーバ
300
310
アプリサーバ(ゲームA)
320
アプリサーバ(ゲームB)

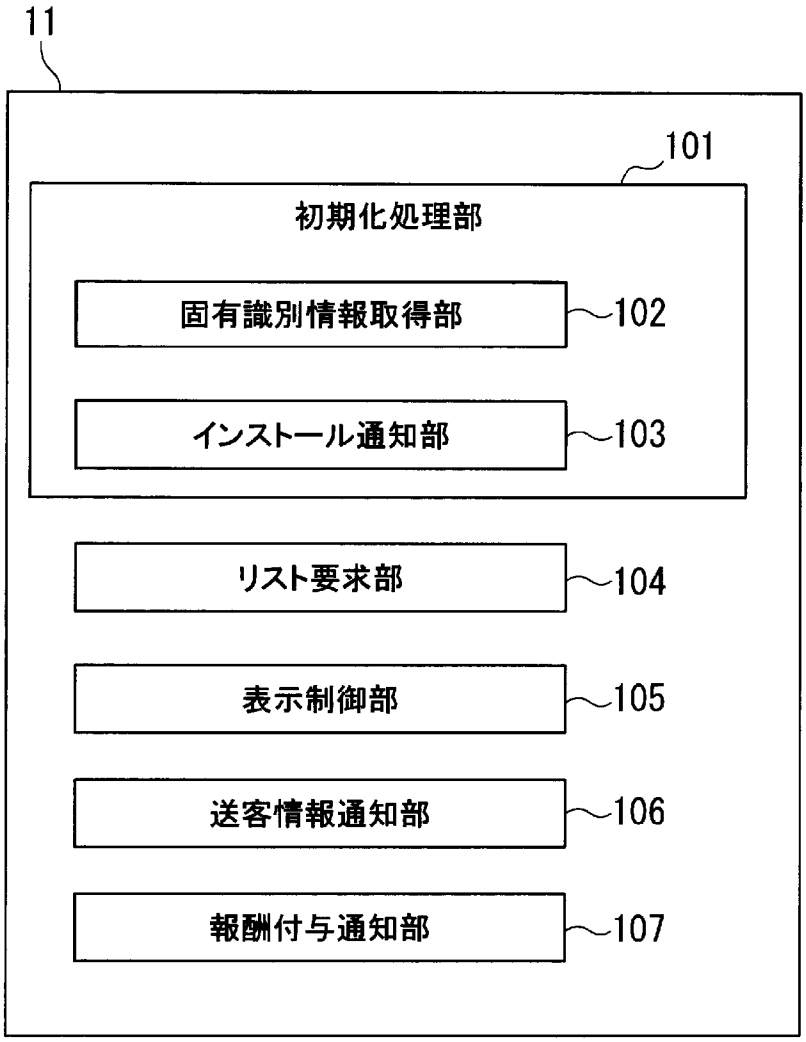
[図3]



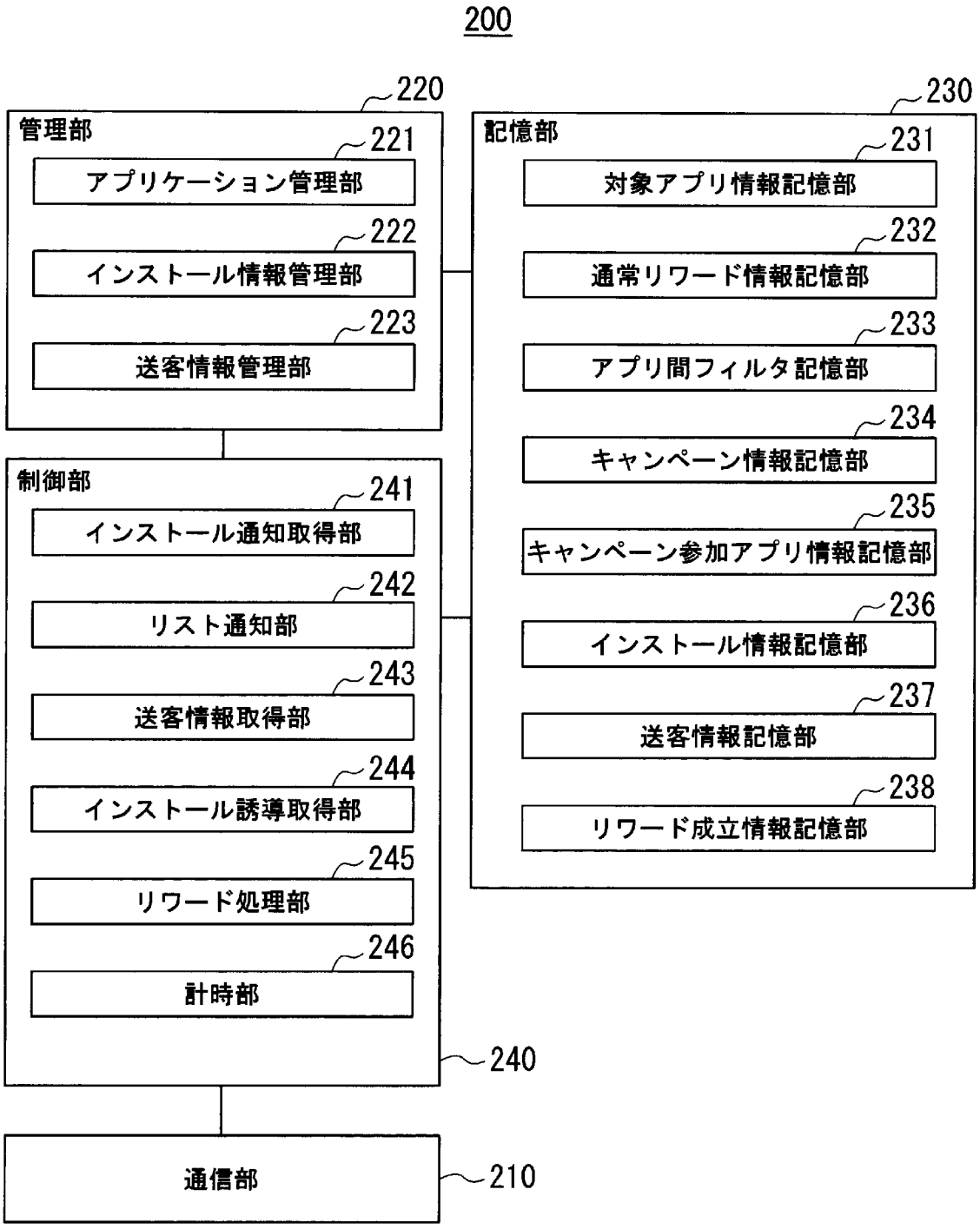
[図4]


1
100
200
210
220
230
240
310
320
400
500
管理サーバ
通信部
制御部
管理部
記憶部
アプリサーバ (ゲームA)
アプリサーバ (ゲームB)
アプリ ストア
ユーザ端末
11
11A
11B
10
20
30
SDK
送客元アプリ (ゲームA)
送客先アプリ (ゲームB)
ストア
ユーザ
X
(1) REQ11
(2) RES11
(3) REQ12
(4) RES12
(5) REQ13
(6) RES13
(7)
(8) REQ14
(9) RES14
(10) REQ15
(11)
× 成果地点
× 成果地点

[図5]


11
101
初期化処理部
固有識別情報取得部
102
インストール通知部
103
リスト要求部
104
表示制御部
105
送客情報通知部
106
報酬付与通知部
107

[図6]


200
220
管理部
221
アプリケーション管理部
222
インストール情報管理部
223
送客情報管理部
230
記憶部
231
対象アプリ情報記憶部
232
通常リワード情報記憶部
233
アプリ間フィルタ記憶部
234
キャンペーン情報記憶部
235
キャンペーン参加アプリ情報記憶部
236
インストール情報記憶部
237
送客情報記憶部
238
リワード成立情報記憶部
制御部
241
インストール通知取得部
242
リスト通知部
243
送客情報取得部
244
インストール誘導取得部
245
リワード処理部
246
計時部
240
通信部
210

[図7]

アプリID (ApID)	通知先URL (NoticeURL)	ストアURL (ApStoreURL)	アプリ名称 (ApNAME)	アプリ説明 (ApDOC)	アプリアイコン画像 (ApICO)	アプリ価格 (ApPRICE)

[図8]

アイテムID (ItemID)	アプリID (ApID)	最低価格 (min_price)	報酬アイテム名称 (ItemName)	報酬アイテム数 (ItemNum)

[図9]

キャンペーンID (CpID)	キャンペーン名 (CpNAME)	キャンペーン開始日時 (CpStartDATE)	キャンペーン終了日時 (CpEndDATE)	報酬付与開始日時 (Reward StartDATE)	報酬付与終了日時 (Reward EndDATE)

[図10]

キャンペーンID (CpID)	アプリID (ApID)	キャンペーンページURL (CpPageURL)

[図11]

リワード ユーザID (RewardUID)	アプリID (ApID)	アプリ ユーザID (ApUID)

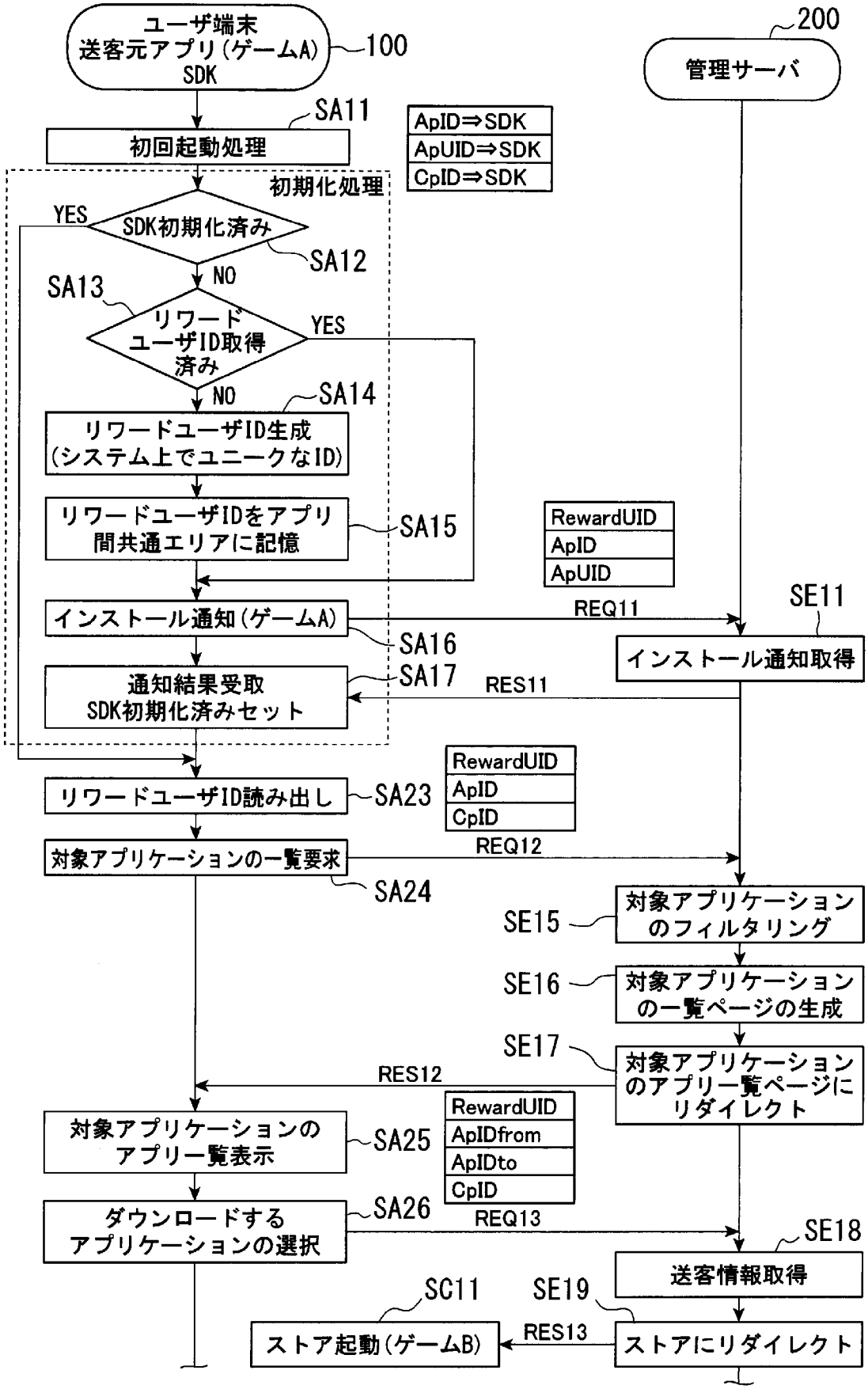
[図12]

リワード管理ID (RewardID)	リワードユーザID (RewardUID)	送客元アプリID (ApIDfrom)	送客先アプリID (ApIDto)	キャンペーンID (CpID)

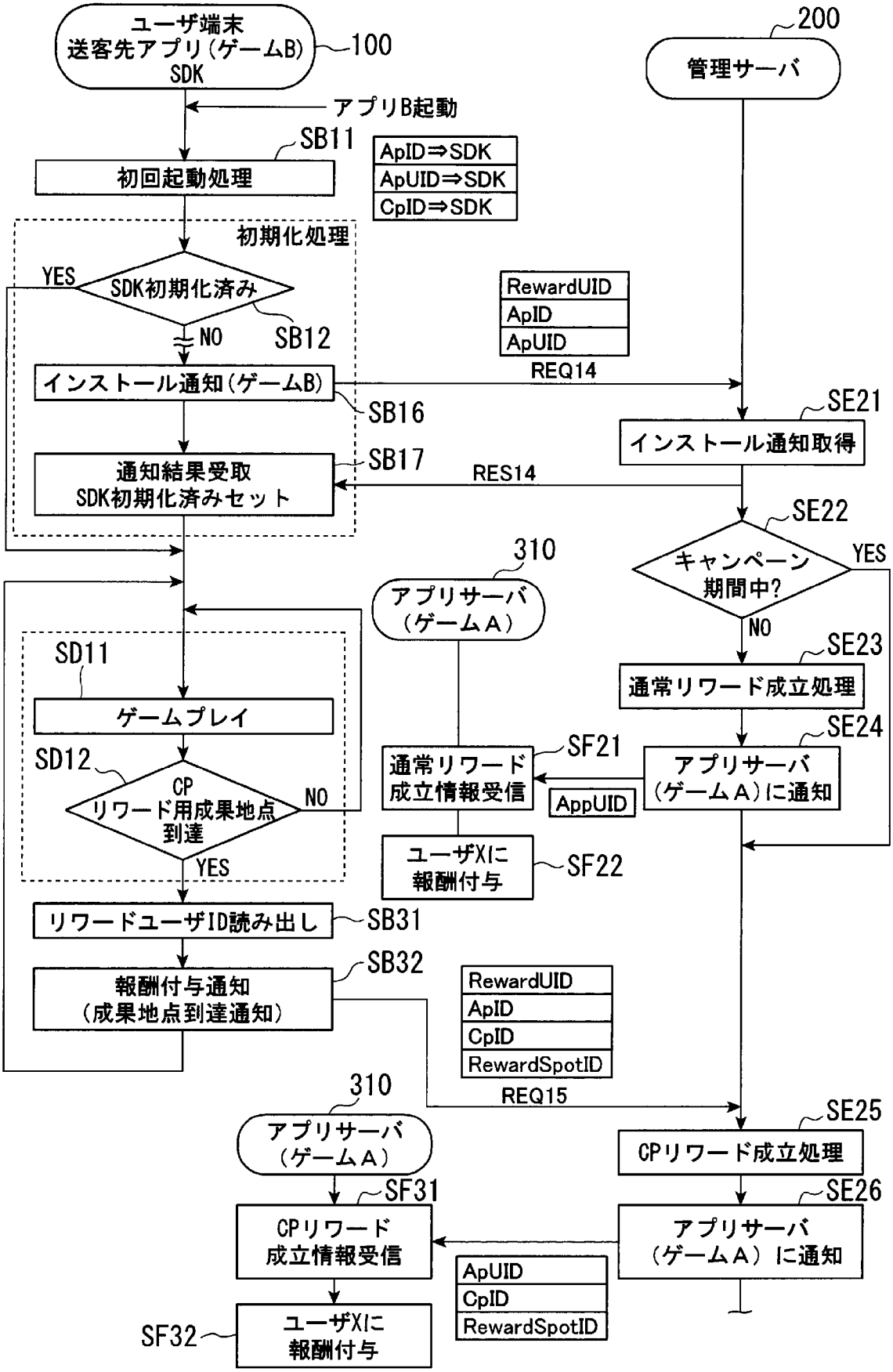
[図13]

リワード管理ID (RewardID)	成果地点ID (RewardSpotID)	成立状態 (RewardStatus)

[図14]


ユーザ端末
送客元アプリ(ゲームA)
SDK
100
200
管理サーバ
SA11
初回起動処理
ApID⇒SDK
ApUID⇒SDK
CpID⇒SDK
初期化処理
YES
SDK初期化済み
SA12
NO
SA13
リワード
ユーザID取得
済み
YES
NO
SA14
リワードユーザID生成
(システム上でユニークなID)
リワードユーザIDをアプリ
間共通エリアに記憶
SA15
RewardUID
ApID
ApUID
インストール通知(ゲームA)
REQ11
SE11
SA16
インストール通知取得
通知結果受取
SDK初期化済みセット
SA17
RES11
RewardUID
ApID
CpID
リワードユーザID読み出し
SA23
対象アプリケーションの一覧要求
REQ12
SA24
SE15
対象アプリケーション
のフィルタリング
SE16
対象アプリケーション
の一覧ページの生成
SE17
対象アプリケーション
のアプリ一覧ページに
リダイレクト
RES12
RewardUID
ApIDfrom
ApIDto
CpID
対象アプリケーションの
アプリ一覧表示
SA25
ダウンロードする
アプリケーションの選択
SA26
REQ13
SE18
送客情報取得
SC11
SE19
ストア起動(ゲームB)
RES13
ストアにリダイレクト

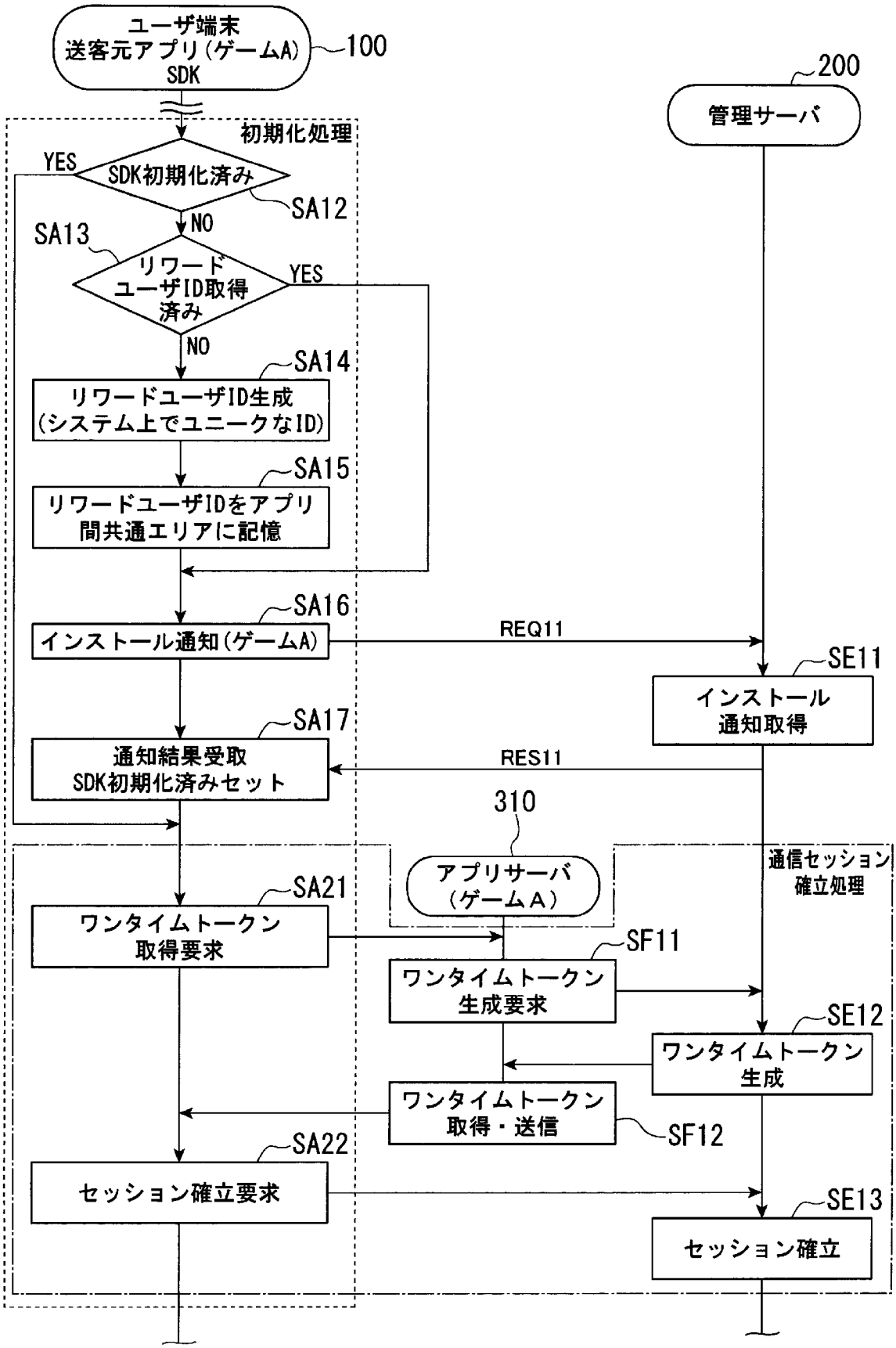
[図15]


ユーザ端末
送客先アプリ(ゲームB)
SDK
100
200
管理サーバ
アプリB起動
SB11
初回起動処理
ApID⇒SDK
ApUID⇒SDK
CpID⇒SDK
初期化処理
YES
SDK初期化済み
SB12
NO
RewardUID
ApID
ApUID
REQ14
インストール通知(ゲームB)
SB16
SE21
インストール通知取得
SB17
通知結果受取
SDK初期化済みセット
RES14
SE22
キャンペーン
期間中?
YES
NO
310
アプリサーバ
(ゲームA)
SE23
通常リワード成立処理
SD11
ゲームプレイ
SE24
SD12
CP
リワード用成果地点
到達
NO
YES
SF21
通常リワード
成立情報受信
AppUID
アプリサーバ
(ゲームA)に通知
ユーザXに
報酬付与
SF22
リワードユーザID読み出し
SB31
SB32
報酬付与通知
(成果地点到達通知)
RewardUID
ApID
CpID
RewardSpotID
REQ15
310
アプリサーバ
(ゲームA)
SE25
CPリワード成立処理
SF31
CPリワード
成立情報受信
SE26
アプリサーバ
(ゲームA)に通知
ApUID
CpID
RewardSpotID
SF32
ユーザXに
報酬付与

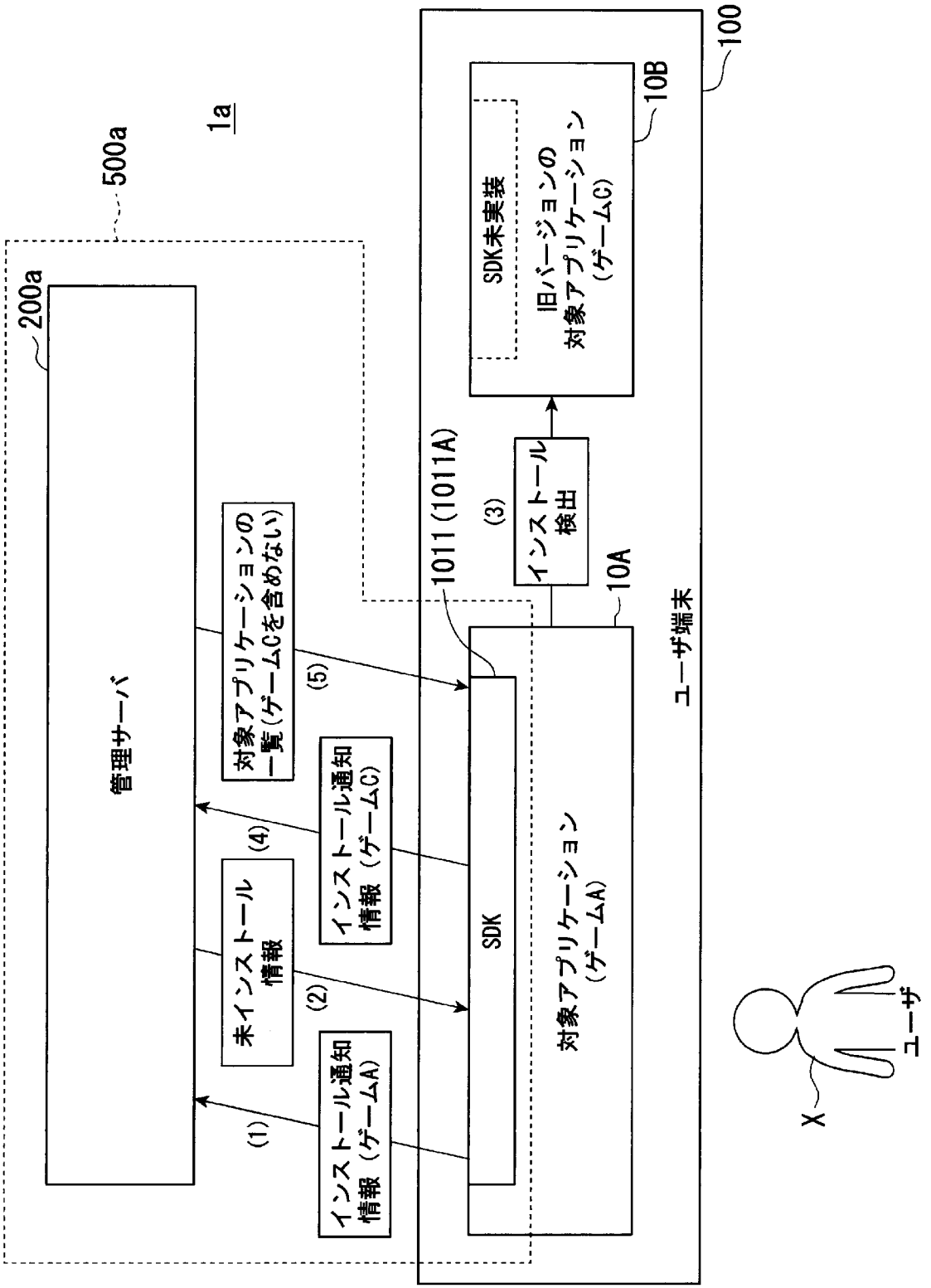
[図16]

フィルタID (FilterID)	ブロックする アプリID (ApIDfrom)	ブロックされる アプリID (ApIDto)

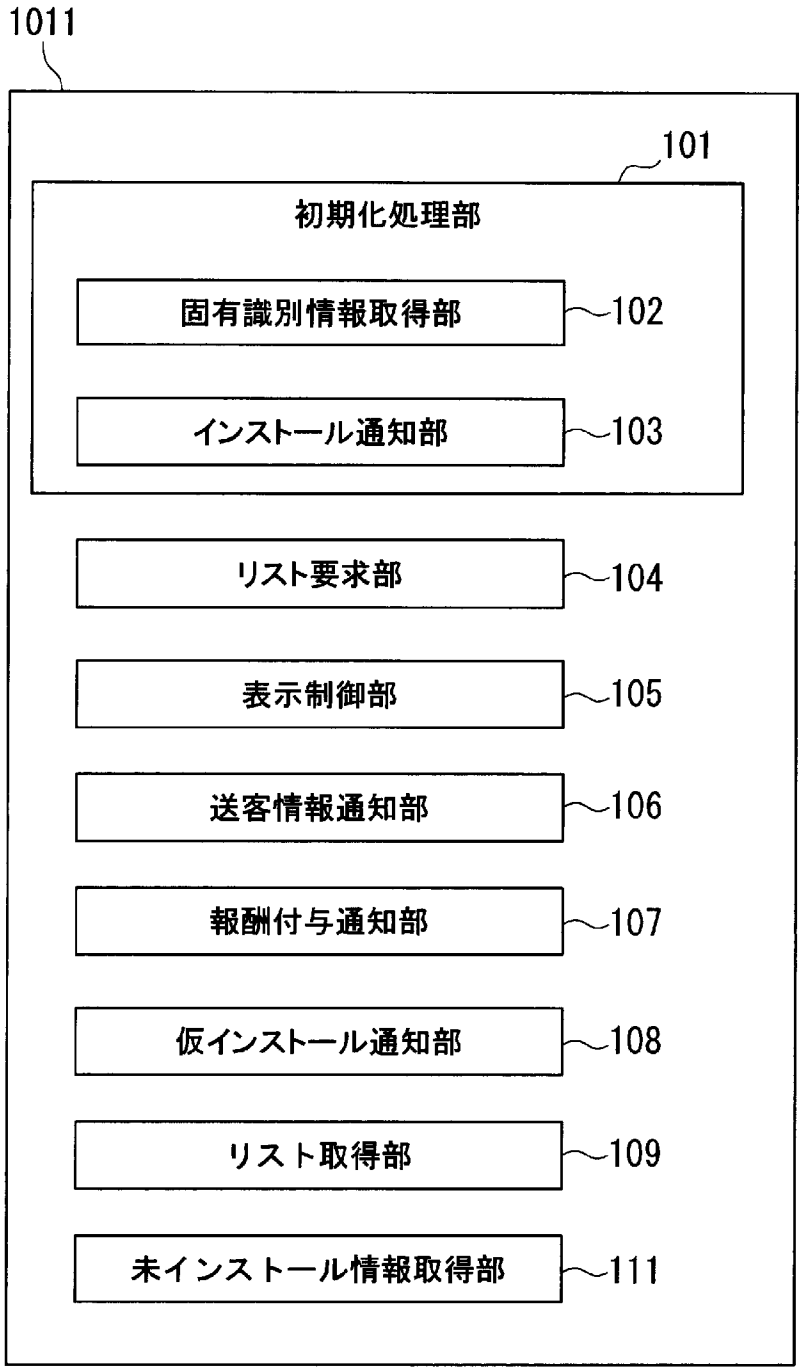
[図17]


ユーザ端末
送客元アプリ(ゲームA)
SDK
100
200
管理サーバ
初期化処理
YES
SDK初期化済み
SA12
NO
SA13
リワード
ユーザID取得
済み
YES
NO
SA14
リワードユーザID生成
(システム上でユニークなID)
SA15
リワードユーザIDをアプリ
間共通エリアに記憶
SA16
インストール通知(ゲームA)
REQ11
SE11
インストール
通知取得
SA17
通知結果受取
SDK初期化済みセット
RES11
310
アプリサーバ
(ゲームA)
通信セッション
確立処理
SA21
ワンタイムトークン
取得要求
SF11
ワンタイムトークン
生成要求
SE12
ワンタイムトークン
生成
ワンタイムトークン
取得・送信
SF12
SA22
セッション確立要求
SE13
セッション確立

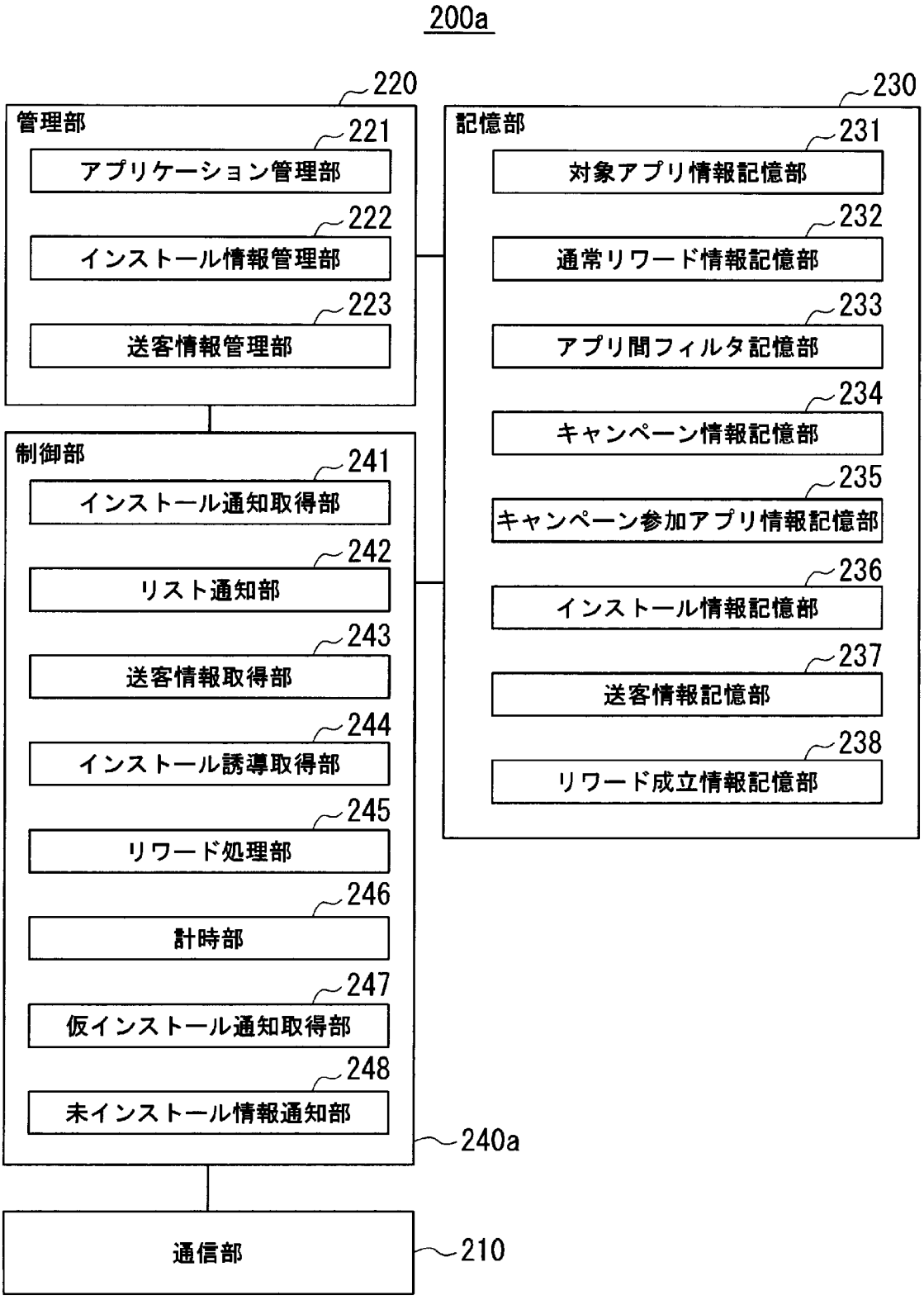
[図18]


1a
500a
200a
管理サーバ
100
ユーザ端末
10B
SDK未実装
旧バージョンの
対象アプリケーション
(ゲームC)
1011(1011A)
SDK
10A
対象アプリケーション
(ゲームA)
(1)
インストール通知
情報(ゲームA)
(2)
未インストール
情報
(3)
インストール
検出
(4)
インストール通知
情報(ゲームC)
(5)
対象アプリケーションの
一覧(ゲームCを含めない)
ユーザ
X

[図19]


1011
101
初期化処理部
固有識別情報取得部
102
インストール通知部
103
リスト要求部
104
表示制御部
105
送客情報通知部
106
報酬付与通知部
107
仮インストール通知部
108
リスト取得部
109
未インストール情報取得部
111

[図20]


200a
220
管理部
221
アプリケーション管理部
222
インストール情報管理部
223
送客情報管理部
230
記憶部
231
対象アプリ情報記憶部
232
通常リワード情報記憶部
233
アプリ間フィルタ記憶部
234
キャンペーン情報記憶部
235
キャンペーン参加アプリ情報記憶部
236
インストール情報記憶部
237
送客情報記憶部
238
リワード成立情報記憶部
制御部
241
インストール通知取得部
242
リスト通知部
243
送客情報取得部
244
インストール誘導取得部
245
リワード処理部
246
計時部
247
仮インストール通知取得部
248
未インストール情報通知部
240a
通信部
210

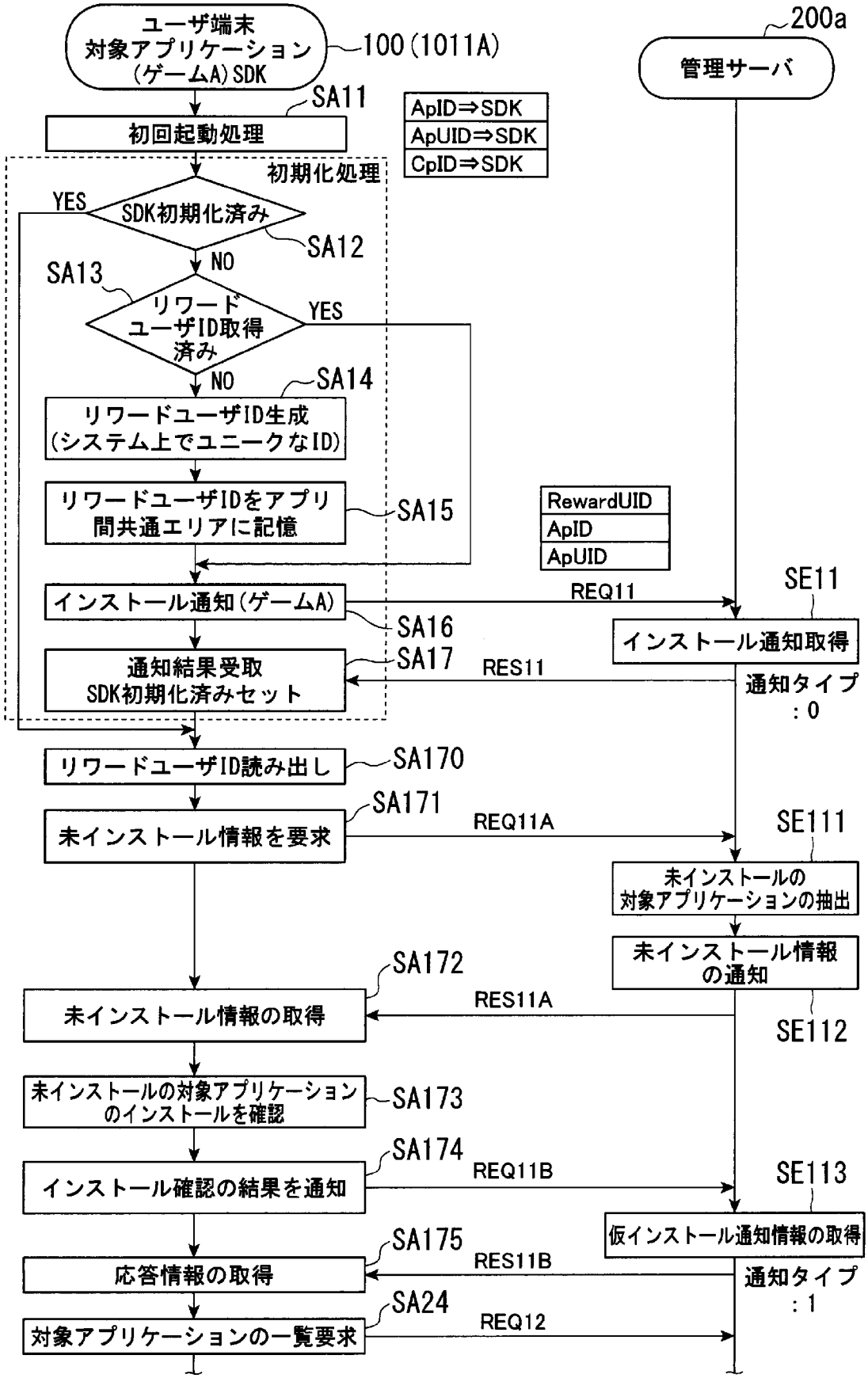
[図21]

アプリID (ApID)	通知先URL (NoticeURL)	ストアURL (ApStoreURL)	アプリURLスキーム (ApURI)	アプリ名称 (ApNAME)	アプリ説明 (ApDOC)	アプリアイコン画像 (ApICO)	アプリ価格 (ApPRICE)

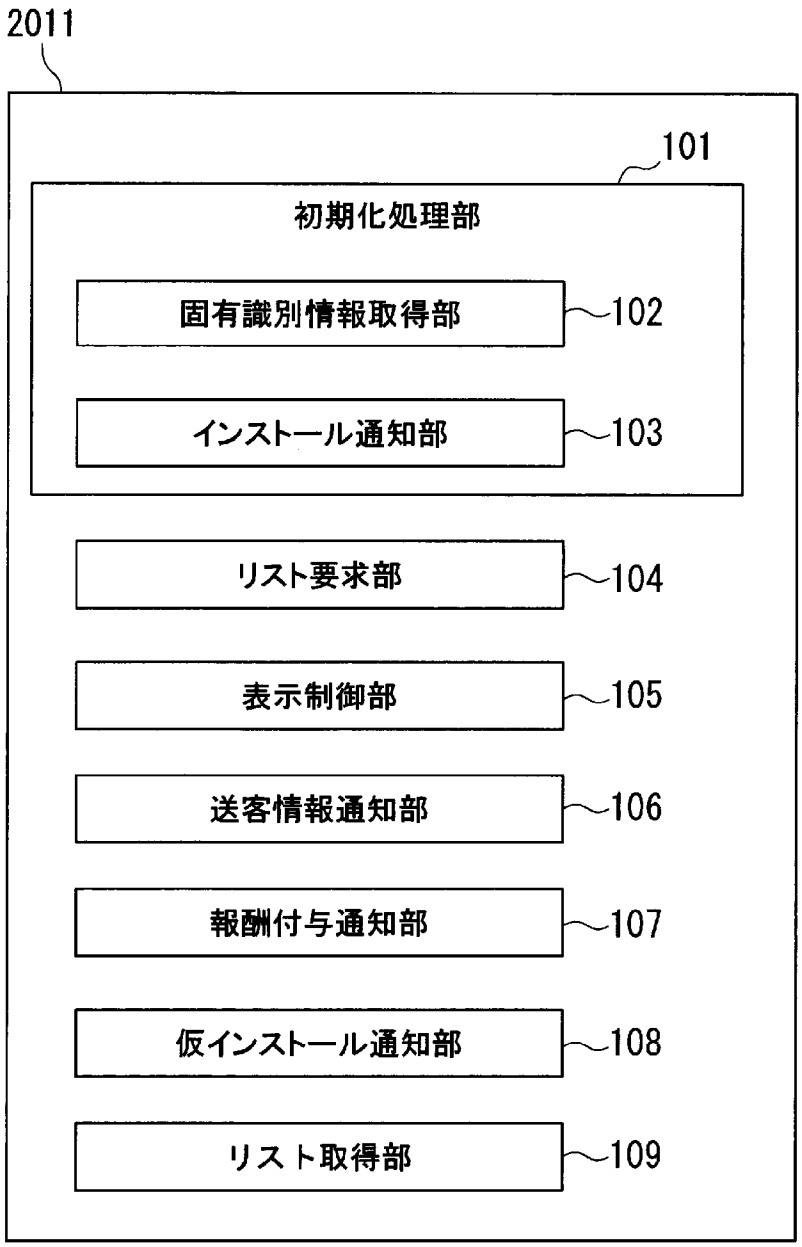
[図22]

リワードユーザID (RewardUID)	アプリID (ApID)	アプリユーザID (ApUID)	通知タイプ (Ttype)
09634565	001	5288	0
09634565	002	null	1
・・・	・・・	・・・	・・・

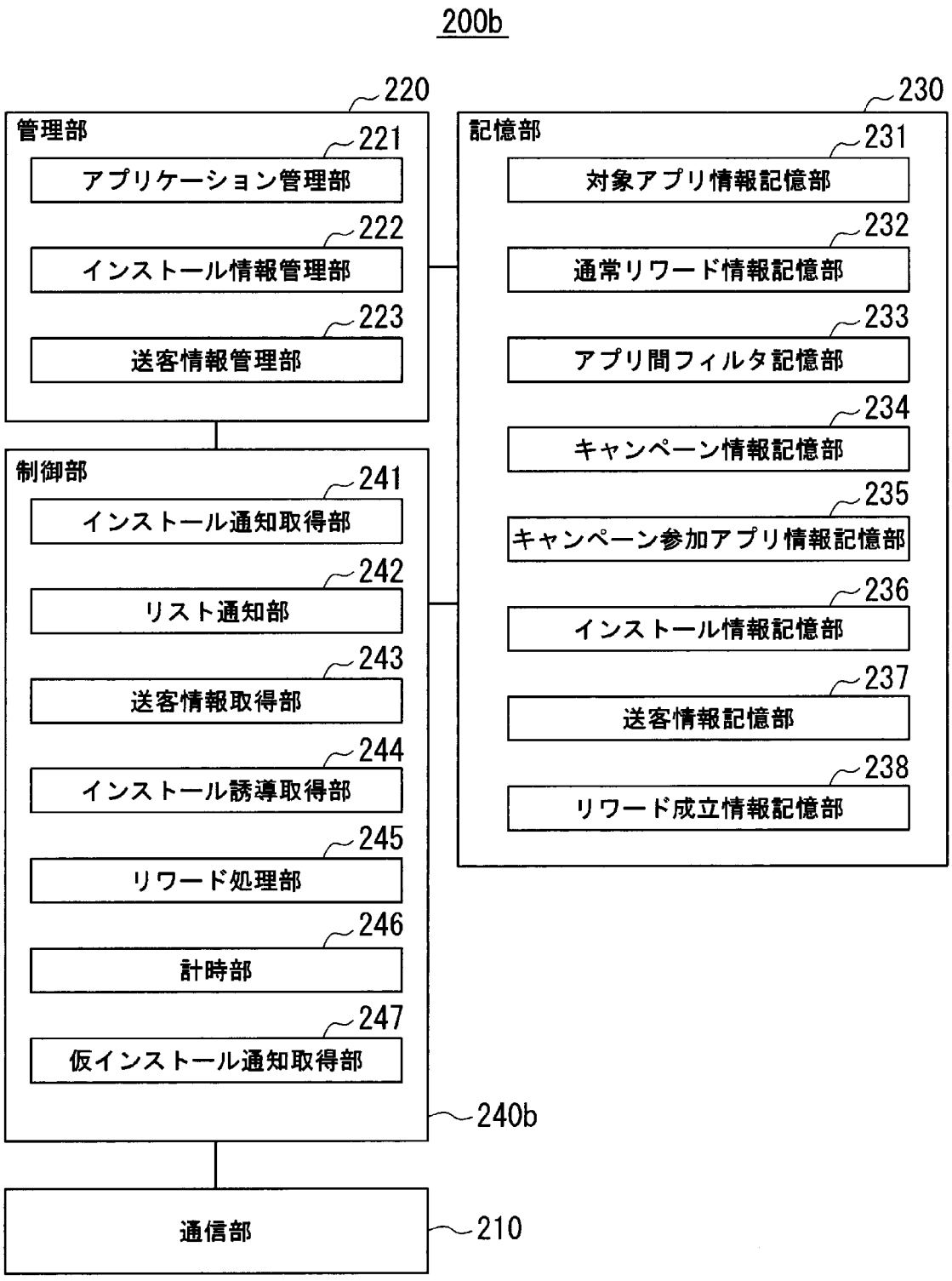
[図23]


ユーザ端末
対象アプリケーション
(ゲームA) SDK
100 (1011A)
200a
管理サーバ
SA11
初回起動処理
ApID⇒SDK
ApUID⇒SDK
CpID⇒SDK
初期化処理
YES
SDK初期化済み
SA12
NO
SA13
リワード
ユーザID取得
済み
YES
NO
SA14
リワードユーザID生成
(システム上でユニークなID)
リワードユーザIDをアプリ
間共通エリアに記憶
SA15
RewardUID
ApID
ApUID
インストール通知(ゲームA)
REQ11
SE11
SA16
インストール通知取得
通知結果受取
SDK初期化済みセット
SA17
RES11
通知タイプ
:0
リワードユーザID読み出し
SA170
未インストール情報を要求
SA171
REQ11A
SE111
未インストールの
対象アプリケーションの抽出
未インストール情報
の通知
SA172
未インストール情報の取得
RES11A
SE112
未インストールの対象アプリケーション
のインストールを確認
SA173
インストール確認の結果を通知
SA174
REQ11B
SE113
仮インストール通知情報の取得
応答情報の取得
SA175
RES11B
通知タイプ
:1
対象アプリケーションの一覧要求
SA24
REQ12

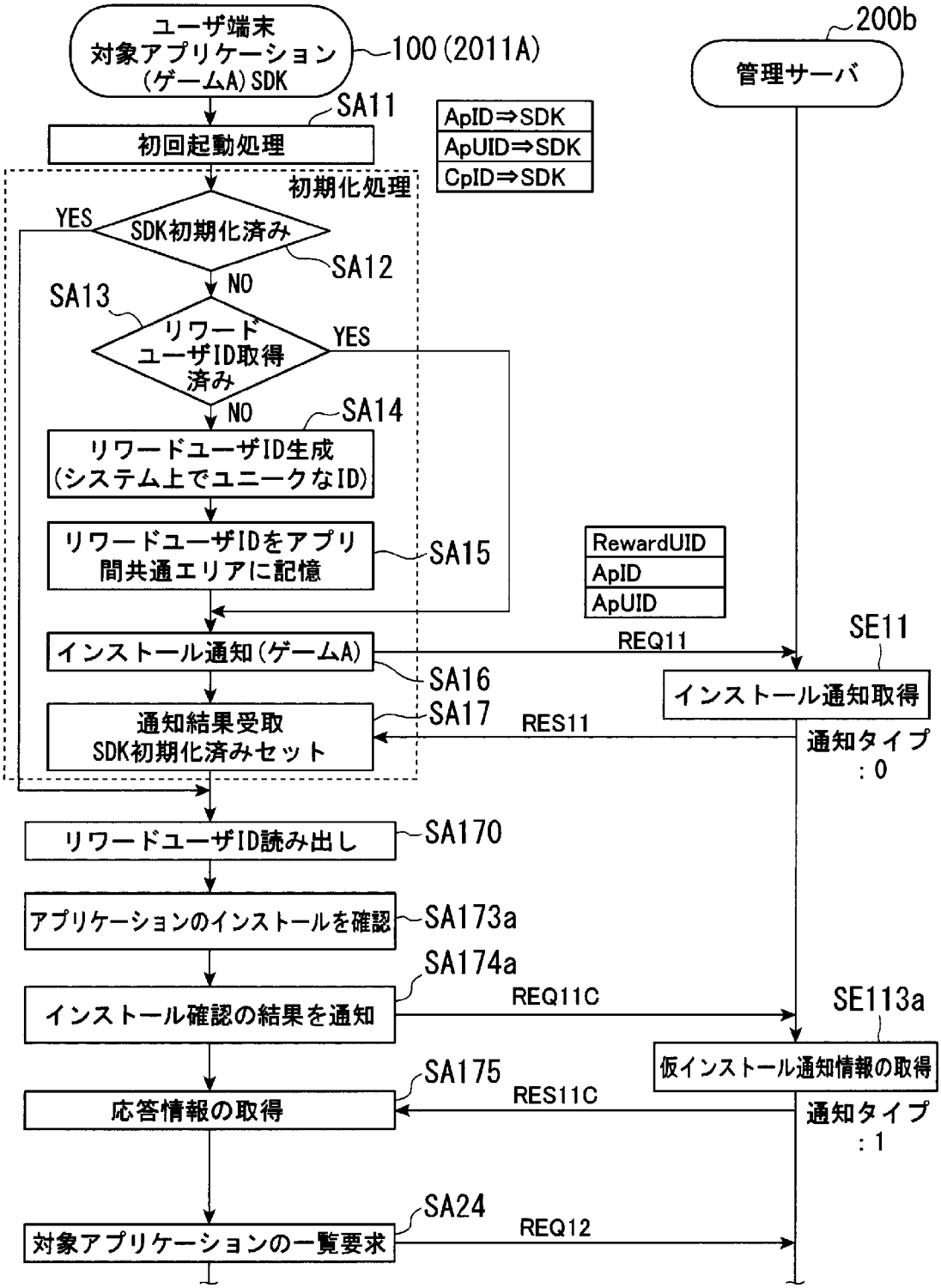
[図24]


2011
101
初期化処理部
固有識別情報取得部
102
インストール通知部
103
リスト要求部
104
表示制御部
105
送客情報通知部
106
報酬付与通知部
107
仮インストール通知部
108
リスト取得部
109

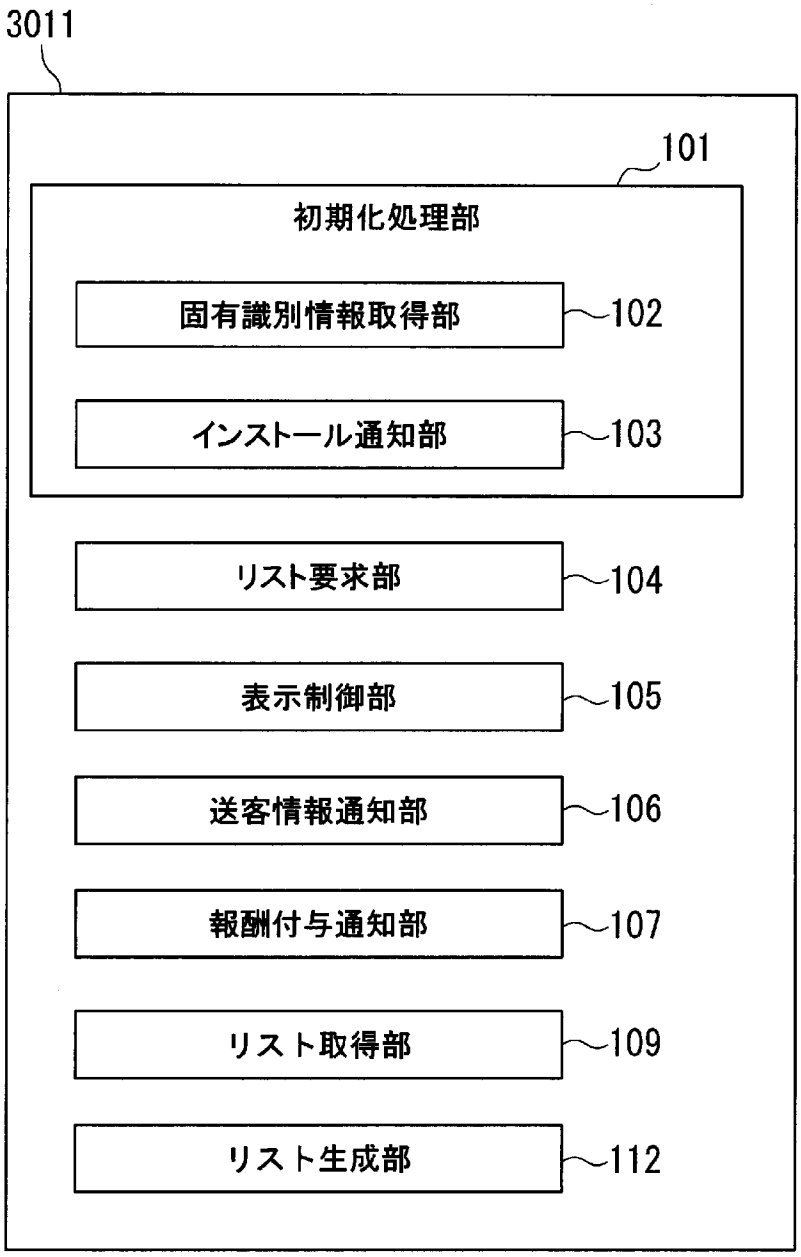
[図25]


200b
220
管理部
221
アプリケーション管理部
222
インストール情報管理部
223
送客情報管理部
230
記憶部
231
対象アプリ情報記憶部
232
通常リワード情報記憶部
233
アプリ間フィルタ記憶部
234
キャンペーン情報記憶部
235
キャンペーン参加アプリ情報記憶部
236
インストール情報記憶部
237
送客情報記憶部
238
リワード成立情報記憶部
制御部
241
インストール通知取得部
242
リスト通知部
243
送客情報取得部
244
インストール誘導取得部
245
リワード処理部
246
計時部
247
仮インストール通知取得部
240b
通信部
210

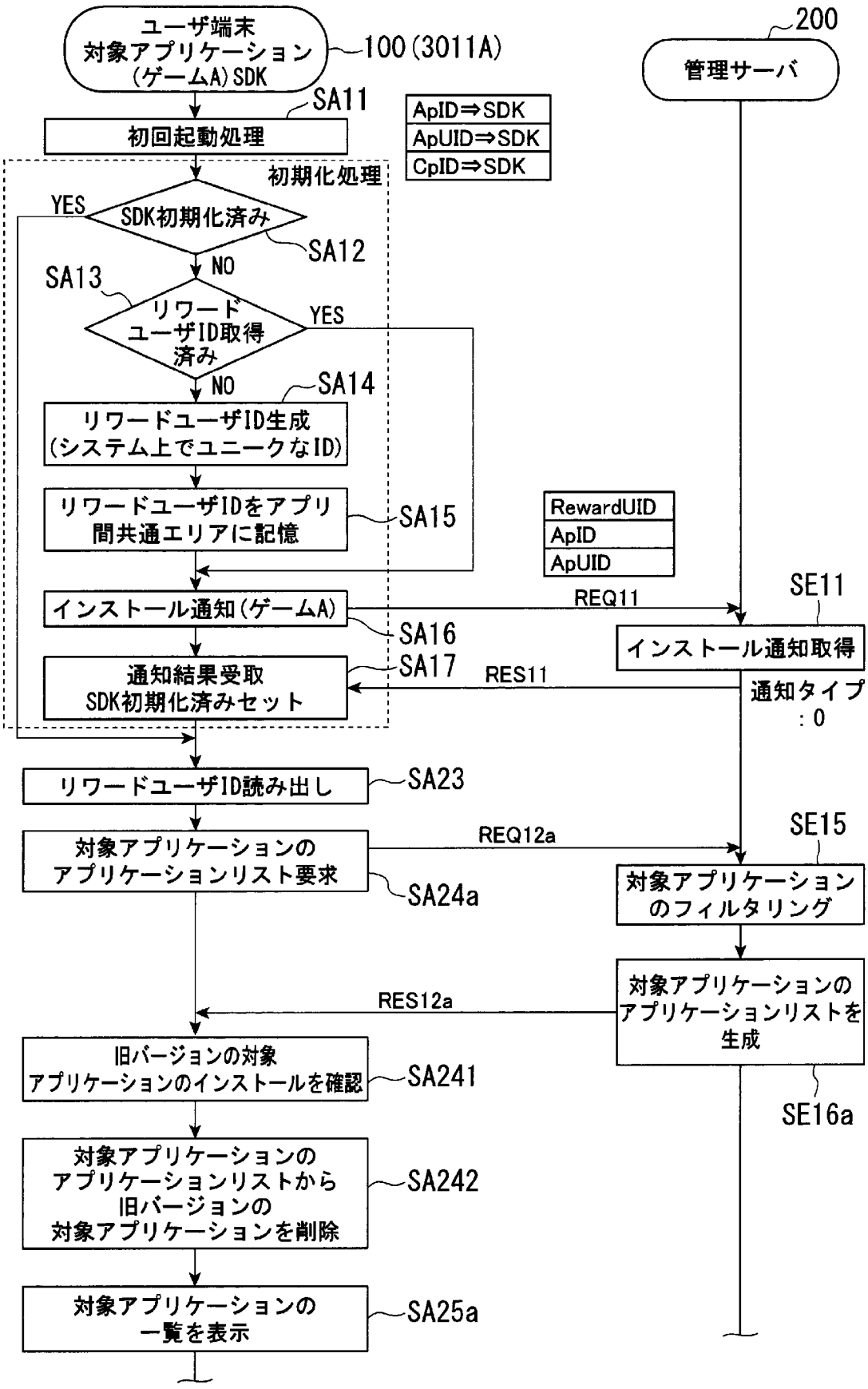
[図26]


ユーザ端末
対象アプリケーション
(ゲームA) SDK
100 (2011A)
200b
管理サーバ
SA11
初回起動処理
ApID⇒SDK
ApUID⇒SDK
CpID⇒SDK
初期化処理
YES
SDK初期化済み
SA12
NO
SA13
リワード
ユーザID取得
済み
YES
NO
SA14
リワードユーザID生成
(システム上でユニークなID)
リワードユーザIDをアプリ
間共通エリアに記憶
SA15
RewardUID
ApID
ApUID
インストール通知(ゲームA)
REQ11
SE11
SA16
インストール通知取得
SA17
通知結果受取
SDK初期化済みセット
RES11
通知タイプ
:0
リワードユーザID読み出し
SA170
アプリケーションのインストールを確認
SA173a
SA174a
インストール確認の結果を通知
REQ11C
SE113a
仮インストール通知情報の取得
SA175
応答情報の取得
RES11C
通知タイプ
:1
SA24
対象アプリケーションの一覧要求
REQ12

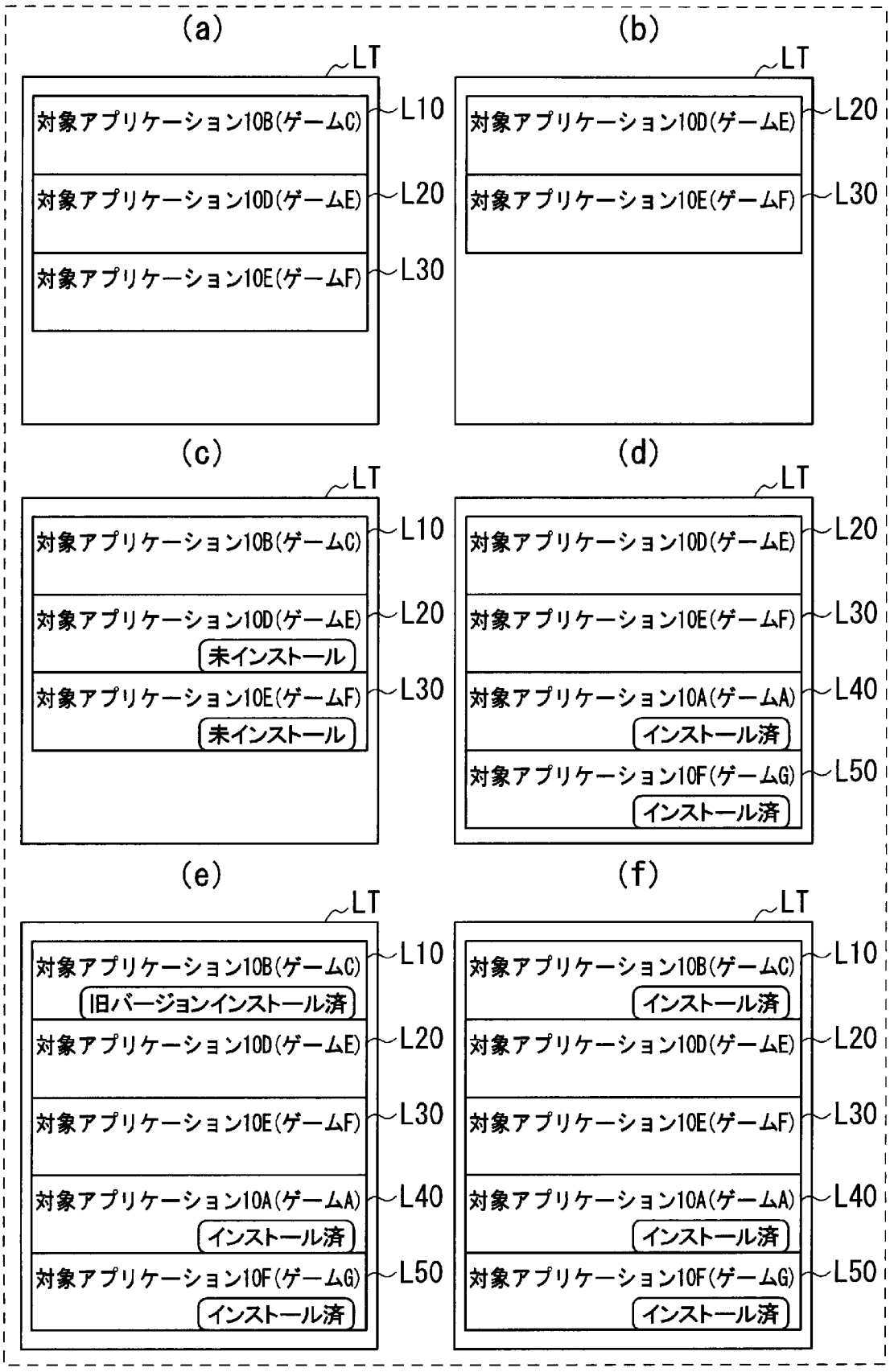
[図27]


3011
101
初期化処理部
固有識別情報取得部
102
インストール通知部
103
リスト要求部
104
表示制御部
105
送客情報通知部
106
報酬付与通知部
107
リスト取得部
109
リスト生成部
112

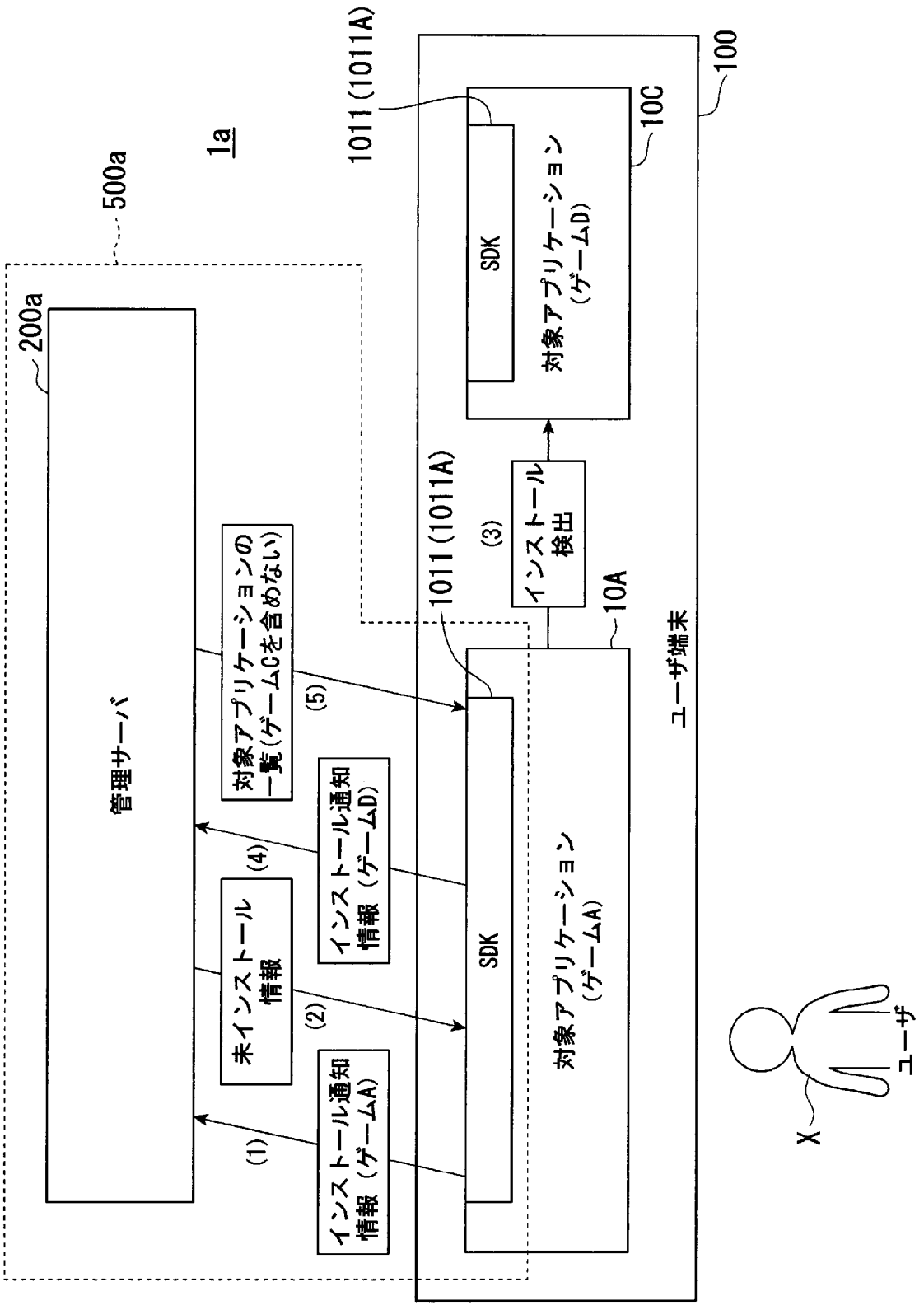
[図28]


ユーザ端末
対象アプリケーション
(ゲームA) SDK
100 (3011A)
200
管理サーバ
SA11
初回起動処理
ApID⇒SDK
ApUID⇒SDK
CpID⇒SDK
初期化処理
YES
SDK初期化済み
SA12
NO
SA13
リワード
ユーザID取得
済み
YES
NO
SA14
リワードユーザID生成
(システム上でユニークなID)
リワードユーザIDをアプリ
間共通エリアに記憶
SA15
RewardUID
ApID
ApUID
インストール通知(ゲームA)
REQ11
SE11
SA16
インストール通知取得
通知結果受取
SDK初期化済みセット
SA17
RES11
通知タイプ
: 0
リワードユーザID読み出し
SA23
対象アプリケーションの
アプリケーションリスト要求
REQ12a
SE15
SA24a
対象アプリケーション
のフィルタリング
対象アプリケーションの
アプリケーションリストを
生成
RES12a
旧バージョンの対象
アプリケーションのインストールを確認
SA241
SE16a
対象アプリケーションの
アプリケーションリストから
旧バージョンの
対象アプリケーションを削除
SA242
対象アプリケーションの
一覧を表示
SA25a

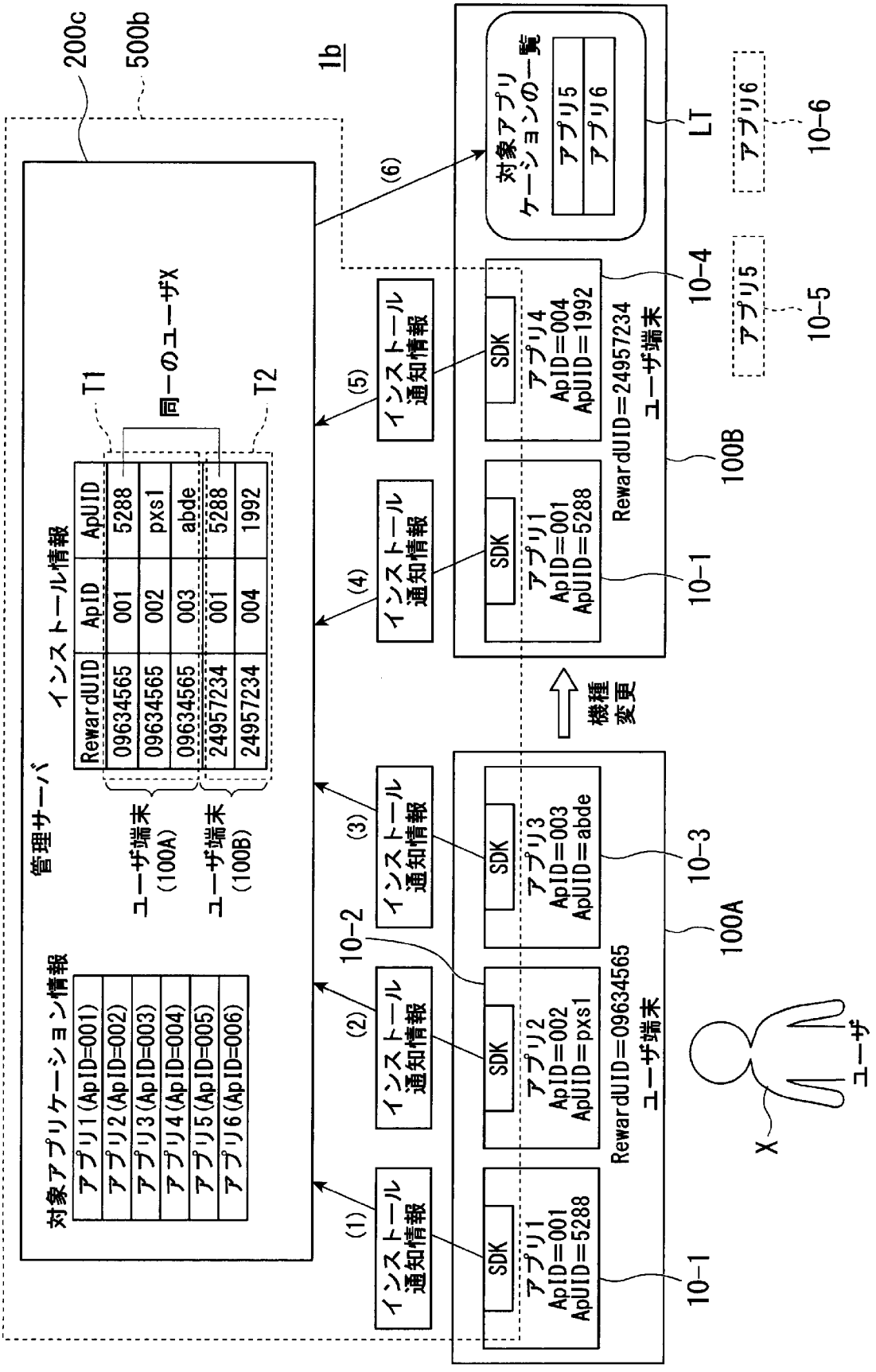
[図29]


(a)
LT
対象アプリケーション10B(ゲームC)
L10
対象アプリケーション10D(ゲームE)
L20
対象アプリケーション10E(ゲームF)
L30
(b)
LT
対象アプリケーション10D(ゲームE)
L20
対象アプリケーション10E(ゲームF)
L30
(c)
LT
対象アプリケーション10B(ゲームC)
L10
対象アプリケーション10D(ゲームE)
未インストール
L20
対象アプリケーション10E(ゲームF)
未インストール
L30
(d)
LT
対象アプリケーション10D(ゲームE)
L20
対象アプリケーション10E(ゲームF)
L30
対象アプリケーション10A(ゲームA)
インストール済
L40
対象アプリケーション10F(ゲームG)
インストール済
L50
(e)
LT
対象アプリケーション10B(ゲームC)
旧バージョンインストール済
L10
対象アプリケーション10D(ゲームE)
L20
対象アプリケーション10E(ゲームF)
L30
対象アプリケーション10A(ゲームA)
インストール済
L40
対象アプリケーション10F(ゲームG)
インストール済
L50
(f)
LT
対象アプリケーション10B(ゲームC)
インストール済
L10
対象アプリケーション10D(ゲームE)
L20
対象アプリケーション10E(ゲームF)
L30
対象アプリケーション10A(ゲームA)
インストール済
L40
対象アプリケーション10F(ゲームG)
インストール済
L50

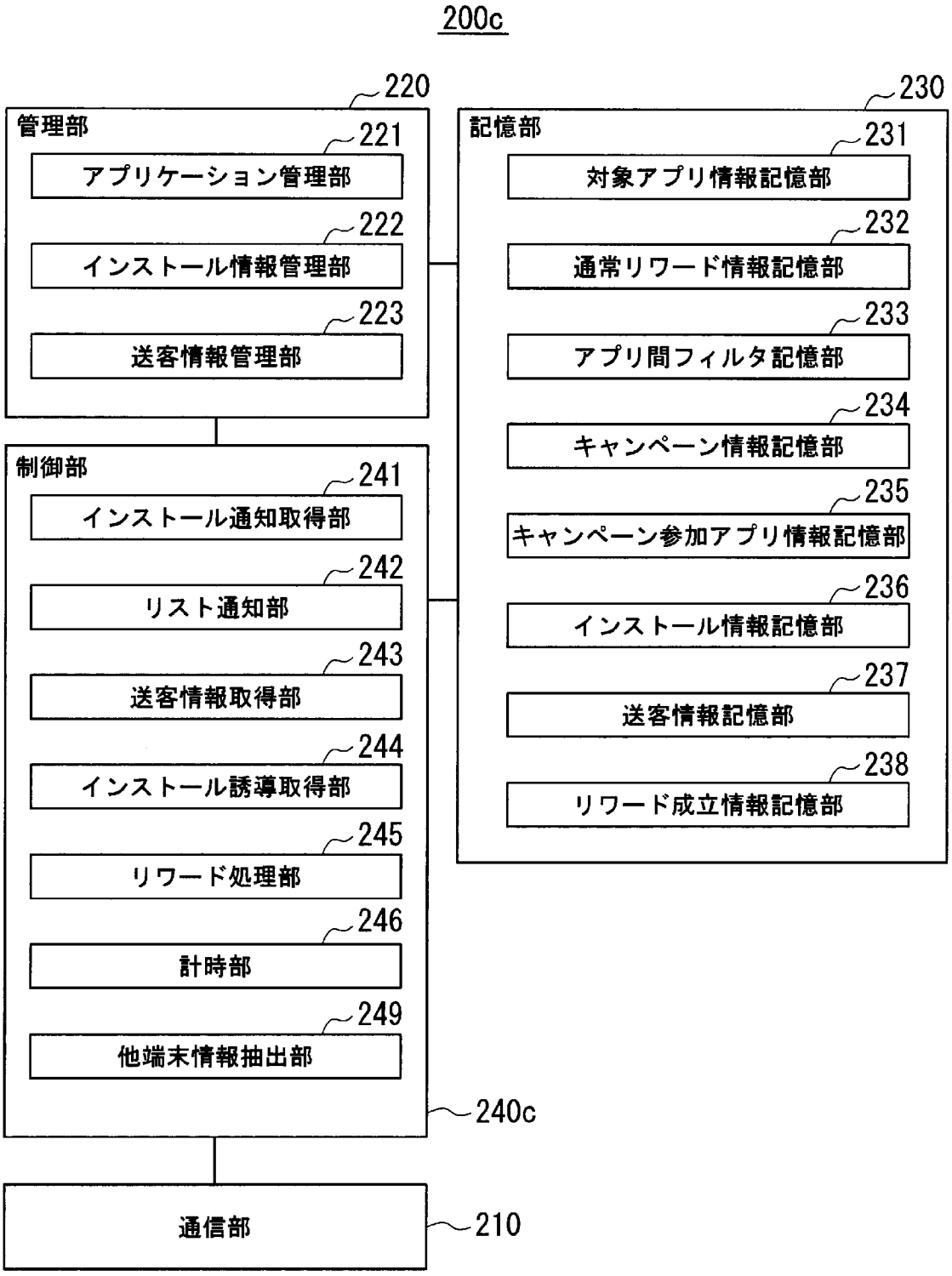
[図30]


1a
500a
200a
管理サーバ
100
ユーザ端末
1011(1011A)
1011(1011A)
SDK
対象アプリケーション
(ゲームD)
10C
SDK
対象アプリケーション
(ゲームA)
10A
(1)
インストール通知
情報(ゲームA)
(2)
未インストール
情報
(3)
インストール
検出
(4)
インストール通知
情報(ゲームD)
(5)
対象アプリケーションの
一覧(ゲームCを含めない)
X
ユーザ

[図31]


200c
500b
1b
管理サーバ
インストール情報
RewardUID
ApID
ApUID
09634565
001
5288
09634565
002
pxs1
09634565
003
abde
24957234
001
5288
24957234
004
1992
T1
T2
同一のユーザX
ユーザ端末
(100A)
ユーザ端末
(100B)
対象アプリケーション情報
アプリ1(ApID=001)
アプリ2(ApID=002)
アプリ3(ApID=003)
アプリ4(ApID=004)
アプリ5(ApID=005)
アプリ6(ApID=006)
(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
インストール通知情報
SDK
アプリ1
ApID=001
ApUID=5288
アプリ2
ApID=002
ApUID=pxs1
アプリ3
ApID=003
ApUID=abde
アプリ4
ApID=004
ApUID=1992
RewardUID=09634565
ユーザ端末
RewardUID=24957234
ユーザ端末
10-1
10-2
10-3
10-4
100A
100B
機種変更
対象アプリケーションの一覧
アプリ5
アプリ6
LT
アプリ5
アプリ6
10-5
10-6
X
ユーザ

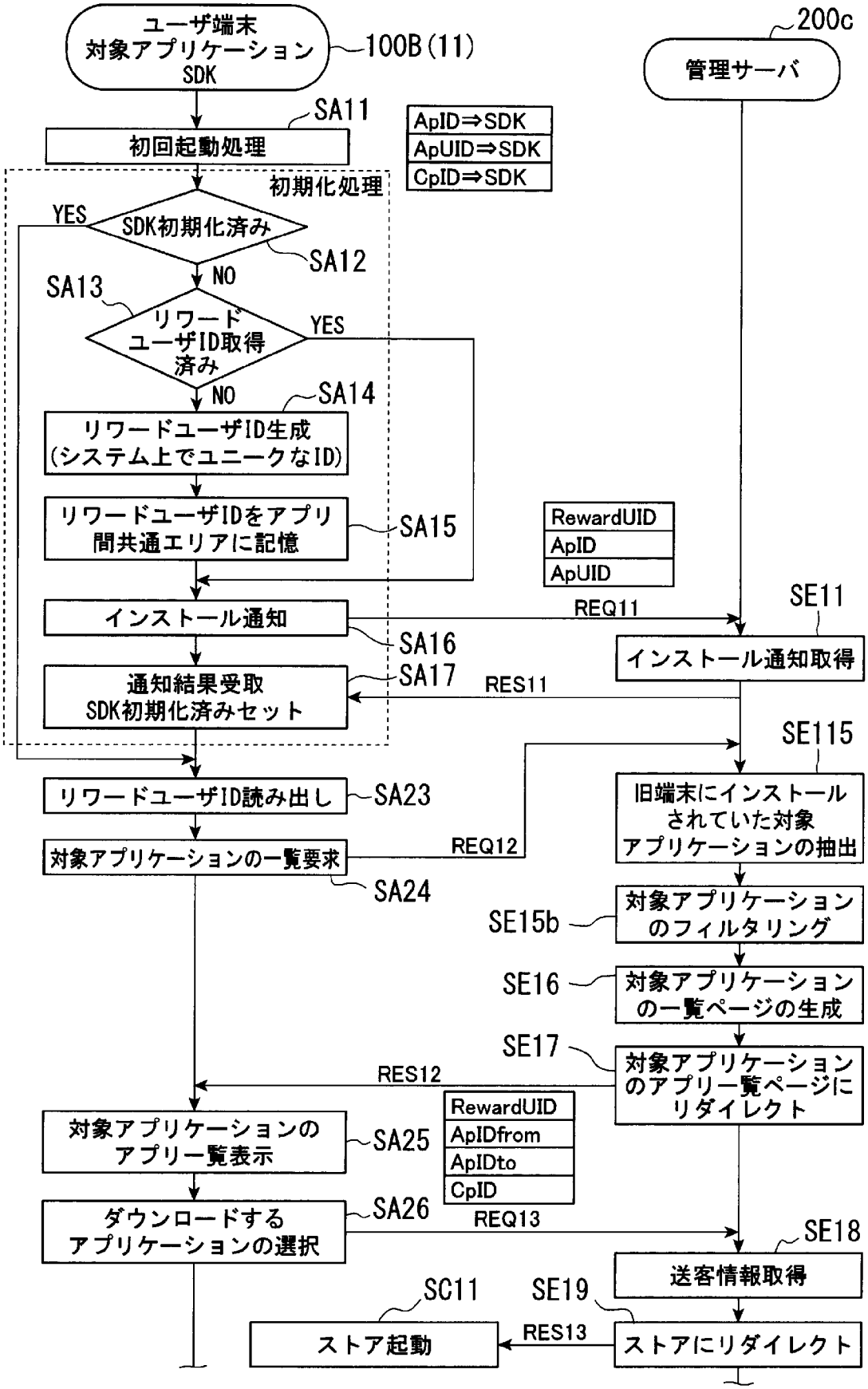
[図32]


200c
220
管理部
221
アプリケーション管理部
222
インストール情報管理部
223
送客情報管理部
230
記憶部
231
対象アプリ情報記憶部
232
通常リワード情報記憶部
233
アプリ間フィルタ記憶部
234
キャンペーン情報記憶部
235
キャンペーン参加アプリ情報記憶部
236
インストール情報記憶部
237
送客情報記憶部
238
リワード成立情報記憶部
制御部
241
インストール通知取得部
242
リスト通知部
243
送客情報取得部
244
インストール誘導取得部
245
リワード処理部
246
計時部
249
他端末情報抽出部
240c
通信部
210

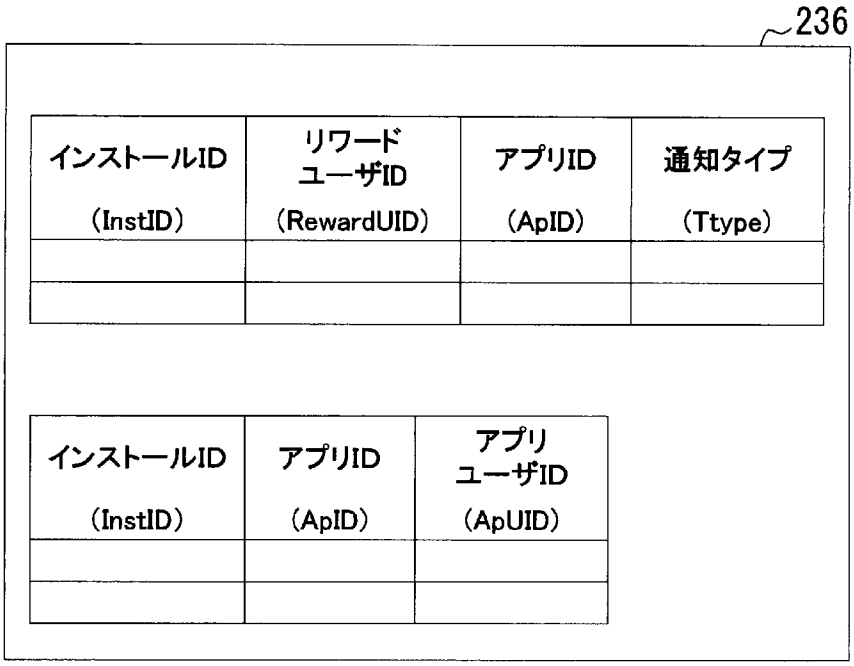
[図33]

リワード ユーザID (RewardUID)	アプリID (ApID)	アプリ ユーザID (ApUID)	・・・
09634565	001	5288	・・・
09634565	002	pxs1	・・・
09634565	003	abde	・・・
24957234	001	5288	・・・
24957234	004	1992	・・・
・・・	・・・	・・・	・・・

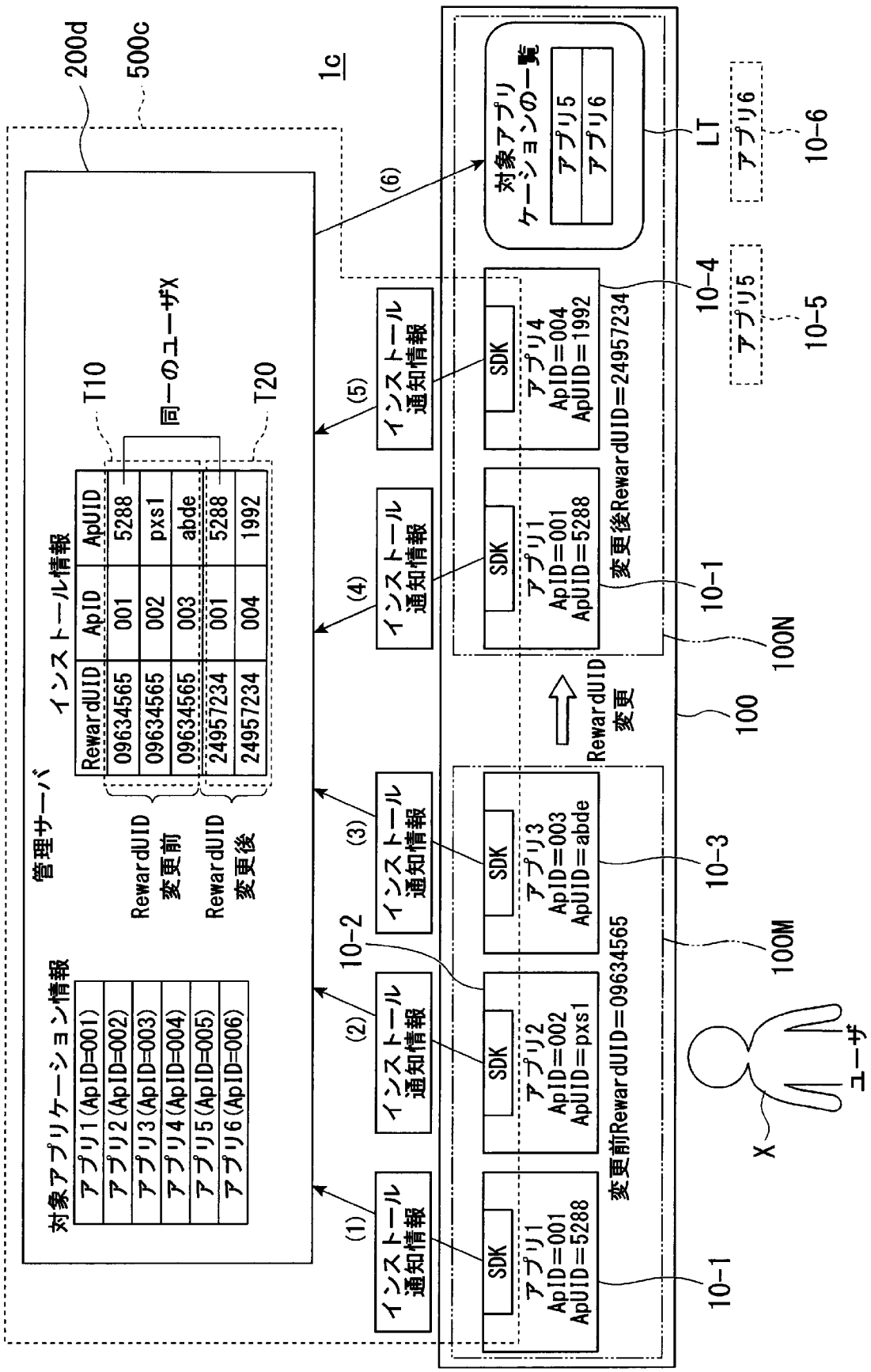
[図34]


ユーザ端末
対象アプリケーション
SDK
100B(11)
200c
管理サーバ
SA11
初回起動処理
ApID⇒SDK
ApUID⇒SDK
CpID⇒SDK
初期化処理
YES
SDK初期化済み
SA12
NO
SA13
リワード
ユーザID取得
済み
YES
NO
SA14
リワードユーザID生成
(システム上でユニークなID)
リワードユーザIDをアプリ
間共通エリアに記憶
SA15
RewardUID
ApID
ApUID
インストール通知
REQ11
SE11
SA16
インストール通知取得
通知結果受取
SDK初期化済みセット
SA17
RES11
SE115
リワードユーザID読み出し
SA23
旧端末にインストール
されていた対象
アプリケーションの抽出
対象アプリケーションの一覧要求
REQ12
SA24
SE15b
対象アプリケーション
のフィルタリング
SE16
対象アプリケーション
の一覧ページの生成
SE17
RES12
対象アプリケーション
のアプリ一覧ページに
リダイレクト
対象アプリケーションの
アプリ一覧表示
SA25
RewardUID
ApIDfrom
ApIDto
CpID
ダウンロードする
アプリケーションの選択
SA26
REQ13
SE18
送客情報取得
SC11
SE19
ストア起動
RES13
ストアにリダイレクト

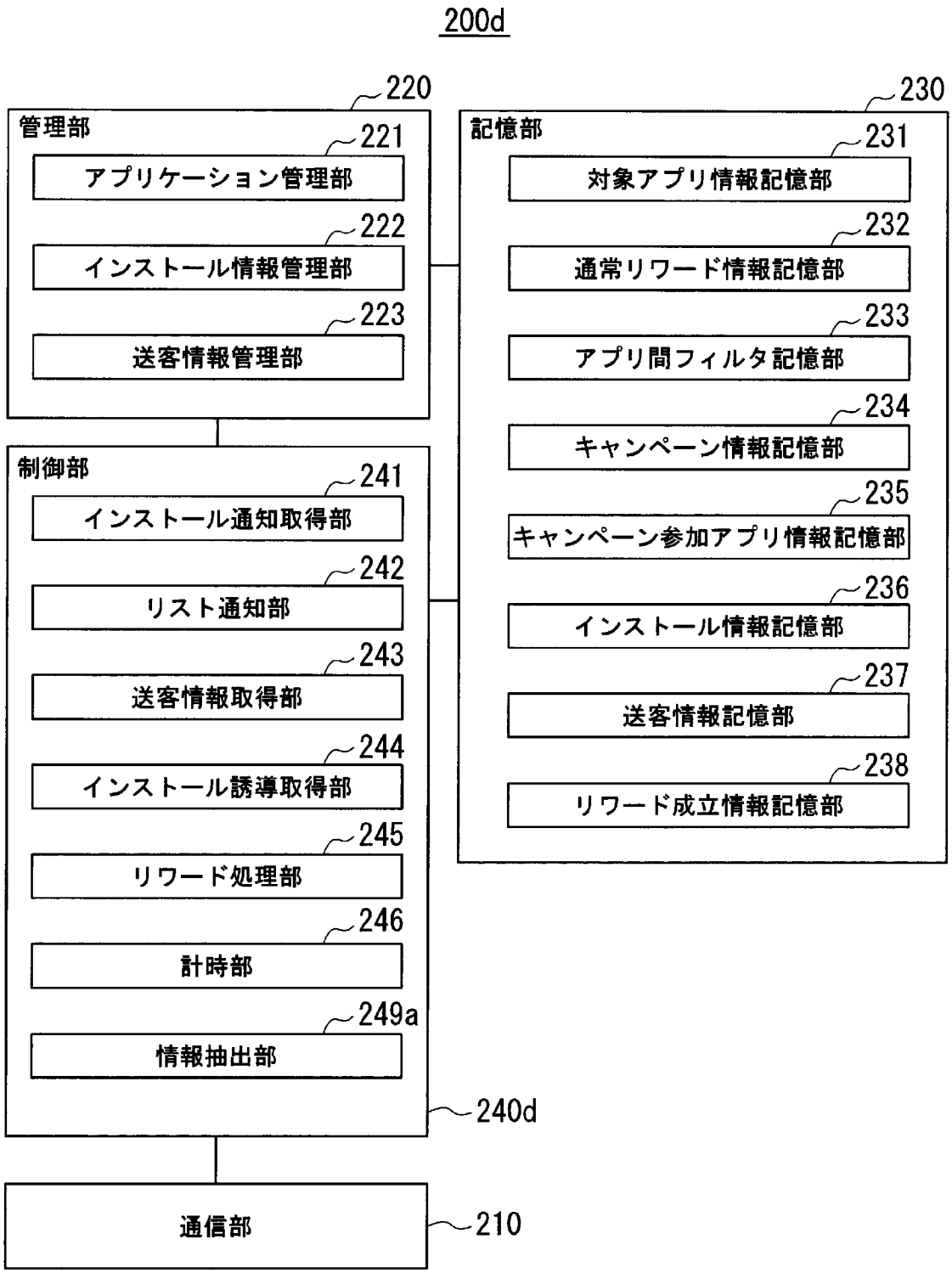
[図35]


236
インストールID
(InstID)
リワード
ユーザID
(RewardUID)
アプリID
(ApID)
通知タイプ
(Ttype)
インストールID
(InstID)
アプリID
(ApID)
アプリ
ユーザID
(ApUID)

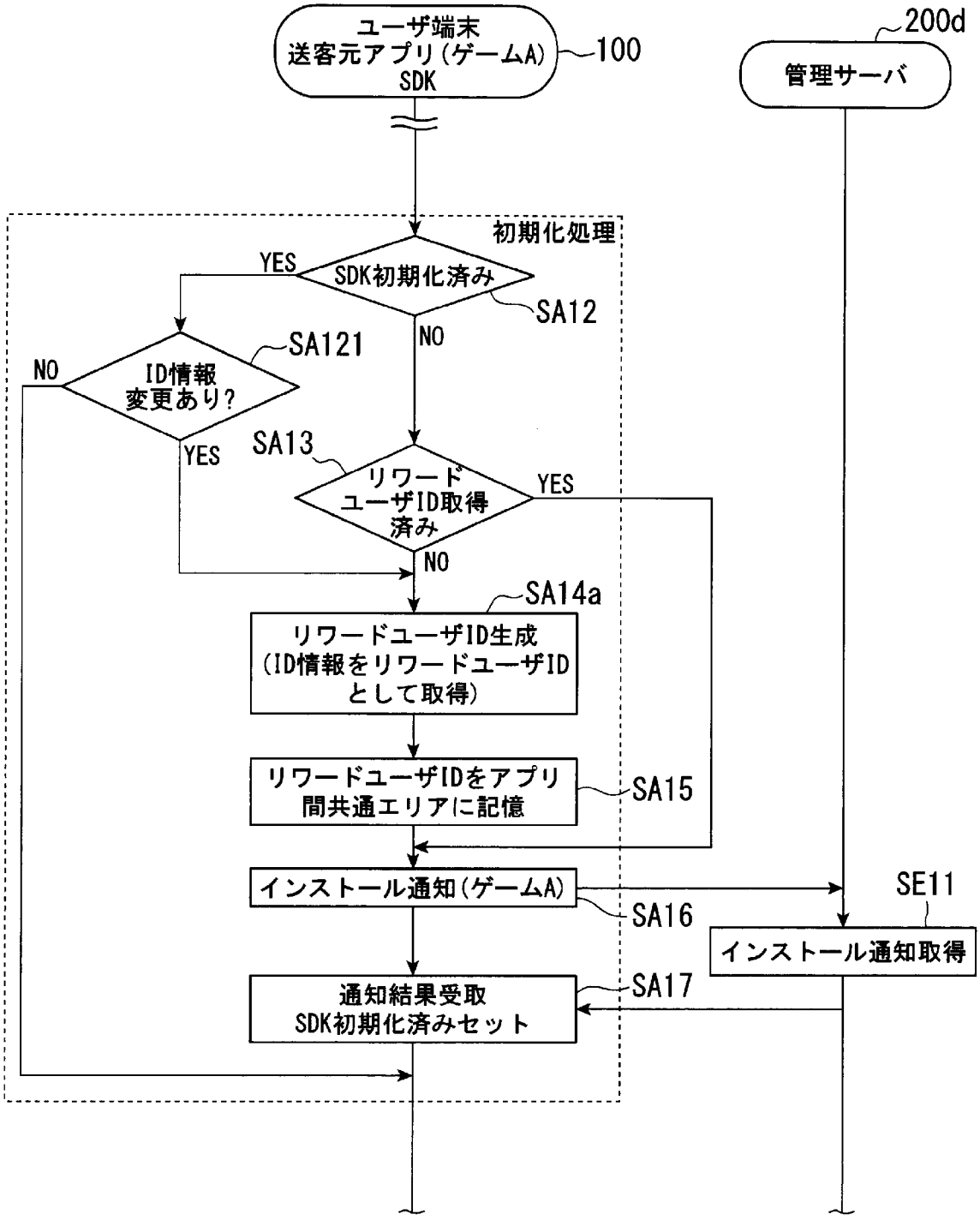
[図36]


200d
500c
1c
管理サーバ
インストール情報
RewardUID
ApID
ApUID
09634565
001
5288
09634565
002
pxs1
09634565
003
abde
24957234
001
5288
24957234
004
1992
T10
T20
同一のユーザX
RewardUID 変更前
RewardUID 変更後
対象アプリケーション情報
アプリ1(ApID=001)
アプリ2(ApID=002)
アプリ3(ApID=003)
アプリ4(ApID=004)
アプリ5(ApID=005)
アプリ6(ApID=006)
(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
インストール通知情報
SDK
アプリ1 ApID=001 ApUID=5288
アプリ2 ApID=002 ApUID=pxs1
アプリ3 ApID=003 ApUID=abde
アプリ4 ApID=004 ApUID=1992
変更前RewardUID=09634565
変更後RewardUID=24957234
RewardUID 変更
対象アプリケーションの一覧
アプリ5
アプリ6
LT
10-1
10-2
10-3
10-4
10-5
10-6
100
100M
100N
X
ユーザ

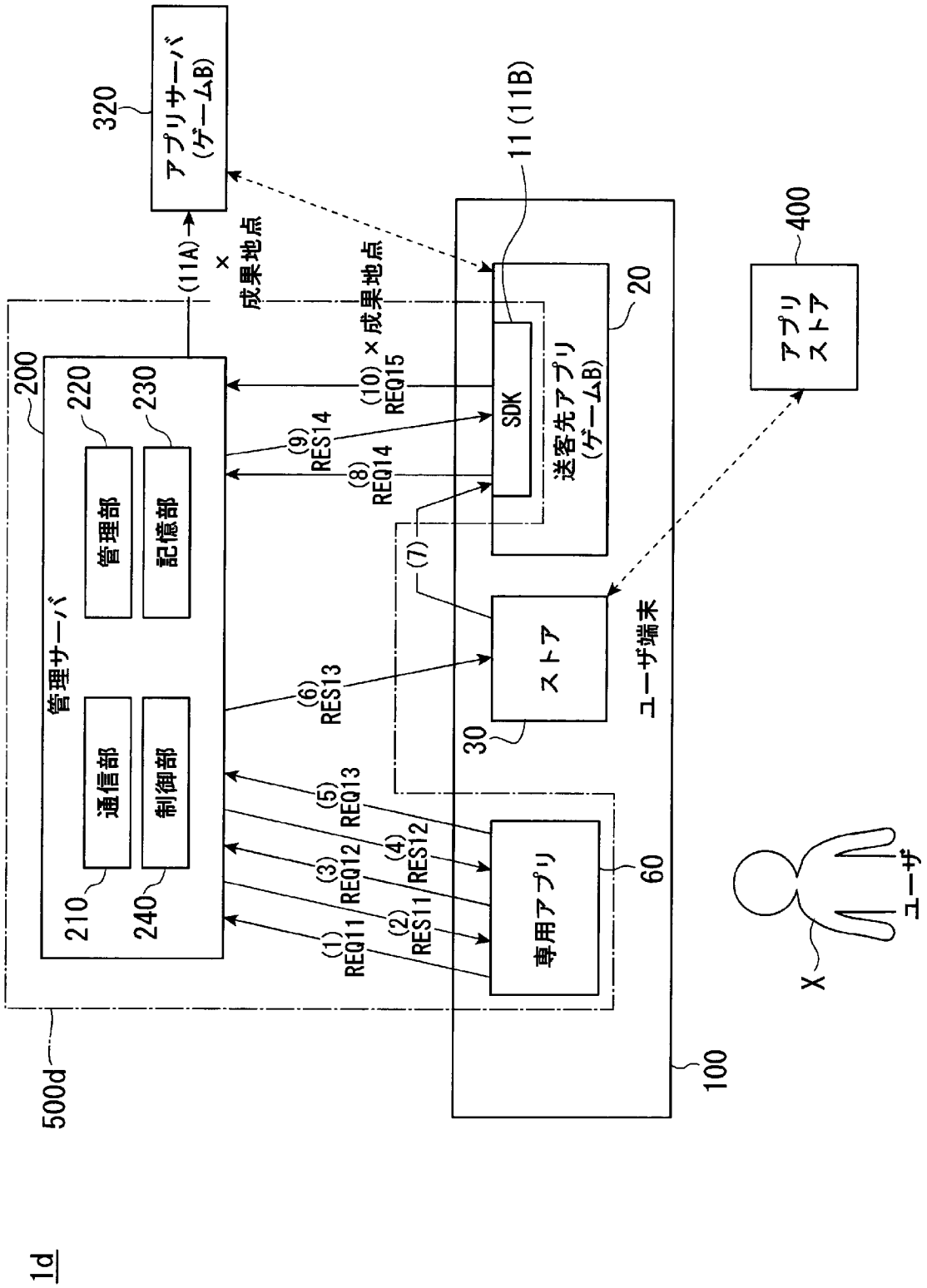
[図37]


200d
220
管理部
221
アプリケーション管理部
222
インストール情報管理部
223
送客情報管理部
230
記憶部
231
対象アプリ情報記憶部
232
通常リワード情報記憶部
233
アプリ間フィルタ記憶部
234
キャンペーン情報記憶部
235
キャンペーン参加アプリ情報記憶部
236
インストール情報記憶部
237
送客情報記憶部
238
リワード成立情報記憶部
制御部
241
インストール通知取得部
242
リスト通知部
243
送客情報取得部
244
インストール誘導取得部
245
リワード処理部
246
計時部
249a
情報抽出部
240d
通信部
210

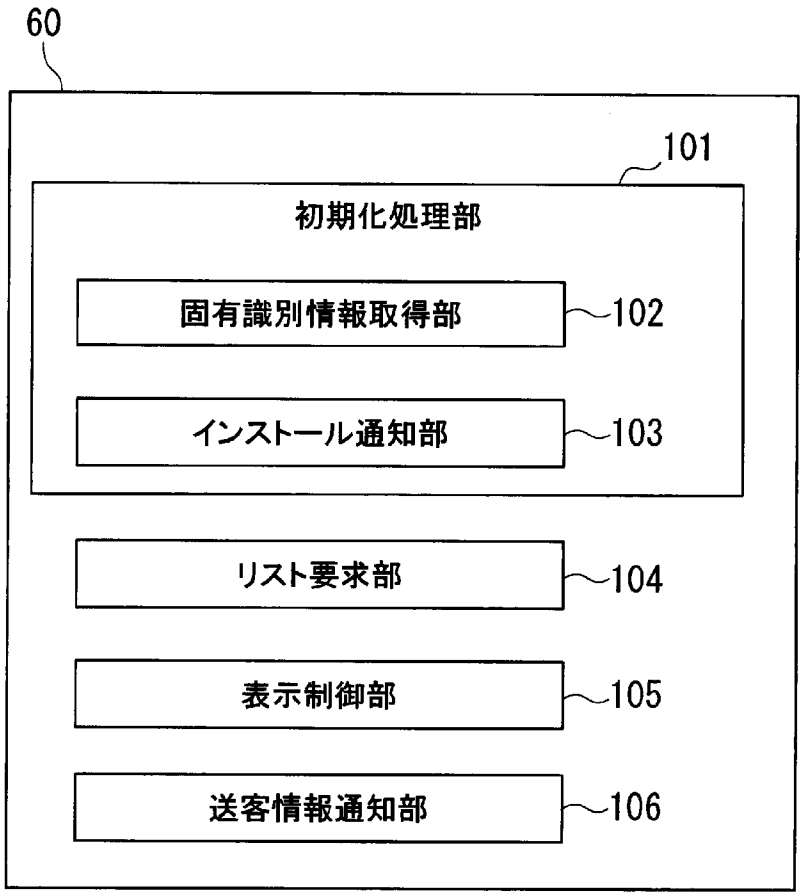
[図38]


ユーザ端末
送客元アプリ(ゲームA)
SDK
100
200d
管理サーバ
初期化処理
YES
SDK初期化済み
SA12
NO
SA121
NO
ID情報
変更あり?
YES
SA13
リワード
ユーザID取得
済み
YES
NO
SA14a
リワードユーザID生成
(ID情報をリワードユーザID
として取得)
リワードユーザIDをアプリ
間共通エリアに記憶
SA15
インストール通知(ゲームA)
SA16
SE11
インストール通知取得
通知結果受取
SDK初期化済みセット
SA17

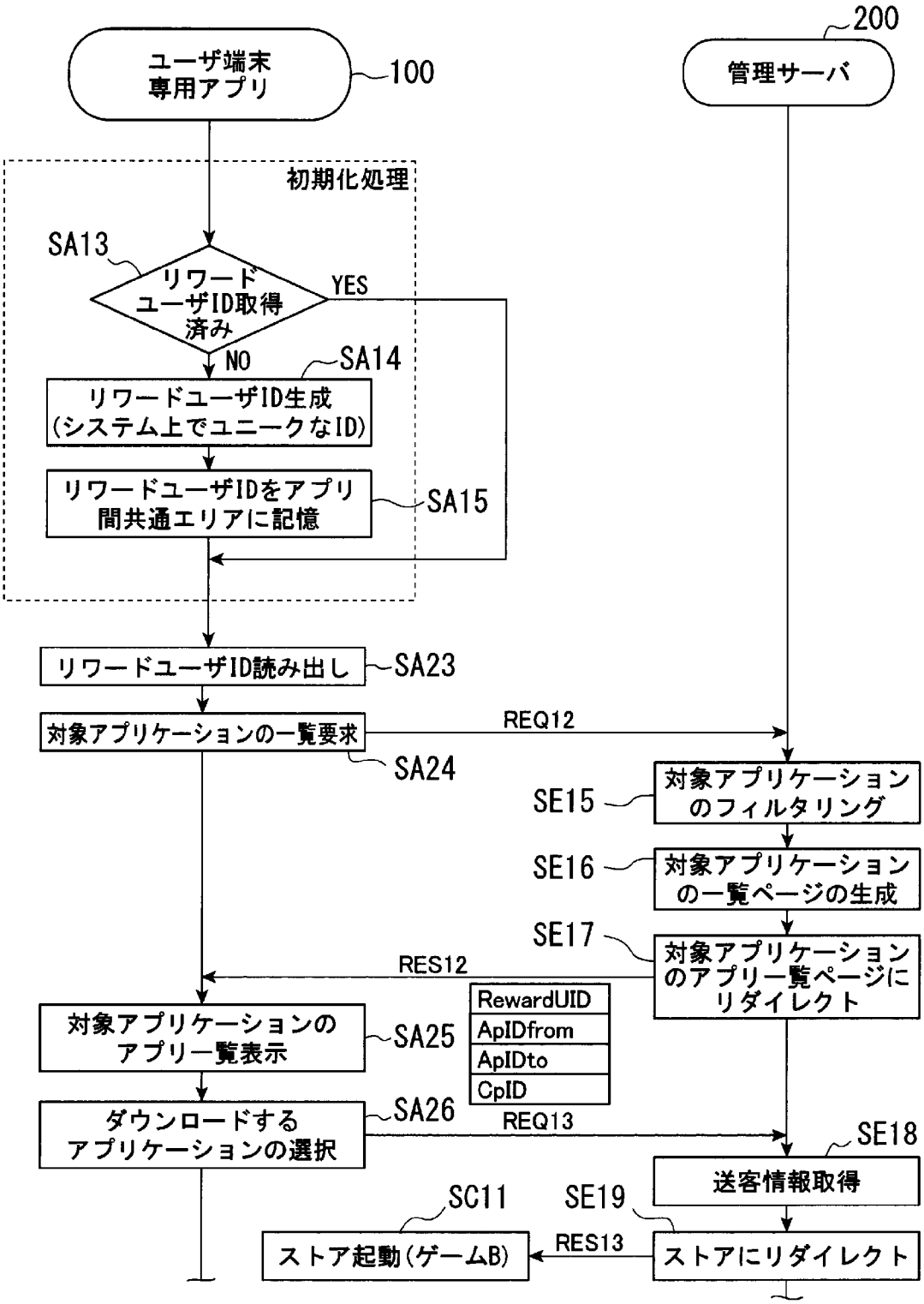
[図39]


アプリサーバ
(ゲームB)
320
(11A)
×
成果地点
11 (11B)
400
アプリ
ストア
20
SDK
送客先アプリ
(ゲームB)
(10) REQ15
(9) RES14
(8) REQ14
(7)
200
220
230
管理部
記憶部
管理サーバ
通信部
制御部
210
240
(6) RES13
ストア
30
ユーザ端末
(5) REQ13
(4) RES12
(3) REQ12
(2) RES11
(1) REQ11
専用アプリ
60
ユーザ
X
500d
100
1d

[図40]


60
101
初期化処理部
固有識別情報取得部
102
インストール通知部
103
リスト要求部
104
表示制御部
105
送客情報通知部
106

[図41]


ユーザ端末
専用アプリ
100
200
管理サーバ
初期化処理
SA13
リワード
ユーザID取得
済み
YES
NO
SA14
リワードユーザID生成
(システム上でユニークなID)
リワードユーザIDをアプリ
間共通エリアに記憶
SA15
リワードユーザID読み出し
SA23
対象アプリケーションの一覧要求
SA24
REQ12
SE15
対象アプリケーション
のフィルタリング
SE16
対象アプリケーション
の一覧ページの生成
SE17
対象アプリケーション
のアプリ一覧ページに
リダイレクト
RES12
RewardUID
ApIDfrom
ApIDto
CpID
対象アプリケーションの
アプリ一覧表示
SA25
ダウンロードする
アプリケーションの選択
SA26
REQ13
SE18
送客情報取得
SC11
SE19
ストア起動(ゲームB)
RES13
ストアにリダイレクト

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2014/059020

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
G06Q30/02(2012.01)i, *G06F9/445*(2006.01)i, *G06F13/00*(2006.01)i, *G06Q30/06*(2012.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
G06Q30/02, G06F9/445, G06F13/00, G06Q30/06

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2014
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2014	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2014

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 5107455 B1 (F@N Communications, Inc.), 12 October 2012 (12.10.2012), paragraphs [0021] to [0048] & WO 2013/051487 A1	1-107
Y	JP 2005-129042 A (Fujitsu Social Science Laboratory Ltd.), 19 May 2005 (19.05.2005), claims 1, 2; paragraphs [0017] to [0029] & JP 2011-65673 A & JP 2012-238329 A & JP 2013-137790 A	1-107
Y	JP 2007-66187 A (Sekisui House, Ltd.), 15 March 2007 (15.03.2007), paragraph [0033] (Family: none)	5-32,34,36, 41-44,50-107

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
12 June, 2014 (12.06.14)	24 June, 2014 (24.06.14)
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office Facsimile No.	Authorized officer Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2014/059020

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2002-239237 A (Namco Ltd.), 27 August 2002 (27.08.2002), paragraph [0027] (Family: none)	5-32,34,36, 41-44,50-107
Y	JP 2006-11592 A (Sony Corp.), 12 January 2006 (12.01.2006), paragraphs [0061] to [0109] (Family: none)	72-75

国際調査報告

国際出願番号　ＰＣＴ／ＪＰ２０１４／０５９０２０

Ａ．　発明の属する分野の分類（国際特許分類（ＩＰＣ））

Int.Cl.　G06Q30/02(2012.01)i, G06F9/445(2006.01)i, G06F13/00(2006.01)i, G06Q30/06(2012.01)i

Ｂ．　調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（ＩＰＣ））

Int.Cl.　G06Q30/02, G06F9/445, G06F13/00, G06Q30/06

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	１９２２－１９９６年
日本国公開実用新案公報	１９７１－２０１４年
日本国実用新案登録公報	１９９６－２０１４年
日本国登録実用新案公報	１９９４－２０１４年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

Ｃ．　関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求項の番号
Y	JP 5107455 B1 (株式会社ファンコミュニケーションズ) 2012.10.12, 段落【００２１】～【００４８】 & WO 2013/051487 A1	１－１０７
Y	JP 2005-129042 A (株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ) 2005.05.19, 【請求項１】、【請求項２】、段落【００１７】～【００２９】 & JP 2011-65673 A & JP 2012-238329 A & JP 2013-137790 A	１－１０７

☑　Ｃ欄の続きにも文献が列挙されている。

☐　パテントファミリーに関する別紙を参照。

＊　引用文献のカテゴリー
「Ａ」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「Ｅ」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「Ｌ」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「Ｏ」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「Ｐ」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献
「Ｔ」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「Ｘ」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Ｙ」特に関連のある文献であって、当該文献と他の１以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「＆」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日	国際調査報告の発送日
１２．０６．２０１４	２４．０６．２０１４

国際調査機関の名称及びあて先
日本国特許庁（ＩＳＡ／ＪＰ）
郵便番号１００－８９１５
東京都千代田区霞が関三丁目４番３号

特許庁審査官（権限のある職員）　５Ｌ　３７８６
山本　雅士
電話番号　０３－３５８１－１１０１　内線　３５６２

Ｃ（続き）．　関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求項の番号
Ｙ	JP 2007-66187 A（積水ハウス株式会社）2007.03.15, 段落【００３３】 （ファミリーなし）	５～３２、 ３４，３６、 ４１～４４、 ５０～１０７
Ｙ	JP 2002-239237 A（株式会社ナムコ）2002.08.27, 段落【００２７】 （ファミリーなし）	５～３２、 ３４，３６、 ４１～４４、 ５０～１０７
Ｙ	JP 2006-11592 A（ソニー株式会社）2006.01.12, 段落【００６１】～【０１０９】（ファミリーなし）	７２～７５